

平成 30 年 7 月豪雨災害での
対応行動に関するアンケート
調査報告書

2019 年(平成 31 年) 3 月

岡 山 県

目 次

I	調査概要	1
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	3
1	回答者の属性	3
2	災害前のリスク認知と備え	17
3	「大雨特別警報」発表時の状況	33
4	「避難指示（緊急）」発令時の状況	50
5	災害発生時の避難行動	69
6	豪雨災害による被害・影響	75
7	豪雨災害からの復旧・復興や備え	99
8	自由意見	120
III	参考資料	129

I 調查概要

I 調査概要

1 調査目的

平成 30 年 7 月豪雨災害では、岡山県内で死者 61 名（災害関連死を除く）、行方不明者 3 名、住家被害 18,005 棟（平成 30 年 10 月 26 日現在）という甚大な被害を及ぼした。この災害の教訓を県内だけでなく広く全国に伝え、次の災害に備えるため、アンケート調査を実施した。

2 調査方法

(1) 調査地域

高梁川水系の住家被害の大きい市町（倉敷市、総社市、高梁市、矢掛町）

(2) 調査対象者：被災世帯（6,644 票）

(3) 調査方法：質問紙による郵送自記入・郵送返却

(4) 調査期間：平成 30 年 11 月 29 日～平成 30 年 12 月 20 日

3 回収結果

(1) 発送数：6,644 票

(2) 回収数：3,990 票（回収率 60.1%）

(3) 有効回収数：3,765 票（有効回収率 56.7%）

	発送数	有効回収数 (問5災害時の住まい)	回収率
倉敷市	5,608	3,205	57.2%
総社市	487	233	47.8%
高梁市	328	171	52.1%
矢掛町	221	101	45.7%
無回答	—	55	—
計	6,644	3,765	56.7%

4 報告書の見方

(1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0% とならない場合がある。

(2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0% を超えることがある。

(3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

(4) 図表中の「n」は number of cases の略で、回答者総数または分類別の回答者数を示す。各比率は n を 100% として算出している。

(5) 回答者数 20 人以下の回答傾向は記述しないこととする。

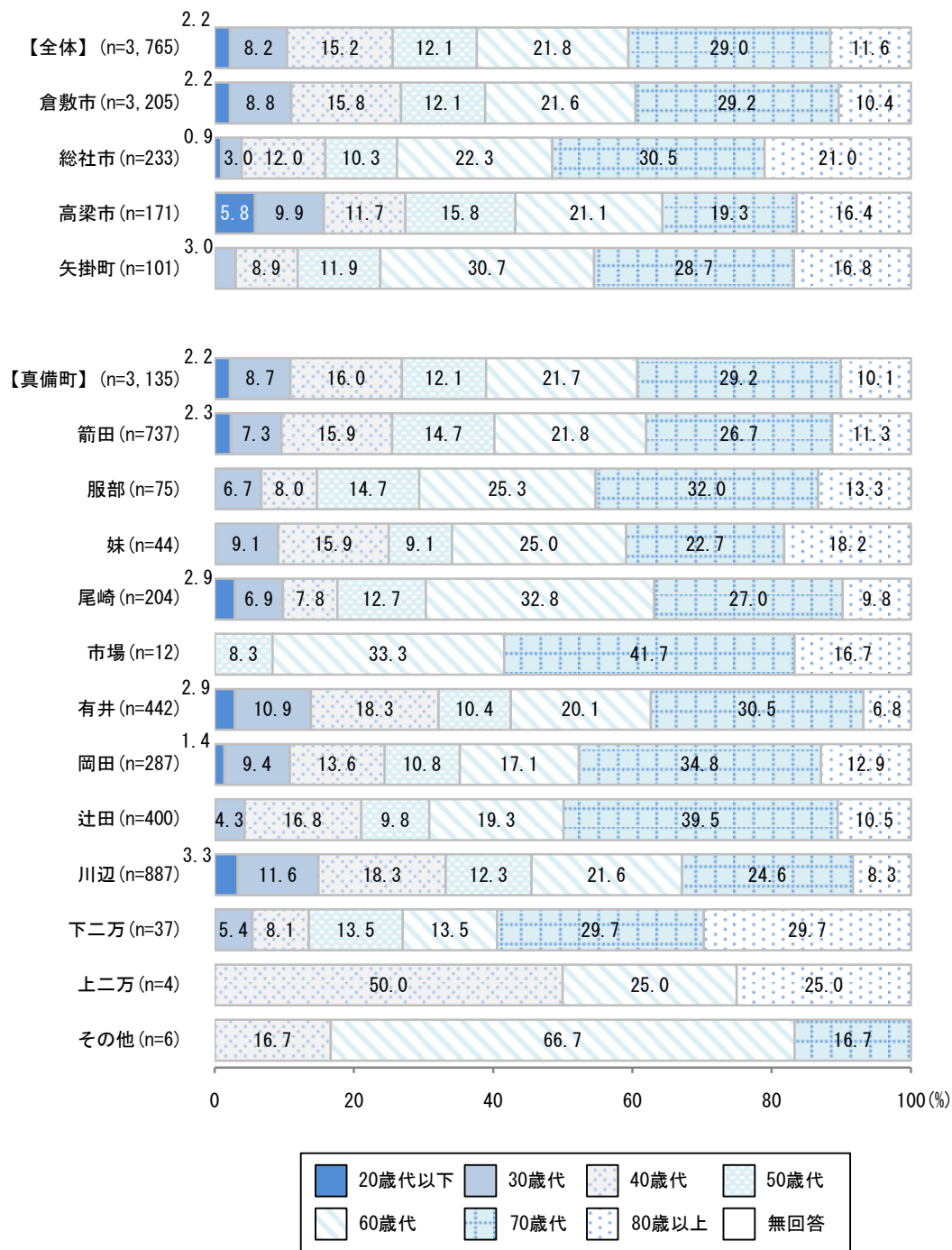
II 調査結果

II 調査結果

1 回答者の属性

(1) 年齢 (問1)

【図表 回答者の年齢】

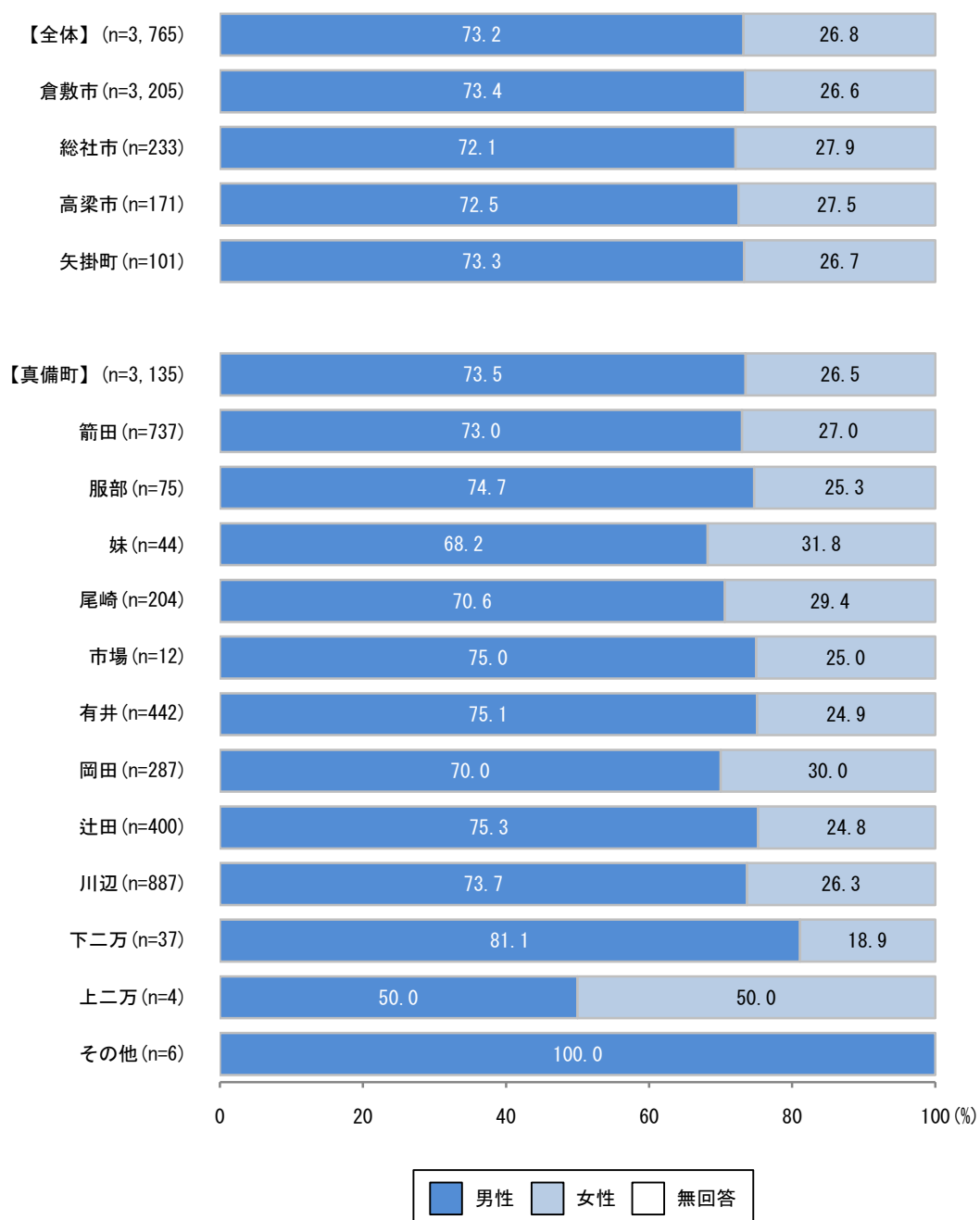


回答者の年齢について、70歳代との回答が29.0%と最も高く、次いで60歳代(21.8%)、40歳代(15.2%)などの順となっている。市町別にみると、60歳以上の割合は総社市、矢掛町で7割台半ばと高くなっている。

真備町では、70歳代との回答が29.2%と最も高く、次いで60歳代(21.7%)、40歳代(16.0%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、60歳以上の割合が服部、尾崎、辻田、下二万で7割前後と高くなっている。

(2) 回答者の性別

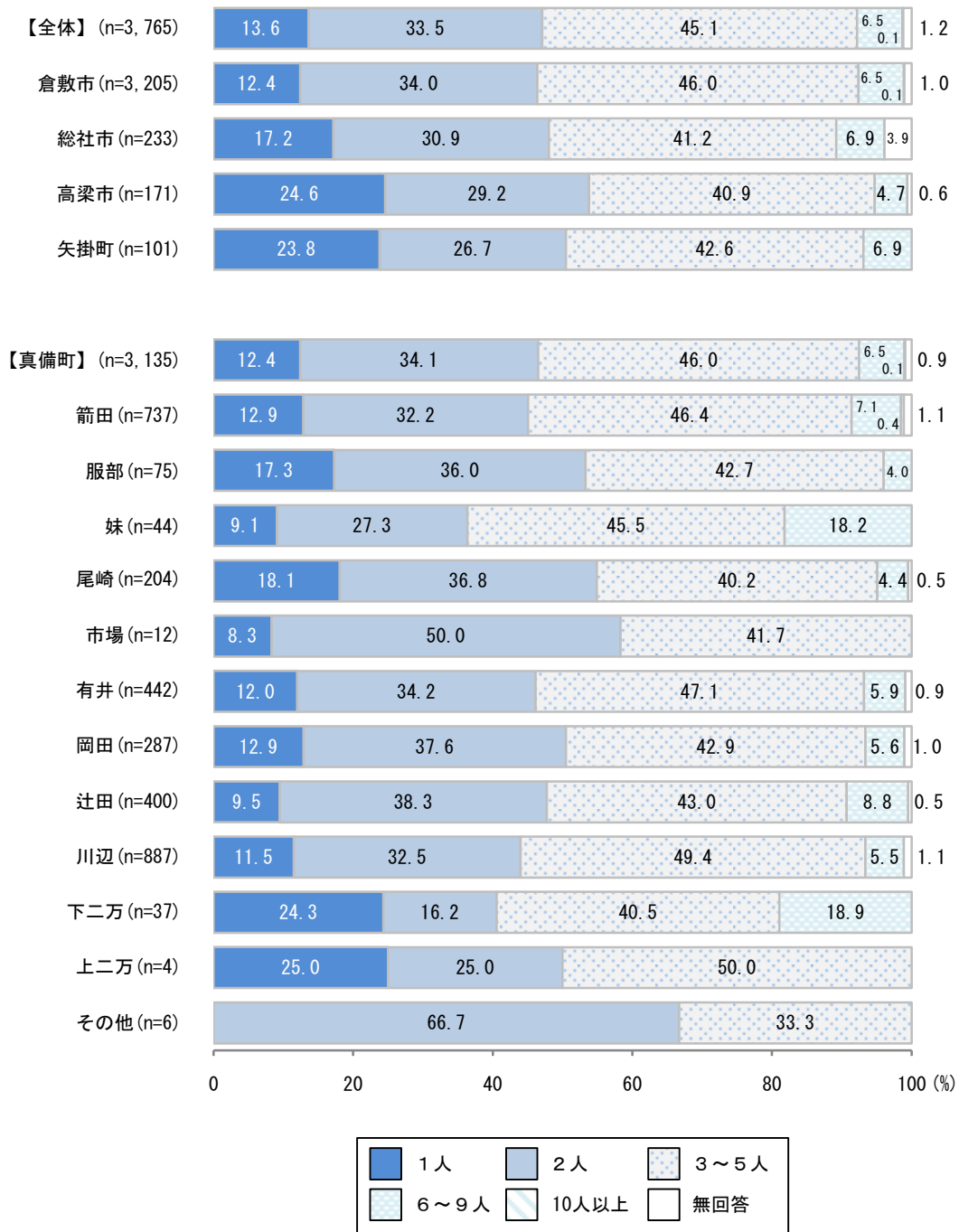
【図表 回答者の性別】



回答者の性別について、「男性」が73.2%、「女性」が26.8%となっている。
真備町では、「男性」が73.5%、「女性」が26.5%となっている。

(3) 同居家族人数 (平成 30 年 7 月時点)

【図表 回答者世帯の同居家族人数】



災害発生時の同居家族の人数について、「3～5人」との回答が 45.1%と最も高く、次いで「2人」(33.5%)、「1人」(13.5%)などの順となっている。市町別にみると、大きな差はみられない。

真備町では、「3～5人」との回答が 46.0%と最も高く、次いで「2人」(34.1%)、「1人」(12.4%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「2人」との回答は岡田、辻田で約4割、「3～5人」との回答は有井、川辺で約5割と高くなっている。

(4) 避難行動要支援者

【図表 同居家族災害弱者の有無】

		(%)								
	回答者数 (人)	乳幼児	小学生	中学生	高校生	65歳以上の方	介護・介助が必要な方	妊産婦	無回答	
全体	3,765	9.9	11.8	8.3	8.7	62.5	10.9	1.5	17.3	
市町	倉敷市	3,205	10.3	12.3	8.5	8.9	61.2	9.9	1.5	17.7
	総社市	233	6.0	8.6	8.6	7.7	74.7	17.6	1.3	12.0
	高梁市	171	13.5	11.7	5.8	8.8	55.0	14.0	2.3	20.5
	矢掛町	101	4.0	5.0	5.9	6.9	77.2	18.8	1.0	16.8
全体	3,135	10.3	12.3	8.5	8.8	61.0	9.9	1.5	17.7	
真備町	箭田	737	8.5	10.3	9.0	11.3	59.6	11.5	0.4	20.1
	服部	75	2.7	6.7	5.3	4.0	74.7	10.7	1.3	18.7
	妹	44	13.6	25.0	11.4	9.1	75.0	18.2	-	6.8
	尾崎	204	9.8	4.4	3.4	4.9	64.7	7.4	1.0	25.0
	市場	12	-	-	8.3	-	83.3	16.7	-	8.3
	有井	442	12.4	15.4	8.1	9.3	59.7	6.8	2.5	15.4
	岡田	287	10.5	13.6	5.9	5.9	66.9	10.5	2.1	12.5
	辻田	400	6.5	12.3	12.3	10.3	71.5	8.8	0.5	10.8
	川辺	887	13.0	13.8	8.9	8.6	52.8	10.3	2.5	21.0
	下二万	37	13.5	13.5	5.4	5.4	75.7	13.5	2.7	10.8
	上二万	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	50.0
	その他	6	-	16.7	-	-	66.7	33.3	-	-

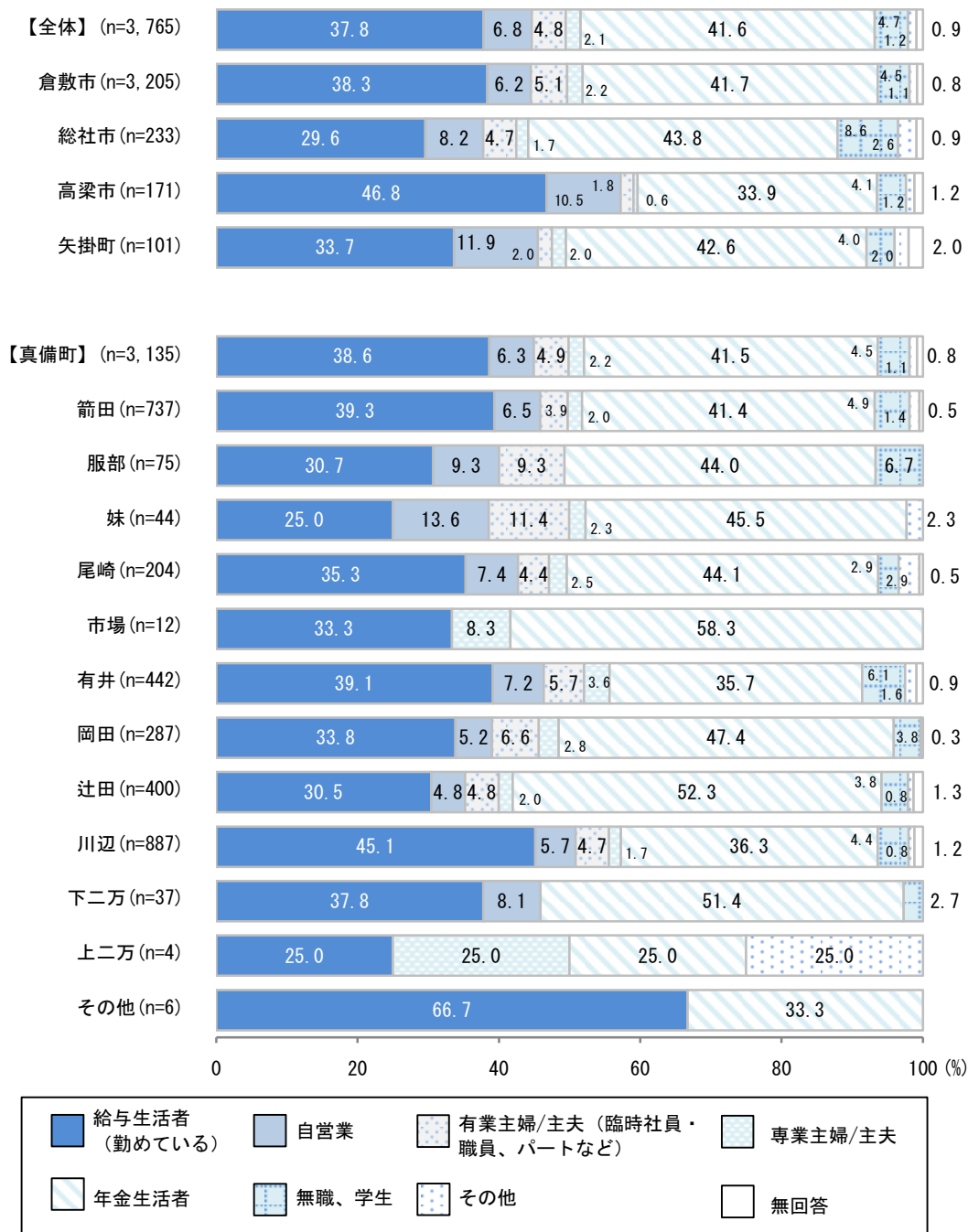
(複数回答)

災害発生時の同居家族の災害弱者について、「65歳以上の方」との回答が62.5%と最も高くなっている。市町別にみると、「65歳以上の方」との回答は矢掛町で約8割と高くなっている。

真備町では、「65歳以上の方」との回答が61.0%と最も高くなっている。真備町の大字別にみると、「65歳以上の方」との回答は服部、妹、下二万で7割台半ばと高くなっている。

(5) 職業

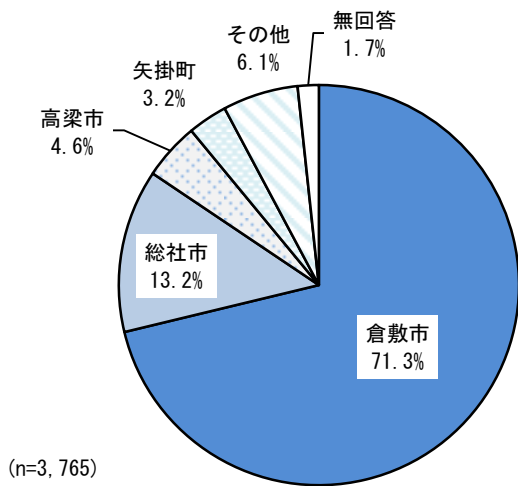
【図表 回答者の職業】



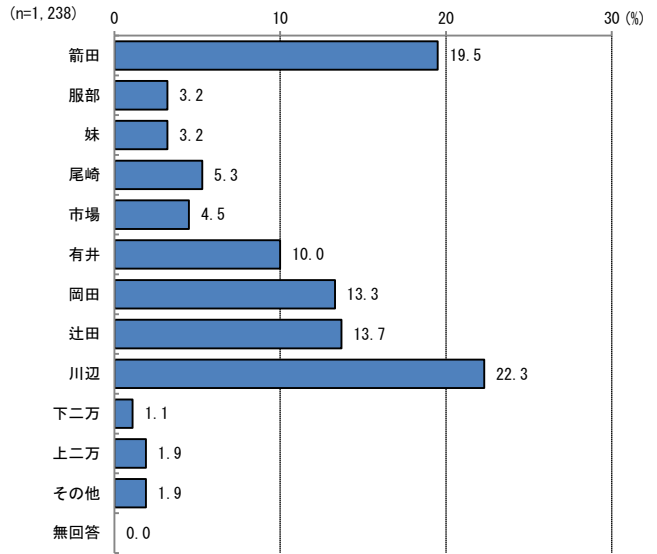
災害発生時の職業について、「年金生活者」との回答が41.6%と最も高く、次いで「給与生活者（勤めている）」（37.8%）などの順となっている。市町別にみると、「給与生活者（勤めている）」との回答は高梁市で4割台半ばと高くなっている。

真備町では、「年金生活者」との回答が41.5%と最も高く、次いで「給与生活者（勤めている）」（38.6%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「年金生活者」との回答は辻田、下二万で5割超と高くなっている。

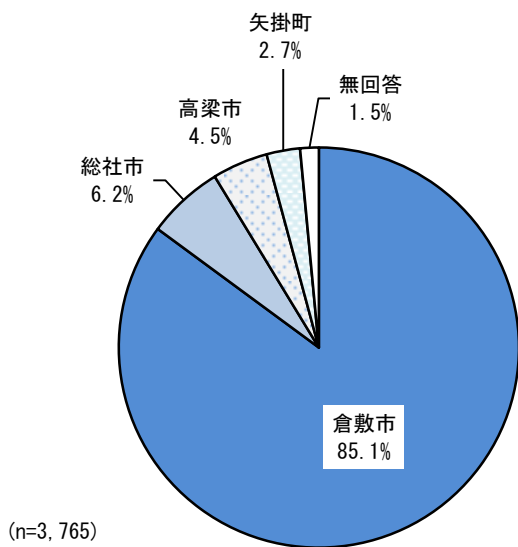
(6) 現在の居住地



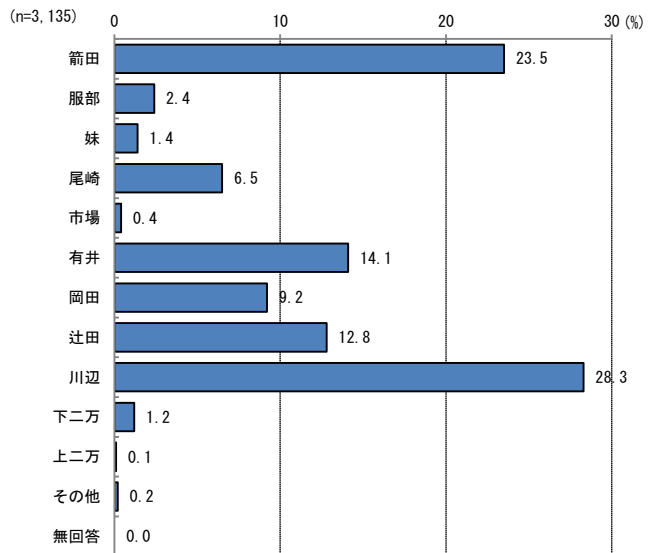
【倉敷市真備町の地域内訳】



(7) 災害発生時の居住地



【倉敷市真備町の地域内訳】



【災害時と現在の住まいの場所 (市町別)】

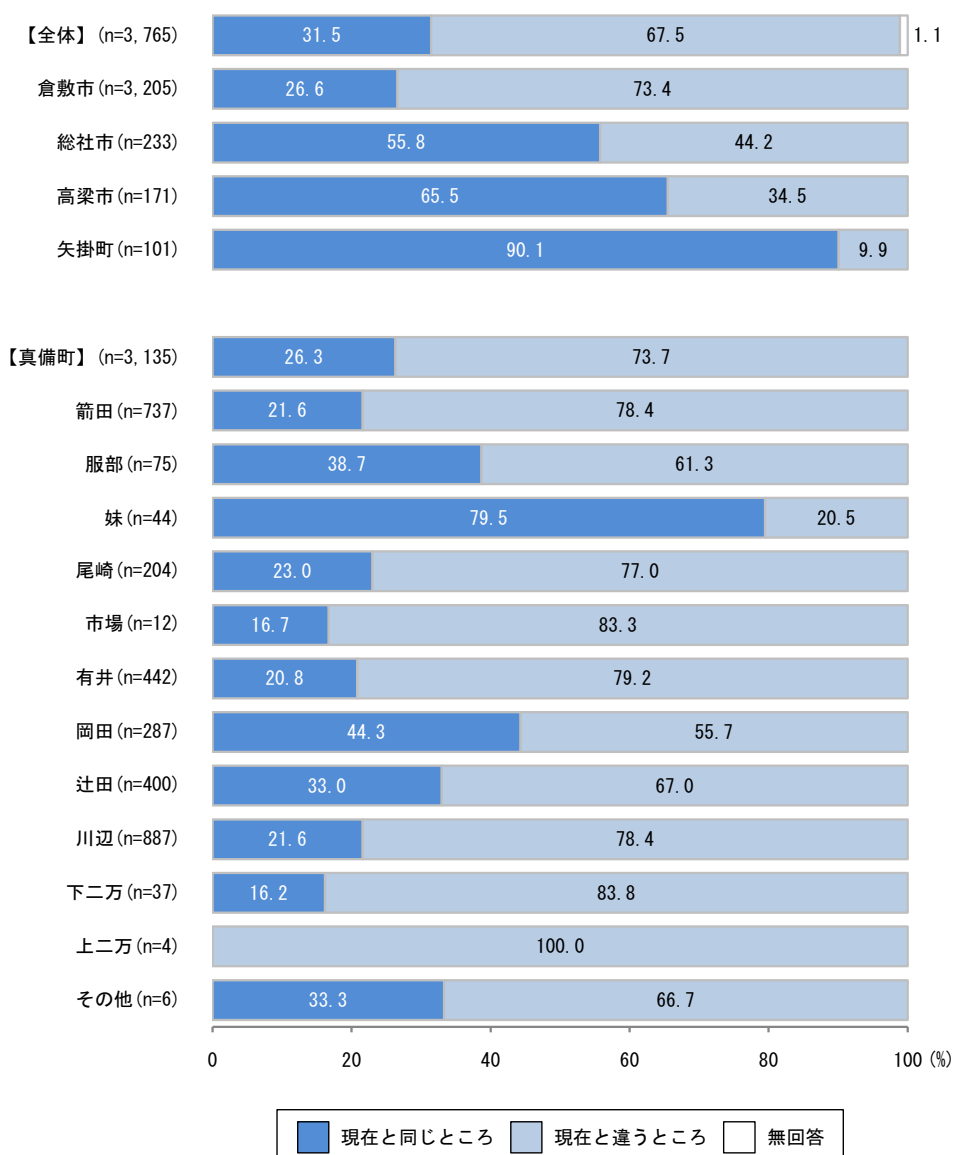
(n=3,765)

(人)

	岡山市	倉敷市	津山市	玉野市	笠岡市	井原市	総社市	高梁市	新見市	備前市	真庭市	浅口市	早島町	里庄町	矢掛町	吉備中央町	県外	無回答
災害発生時	-	3,205	-	-	-	-	233	171	-	-	-	-	-	-	101	-	-	55
現在	122	2,683	1	4	4	19	496	172	3	1	2	21	7	6	121	6	34	63

(8) 災害発生時と現在の住まいの変化 (問5)

【図表 災害発生時と現在の住まいの変化】



災害発生時の居住地と現在の居住地について、災害発生時に倉敷市に住んでいた人は 85.1% いたものの、現在は 71.3% と 13.8 ポイント下回っている。真備町では、災害発生時に比べ居住者が約 6 割減となっている。

災害発生時と現在の住まいの変化では、「現在と同じところ」との回答が 31.5%、「現在と違うところ」との回答が 67.5% となっている。市町別にみると、「現在と違うところ」との回答は倉敷市で 7 割台半ばと高くなっている。

真備町では、「現在と同じところ」との回答が 26.3%、「現在と違うところ」との回答が 73.7% となっている。真備町の大字別にみると、「現在と同じところ」との回答は妹で約 8 割、「現在と違うところ」との回答は下二万で 8 割台半ば、箭田、尾崎、有井、川辺で約 8 割と高くなっている。

問6 現在、生活の中心として使っているお住まいは以下のどれですか。(1つに○)

【図表 現在の住まい】

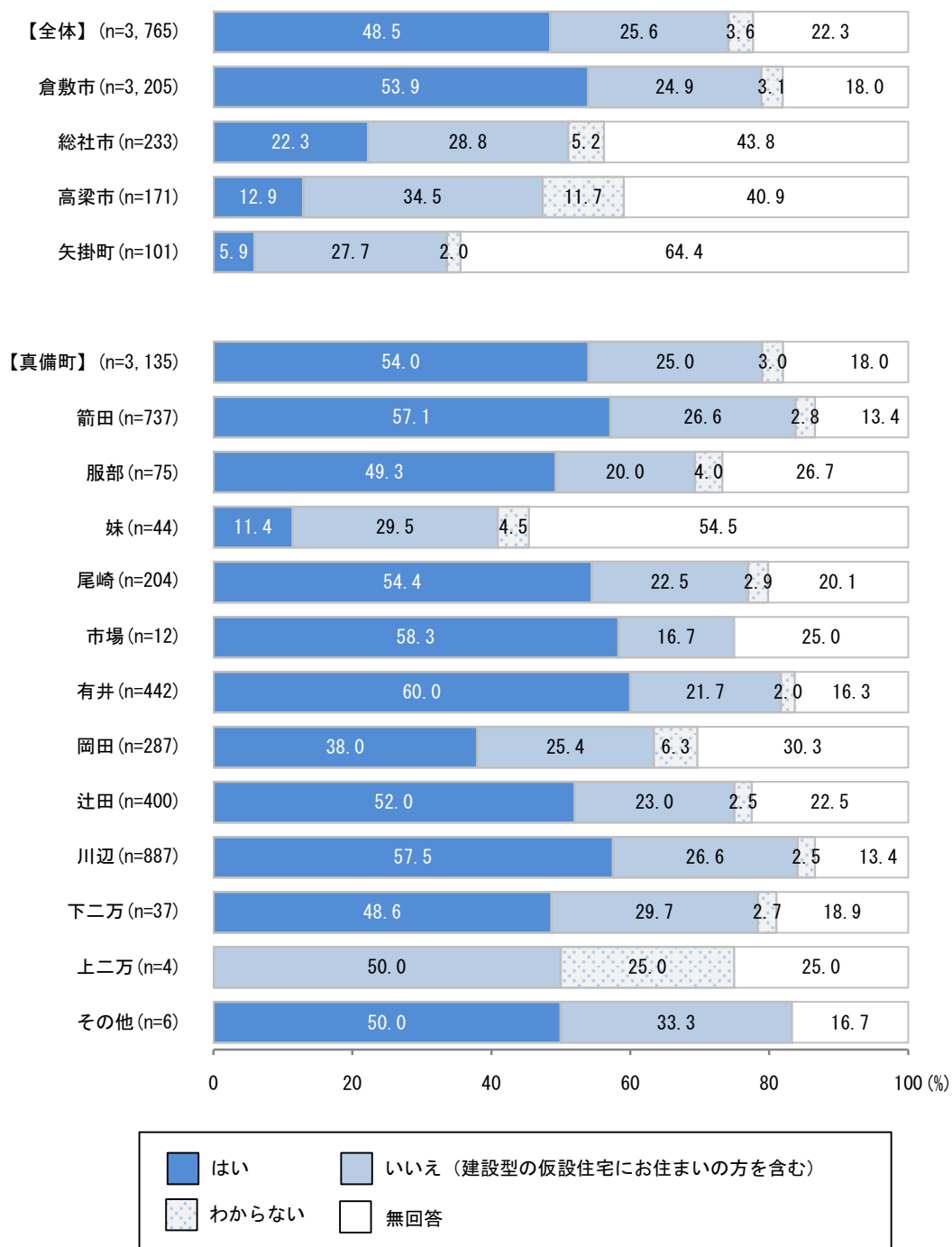
		回答者数(人)	持地持家	借地持家	公団・公社分譲マンション	民間分譲マンション	公団・公社賃貸住宅	県営・市町村営住宅	建設型の仮設住宅	社宅・寮	借家	民間賃貸アパート・マンション	その他	無回答
全体		3,765	31.2	0.7	0.1	1.3	0.4	1.1	4.4	2.3	7.4	38.1	11.3	1.8
市町	倉敷市	3,205	26.2	0.6	0.1	1.5	0.4	0.6	4.5	2.4	8.1	42.8	11.4	1.6
	総社市	233	53.6	0.9	-	-	1.3	0.9	8.2	0.4	3.9	12.4	14.6	3.9
	高梁市	171	58.5	0.6	-	-	0.6	10.5	-	3.5	1.8	10.5	12.3	1.8
	矢掛町	101	82.2	3.0	-	-	-	3.0	-	1.0	5.0	2.0	2.0	2.0
全体		3,135	26.2	0.6	0.0	1.4	0.4	0.6	4.5	2.4	8.1	43.0	11.3	1.6
真備町	箭田	737	18.7	1.1	-	1.1	0.8	0.5	6.6	2.4	9.6	45.5	12.3	1.2
	服部	75	42.7	-	-	4.0	-	-	2.7	1.3	16.0	26.7	4.0	2.7
	妹	44	84.1	-	-	-	-	-	6.8	-	-	6.8	-	2.3
	尾崎	204	23.5	1.0	-	2.0	-	0.5	2.5	4.9	10.8	43.6	10.3	1.0
	市場	12	25.0	-	-	8.3	-	-	16.7	-	8.3	25.0	16.7	-
	有井	442	24.0	0.9	-	1.6	0.2	0.9	2.7	2.0	7.5	47.3	11.1	1.8
	岡田	287	46.3	0.3	-	-	0.3	0.3	2.8	2.1	7.0	30.3	8.7	1.7
	辻田	400	31.3	0.8	-	1.0	-	1.3	5.3	2.0	5.8	40.5	10.5	1.8
	川辺	887	21.3	-	0.1	1.8	0.5	0.5	3.4	2.5	7.8	47.4	13.3	1.6
	下二万	37	13.5	-	-	5.4	-	-	18.9	2.7	5.4	48.6	5.4	-
	上二万	4	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	25.0
	その他	6	50.0	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	16.7	-	-

現在の住まいについて、「民間賃貸アパート・マンション」との回答が 38.1%と最も高く、次いで「持地持家」(31.2%)などの順となっている。市町別にみると、「民間賃貸アパート・マンション」との回答は倉敷市で4割超、「持地持家」との回答は矢掛町で8割超と高くなっている。

真備町では、「民間賃貸アパート・マンション」との回答が 43.0%と最も高く、次いで「持地持家」(26.2%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「持地持家」との回答は妹で8割台半ばと高くなっている。

問6付問 現在、お住まいの住宅は「みなし仮設住宅（借り上げ住宅）」として認定されていますか。（1つに○）

【図表 みなし仮設住宅の認定の有無】



「みなし仮設住宅（借り上げ住宅）」の認定がされているかどうかについて、「はい」との回答が48.5%、「いいえ（建設型の仮設住宅にお住まいの方を含む）」との回答が25.6%となっている。市町別にみると、「はい」との回答は倉敷市で5割超と高くなっている。

真備町では、「はい」との回答が54.0%、「いいえ（建設型の仮設住宅にお住まいの方を含む）」との回答が25.0%となっている。真備町の大字別にみると、「はい」との回答は箭田、有井、川辺で約6割と高くなっている。

問7 災害発生時に、あなたがお住まいになっていたのは以下のどれですか。(1つに○)

【図表 災害時の住居所有形態】

		回答者数(人)	持地持家	借地持家	公団・公社分譲マンション	民間分譲マンション	公団・公社賃貸住宅	県営・市町村営住宅	社宅・寮	借家	民間賃貸アパート・マンション	その他	無回答
全体		3,765	85.6	1.2	-	0.1	0.1	0.6	0.7	2.1	6.3	2.3	1.0
市町	倉敷市	3,205	86.2	1.0	-	0.0	0.0	0.6	0.5	2.2	6.7	1.7	0.9
	総社市	233	80.7	3.9	-	0.4	0.4	0.4	0.9	0.9	0.9	10.3	1.3
	高梁市	171	80.1	1.2	-	-	0.6	-	2.9	1.8	10.5	2.3	0.6
	矢掛町	101	91.1	3.0	-	-	-	1.0	1.0	2.0	1.0	-	1.0
市町全体		3,135	86.4	1.0	-	0.0	0.0	0.6	0.5	2.2	6.8	1.5	0.9
真備町	箭田	737	84.5	1.9	-	-	-	1.4	0.3	1.9	8.5	0.9	0.5
	服部	75	94.7	-	-	-	-	-	1.3	2.7	-	1.3	-
	妹	44	95.5	-	-	-	-	-	-	-	2.3	-	2.3
	尾崎	204	88.2	0.5	-	-	-	-	3.4	2.5	5.4	-	-
	市場	12	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
	有井	442	86.9	0.7	-	-	0.2	-	0.5	2.9	7.5	0.5	0.9
	岡田	287	92.0	0.7	-	-	-	-	0.3	1.4	2.8	2.4	0.3
	辻田	400	92.5	1.3	-	-	-	0.3	0.3	2.0	0.8	1.5	1.5
	川辺	887	81.5	0.7	-	0.1	-	1.0	0.2	2.4	10.7	2.3	1.1
	下二万	37	91.9	2.7	-	-	-	-	-	-	-	2.7	2.7
	上二万	4	75.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-
	その他	6	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

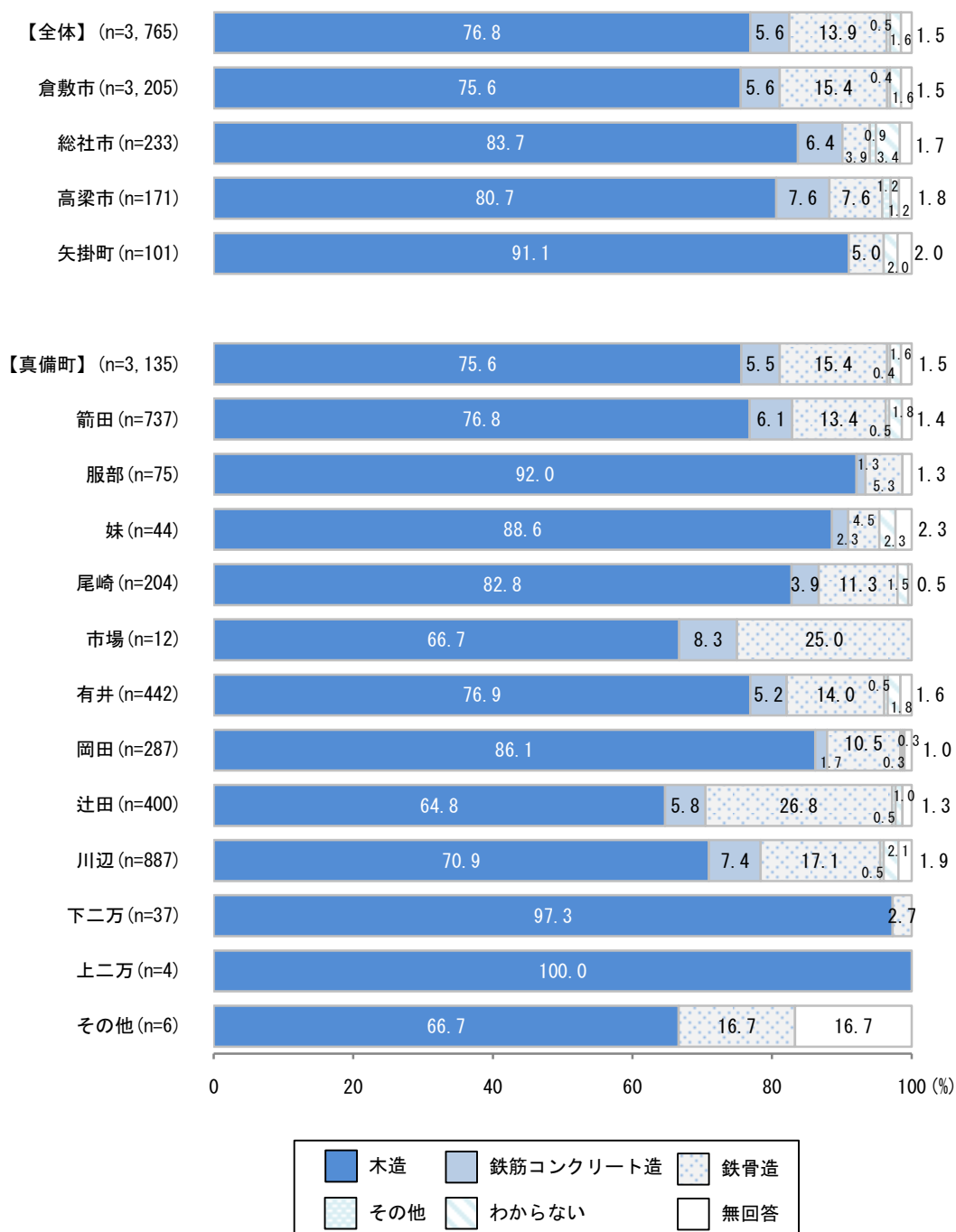
災害時の住まいについて、「持地持家」との回答が 85.6%と最も高く、次いで「民間賃貸アパート・マンション」(6.3%)などの順となっている。市町別にみると、「持地持家」との回答は矢掛町で9割超と高くなっている。

真備町では、「持地持家」との回答が 86.4%と最も高く、次いで「民間賃貸アパート・マンション」(6.8%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「持地持家」との回答は服部、妹で9割台半ばと高くなっている。

問 8 災害発生時に、あなたがお住まいになっていた家は、どのような造りですか。

(1つに○)

【図表 災害発生時の居住の構造】

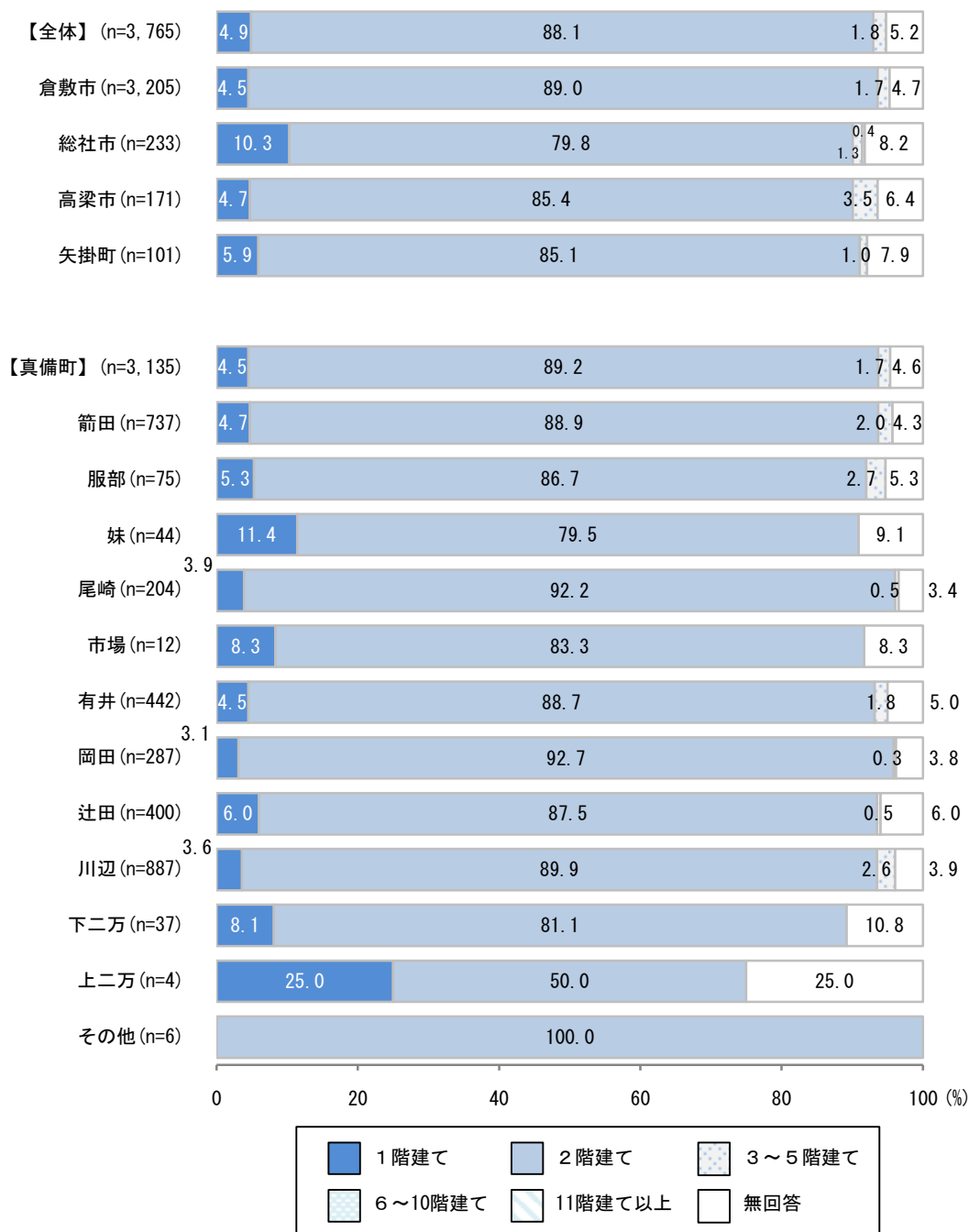


災害時の住まいの構造について、「木造」との回答が 76.8%と最も高く、次いで「鉄骨造」(13.9%)、「鉄筋コンクリート造」(5.6%)などの順となっている。市町別にみると、「木造」との回答は矢掛町で9割超と高くなっている。

真備町では「木造」との回答が 75.6%と最も高く、次いで「鉄骨造」(15.4%)、「鉄筋コンクリート造」(5.5%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「鉄骨造」との回答は辻田で2割台半ばと高くなっている。

問 8 付問 その建物は何階建てですか。またマンション等の場合は何階にお住まいですか。

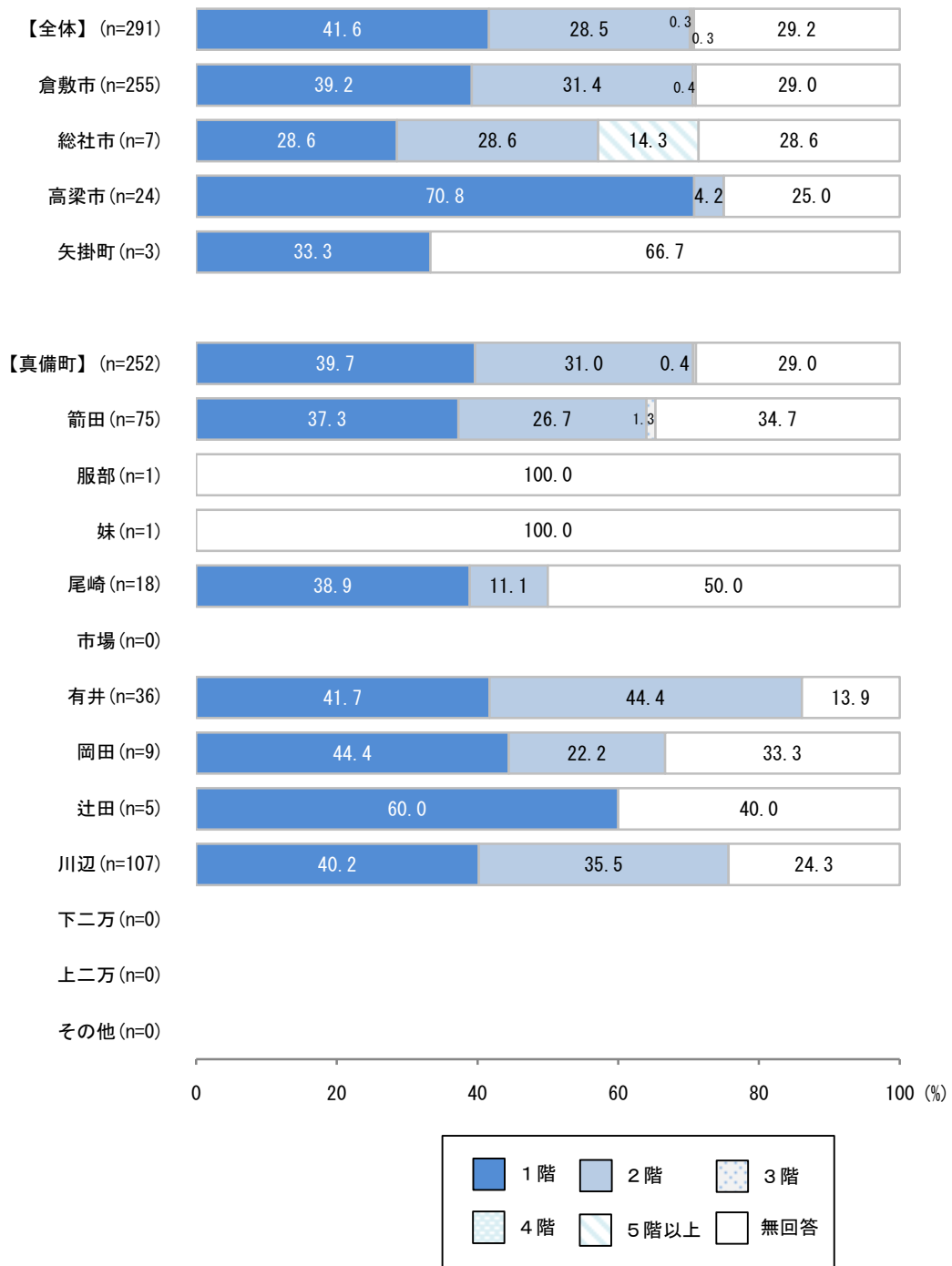
【図表 建物の階数】



建物の階数について、「2階建て」との回答が88.1%と最も高く、次いで「1階建て」(4.9%)、「3~5階建て」(1.8%)などの順となっている。市町別にみると、「1階建て」との回答は総社市で約1割と高くなっている。

真備町では、「2階建て」との回答が89.2%と最も高く、次いで「1階建て」(4.5%)、「3~5階建て」(1.7%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「1階建て」との回答は妹で1割超と高くなっている。

【図表 マンション等の場合の居住階数】

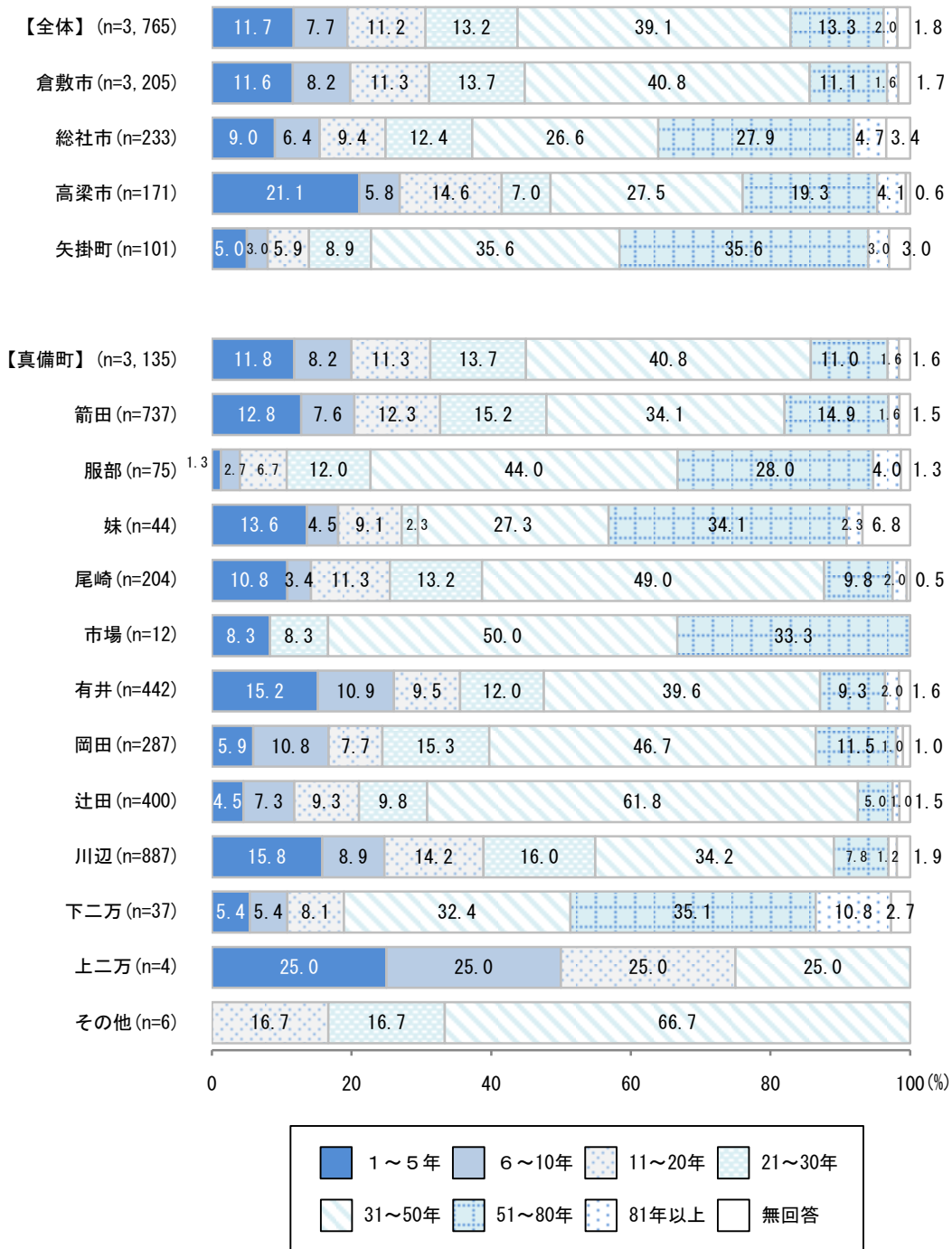


マンション等の場合の居住階数について、「1階」との回答が41.6%と最も高く、次いで「2階」(28.5%)などの順となっている。市町別にみると、「1階」との回答は高梁市で約7割と高くなっている。

真備町では、「1階」との回答が39.7%と最も高く、次いで「2階」(31.0%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「2階」との回答は有井で4割台半ばと高くなっている。

問9 災害はあなたがその地域に住むようになっておおよそ何年目の出来事でしたか。具体的な年数をご記入ください。

【図表 災害発生時の住居の築年数】



災害発生時の住居の築年数について、「31～50年」との回答が39.1%と最も高く、次いで「51～80年」（13.3%）、「21～30年」（13.2%）などの順となっている。市町別にみると、「31～50年」との回答は倉敷市で約4割、「51～80年」との回答は矢掛町で3割台半ばと高くなっている。

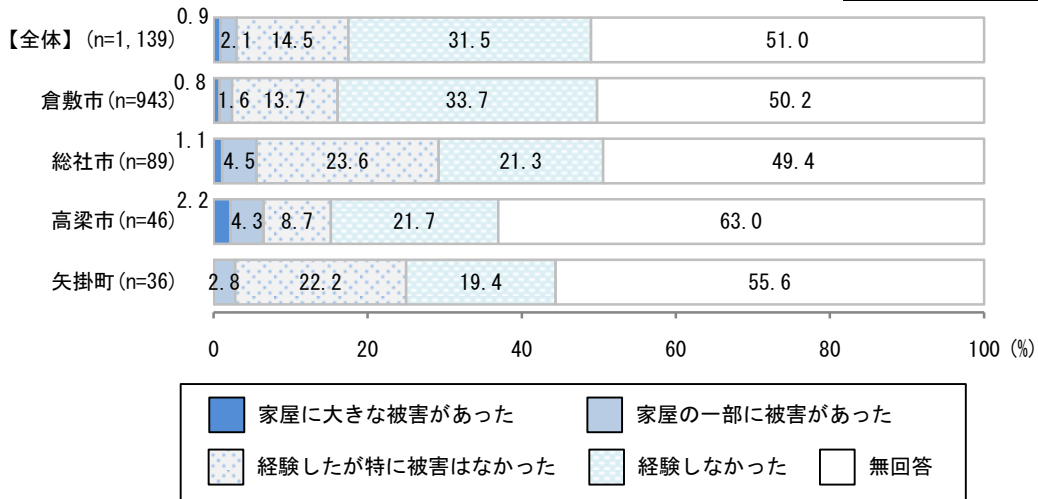
真備町では、「31～50年」との回答が40.8%と最も高く、次いで「21～30年」（13.7%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「31～50年」との回答は辻田で6割超と高くなっている。

2 災害前のリスク認知と備え

問 10 あなたは以下の台風・豪雨の災害を経験しましたか。それぞれの災害について、最もあてはまるものに○をつけてください。

【図表 1945 年（昭和 20 年）9 月台風の影響】

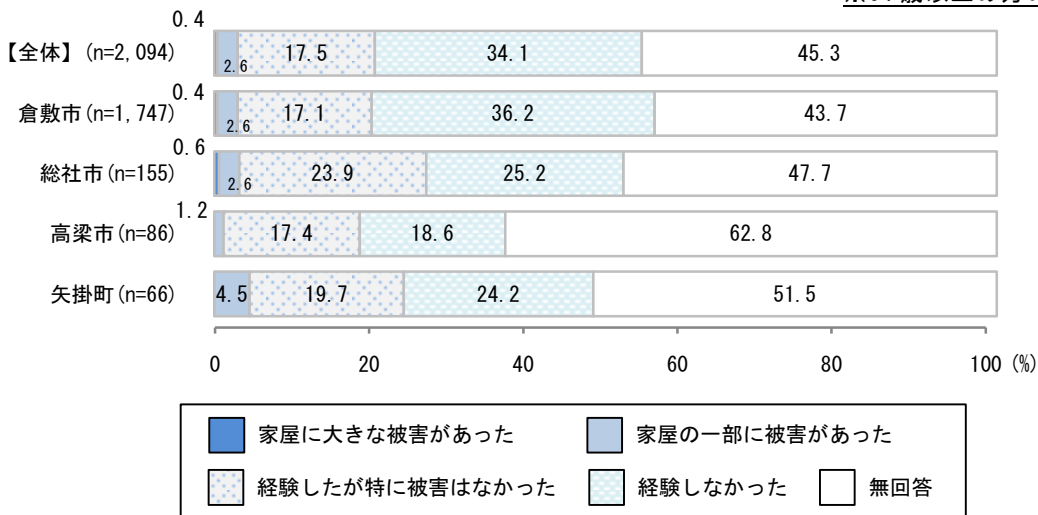
※73 歳以上の方のみ回答



1945 年（昭和 20 年）9 月台風の影響について、「経験しなかった」との回答が 31.5%と最も高く、次いで「経験したが特に被害はなかった」（14.5%）などの順となっている。市町別にみると、『経験した』（「家屋に大きな被害があった」と「家屋の一部に被害があった」と「経験したが特に被害はなかった」を合わせた割合）との回答は総社市で約 3 割と高くなっている。

【図表 1954 年（昭和 29 年）9 月台風の影響】

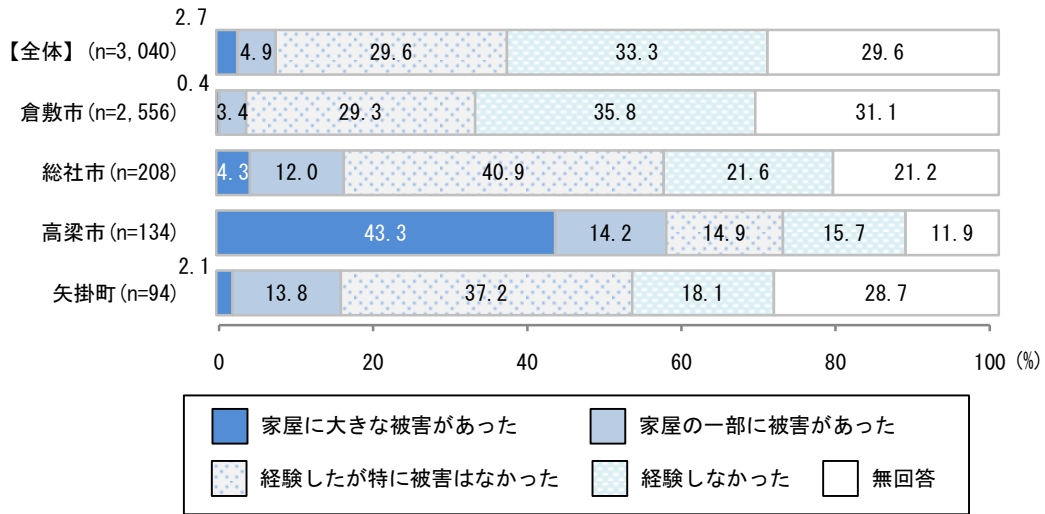
※64 歳以上の方のみ回答



1954 年（昭和 29 年）9 月台風の影響について、「経験しなかった」との回答が 34.1%と最も高く、次いで「経験したが特に被害はなかった」（17.5%）などの順となっている。市町別にみると、『経験した』との回答は総社市で約 3 割と高くなっている。

【図表 1972年（昭和47年）7月豪雨の経験】

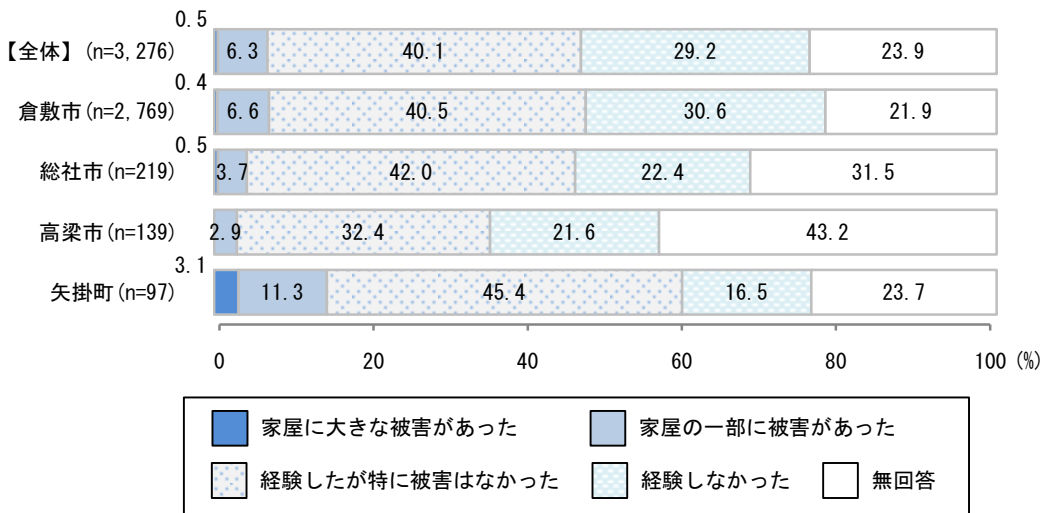
※46歳以上の方のみ回答



1972年（昭和47年）7月豪雨の経験について、「経験しなかった」との回答が33.3%と最も高く、次いで「経験したが特に被害はなかった」(29.6%)、「家屋の一部に被害があった」(4.9%)などの順となっている。市町別にみると、「家屋に大きな被害があった」との回答は高梁市で4割台半ばと高くなっている。

【図表 1976年（昭和51年）9月台風の経験】

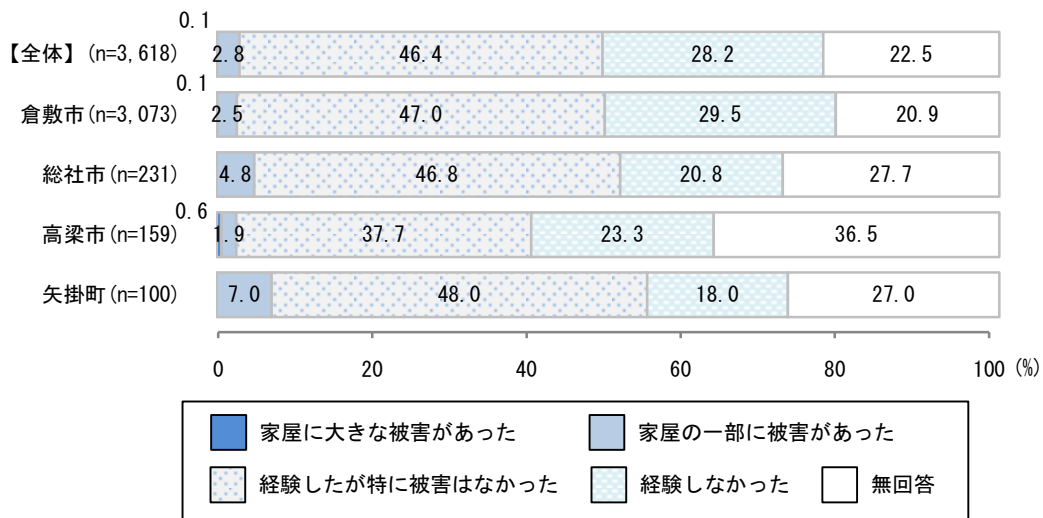
※42歳以上の方のみ回答



1976年（昭和51年）9月台風の経験について、「経験したが特に被害はなかった」との回答が40.1%と最も高く、次いで「経験しなかった」(29.2%)、「家屋の一部に被害があった」(6.3%)などの順となっている。市町別にみると、『被害があった』（「家屋に大きな被害があった」と「家屋の一部に被害があった」を合わせた割合）との回答は矢掛町で1割台半ばと高くなっている。

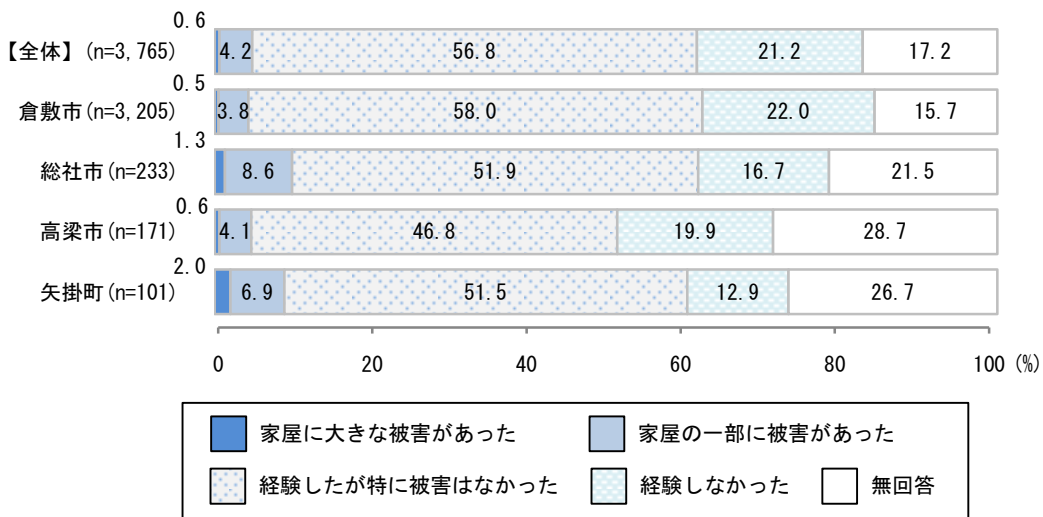
【図表 1985年（昭和60年）6月豪雨の経験】

※33歳以上の方のみ回答



1985年（昭和60年）6月豪雨の経験について、「経験したが特に被害はなかった」との回答が46.4%と最も高く、次いで「経験しなかった」（28.2%）などの順となっている。市町別にみると、「経験したが特に被害はなかった」との回答は高梁市で約4割と他の地域に比べやや低くなっている。

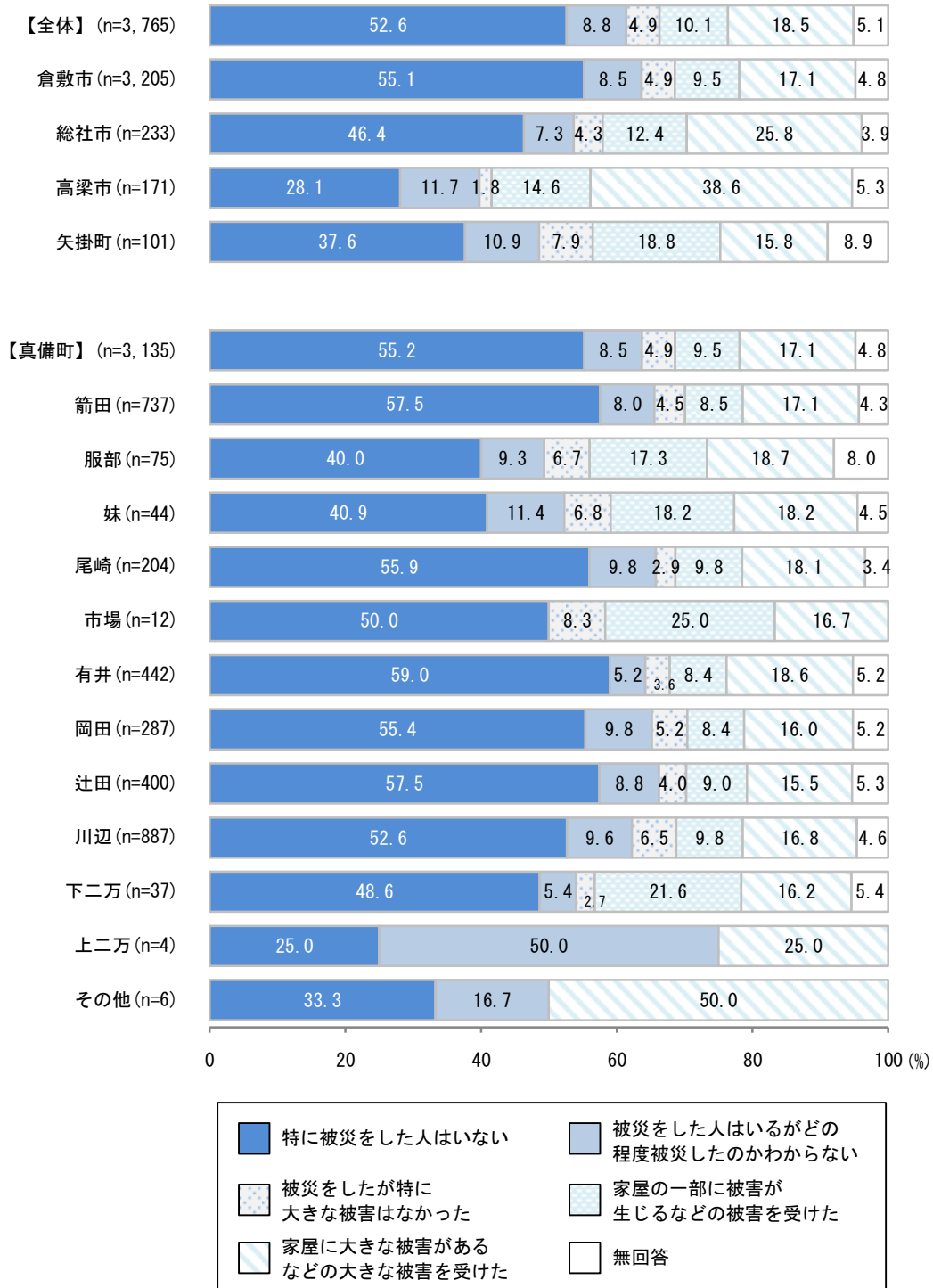
【図表 2011年（平成23年）9月台風の経験】



2011年（平成23年）9月台風の経験について、「経験したが特に被害はなかった」との回答が56.8%と最も高く、次いで「経験しなかった」（21.2%）、「家屋の一部に被害があった」（4.2%）などの順となっている。市町別にみると、「経験したが特に被害はなかった」との回答は高梁市で4割台半ばと他の地域に比べやや低くなっている。

問 11 あなたのご家族・親せき、交流のあるご近所の方について、今回の災害発生前に、災害（台風・豪雨以外も含む）で被災をしたことがある方はいますか。一番大きな被害を受けた方について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 周りの人の過去の被災経験】



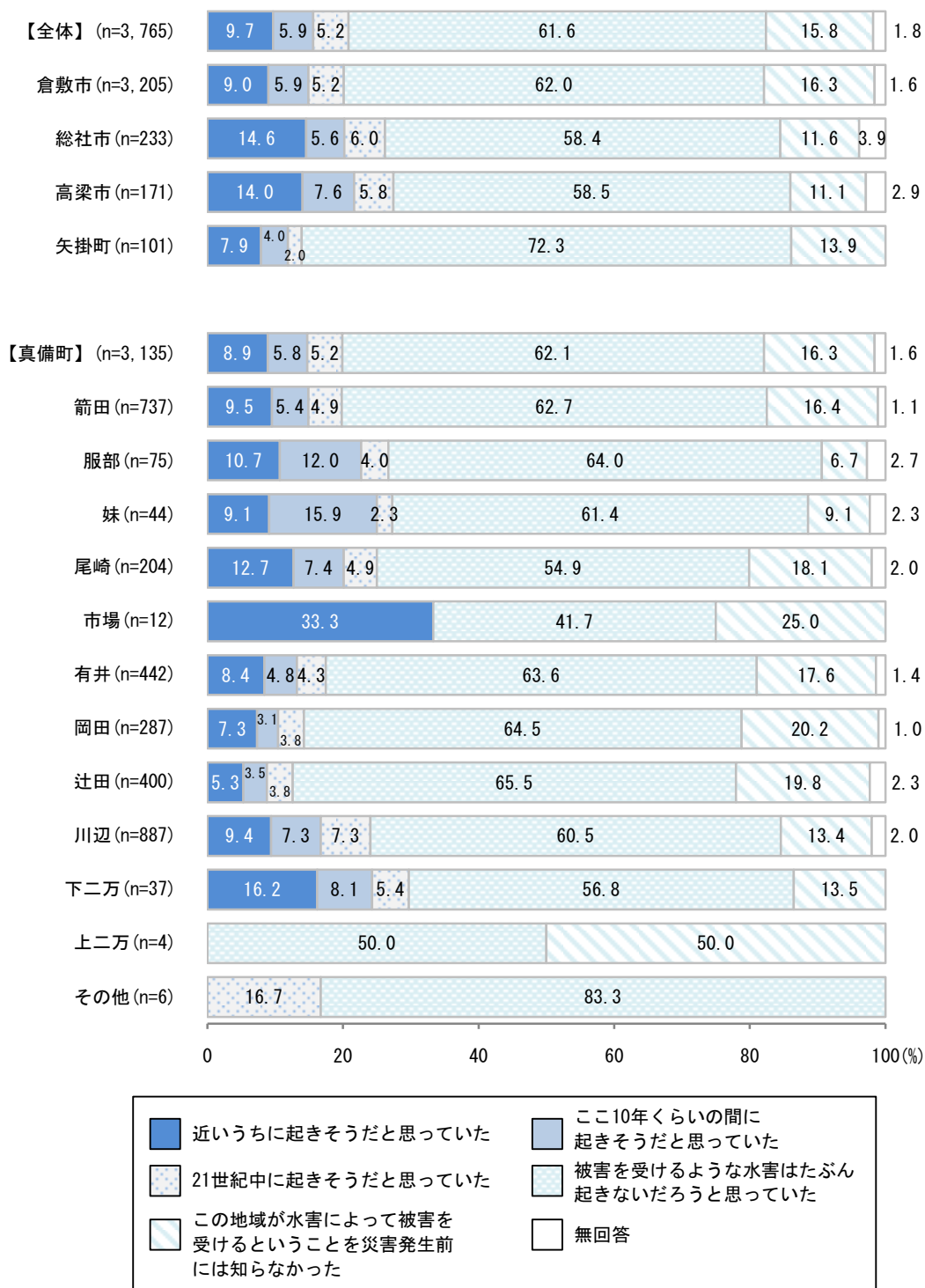
身近な人の被災経験について、「特に被災をした人はいない」との回答が52.6%と最も高く、次いで「家屋に大きな被害があるなどの大きな被害を受けた」(18.5%)、「家屋の一部に被害が

生じるなどの被害を受けた」(10.1%)などの順となっている。市町別にみると、「家屋の一部に被害が生じるなどの被害を受けた」との回答は矢掛町で約2割、「家屋に大きな被害があるなどの大きな被害を受けた」との回答は高梁市で約4割と高くなっている。

真備町では、「特に被災をした人はいない」との回答が55.2%と最も高く、次いで「家屋に大きな被害があるなどの大きな被害を受けた」(17.1%)、「家屋の一部に被害が生じるなどの被害を受けた」(9.5%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「家屋の一部に被害が生じるなどの被害を受けた」との回答は服部、妹、下二万で2割前後と高くなっている。

問 12 「あなたのお住まいの地域が洪水・浸水などの水害によって避難しなければならない事態になる」と災害発生前から思っていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 災害発生前の洪水・浸水の予見】



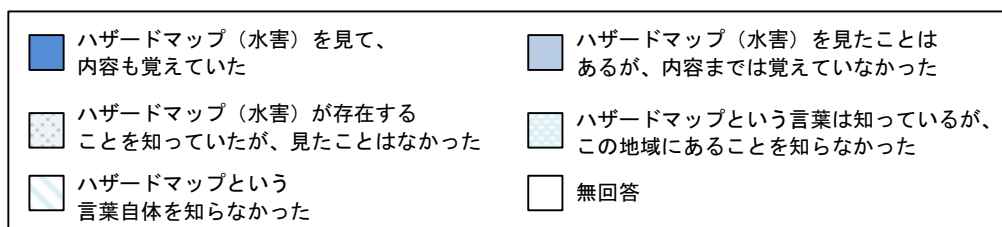
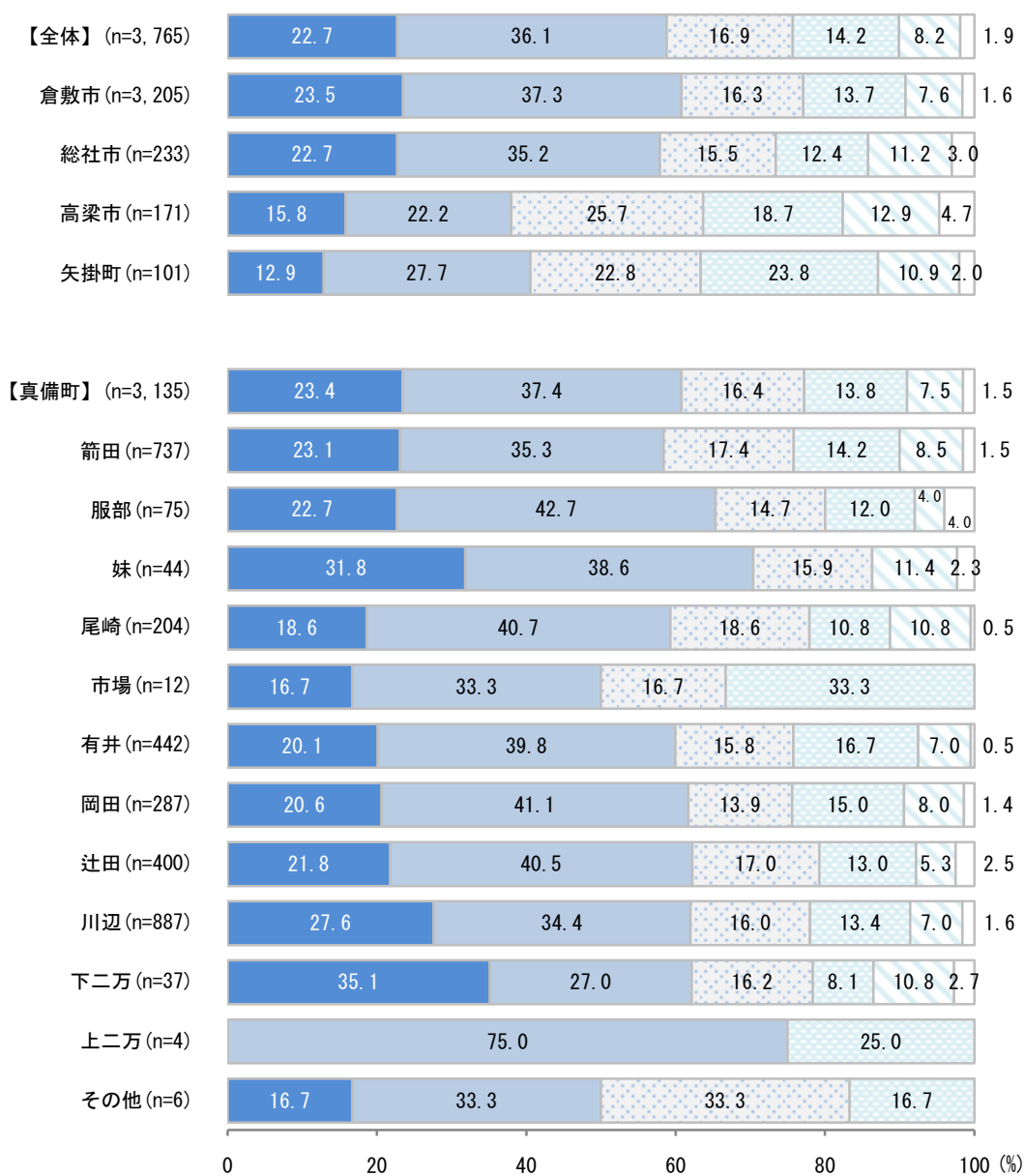
災害発生前の洪水・浸水の予見について、「被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた」との回答が61.6%と最も高く、次いで「この地域が水害によって被害を受けるということを災害発生前には知らなかった」(15.8%)、「近い内に起きそうだった」

(9.7%)などの順となっている。市町別にみると、「被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた」との回答は矢掛町で7割超と高くなっている。

真備町では、「被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた」との回答が62.1%と最も高く、次いで「この地域が水害によって被害を受けるということを災害発生前には知らなかった」(16.3%)、「近い内に起きそうだと思っていた」(8.9%)などの順となっている。真備町の大字別でみると、「近い内に起きそうだと思っていた」との回答は下二万で1割台半ば、「ここ10年くらいの間起きそうだと思っていた」との回答は妹で1割台半ばと高くなっている。

問 13 「あなたのお住まいの地域のハザードマップ（水害）」を災害発生前に見たことがありましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 災害発生前のハザードマップの認知度】



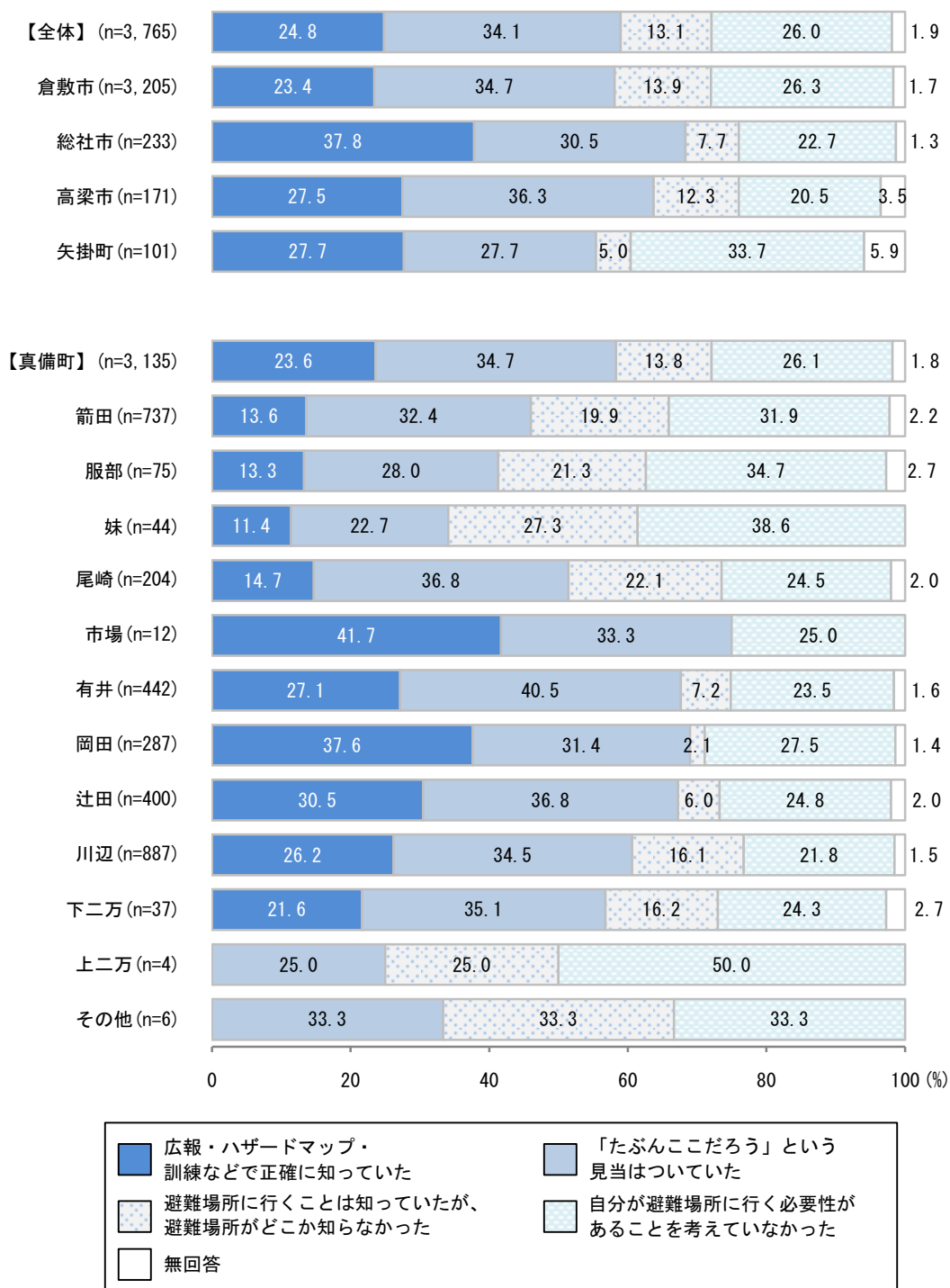
ハザードマップの認知度について、「ハザードマップ（水害）を見たことはあるが、内容までは覚えていなかった」との回答が 36.1%と最も高く、次いで「ハザードマップ（水害）を見て、内容も覚えていた」（22.7%）、「ハザードマップ（水害）が存在することを知っていたが、見たことはなかった」（16.9%）などの順となっている。市町別でみると、「ハザードマップ（水害）

を見て、内容も覚えていた」との回答は矢掛町で1割超と低くなっている。

真備町では、「ハザードマップ（水害）を見たことはあるが、内容までは覚えていなかった」との回答が37.4%と最も高く、次いで「ハザードマップ（水害）を見て、内容も覚えていた」（23.4%）、「ハザードマップ（水害）が存在することを知っていたが、見たことはなかった」（16.4%）などの順となっている。真備町の大字別でみると、「ハザードマップ（水害）を見て、内容も覚えていた」との回答は妹で3割超と高くなっている。

問 14 あなたは「災害の時の避難場所」について、災害発生前に知っていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 災害発生前の避難所の認知度】



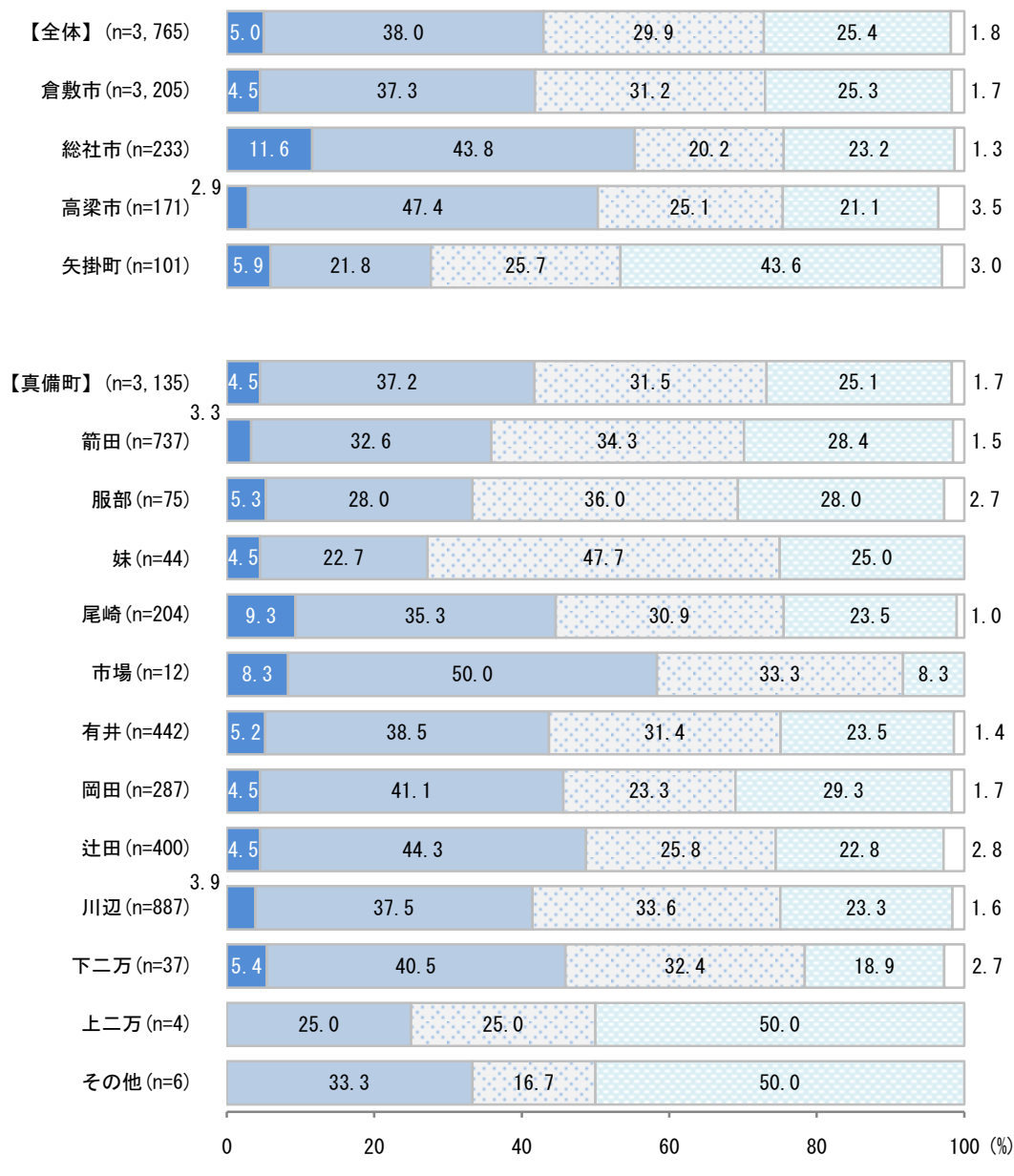
災害発生前の避難所の認知度について、「たぶんこころう」という見当はついていた」との回答は34.1%と最も高く、次いで「自分が避難場所に行く必要があることを考えていなかった」(26.0%)、「広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた」(24.8%)などの順となっている。市町別にみると、「広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた」との

回答は総社市で約4割、「自分が避難場所に行く必要性があることを考えていなかった」との回答は矢掛町で3割台半ばと高くなっている。

真備町では「たぶんここだろう」という見当はついていた」との回答は34.7%と最も高く、次いで「自分が避難場所に行く必要性があることを考えていなかった」(26.1%)、「広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた」(23.6%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた」との回答は岡田で約4割、「たぶんここだろう」という見当はついていた」との回答は有井で4割超、「自分が避難場所に行く必要性があることを考えていなかった」との回答は妹で約4割と高くなっている。

問 15 あなたは「災害時の避難計画」を、災害発生前に立てていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 災害発生前の避難計画の有無】



災害時の避難方法・避難場所について明確に決まりを作っていた
 計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた

災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった
 自分が災害時に避難する必要性があることを考えていなかった

無回答

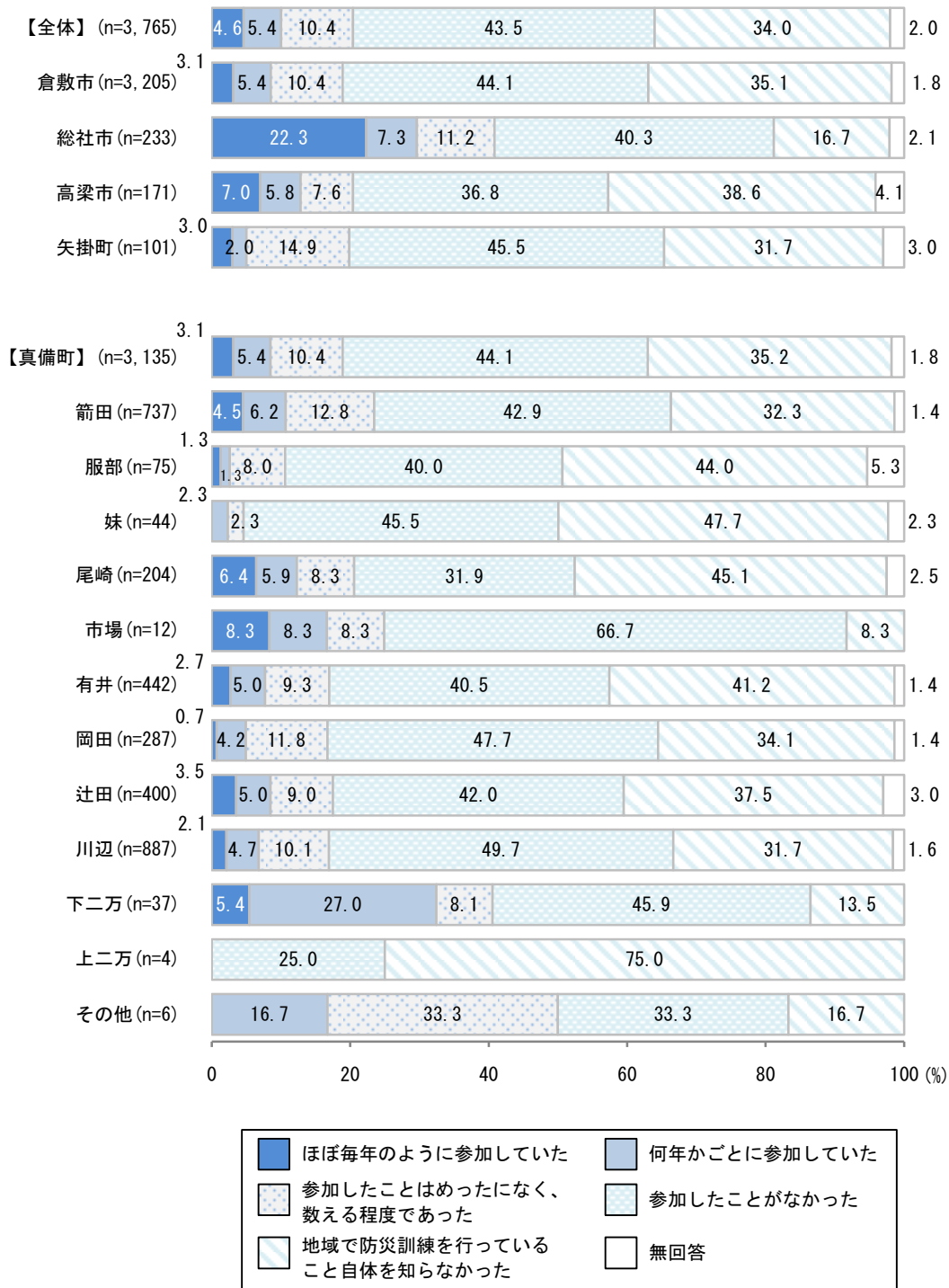
災害発生前の避難計画の有無について、「計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた」との回答が38.0%と最も高く、次いで「災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった」(29.9%)、「自分が災害時に避難する必要性があることを考えていなかった」(25.4%)などの順となっている。市町別にみると、「計画まではなかった

が、大まかな避難の場所や方法は考えていた」との回答が高梁市で約5割、「自分が災害時に避難する必要があることを考えていなかった」との回答は矢掛町で4割台半ばと高くなっている。

真備町では、「計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた」との回答が37.2%と最も高く、次いで「災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった」(31.5%)、「自分が災害時に避難する必要があることを考えていなかった」(25.1%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた」との回答は辻田で4割台半ば、「災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった」との回答は妹で約5割と高くなっている。

問 16 あなたは「お住まいの地域での防災訓練」に災害発生前に参加したことがありましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 災害発生前の防災訓練への参加経験】

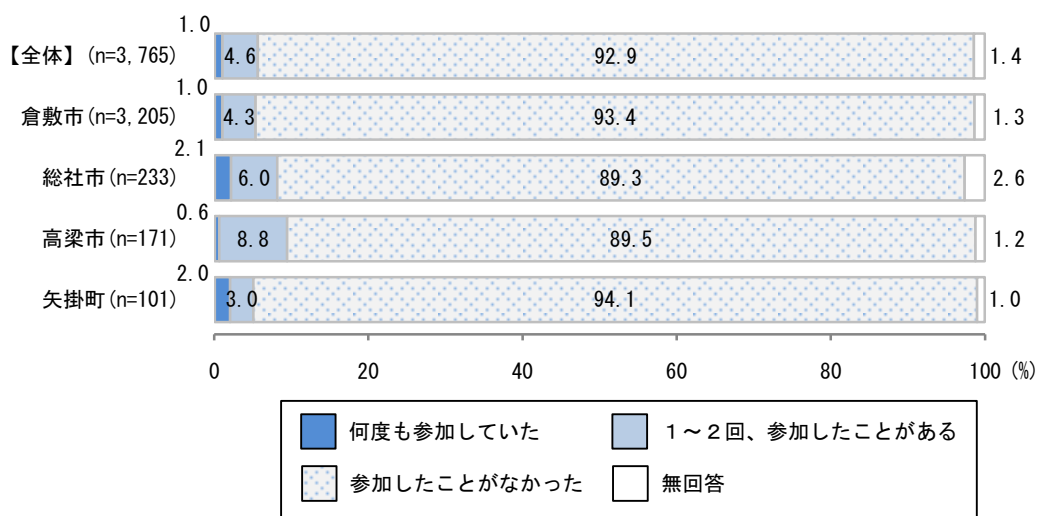


災害前の防災訓練への参加経験について、「参加しなかった」との回答が 43.5%と最も高く、次いで「地域で防災訓練を行っていること自体を知らなかった」(34.0%)、「参加したことはめったになく、数える程度であった」(10.4%)などの順となっている。市町別にみると、「ほぼ毎年のように参加していた」との回答は総社市で2割超と高くなっている。

真備町では、「参加したことがなかった」との回答が 44.1%と最も高く、次いで「地域で防災訓練を行っていること自体を知らなかった」(35.2%)、「参加したことはめったになく、数える程度であった」(10.4%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「何年かごとに参加していた」との回答は下二万で約3割と高くなっている。

問 17 あなたは、災害発生前に「災害の被災地でのボランティア活動」に参加したことがありますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

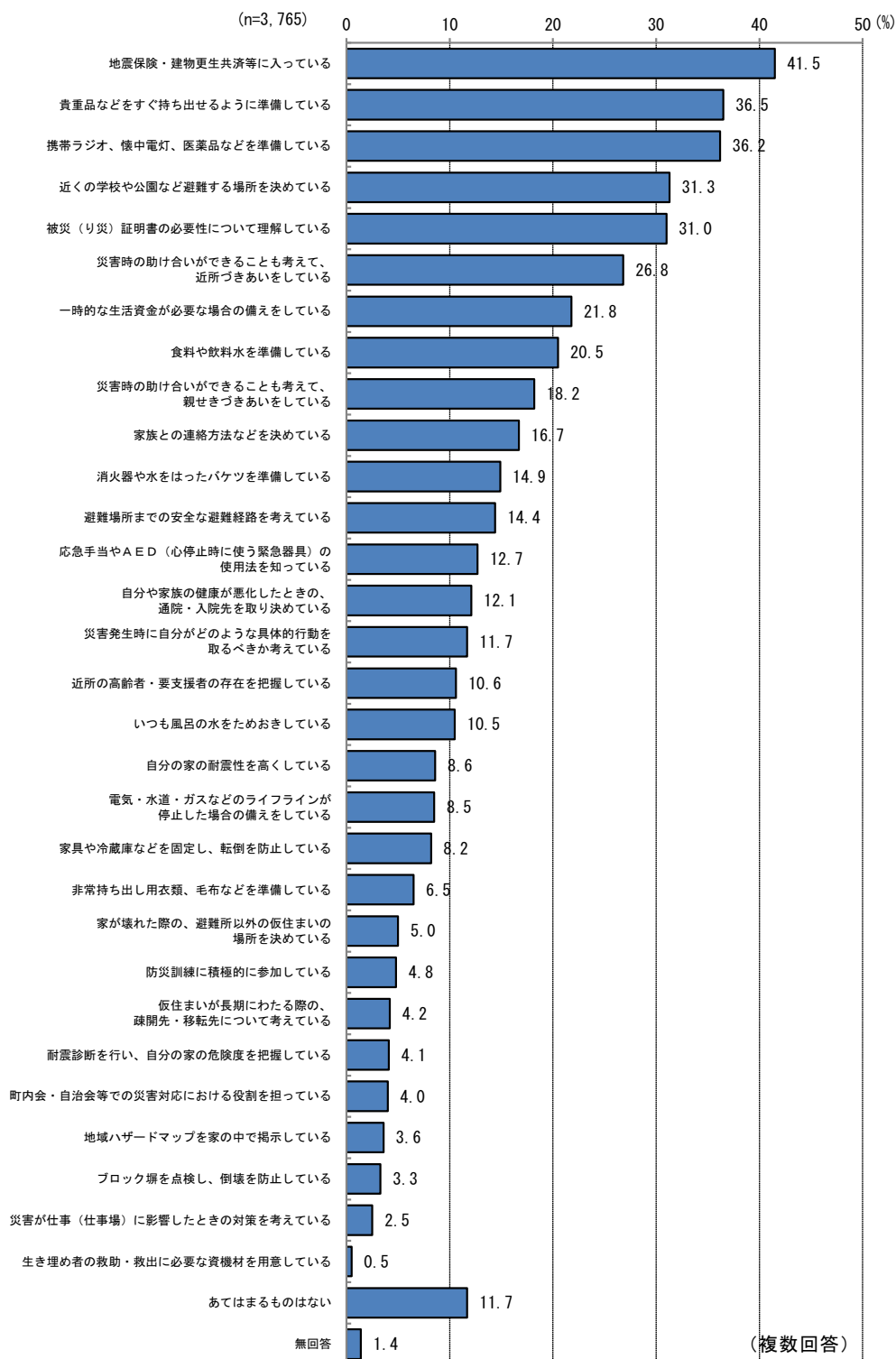
【図表 災害発生前のボランティア活動への参加経験】



災害前のボランティア活動への参加経験について、9割超の人が「参加したことがなかった」と回答している。市町別にみると、『参加したことがある』（「何度も参加していた」と「1～2回、参加したことがある」を合わせた割合）との回答は高梁市で約1割と他の地域に比べやや高くなっている。

問 18 災害発生前、あなたの家で、地震や水害などの災害に対する備えとして実行されていたものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 災害発生前の備え】

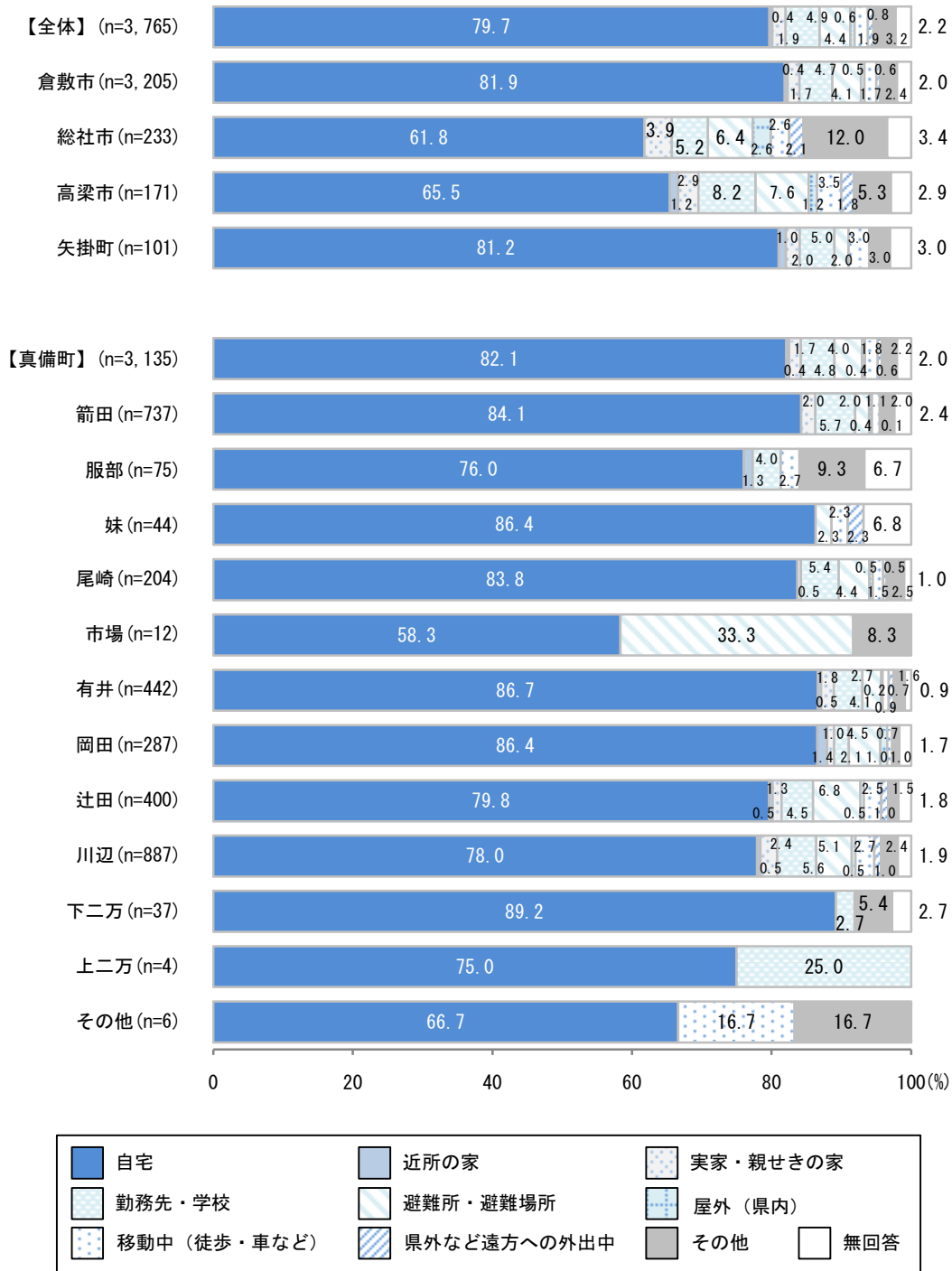


災害前の備えについて、全体では「地震保険・建物更生共済等に入っている」が41.5%と最も高く、次いで「貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している」(36.5%)、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」(36.2%)などの順となっている。

3 「大雨特別警報」発表時の状況

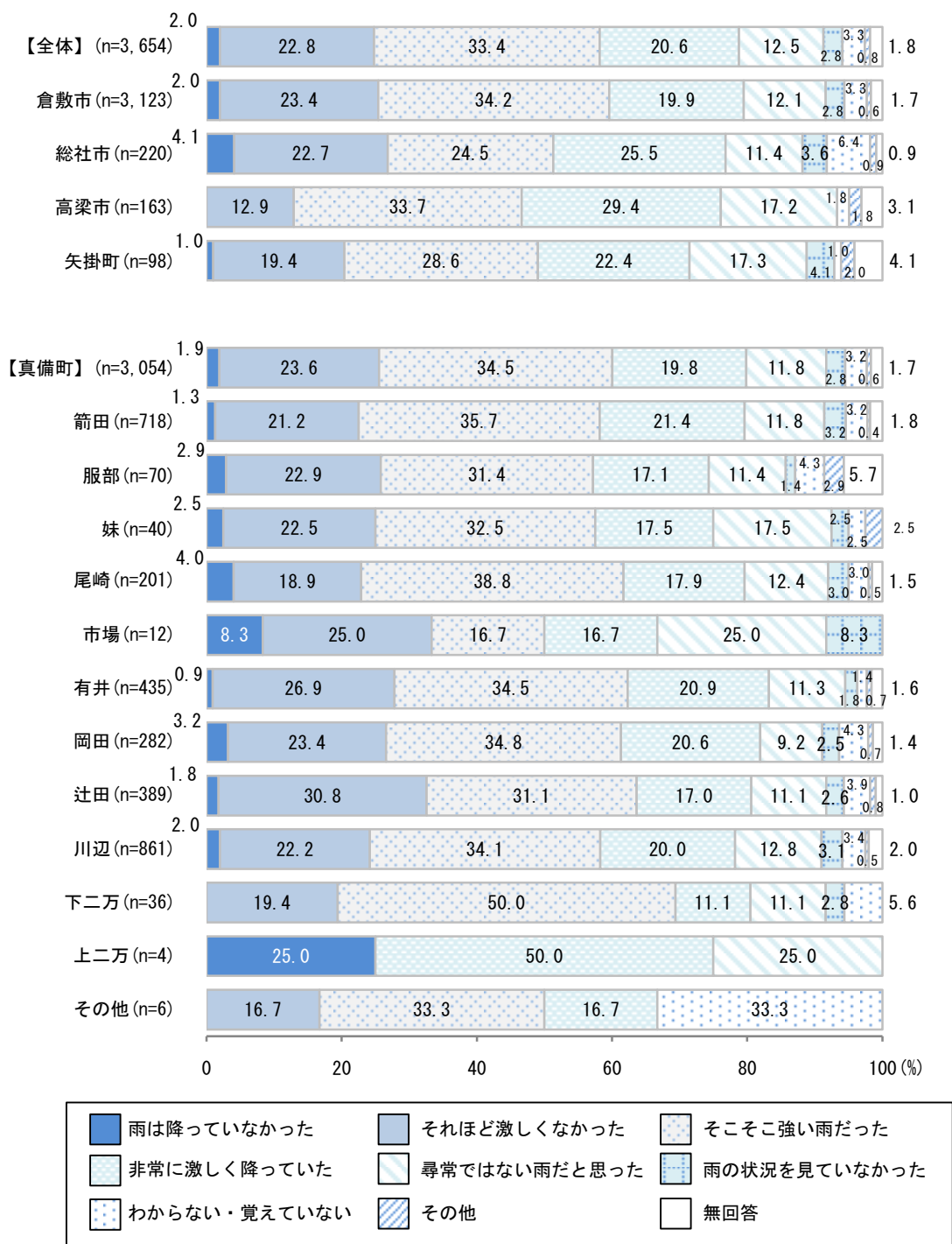
問 19 大雨特別警報が発表された時（7月6日(金)夜）あなたはどちらにおられましたか。

【図表 「大雨特別警報」発表時の居場所】



「大雨特別警報」発表時にいた場所について、「自宅」との回答が79.7%と最も高く、次いで「勤務先・学校」(4.9%)、「避難所・避難場所」(4.4%)などの順となっている。市町別にみると、「自宅」との回答は総社市、高梁市で6割台と低くなっている。

【図表 「大雨特別警報」発表時に感じた雨の状況】

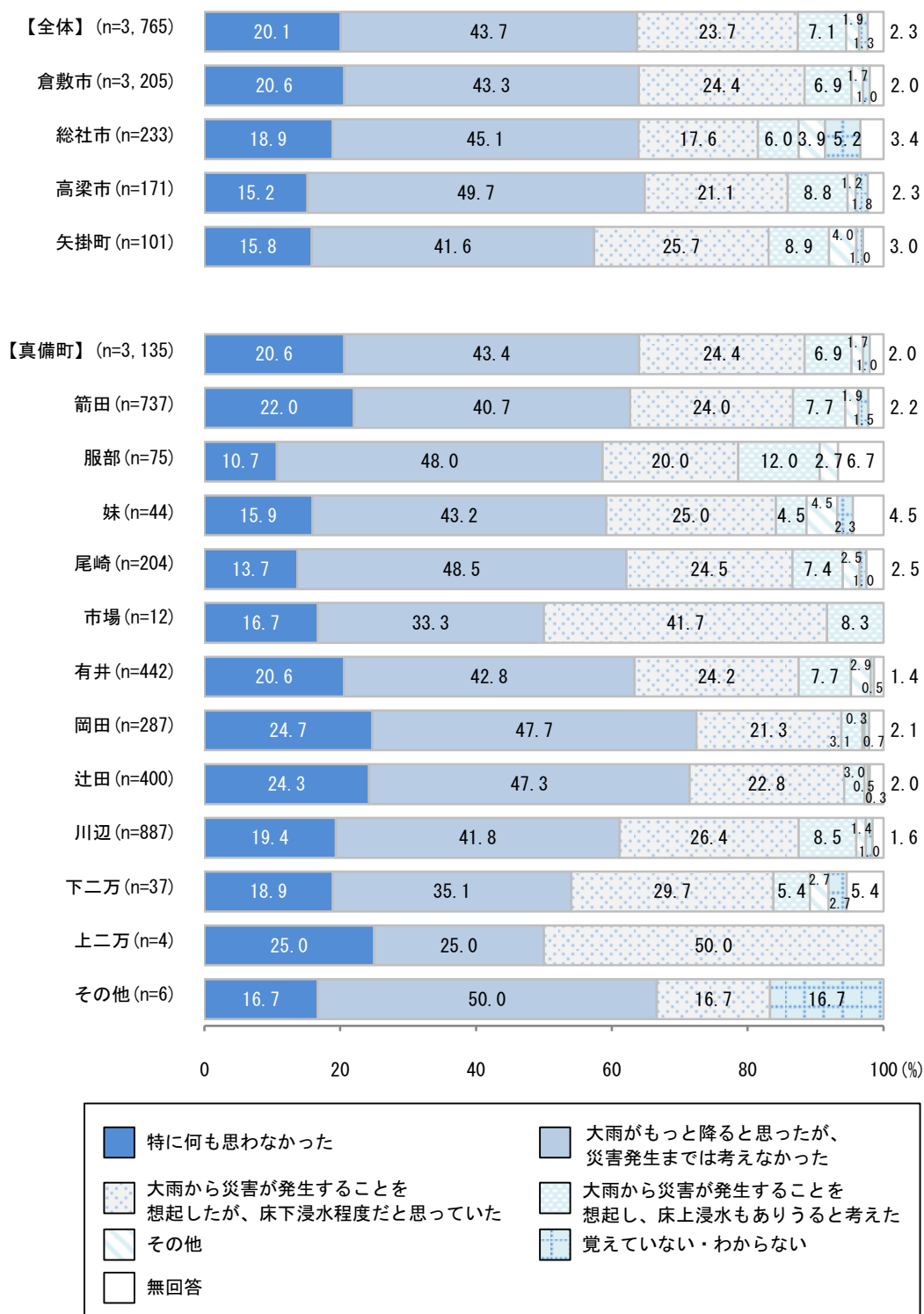


「大雨特別警報」発表時に感じた雨の状況について、「そこそこ強い雨だった」との回答が33.4%と最も高く、次いで「それほど激しくなかった」(22.8%)、「非常に激しく降っていた」(20.6%)などの順となっている。市町別にみると、「そこそこ強い雨だった」、「非常に激しく降っていた」、「尋常ではない雨だと思った」との回答を合わせると高梁市で約8割と高くなっている。

真備町では、「そこそこ強い雨だった」との回答が34.5%と最も高く、次いで「それほど激しくなかった」(23.6%)、「非常に激しく降っていた」(19.8%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「雨は降ってなかった」、「それほど激しくなかった」との回答を合わせると辻田で3割超と高くなっている。

問 20 大雨特別警報が発表される前の時点で、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」発表前の水害に対する予見】



「大雨特別警報」発表前の水害に対する予見について、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が43.7%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」(23.7%)、「特に何も思わなかった」(20.1%)などの順となっている。市町別にみると、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考え

なかった」との回答は高梁市で約5割と高くなっている。

真備町では、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が43.4%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」（24.4%）、「特に何も思わなかった」（20.6%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答は服部、尾崎、岡田、辻田で約5割と高くなっている。

問 21 大雨特別警報が発表される前の時点で、あなたは下記の行動をしていましたか。既に行っていた行動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」発表前の行動】

		(%)													
	回答者数(人)	情報収集した	家族・親せきに連絡をした	友人・知人に連絡をした	懐中電灯など非常時の物品を出した	家具や大切なものを上階に上げた	高齢者など要保護者を上階に上げた	家が安全なので積極的に家に留まった	外に避難するための準備をはじめた	避難所に行った	外出して雨の様子や田畑等を見た	その他	特になにもしていない	無回答	
全体	3,765	49.9	19.5	11.8	22.4	12.9	2.4	16.4	19.7	11.3	8.9	6.9	18.0	2.2	
市町	倉敷市	3,205	49.9	19.3	11.9	21.7	12.6	2.3	16.8	20.0	10.8	8.7	6.1	18.8	1.9
	総社市	233	49.4	20.6	12.0	26.6	12.4	2.1	13.3	20.2	15.5	8.6	15.0	12.0	3.9
	高梁市	171	50.9	24.6	12.9	28.1	15.2	4.7	11.1	20.5	14.0	11.1	11.1	14.6	2.9
	矢掛町	101	51.5	17.8	10.9	26.7	16.8	5.0	23.8	9.9	7.9	12.9	8.9	15.8	1.0
全体	3,135	50.2	19.3	11.7	21.8	12.6	2.3	16.9	20.0	10.7	8.8	5.9	18.9	1.9	
真備町	箭田	737	48.4	18.9	12.1	21.6	12.2	1.6	16.3	21.2	8.0	8.0	6.5	20.5	2.0
	服部	75	52.0	10.7	13.3	24.0	6.7	1.3	18.7	25.3	5.3	12.0	10.7	8.0	6.7
	妹	44	63.6	18.2	6.8	27.3	20.5	4.5	29.5	15.9	6.8	15.9	11.4	13.6	4.5
	尾崎	204	47.5	17.2	10.3	23.5	11.8	2.5	14.7	20.1	14.2	10.3	5.4	20.1	1.5
	市場	12	58.3	33.3	25.0	16.7	-	-	-	33.3	33.3	-	-	25.0	-
	有井	442	50.5	18.1	13.1	23.8	12.7	4.1	19.5	16.1	9.0	11.8	4.1	19.0	1.4
	岡田	287	46.0	19.9	10.5	24.7	17.1	2.4	18.5	13.9	9.8	5.9	2.8	22.6	2.1
	辻田	400	51.0	16.5	8.0	26.8	8.8	1.8	18.0	18.8	15.3	5.3	4.8	19.3	2.3
	川辺	887	52.6	22.2	13.2	16.9	13.2	2.0	15.7	22.9	11.7	9.8	7.2	16.8	1.5
	下二万	37	51.4	16.2	8.1	27.0	21.6	-	8.1	24.3	8.1	8.1	13.5	18.9	-
	上二万	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-
	その他	6	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-

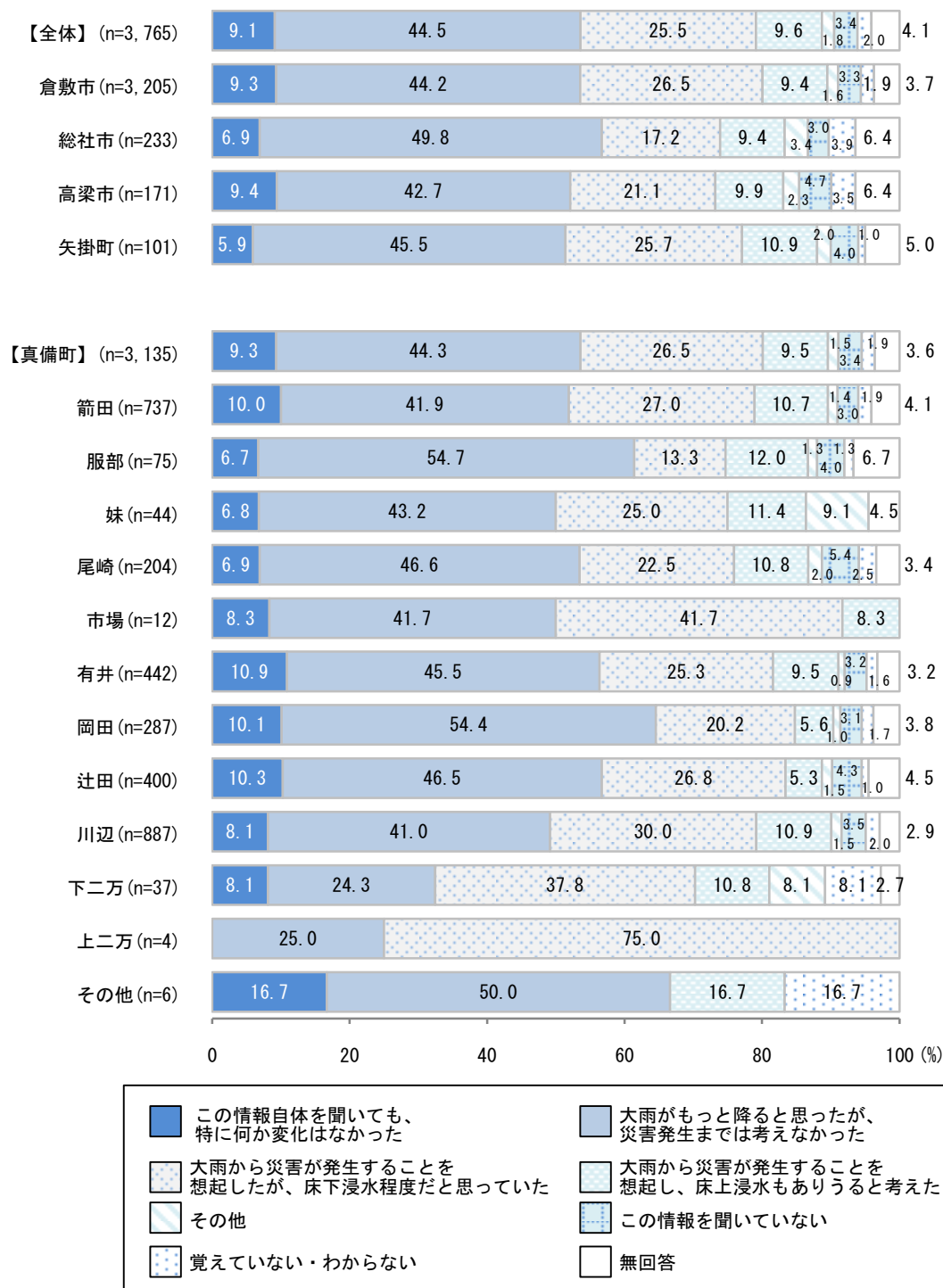
(複数回答)

「大雨特別警報」発表前の行動について、「テレビ等をつけっ放しにして情報収集した」が49.9%と最も高く、次いで「懐中電灯など非常時の物品を出した」（22.4%）などの順となっている。市町別にみると、「外に避難するための準備をはじめた」、「避難所に行った」との回答は矢掛町で1割未満と低くなっている。

真備町では、「テレビ等をつけっ放しにして情報収集した」が50.2%と最も高く、次いで「懐中電灯など非常時の物品を出した」（21.8%）、「外に避難するための準備をはじめた」（20.0%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「家が安全なので積極的に家に留まった」との回答は妹で約3割、「避難所に行った」との回答は辻田、尾崎で1割台半ばと高くなっている。

問 22 「大雨特別警報」の情報を聞いて、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」認識後の水害に対する予見】

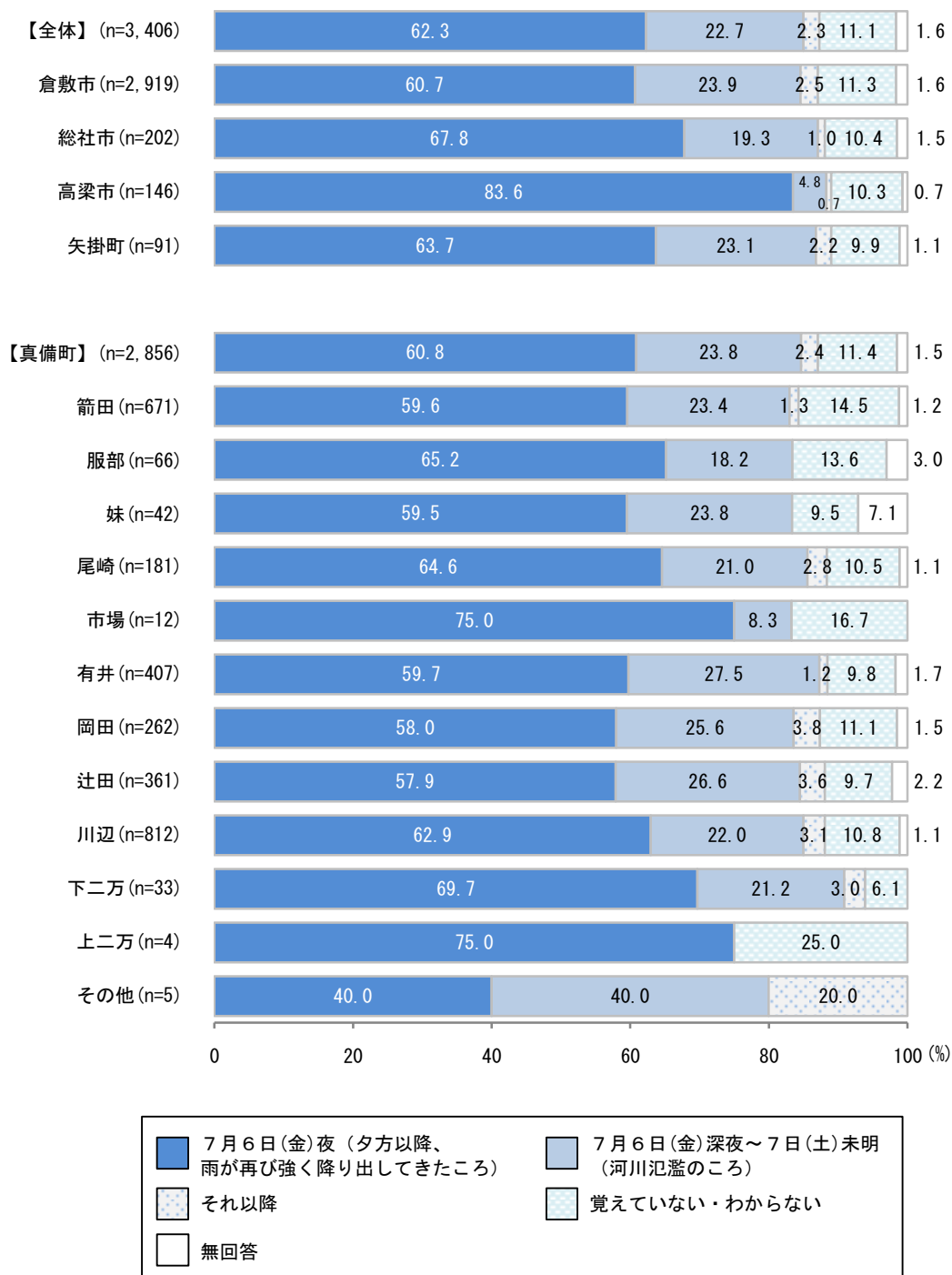


「大雨特別警報」認識後の水害に対する予見について、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が44.5%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思った」(25.5%)などの順となっている。市町別にみると、大きな差はみられない。

真備町では、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が44.3%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思った」（26.5%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答は服部、岡田で5割台半ばと高くなっている。

問 23 「大雨特別警報」を、あなたはいつ聞いたように記憶していますか。だいたいよいので、一番最初に聞いた時1つに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」を初めて聞いた日時】



「大雨特別警報」を初めて聞いた日時について、「7月6日(金)夜(夕方以降、雨が再び強く降りだしてきたところ)」との回答が62.3%と最も高く、次いで「7月6日(金)深夜~7日(土)未明(河川氾濫のころ)」(22.7%)などの順となっている。市町別にみると、「7月6日(金)夜(夕方以降、雨が再び強く降りだしてきたところ)」との回答は高梁市で8割台半ばと高くなっている。

真備町では、「7月6日（金）夜（夕方以降、雨が再び強く降りだしてきたところ）」との回答が60.8%と最も高く、次いで「7月6日（金）深夜～7日（土）未明（河川氾濫のころ）」(23.8%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、大きな差はみられない。

問 24 「大雨特別警報」を、あなたはどこから入手しましたか。一番最初に聞いたと思われる情報源1つに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」の最初の情報源】

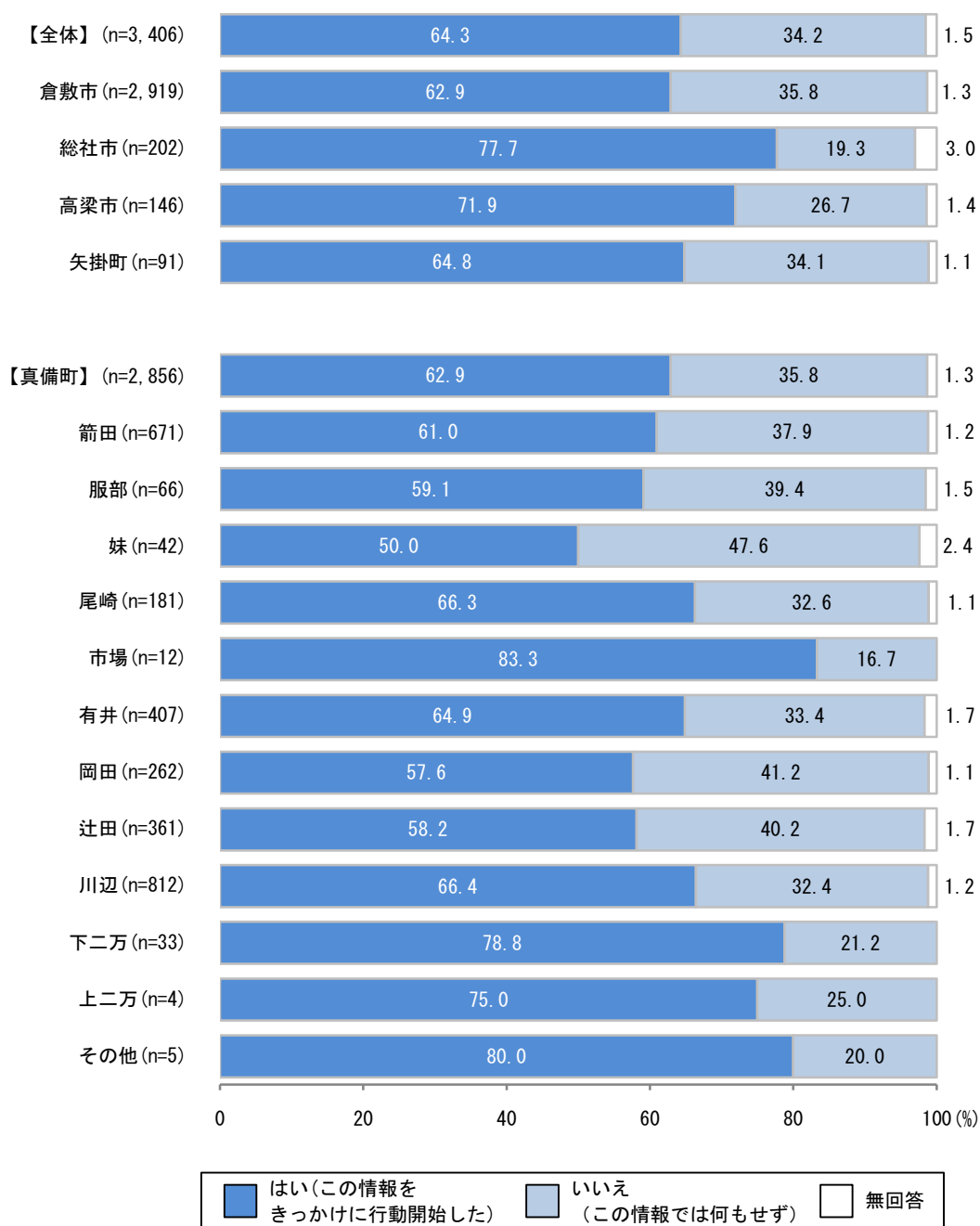
		回答者数（人）	テレビ・ラジオ	新聞	行政職員（避難所職員・消防・警察・自衛隊等）	同居している家族	別居している家族・親せき	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット	Facebook、Twitter、LINEなど	SNS（Twitter、LINE、Facebook、LINEなど）	その他	無回答
全体		3,406	52.6	0.1	4.4	5.1	3.0	4.1	0.9	7.1	4.6	9.8	8.4	
市町	倉敷市	2,919	53.0	0.1	3.5	5.3	3.0	3.6	0.7	7.5	4.7	10.4	8.2	
	総社市	202	47.0	0.5	10.4	5.0	2.5	8.9	1.0	3.5	4.0	5.9	11.4	
	高梁市	146	51.4	-	9.6	0.7	2.7	5.5	4.1	6.2	4.1	6.8	8.9	
	矢掛町	91	53.8	-	8.8	5.5	1.1	6.6	-	5.5	3.3	7.7	7.7	
	全体	2,856	53.2	0.0	3.5	5.4	2.9	3.6	0.7	7.6	4.7	10.3	8.2	
真備町	箭田	671	51.7	-	3.9	6.1	2.8	3.9	0.7	9.1	3.6	12.1	6.1	
	服部	66	48.5	-	12.1	6.1	3.0	6.1	3.0	6.1	3.0	4.5	7.6	
	妹	42	61.9	-	-	4.8	2.4	2.4	-	4.8	-	11.9	11.9	
	尾崎	181	55.2	-	4.4	6.1	2.2	4.4	0.6	3.9	5.5	8.8	8.8	
	市場	12	41.7	-	8.3	8.3	-	16.7	-	8.3	8.3	8.3	-	
	有井	407	53.3	0.2	2.7	6.1	2.5	2.9	-	8.8	5.4	10.6	7.4	
	岡田	262	56.5	-	3.8	4.6	3.4	3.1	0.4	6.5	4.6	8.4	8.8	
	辻田	361	54.0	-	3.9	4.4	3.0	2.8	0.8	4.2	5.5	11.6	9.7	
	川辺	812	52.5	-	2.6	4.8	3.2	3.4	0.7	9.0	4.9	9.7	9.1	
	下二万	33	60.6	-	-	9.1	3.0	12.1	-	-	-	6.1	9.1	
	上二万	4	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	50.0	-	-	
	その他	5	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	

「大雨特別警報」の最初の情報源について、「テレビ・ラジオ」との回答が52.6%と最も高く、次いで「インターネット」(7.1%)、「同居している家族」(5.1%)などの順となっている。市町別にみると、大きな差はみられない。

真備町では、「テレビ・ラジオ」との回答が53.2%と最も高く、次いで「インターネット」(7.6%)、「同居している家族」(5.4%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「テレビ・ラジオ」との回答は妹、下二万で6割台と高くなっている。

問 25 あなたは「大雨特別警報」を聞いたことをきっかけに、何らかの行動を開始しましたか。(1つに○)

【図表 「大雨特別警報」認識後の行動の有無】



「大雨特別警報」認識後の行動の有無について、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」が64.3%、「いいえ(この情報では何もせず)」が34.2%となっている。市町別にみると、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」との回答は総社市で約8割と高くなっている。

真備町では、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」が62.9%、「いいえ(この情報では何もせず)」が35.8%となっている。真備町の大字別にみると、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」との回答は下二万で約8割と高くなっている。

問 25 付問 「1. はい」に○をつけた方のみ）具体的にどのような対応をしましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」認識後の具体的な行動】

		回答者数（人）	テレビ等をつけっ放しにして情報収集した	家族・親せきに連絡した	友人・知人に連絡をした	懐中電灯など非常時の物品を出した	家具や大切なものを上階に上げた	高齢者など要援護者を上階に上げた	家が安全なので積極的に家に留まった	外に避難するための準備をはじめた	避難所に行った	避難所に留まった	外出して雨の様子や田畑等を見た	その他	無回答
全体		2,190	55.4	28.4	15.7	29.2	18.2	3.8	15.7	29.8	22.3	7.3	7.9	9.4	0.1
市町	倉敷市	1,837	55.6	28.2	15.6	28.4	18.3	3.5	16.0	29.6	22.4	7.1	8.3	8.3	0.1
	総社市	157	47.1	24.8	14.6	31.2	15.9	2.5	13.4	34.4	22.3	7.6	5.7	21.0	-
	高梁市	105	59.0	38.1	16.2	38.1	19.0	6.7	6.7	31.4	21.0	10.5	8.6	11.4	-
	矢掛町	59	59.3	32.2	22.0	39.0	20.3	11.9	30.5	18.6	10.2	5.1	5.1	10.2	-
全体		1,796	56.0	28.2	15.5	28.4	18.2	3.5	16.0	29.5	22.0	6.8	8.4	8.2	0.1
真備町	箭田	409	57.2	30.6	18.1	28.9	18.3	2.2	13.9	33.3	17.6	5.6	6.4	8.6	0.2
	服部	39	48.7	23.1	20.5	28.2	5.1	2.6	17.9	25.6	15.4	5.1	15.4	10.3	-
	妹	21	66.7	33.3	9.5	23.8	14.3	4.8	33.3	14.3	14.3	-	19.0	9.5	-
	尾崎	120	61.7	29.2	18.3	35.0	15.0	3.3	14.2	30.8	23.3	5.8	10.0	9.2	-
	市場	10	30.0	40.0	30.0	10.0	10.0	-	-	20.0	40.0	10.0	-	10.0	-
	有井	264	59.1	25.0	15.9	28.4	18.2	5.3	19.3	25.8	16.3	4.9	15.5	6.4	-
	岡田	151	54.3	29.1	16.6	28.5	21.9	2.0	17.9	23.2	27.8	7.9	6.0	6.0	0.7
	辻田	210	54.3	23.8	11.0	35.2	15.7	3.8	15.2	28.6	32.9	10.5	4.8	9.0	-
	川辺	539	55.1	29.1	14.5	24.3	19.3	4.1	15.6	31.0	23.0	7.6	7.6	8.7	-
	下二万	26	46.2	30.8	7.7	34.6	34.6	-	15.4	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	-
	上二万	3	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-
	その他	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-

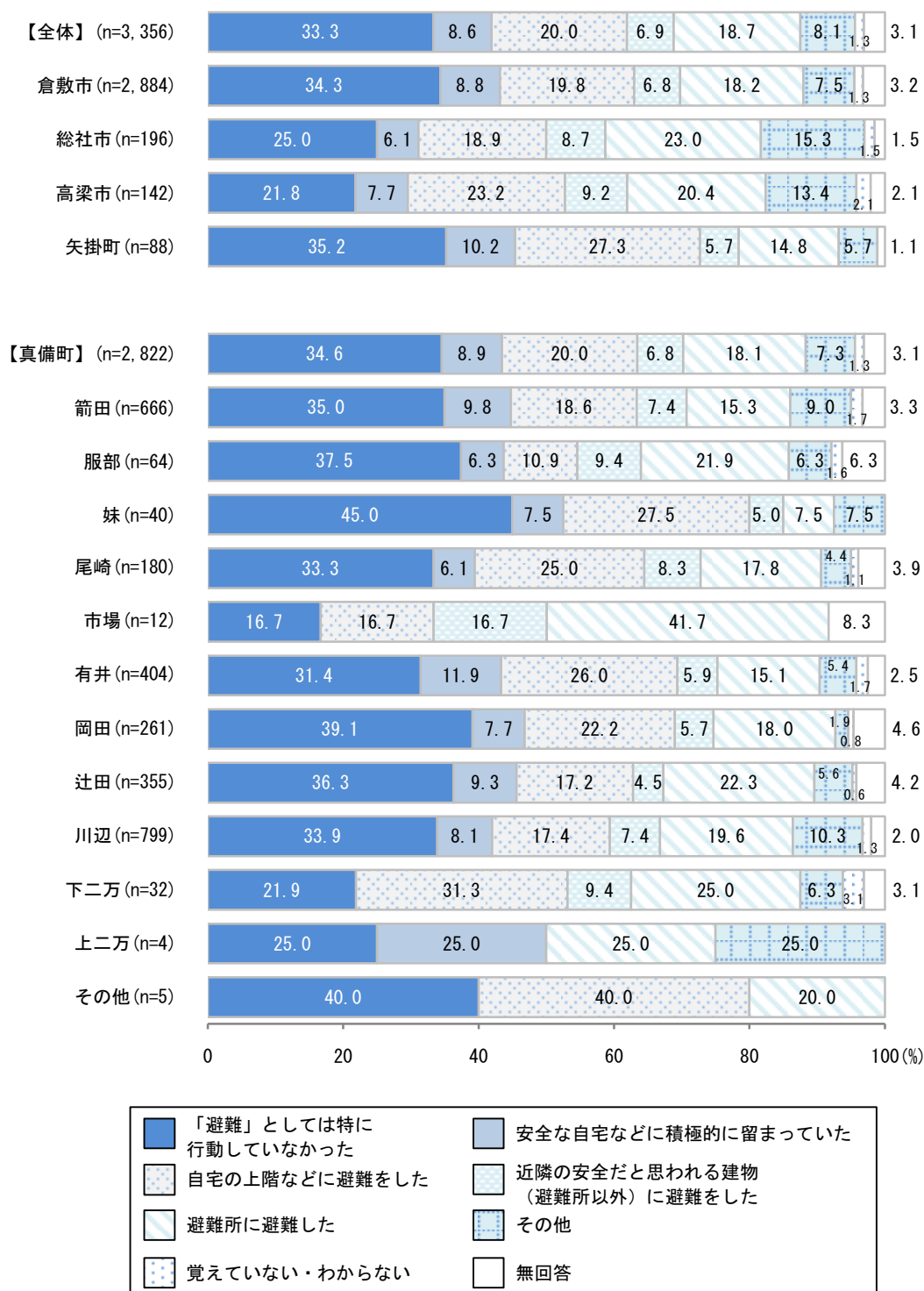
(複数回答)

「大雨特別警報」認識後の具体的な行動について、「テレビ等をつけっ放しにして情報収集した」との回答が 55.4%と最も高く、次いで「外に避難するための準備をはじめた」(29.8%)、「懐中電灯など非常時の物品を出した」(29.2%)などの順となっている。市町別にみると、「家が安全なので積極的に家に留まった」との回答は矢掛町で約3割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「テレビ等をつけっ放しにして情報収集した」との回答が 56.0%と最も高く、次いで「外に避難するための準備をはじめた」(29.5%)、「懐中電灯など非常時の物品を出した」(28.4%)、「家族・親戚に連絡した」(28.2%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「家が安全なので積極的に家に留まった」との回答は妹で3割台半ば、「避難所に行った」との回答は辻田で3割超と高くなっている。

問 26 あなたは大雨特別警報が発表されていると認識した時点で「避難」(家の上階へ行く
垂直避難も含む)をしていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」認識後の避難の有無】



「大雨特別警報」発表認識後の避難の有無について、「「避難」としては特に行動していなかった」との回答が33.3%と最も高く、次いで「自宅の上階などに避難をした」(20.0%)、「避難所に避難した」(18.7%)などの順となっている。市町別にみると、「「避難」としては特に行

動していなかった」との回答は高梁市で2割超と低くなっている。

真備町では、「避難」としては特に行動していなかった」との回答が34.6%と最も高く、次いで「自宅の上階などに避難をした」（20.0%）、「避難所に避難した」（18.1%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難」としては特に行動していなかった」との回答は妹で4割台半ばと高くなっている。

問 27 問 26 で「避難をした人」「避難をしなかった人」ともに、その理由を教えてください。
以下のあてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 「大雨特別警報」認識後に避難しなかった理由・避難した理由（避難の有無別）】

		回答者数（人）	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物に被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族に高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		3,208	15.8	4.0	1.8	2.4	8.4	19.8	8.1	8.5	3.3	10.6	2.2	2.6	1.9	8.1	12.1	3.6	8.8	
か 避 け な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	1116	8.5	0.4	0.4	1.3	12.5	7.8	4.6	3.3	1.8	9.6	0.2	0.9	0.3	3.6	4.4	1.2	3.0	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	290	22.8	2.1	1.4	0.7	18.6	22.4	9.7	12.8	4.1	11.0	1.0	2.8	1.0	3.8	9.7	2.4	3.1	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	672	14.9	1.8	3.6	0.6	10.0	39.6	12.9	7.9	5.5	16.7	1.0	1.0	0.6	5.4	8.0	2.8	4.5	
	近隣の安全だと思われる建物（避難所以外）に避難をした	232	22.8	12.9	3.0	6.5	1.7	28.9	9.1	15.1	3.9	13.4	7.3	1.3	1.3	18.1	26.7	6.0	14.2	
	避難所に避難した	627	24.2	10.2	2.4	4.8	0.2	16.6	8.8	13.7	3.0	6.1	4.9	8.3	7.0	16.7	21.4	8.6	24.6	
全体		3,208	8.9	22.1	9.3	21.0	1.3	13.2	1.8	20.4	1.9	19.9	5.9	10.9	4.0	11.8	0.7	2.5		
か 避 け な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	1116	15.2	21.2	15.9	16.4	0.8	24.1	2.4	35.5	3.2	39.2	3.4	5.7	1.7	9.8	1.5	3.1		
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	290	10.0	53.1	19.3	37.6	0.7	19.3	3.4	24.8	3.4	29.0	7.6	7.6	1.7	10.0	0.3	2.1		
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	672	10.3	33.0	8.6	53.9	3.4	10.1	2.1	23.1	1.6	13.7	16.2	7.3	2.5	7.4	0.1	1.9		
	近隣の安全だと思われる建物（避難所以外）に避難をした	232	1.7	11.2	0.4	3.0	0.9	3.4	-	0.9	-	2.2	1.7	18.1	9.5	7.3	-	1.3		
	避難所に避難した	627	1.9	7.5	0.2	0.3	0.8	2.6	0.5	2.2	0.3	1.3	-	21.9	8.3	11.5	0.2	1.8		

(複数回答)

「大雨特別警報」認識後に「避難しなかった人の理由」について、「避難」としては特に行動していなかった人は「たいしたことがないと思ったから」との回答が3割台半ば、「避難する必要を感じなかったから」との回答が約4割、安全な自宅などに積極的に留まっていた人は「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が5割台半ば、「2階以上に上がればよいから」との回答が約4割と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難した人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約4割、「2階以上に上がればよいから」との回答が5割台半ば、近隣の安全だと思われる建物（避難所以外）に避難した人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約3割、「家族・親せきに言われたから」との回答が2割台半ばと高くなっている。避難所に避難した人は「雨が降っていたから」、「防災行政無線などの情報を得たから」との回答が2割台半ばと高くなっている。

(1) 倉敷市

【図表 「大雨特別警報」認識後に避難しなかった理由・避難した理由（避難の有無別）】

		回答者数（人）	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		2,753	15.8	3.7	1.4	2.4	8.3	18.1	7.4	8.8	3.1	10.6	2.1	2.6	1.7	7.4	12.4	2.3	9.3	
避難しなかった人	「避難」としては特に行動していなかった	990	8.6	0.3	0.2	1.4	12.5	7.5	4.2	3.5	1.7	9.4	0.2	0.8	0.2	3.2	4.3	0.5	3.1	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	255	22.0	1.2	1.6	0.4	18.0	22.4	7.8	14.1	3.5	11.8	1.2	3.1	0.8	3.9	9.4	2.4	2.0	
避難した人	自宅の上階などに避難をした	572	15.4	2.1	3.3	0.7	9.1	38.6	12.8	8.0	5.4	15.6	1.2	1.0	0.7	5.2	9.1	2.3	4.5	
	近隣の安全だと思われる建物（避難所以外）に避難をした	195	21.5	13.8	2.6	6.7	1.5	24.1	7.7	14.4	3.6	13.8	7.2	1.5	1.5	16.9	26.2	5.6	16.9	
	避難所に避難した	526	24.5	8.9	1.5	4.6	0.2	12.7	8.0	15.0	2.7	6.7	4.9	8.0	6.7	15.0	22.2	5.3	26.6	
全体		2,753	9.2	23.0	9.8	21.4	1.3	14.0	1.8	21.7	1.9	20.7	5.9	11.3	4.4	11.8	0.7	2.3		
避難しなかった人	「避難」としては特に行動していなかった	990	14.5	22.3	16.2	16.1	0.8	24.8	2.2	36.2	3.1	39.7	3.6	5.7	1.8	10.1	1.3	3.0		
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	255	10.2	54.1	20.8	38.8	0.8	20.4	3.5	25.9	3.1	28.6	7.1	7.8	2.0	10.2	0.4	2.0		
避難した人	自宅の上階などに避難をした	572	11.5	33.2	8.9	54.5	3.7	10.8	2.3	25.7	1.7	14.9	16.4	7.7	3.0	7.2	0.2	1.4		
	近隣の安全だと思われる建物（避難所以外）に避難をした	195	2.1	11.3	0.5	3.6	1.0	3.1	-	1.0	-	2.1	1.5	20.5	10.3	7.7	-	1.5		
	避難所に避難した	526	2.3	7.4	0.2	0.4	0.4	2.3	0.6	2.3	0.4	1.5	-	22.4	9.1	12.2	0.2	1.9		

(複数回答)

「大雨特別警報」認識後に「避難しなかった人の理由」について、倉敷市では「避難」としては特に行動していなかった人は「たいしたことがないと思ったから」との回答が3割台半ば、「避難するのを感じなかったから」との回答が約4割、安全な自宅などに積極的に留まっていた人は「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が5割台半ば、「2階以上に上がればよいから」との回答が約4割と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約4割、「2階以上に上がればよいから」との回答が5割台半ば、近隣の安全だと思われる建物（避難所以外）に避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」、「家族・親せきに言われたから」との回答が2割台半ばと高くなっている。避難所に避難した人は「雨が降っていたから」、「防災行政無線などの情報を得たから」との回答が2割台半ばと高くなっている。

(2) 総社市

【図表 「大雨特別警報」認識後に避難しなかった理由・避難した理由（避難の有無別）】

		回答者数（人）	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		190	14.2	5.3	4.7	1.6	9.5	24.7	11.6	5.8	3.2	9.5	2.1	4.2	3.7	12.6	13.7	12.1	5.3
か 避 難 し な か っ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	49	8.2	-	2.0	-	16.3	6.1	8.2	2.0	-	10.2	-	2.0	2.0	10.2	10.2	8.2	-
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	12	33.3	-	-	-	25.0	25.0	8.3	-	8.3	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	37	16.2	-	-	-	18.9	29.7	16.2	10.8	2.7	21.6	-	-	-	2.7	2.7	2.7	5.4
	近隣の安全と思われる建物（避難所以外）に避難をした	17	23.5	-	-	5.9	-	41.2	17.6	11.8	-	11.8	-	-	-	23.5	41.2	11.8	-
	避難所に避難した	45	15.6	20.0	11.1	2.2	-	33.3	11.1	4.4	4.4	2.2	4.4	13.3	11.1	24.4	13.3	22.2	15.6
全体		190	7.9	16.8	7.9	17.4	1.1	7.4	2.1	10.5	2.1	15.3	4.2	10.5	3.7	15.3	0.5	4.7	
か 避 難 し な か っ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	49	26.5	22.4	18.4	18.4	2.0	16.3	6.1	26.5	6.1	38.8	2.0	12.2	2.0	14.3	2.0	4.1	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	12	8.3	50.0	8.3	33.3	-	16.7	-	-	8.3	50.0	8.3	-	-	8.3	-	-	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	37	2.7	21.6	13.5	54.1	-	8.1	-	10.8	-	8.1	13.5	5.4	-	21.6	-	8.1	
	近隣の安全と思われる建物（避難所以外）に避難をした	17	-	5.9	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	5.9	5.9	-	-	
	避難所に避難した	45	-	13.3	-	-	2.2	2.2	-	2.2	-	-	-	17.8	8.9	6.7	-	2.2	

(複数回答)

「大雨特別警報」認識後に「避難しなかった人の理由」について、総社市では「避難」としては特に行動していなかった人は「雨がそれほどひどくなかったから」、「たいしたことがないと思ったから」との回答が2割台半ば、「避難するのを感じなかったから」との回答が約4割と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約3割、「2階以上に上がればよいから」との回答が5割台半ば、避難所に避難した人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が3割台半ばと高くなっている。

(3) 高梁市

【図表 「大雨特別警報」認識後に避難しなかった理由・避難した理由（避難の有無別）】

		回答者数(人)	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		136	22.1	11.0	5.9	1.5	4.4	34.6	13.2	8.8	7.4	11.0	2.9	2.9	2.9	14.7	9.6	11.8	6.6	
か 避 難 し な か っ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	31	12.9	6.5	3.2	-	6.5	9.7	6.5	3.2	3.2	9.7	-	-	-	6.5	-	6.5	3.2	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	11	9.1	18.2	-	-	9.1	27.3	36.4	-	18.2	-	-	-	9.1	9.1	18.2	-	27.3	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	33	9.1	-	12.1	-	9.1	63.6	9.1	9.1	6.1	24.2	-	-	-	9.1	3.0	9.1	-	
	近隣の安全と思われる建物(避難所以外)に避難をした	13	38.5	23.1	-	7.7	-	61.5	7.7	30.8	7.7	7.7	15.4	-	-	15.4	15.4	7.7	-	
	避難所に避難した	29	41.4	20.7	3.4	3.4	-	27.6	17.2	6.9	6.9	6.9	6.9	13.8	10.3	34.5	20.7	34.5	17.2	
全体		136	5.1	13.2	3.7	11.8	1.5	9.6	0.7	8.8	0.7	8.8	8.1	5.9	0.7	9.6	-	-	3.7	
か 避 難 し な か っ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	31	19.4	3.2	6.5	3.2	-	22.6	-	25.8	-	29.0	3.2	-	-	3.2	-	-	3.2	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	11	-	36.4	9.1	27.3	-	9.1	9.1	18.2	-	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-	-	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	33	3.0	30.3	3.0	36.4	3.0	3.0	-	6.1	3.0	-	18.2	-	-	3.0	-	-	6.1	
	近隣の安全と思われる建物(避難所以外)に避難をした	13	-	15.4	-	-	-	15.4	-	-	-	-	7.7	7.7	7.7	7.7	-	-	-	
	避難所に避難した	29	-	3.4	-	-	3.4	6.9	-	-	-	-	-	20.7	-	6.9	-	-	-	

(複数回答)

「大雨特別警報」認識後に「避難しなかった人の理由」について、高梁市では「避難」としては特に行動していなかった人は「たいしたことがないと思ったから」との回答が2割台半ば、「避難するのを感じなかったから」との回答が約3割と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が6割台半ば、避難所に避難した人は「雨が降っていたから」との回答が4割超、「近所の人に言われたから」、「消防・警察などに言われたから」との回答が3割台半ばと高くなっている。

(4) 矢掛町

【図表 「大雨特別警報」認識後に避難しなかった理由・避難した理由（避難の有無別）】

		回答者数（人）	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族に高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		87	13.8	3.4	3.4	4.6	17.2	35.6	12.6	4.6	6.9	9.2	-	1.1	1.1	5.7	4.6	9.2	5.7	
か 避 難 し な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	31	6.5	-	-	-	12.9	16.1	6.5	-	6.5	6.5	-	3.2	-	-	-	-	6.5	3.2
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	9	44.4	11.1	-	11.1	44.4	22.2	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	24	12.5	-	4.2	-	20.8	54.2	20.8	-	12.5	20.8	-	-	-	-	4.2	-	8.3	8.3
	近隣の安全と思われる建物(避難所以外)に避難をした	5	20.0	-	20.0	-	20.0	80.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	40.0	40.0	-	-
	避難所に避難した	13	15.4	15.4	7.7	23.1	-	46.2	7.7	15.4	7.7	-	-	-	-	7.7	7.7	15.4	30.8	7.7
		回答者数（人）	雨がそれほどひどくなかったから	そこにいる方が安全だと思った	建物の被害がなかったから	2階以上に上がればよいから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していなかったから	家族に特別なケアを必要とする人がいなかったから	たいしたことがないと思ったから	避難するのが面倒だったから	避難する必要を感じなかったから	避難したくてもできなかったから	テレビ・ラジオなどの情報を得たから	F A C E B O O K 等で情報を得たから	その他	特に理由がない	無回答		
全体		87	10.3	23.0	5.7	32.2	2.3	10.3	2.3	19.5	3.4	21.8	5.7	5.7	-	9.2	2.3	2.3		
か 避 難 し な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	31	19.4	12.9	12.9	29.0	-	19.4	3.2	38.7	6.5	38.7	-	-	-	3.2	6.5	3.2		
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	9	22.2	44.4	-	22.2	-	11.1	-	33.3	11.1	33.3	11.1	-	-	22.2	-	11.1		
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	24	4.2	45.8	4.2	66.7	4.2	4.2	4.2	4.2	-	16.7	12.5	8.3	-	-	-	-		
	近隣の安全と思われる建物(避難所以外)に避難をした	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-		
	避難所に避難した	13	-	7.7	-	-	7.7	7.7	-	7.7	-	-	-	15.4	-	15.4	-	-		

(複数回答)

「大雨特別警報」認識後に「避難しなかった人の理由」について、矢掛町では「避難」としては特に行動していなかった人は「2階以上に上がればよいから」との回答が約3割、「たいしたことがないと思ったから」、「避難する必要を感じなかったから」との回答が約4割と高くなっている。

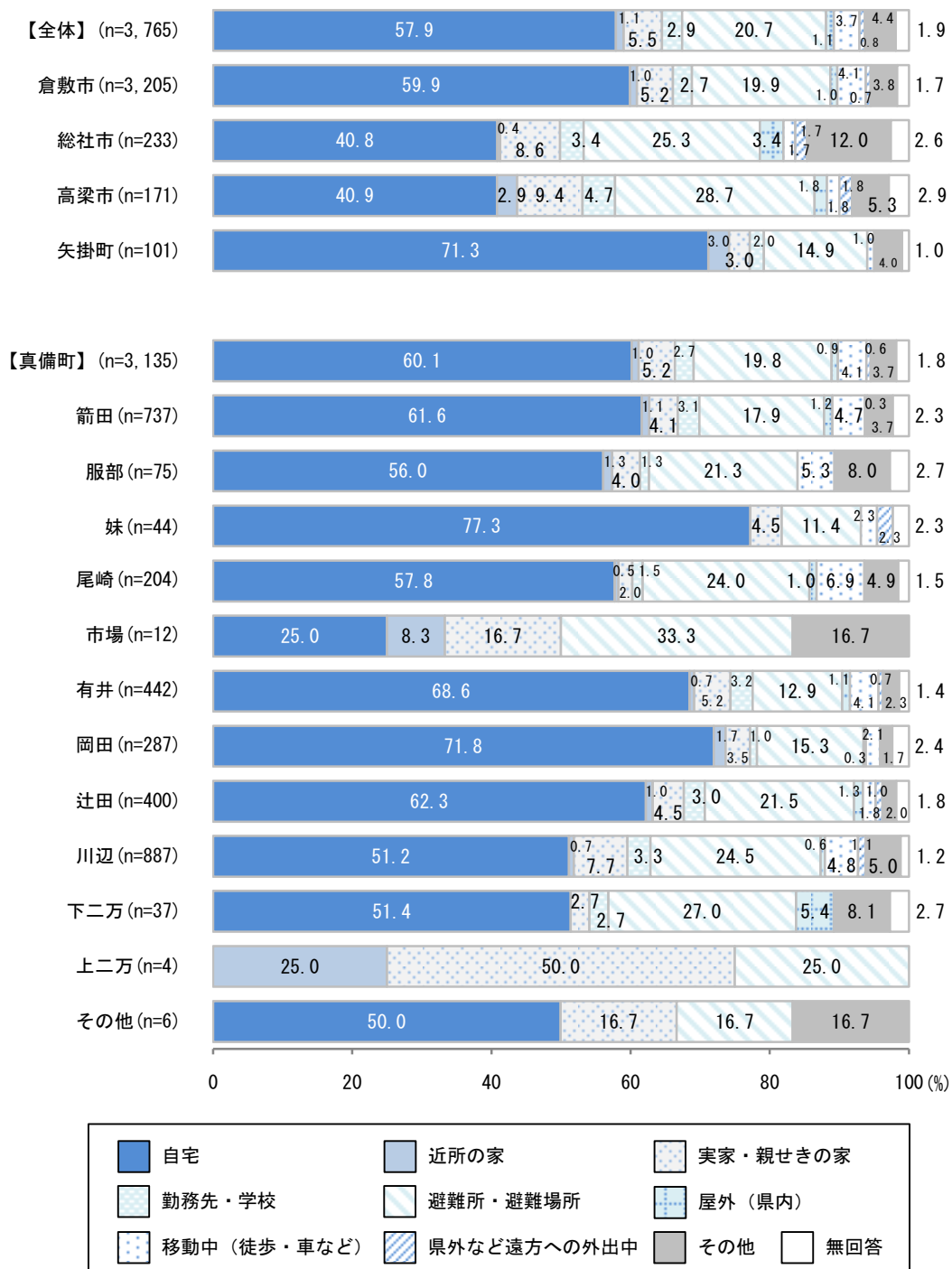
一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が5割台半ば、「2階以上に上がればよいから」との回答が6割台半ばと高くなっている。

4 「避難指示（緊急）」発令時の状況

問 28 避難指示（緊急）や河川氾濫前のこの時（7月6日（金）深夜）、あなたはどちらにおられましたか。

（1）あなたはどこにいましたか。（1つに○）

【「避難指示（緊急）」発令前の居場所】

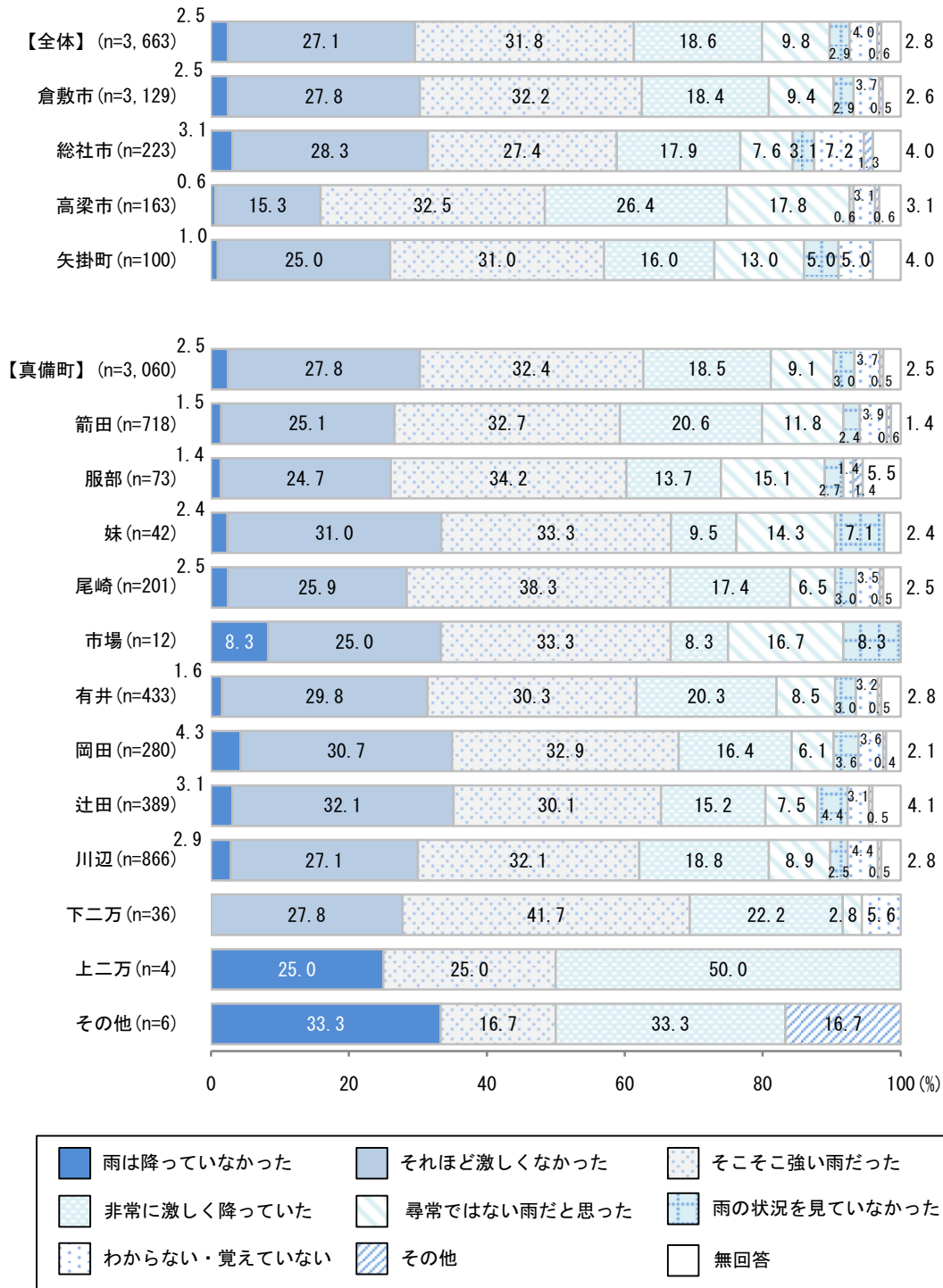


「避難指示（緊急）」や河川氾濫前の居場所について、「自宅」との回答が57.9%と最も高く、次いで「避難所・避難場所」（20.7%）、「実家・親せきの家」（5.5%）などの順となっている。市町別にみると、「自宅」との回答は矢掛町で7割超、「避難所・避難場所」との回答は高梁市で約3割と高くなっている。

真備町では、「自宅」との回答が60.1%と最も高く、次いで「避難所・避難場所」（19.8%）、「実家・親せきの家」（5.2%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「自宅」との回答は妹で約8割、「避難所・避難場所」との回答は下二万で約3割と高くなっている。

(2) 雨の状況はどのような感じでしたか。(1つに○)

【「避難指示(緊急)」発令前に感じた雨の状況】

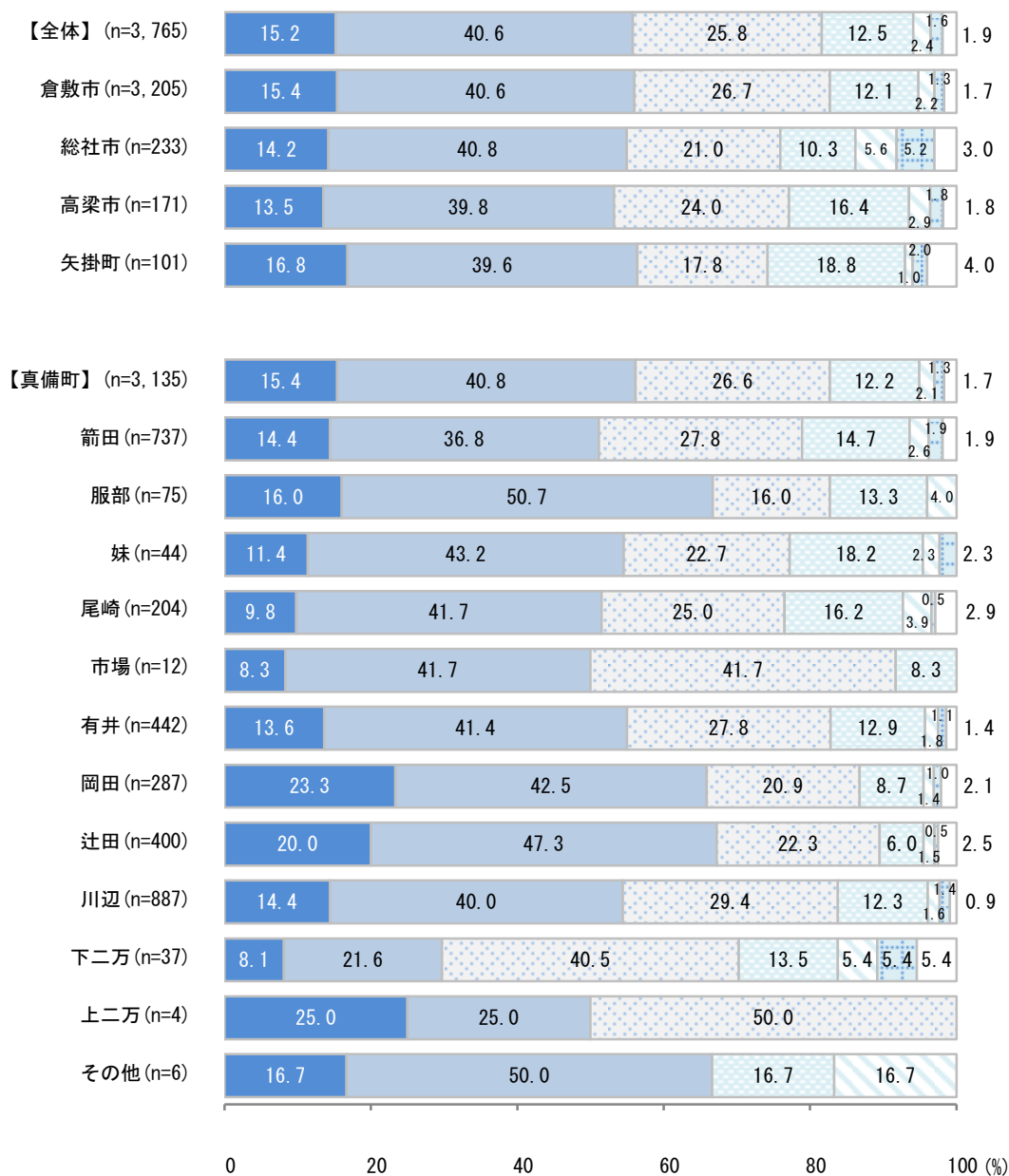


「避難指示(緊急)」発令前に感じた雨の状況について、「そこそこ強い雨だった」との回答が31.8%と最も高く、次いで「それほど激しくなかった」(27.1%)などの順となっている。市町別にみると、高梁市で「非常に激しく降っていた」との回答は2割台半ばと高くなっている。

真備町では、「そこそこ強い雨だった」との回答が32.4%と最も高く、次いで「それほど激しくなかった」(27.8%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「尋常ではない雨だと思った」との回答は服部、妹で1割台半ばと高くなっている。

問 29 避難指示（緊急）が発令される前の時点で、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【「避難指示（緊急）」発令前の水害に対する予見】



特に何も思わなかった
 大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった
 大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた
 大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると考えた
 その他
 覚えていない・わからない
 無回答

「避難指示（緊急）」発令前の水害に対する予見について、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が40.6%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」(25.8%)、「特に何も思わなかった」(15.2%)などの順となっている。市町別にみると、倉敷市と高梁市では「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」との回答は2割台半ば、矢掛町では「大雨から

災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると考えた」との回答は約2割と高くなっている。

真備町では、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が40.8%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」（26.6%）、「特に何も思わなかった」（15.4%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「特に何も思わなかった」との回答は岡田で2割台半ば、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が服部と辻田で5割前後、「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」との回答は下二万で約4割、「大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると考えた」との回答は妹で約2割と高くなっている。

問 30 避難指示（緊急）が発令される前の時点で、あなたは下記の行動をしていましたか。既にしていた行動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 「避難指示（緊急）」発令前の行動】

		回答者数（人）	テレビ等をつけて放しにして情報収集した	家族・親せきに連絡をした	友人・知人に連絡をした	懐中電灯など非常時の物品を出した	家具や大切なものを上階に上げた	高齢者など要援護者を上階に上げた	家が安全なので積極的に家に留まった	外に避難するための準備をはじめた	避難所に行った	避難所に留まった	外出して雨の様子や田畑等を見に行った	その他	特になにもしていない	無回答
全体		3,765	50.0	21.6	12.7	23.3	14.0	3.4	16.8	18.6	15.5	7.8	6.6	7.2	11.8	2.2
市町	倉敷市	3,205	50.0	21.7	13.0	22.1	13.7	3.1	17.2	18.4	15.3	7.6	6.5	6.8	12.3	1.9
	総社市	233	48.9	19.7	11.2	27.9	12.0	3.9	12.9	23.6	18.0	7.7	5.2	9.4	8.2	3.9
	高梁市	171	50.9	26.9	14.0	31.6	18.7	5.3	9.9	19.9	18.7	12.3	9.4	11.1	5.8	2.9
	矢掛町	101	53.5	17.8	8.9	35.6	19.8	7.9	27.7	11.9	11.9	5.0	9.9	6.9	14.9	2.0
全体		3,135	50.4	21.8	13.0	22.1	13.7	3.1	17.2	18.3	15.2	7.6	6.5	6.7	12.2	1.8
真備町	箭田	737	48.7	22.8	13.0	21.2	14.1	2.0	14.8	22.3	15.5	5.8	6.5	7.3	12.9	1.6
	服部	75	53.3	13.3	8.0	24.0	10.7	2.7	18.7	21.3	16.0	5.3	8.0	8.0	9.3	1.3
	妹	44	65.9	22.7	13.6	34.1	22.7	4.5	29.5	15.9	4.5	2.3	4.5	9.1	6.8	-
	尾崎	204	48.5	18.6	16.2	27.0	15.2	3.4	12.3	20.1	20.1	10.3	5.9	6.4	10.8	2.5
	市場	12	66.7	33.3	16.7	25.0	8.3	-	-	41.7	50.0	-	-	8.3	16.7	8.3
	有井	442	50.9	21.3	14.3	24.0	17.6	4.5	19.9	15.2	12.2	3.4	11.3	5.9	10.9	2.0
	岡田	287	48.4	21.6	11.8	22.3	13.2	3.5	20.6	12.2	12.9	9.4	3.8	3.5	14.6	2.8
	辻田	400	53.3	20.3	11.3	27.8	9.0	2.8	18.3	15.0	15.8	10.5	4.3	5.5	15.0	2.5
	川辺	887	50.5	23.1	13.5	17.5	13.2	3.3	16.9	19.1	16.0	8.9	6.2	7.7	11.4	1.0
	下二万	37	51.4	21.6	8.1	27.0	18.9	-	16.2	21.6	10.8	16.2	8.1	13.5	5.4	2.7
	上二万	4	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-
	その他	6	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7

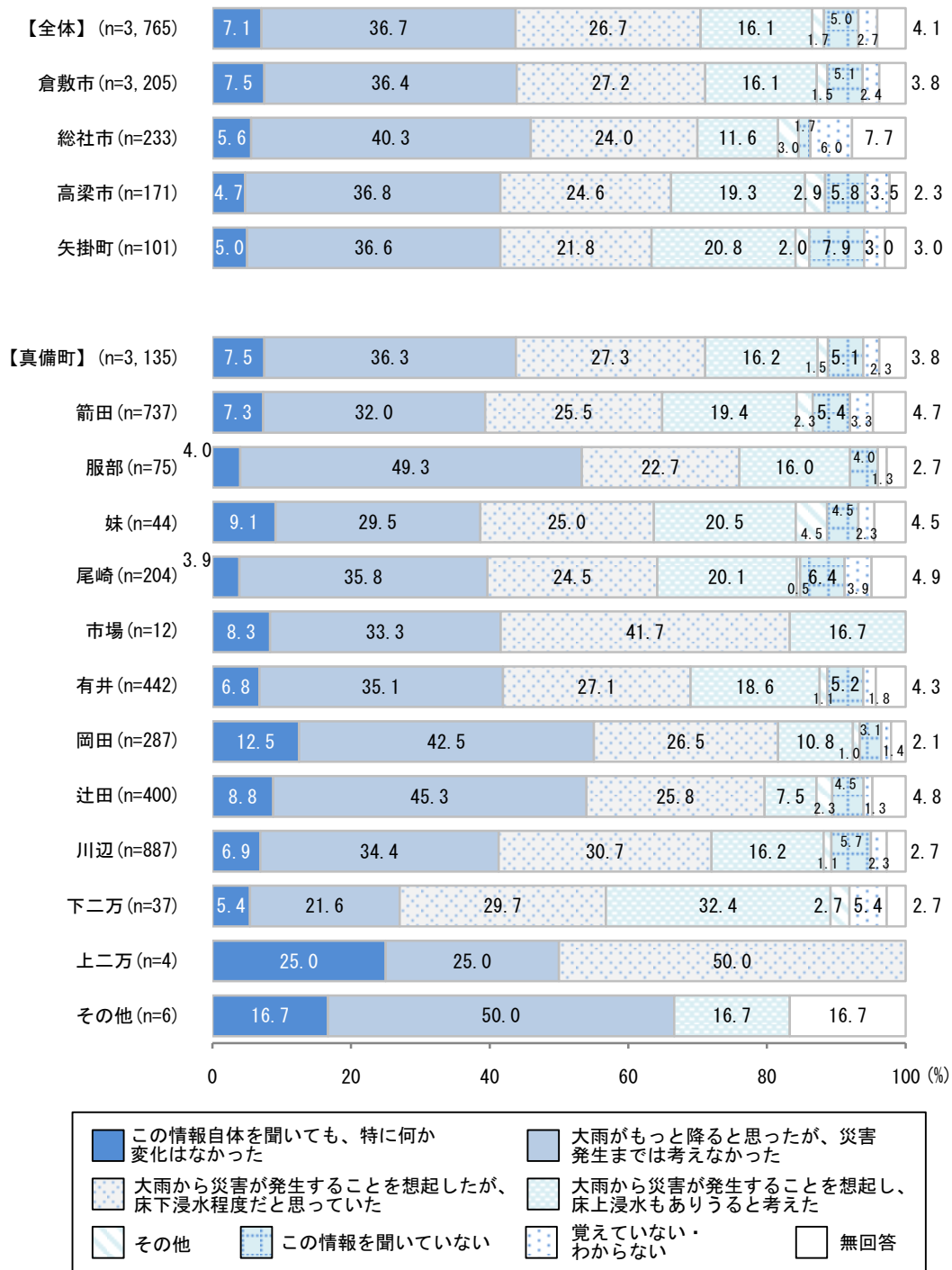
(複数回答)

「避難指示（緊急）」発令前の行動について、全体では「テレビ等をつけて放しにして情報収集した」が 50.0%と最も高く、次いで「懐中電灯など非常時の物品を出した」（23.3%）、「家族・親せきに連絡をした」（21.6%）などの順となっている。市町別にみると、「家が安全なので積極的に家に留まった」との回答は矢掛町で約3割、「外に避難するための準備をはじめた」回答は総社市で2割台半ばと高くなっている。

真備町では、「テレビ等をつけて放しにして情報収集した」が 50.4%と最も高く、次いで「懐中電灯など非常時の物品を出した」（22.1%）、「家族・親せきに連絡をした」（21.8%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難所に行った」との回答は妹で1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

問 31 「避難指示(緊急)」の情報を聞いて、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 「避難指示(緊急)」認識後の水害に対する予見】



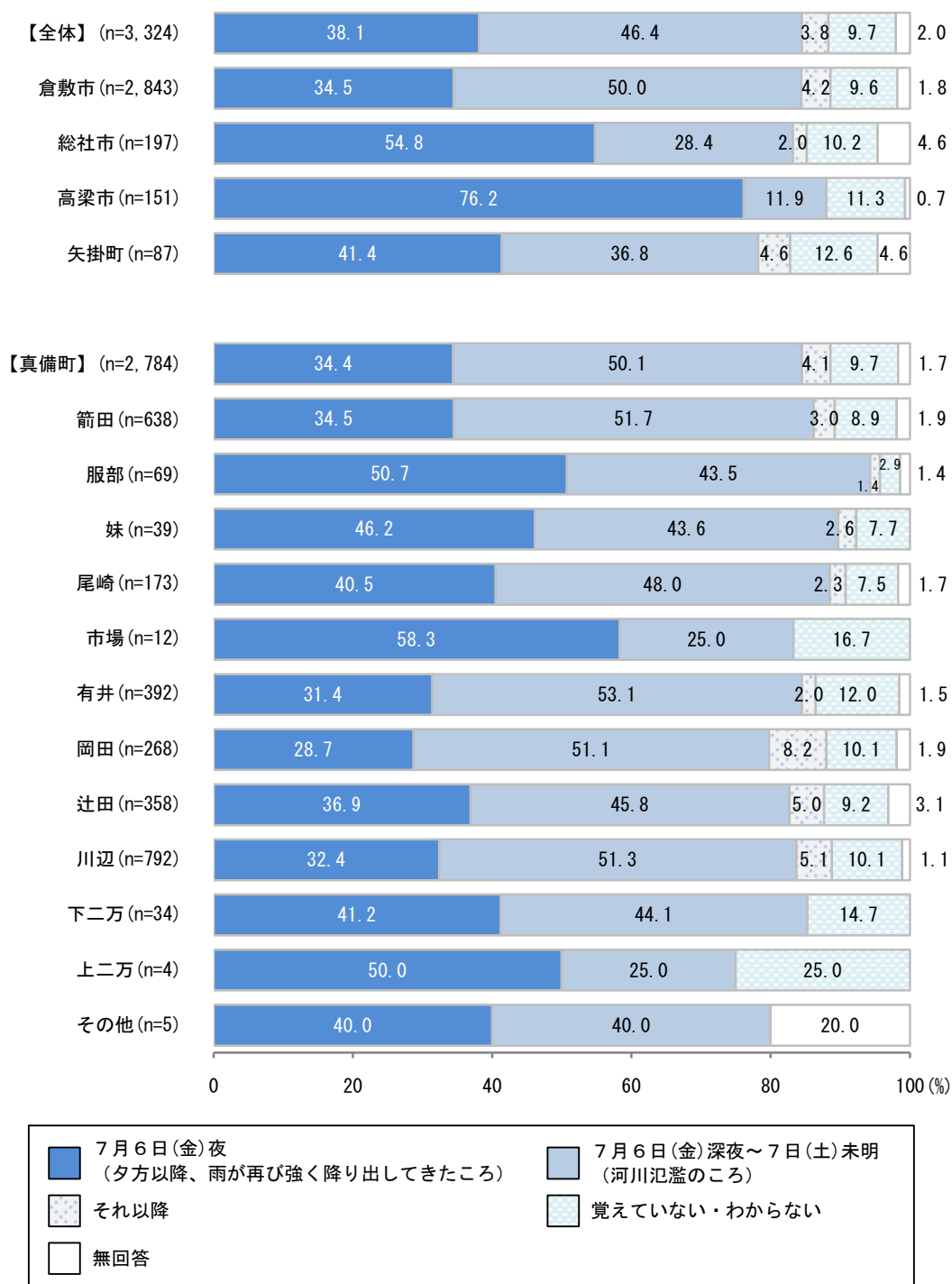
「避難指示(緊急)」認識後の水害に対する予見について、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が36.7%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」(26.7%)、「大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると考えた」(16.1%)などの順となっている。市町別にみると、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答は総社市で約4割、「大雨

から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」との回答は倉敷市で約3割、「大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると思った」との回答は高梁市、矢掛町で2割前後と高くなっている。

真備町では、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答が36.3%と最も高く、次いで「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」(27.3%)、「大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると思った」(16.2%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった」との回答は服部で約5割、「大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた」との回答は有井、川辺、下二万で3割前後と高くなっている。

問 32 「避難指示(緊急)」を、あなたはいつ聞いたように記憶していますか。だいたいでよいので、一番最初に聞いた時1つに○をつけてください。

【図表 「避難指示(緊急)」を初めて聞いた日時】



「避難指示(緊急)」を初めて聞いた日時について、「7月6日(金)深夜～7日(土)未明(河川氾濫のころ)」との回答が46.4%と最も高く、次いで「7月6日(金)夜(夕方以降、雨が再び強く降り出してきたころ)」(38.1%)などの順となっている。市町別にみると、「7月6日(金)夜(夕方以降、雨が再び強く降り出してきたころ)」との回答は高梁市で7割台半ば、「7月6日(金)深夜～7日(土)未明(河川氾濫のころ)」との回答は倉敷市で5割と高くな

っている。

真備町では、「7月6日（金）深夜～7日（土）未明（河川氾濫のころ）」との回答が50.1%と最も高く、次いで「7月6日（金）夜（夕方以降、雨が再び強く降り出してきたころ）」(34.4%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「7月6日（金）夜（夕方以降、雨が再び強く降り出してきたころ）」との回答は服部で約5割、「7月6日（金）深夜～7日（土）未明（河川氾濫のころ）」との回答は有井で5割台半ばと高くなっている。

問 33 「避難指示(緊急)」を、あなたはどこから入手しましたか。一番最初に聞いたと思われる情報源1つに○をつけてください。

【図表 「避難指示(緊急)」の最初の情報源】

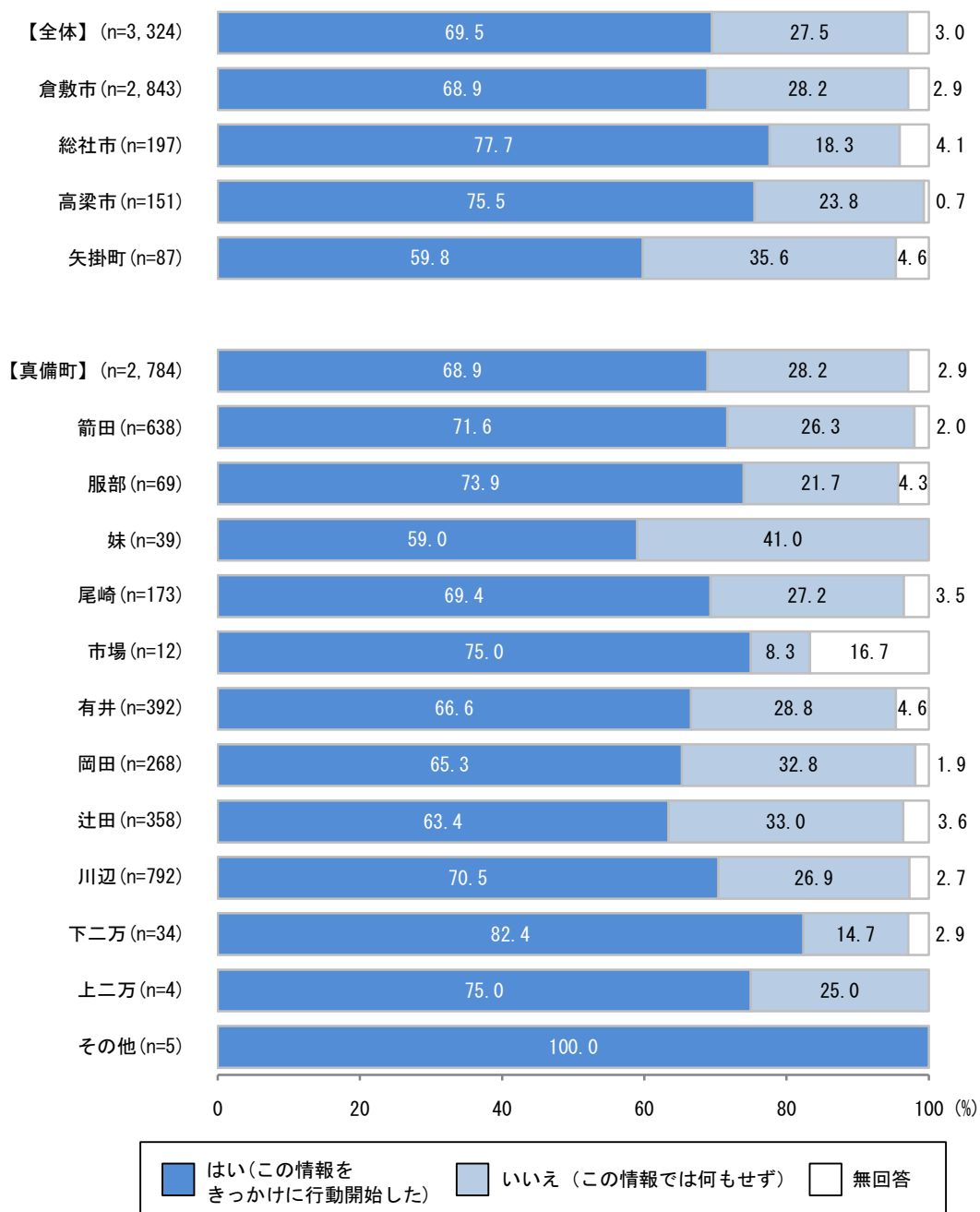
		回答者数(人)	テレビ・ラジオ	新聞	警察・自衛隊等	行政職員(避難所職員・消防)	同居している家族	別居している家族・親せき	近所の人・友人・知人	職場・仕事関係の人	インターネット	SNS(Twitter、Facebook、LINEなど)	その他	無回答
全体		3,324	33.4	0.1	7.5	6.3	4.1	6.2	0.7	8.6	6.2	16.5	10.6	
市町	倉敷市	2,843	32.9	0.1	6.3	6.3	4.0	5.6	0.5	9.3	6.4	17.9	10.7	
	総社市	197	35.5	-	15.2	5.6	4.1	7.6	1.0	5.1	5.6	9.6	10.7	
	高梁市	151	34.4	-	17.9	3.3	4.0	9.9	3.3	5.3	5.3	4.0	12.6	
	矢掛町	87	42.5	-	8.0	10.3	5.7	10.3	-	3.4	1.1	11.5	6.9	
	全体	2,784	33.1	0.1	6.2	6.3	4.0	5.7	0.5	9.3	6.4	17.8	10.6	
真備町	箭田	638	32.8	-	5.3	7.1	3.6	5.5	0.3	10.8	6.0	19.6	9.1	
	服部	69	33.3	-	15.9	2.9	2.9	11.6	1.4	5.8	4.3	10.1	11.6	
	妹	39	48.7	-	5.1	-	2.6	2.6	-	10.3	5.1	17.9	7.7	
	尾崎	173	32.4	-	8.7	4.6	4.0	8.7	0.6	4.6	7.5	17.3	11.6	
	市場	12	50.0	-	8.3	8.3	-	16.7	-	-	-	8.3	8.3	
	有井	392	32.9	0.3	5.4	5.4	3.1	4.6	0.3	11.0	5.4	19.4	12.5	
	岡田	268	32.1	-	8.6	7.5	5.2	5.2	-	8.6	8.6	14.2	10.1	
	辻田	358	41.1	-	6.7	6.4	4.5	6.4	0.6	5.0	6.4	14.8	8.1	
	川辺	792	29.7	0.1	5.2	6.2	4.2	4.5	0.6	11.4	6.6	19.3	12.2	
	下二万	34	26.5	-	2.9	14.7	8.8	11.8	-	2.9	8.8	14.7	8.8	
	上二万	4	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-	25.0	
	その他	5	40.0	-	-	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-	

「避難指示(緊急)」の最初の情報源について、「テレビ・ラジオ」との回答が33.4%と最も高く、次いで「インターネット」(8.6%)、「行政職員(避難所職員・消防・警察・自衛隊等)」(7.5%)などの順となっている。市町別にみると、「テレビ・ラジオ」との回答は矢掛町で4割超、「行政職員(避難所職員・消防・警察・自衛隊等)」との回答は高梁市で約2割と高くなっている。

真備町では、「テレビ・ラジオ」との回答が33.1%と最も高く、次いで「インターネット」(9.3%)、「SNS(Twitter、Facebook、LINEなど)」(6.4%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「テレビ・ラジオ」との回答は妹で約5割、「行政職員(避難所職員・消防・警察・自衛隊等)」との回答は服部で1割台半ば、「同居している家族」との回答は下二万で1割台半ばと高くなっている。

問 34 あなたは「避難指示(緊急)」を聞いたことをきっかけに、何らかの行動を開始しましたか。(1つに○)

【図表 「避難指示(緊急)」認識後の行動の有無】



「避難指示(緊急)」認識後の行動の有無について、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」との回答が69.5%、「いいえ(この情報では何もせず)」との回答が27.5%となっている。市町別にみると、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」との回答が総社市で約8割と高くなっている。

真備町では、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」との回答が68.9%、「いいえ(この情報では何もせず)」との回答が28.2%となっている。真備町の大字別にみると、「はい(この情報をきっかけに行動開始した)」との回答は下二万で8割超、「いいえ(この情報では何もせず)」との回答は妹で4割超と高くなっている。

問 34 付問 「1. はい」に○をつけた方のみ) 具体的にどのような対応をしましたか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 「避難指示(緊急)」認識後の具体的な行動】

		(%)													
	回答者数(人)	テレビ等をつけっ放しにして情報収集した	家族・親せきに連絡した	友人・知人に連絡をした	懐中電灯など非常時の物品を出した	家具や大切なものを上階に上げた	高齢者など要援護者を上階に上げた	家が安全なので積極的に家に留まった	外に避難するための準備をはじめた	避難所に行った	避難所に留まった	外出して雨の様子や田畑等を見た	その他	無回答	
全体	2,310	43.5	26.1	14.9	27.1	18.8	4.4	13.4	25.8	28.2	12.3	6.0	8.5	0.2	
市町	倉敷市	1,959	43.1	25.8	14.9	25.4	18.4	4.0	13.9	25.6	27.7	12.5	6.1	8.5	0.2
	総社市	153	45.1	25.5	13.1	37.9	16.3	3.3	7.8	28.1	30.1	11.1	4.6	10.5	-
	高梁市	114	49.1	34.2	18.4	38.6	25.4	6.1	7.0	28.9	31.6	13.2	7.9	7.0	-
	矢掛町	52	48.1	30.8	17.3	40.4	28.8	19.2	28.8	11.5	17.3	5.8	3.8	9.6	-
全体	1,917	43.2	25.9	14.8	25.3	18.4	4.0	14.0	25.8	27.6	12.4	6.2	8.4	0.2	
真備町	箭田	457	41.6	26.3	16.6	24.9	18.4	3.5	13.1	29.3	26.3	9.4	6.3	9.2	-
	服部	51	43.1	17.6	11.8	19.6	17.6	3.9	11.8	23.5	23.5	7.8	5.9	11.8	-
	妹	23	56.5	30.4	4.3	30.4	21.7	8.7	21.7	8.7	21.7	8.7	8.7	17.4	-
	尾崎	120	45.0	22.5	12.5	35.0	22.5	5.0	13.3	36.7	27.5	11.7	8.3	11.7	-
	市場	9	33.3	44.4	33.3	33.3	-	-	-	22.2	55.6	-	-	-	-
	有井	261	44.8	25.3	15.7	26.8	19.9	4.6	15.3	24.5	23.4	8.4	9.2	7.7	0.8
	岡田	175	42.3	26.3	14.3	25.1	23.4	5.1	16.0	15.4	26.9	13.7	4.0	6.3	1.1
	辻田	227	46.7	24.2	12.8	31.3	16.3	4.4	15.4	29.1	36.1	15.9	5.3	5.3	-
	川辺	558	42.5	27.8	15.4	21.3	16.5	3.6	13.4	24.0	27.8	15.4	5.7	9.0	-
	下二万	28	39.3	17.9	7.1	17.9	17.9	-	10.7	21.4	25.0	21.4	-	-	-
	上二万	3	-	33.3	-	-	-	-	-	100.0	33.3	33.3	-	-	-
	その他	5	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	40.0	-	-	40.0	-

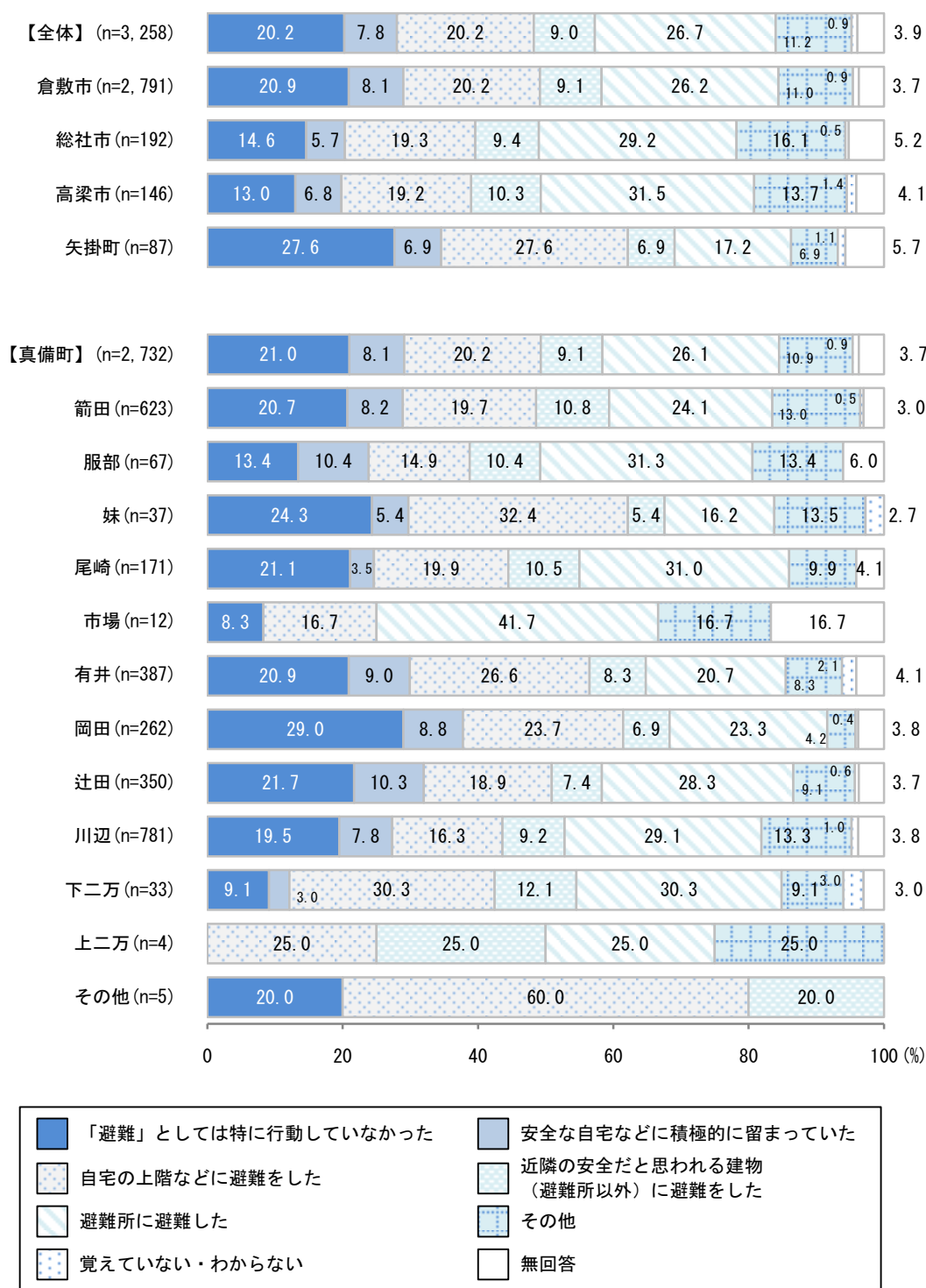
(複数回答)

「避難指示(緊急)」認識後の具体的な行動について、「テレビ等をつけっ放しにして情報収集した」が43.5%と最も高く、次いで「避難所に行った」(28.2%)、「懐中電灯など非常時の物品を出した」(27.1%)などの順となっている。市町別にみると、「家が安全なので積極的に家に留まった」回答は矢掛町で約3割と高くなっている。

真備町では、「テレビ等をつけっ放しにして情報収集した」が43.2%と最も高く、次いで「避難所に行った」(27.6%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「外に避難するための準備をはじめた」の回答は尾崎で3割台半ば、「避難所に行った」回答は辻田で3割台半ばと高くなっている。

問 35 あなたは避難指示(緊急)が発令されていると認識した時点で「避難」(家の上階へ行く垂直避難も含む)をしていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 「避難指示(緊急)」認識後の避難の有無】



「避難指示(緊急)」認識後の避難の有無について、「避難所に避難した」との回答が26.7%と最も高く、次いで「「避難」としては特に行動していなかった」、「自宅の上階などに避難をした」(ともに20.2%)などの順となっている。市町別にみると、「「避難」としては特に行動し

ていなかった」、「自宅の上階などに避難した」との回答は矢掛町で約3割と高くなっている。

真備町では、「避難所に避難した」との回答が26.1%と最も高く、次いで「避難」としては特に行動していなかった」(21.0%)、「自宅の上階などに避難をした」(20.2%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難」としては特に行動していなかった」との回答は岡田で約3割、「自宅の上階などに避難した」との回答は妹、下二万で3割台と高くなっている。

問 36 問 35 で「避難をした人」「避難をしなかった人」ともに、その理由を教えてください。
以下のあてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 「避難指示(緊急)」認識後に避難しなかった理由・避難した理由(避難の有無別)】

		回答者数(人)	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物に被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		3,101	17.7	5.6	2.6	2.7	6.4	21.4	8.9	9.9	3.6	10.8	2.8	4.5	3.3	8.8	13.8	4.7	9.5	
か 避 け な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	659	8.3	1.1	1.7	1.7	12.1	10.5	5.0	3.5	2.9	8.6	0.2	1.2	0.6	3.0	5.3	2.1	2.1	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	255	20.0	2.4	1.2	0.4	18.8	18.8	9.8	9.4	3.1	14.9	1.2	2.0	1.6	3.9	6.7	0.8	3.5	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	659	16.5	2.1	4.2	0.6	9.4	40.4	13.5	7.4	5.5	17.5	0.3	1.1	1.1	3.9	6.2	3.2	5.8	
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	294	19.0	13.9	3.4	6.8	0.7	27.2	7.1	15.6	3.7	10.9	6.1	3.4	1.4	15.0	24.5	5.8	12.2	
	避難所に避難した	869	24.7	9.9	2.0	4.1	0.5	15.5	9.9	14.8	3.6	7.1	5.9	10.8	8.4	16.5	21.4	8.3	19.2	
全体		3,101	6.3	20.6	7.5	19.5	1.2	8.9	1.3	13.7	1.4	11.5	6.3	10.1	4.4	11.7	0.9	2.6		
か 避 け な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	659	12.9	20.6	14.9	18.5	0.5	19.9	2.7	32.8	3.6	31.4	4.2	3.3	1.5	9.4	2.4	2.7		
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	255	12.2	50.6	23.1	39.6	0.8	18.4	2.0	25.5	3.5	21.2	7.8	4.3	1.6	9.0	-	1.6		
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	659	8.0	35.2	10.2	53.6	3.5	8.3	2.1	16.5	1.5	10.5	19.6	6.5	2.6	6.4	-	0.9		
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	294	1.7	13.6	0.3	4.8	1.0	2.4	-	3.4	-	2.0	0.7	17.0	10.2	8.2	0.3	2.4		
	避難所に避難した	869	1.7	7.9	0.2	0.6	0.6	2.1	0.1	1.5	0.1	0.9	0.3	17.6	6.0	11.3	0.6	2.5		

(複数回答)

「避難指示(緊急)」認識後に「避難しなかった人の理由」について、「避難」としては特に行動していなかった人は「たいしたことがないと思ったから」、「避難するのを感じなかったから」との回答が3割超、安全な自宅などに積極的に留まっていた人は「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が約5割、「2階以上に上がればよいから」との回答が約4割と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約4割、「2階以上に上がればよいから」との回答が5割台半ば、近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約3割、「家族・親せきに言われたから」との回答が2割台半ばと高くなっている。避難所に避難した人は「雨が降っていたから」との回答が2割台半ば、「家族・親せきに言われたから」との回答が2割超と高くなっている。

(1) 倉敷市

【図表 「避難指示(緊急)」認識後に避難しなかった理由・避難した理由(避難の有無別)】

		回答者数(人)	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		2,663	17.9	5.3	2.0	2.7	6.4	19.7	8.2	10.6	3.3	10.9	2.8	4.4	3.0	7.7	14.2	2.9	10.1	
か 避 難 し な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	583	9.1	0.9	1.0	1.5	11.5	10.5	4.1	3.9	2.4	9.1	0.2	1.4	0.7	3.1	5.7	0.9	2.4	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	227	20.3	2.6	1.3	-	18.5	17.6	9.3	9.7	2.2	15.0	1.3	1.8	1.8	4.0	7.0	0.9	3.5	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	563	16.5	2.0	4.3	0.5	9.2	39.4	13.3	7.6	5.5	16.9	0.4	0.5	0.7	3.4	6.7	2.5	6.0	
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	253	19.4	14.2	3.6	7.5	0.4	24.1	5.5	15.4	3.6	11.1	6.7	4.0	1.6	12.3	23.3	5.5	13.0	
	避難所に避難した	731	24.5	9.0	0.8	4.1	0.5	11.8	8.9	16.4	3.3	7.3	5.6	10.7	7.3	14.0	22.4	4.7	20.4	
全体		2,663	6.8	20.7	7.8	19.9	1.2	9.4	1.3	14.8	1.5	11.9	6.4	10.1	4.8	12.1	0.9	2.5		
か 避 難 し な か つ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	583	12.9	21.1	14.9	17.8	0.3	20.4	2.6	33.8	3.9	31.7	4.6	3.4	1.7	9.8	2.2	2.7		
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	227	12.8	52.9	24.2	40.1	0.9	18.9	1.8	26.4	3.5	21.6	7.0	4.4	1.3	9.7	-	1.3		
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	563	9.1	34.1	10.1	55.1	3.6	9.2	2.3	18.5	1.6	10.8	20.4	5.9	2.8	6.4	-	1.1		
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	253	2.0	13.4	0.4	4.3	1.2	2.4	-	3.6	-	2.0	0.8	17.8	10.7	9.1	0.4	2.4		
	避難所に避難した	731	2.1	7.5	0.3	0.7	0.7	2.1	0.1	1.8	0.1	1.0	0.4	17.5	6.7	12.0	0.7	2.3		

(複数回答)

「避難指示(緊急)」認識後に「避難しなかった人の理由」について、倉敷市では「避難」としては特に行動していなかった人は「たいしたことがないと思ったから」との回答が3割台半ば、「避難するのを感じなかったから」との回答が3割超、安全な自宅などに積極的に留まっていた人は「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が5割超、「2階以上に上がればよいから」との回答が約4割と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約4割、「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が3割台半ば、「2階以上に上がればよいから」との回答が5割台半ば、近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」、「家族・親せきに言われたから」との回答が2割台半ばと高くなっている。避難所に避難した人は「雨が降っていたから」との回答が2割台半ば、「家族・親せきに言われたから」との回答が2割超、「防災行政無線などの情報を得たから」との回答が約2割と高くなっている。

(2) 総社市

【図表 「避難指示(緊急)」認識後に避難しなかった理由・避難した理由(避難の有無別)】

		回答者数(人)	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えたから	周囲や道路が冠水していたから	家族に高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ベットのいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		181	16.0	6.1	7.2	4.4	7.7	26.0	9.4	5.5	3.3	7.2	2.2	5.5	5.0	16.0	14.4	17.7	7.2	
か 避 難 し な か っ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	28	7.1	-	3.6	3.6	25.0	7.1	3.6	-	3.6	3.6	-	-	-	7.1	7.1	25.0	-	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	11	18.2	-	-	-	9.1	9.1	9.1	18.2	-	27.3	-	-	-	-	-	9.1	-	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	37	16.2	5.4	-	2.7	16.2	29.7	13.5	8.1	5.4	13.5	-	8.1	2.7	8.1	5.4	5.4	5.4	
	近隣の安全と思われる建物(避難所以外)に避難をした	18	-	-	-	5.6	-	38.9	16.7	11.1	-	5.6	-	-	-	38.9	38.9	11.1	11.1	
	避難所に避難した	56	28.6	16.1	12.5	5.4	-	39.3	12.5	5.4	5.4	3.6	7.1	10.7	14.3	26.8	14.3	21.4	16.1	
全体		181	3.9	18.8	8.3	14.4	-	5.5	1.7	6.6	0.6	9.9	3.9	12.2	2.2	12.7	-	-	4.4	
か 避 難 し な か っ た 人	「避難」としては特に行動していなかった	28	14.3	25.0	21.4	17.9	-	14.3	10.7	21.4	3.6	35.7	3.6	3.6	-	3.6	-	-	3.6	
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	11	18.2	27.3	18.2	27.3	-	18.2	-	18.2	-	18.2	-	9.1	9.1	9.1	-	-	9.1	
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	37	2.7	37.8	18.9	43.2	-	5.4	-	8.1	-	10.8	10.8	16.2	-	10.8	-	-	-	
	近隣の安全と思われる建物(避難所以外)に避難をした	18	-	16.7	-	11.1	-	-	-	5.6	-	5.6	-	11.1	11.1	5.6	-	-	5.6	
	避難所に避難した	56	-	8.9	-	-	-	3.6	-	-	-	1.8	-	17.9	1.8	10.7	-	-	3.6	

(複数回答)

「避難指示(緊急)」認識後に「避難しなかった人の理由」について、総社市では「避難」としては特に行動していなかった人は「電気・ガス・水道などのライフラインが使えたから」、「消防・警察などに言われたから」、「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が2割台半ば、「避難するの必要を感じなかったから」との回答が3割台半ばと高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が約4割、「2階以上に上がればよいから」との回答が4割台半ば、避難所に避難した人は「雨が降っていたから」との回答が約3割、「周囲や道路が冠水していたから」との回答が約4割、「近所の人に言われたから」との回答が2割台半ばと高くなっている。

(3) 高梁市

【図表 「避難指示(緊急)」認識後に避難しなかった理由・避難した理由(避難の有無別)】

		回答者数(人)	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物に被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思っただから	行政の支援が得られると思っただから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		138	19.6	10.9	7.2	0.7	4.3	31.9	14.5	8.0	7.2	13.0	4.3	7.2	5.1	16.7	10.1	17.4	5.8	
か 避 難 し な 人	「避難」としては特に行動していなかった	19	-	10.5	15.8	-	15.8	10.5	15.8	-	5.3	10.5	-	-	-	-	-	-	5.3	-
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	10	10.0	-	-	-	20.0	30.0	20.0	-	20.0	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	10.0
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	28	25.0	3.6	14.3	-	3.6	53.6	14.3	7.1	7.1	28.6	-	-	-	3.6	7.1	3.6	14.3	3.6
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	15	33.3	26.7	-	-	-	40.0	6.7	26.7	6.7	6.7	6.7	-	-	-	26.7	26.7	6.7	6.7
	避難所に避難した	46	28.3	17.4	4.3	2.2	-	32.6	17.4	8.7	4.3	10.9	8.7	15.2	13.0	37.0	17.4	37.0	10.9	
		回答者数(人)	雨がそれほどひどくなかったから	そこにいる方が安全だと思っただから	建物に被害がなかったから	2階以上に上がればよいから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していなかったから	家族が高齢者がいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	避 難 す る の が 面 倒 だ つ た か ら	避 難 す る の 必 要 を 感 じ な か つ た か ら	避 難 す る の 必 要 を 感 じ な か つ た か ら	避 難 す る の 必 要 を 感 じ な か つ た か ら	テレ ビ ・ ラ ジ オ な ど の 情 報 を 得 た か ら	F a c e b o o k k e t t e r 等 で 情 報 を 得 た か ら	その他	特に理由がない	無回答	
全体		138	2.9	18.1	5.8	15.2	0.7	4.3	0.7	4.3	-	4.3	7.2	10.1	2.9	6.5	0.7	2.9		
か 避 難 し な 人	「避難」としては特に行動していなかった	19	15.8	5.3	21.1	15.8	-	21.1	-	15.8	-	21.1	-	5.3	-	-	-	15.8	5.3	-
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	10	-	40.0	20.0	50.0	-	10.0	10.0	20.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-
避 難 し た 人	自宅の上階などに避難をした	28	3.6	39.3	3.6	42.9	3.6	-	-	3.6	-	-	25.0	3.6	3.6	-	-	-	-	-
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	15	-	13.3	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	13.3	6.7	-	-	-	-	-
	避難所に避難した	46	-	10.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.7	4.3	2.2	-	2.2		

(複数回答)

「避難指示(緊急)」認識後に「避難した人の理由」について、高梁市では自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が5割台半ば、「そこにいる方が安全だと思っただから」との回答が約4割、「2階以上に上がればよいから」との回答が4割超、避難所に避難した人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が3割超、「近所の人に言われたから」、「消防・警察などに言われたから」との回答が約4割と高くなっている。

(4) 矢掛町

【図表 「避難指示(緊急)」認識後に避難しなかった理由・避難した理由(避難の有無別)】

		回答者数(人)	雨が降っていたから	建物の安全性が不安だったから	建物の被害があったから	平屋だったから	電気・ガス・水道などのライフラインが使えなかったから	周囲や道路が冠水していたから	家族が高齢者がいたから	家族に乳幼児・子どもがいたから	家族に特別なケアを必要とする人がいたから	ペットがいたから	とにかく人のいるところに行きたかったから	情報や物資が得られると思ったから	行政の支援が得られると思ったから	近所の人に言われたから	家族・親せきに言われたから	消防・警察などに言われたから	防災行政無線などの情報を得たから
全体		81	11.1	3.7	4.9	3.7	12.3	44.4	17.3	1.2	8.6	11.1	1.2	-	3.7	8.6	7.4	8.6	2.5
避難しなかった人	「避難」としては特に行動していなかった	24	-	-	4.2	4.2	12.5	12.5	20.8	-	12.5	4.2	-	-	-	-	-	-	-
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	6	16.7	-	-	16.7	50.0	66.7	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-
避難した人	自宅の上階などに避難をした	24	12.5	-	-	-	12.5	66.7	20.8	4.2	4.2	16.7	-	-	4.2	4.2	-	4.2	4.2
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	83.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	16.7	33.3	-	-
	避難所に避難した	15	13.3	6.7	6.7	6.7	-	40.0	13.3	-	13.3	6.7	6.7	-	13.3	26.7	13.3	40.0	6.7
全体		81	3.7	27.2	3.7	28.4	3.7	7.4	-	14.8	2.5	13.6	4.9	6.2	-	8.6	2.5	2.5	-
避難しなかった人	「避難」としては特に行動していなかった	24	12.5	20.8	4.2	37.5	4.2	16.7	-	41.7	-	25.0	-	-	-	4.2	4.2	4.2	-
	安全な自宅などに積極的に留まっていた	6	-	33.3	-	33.3	-	16.7	-	16.7	16.7	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
避難した人	自宅の上階などに避難をした	24	-	54.2	8.3	50.0	8.3	-	-	4.2	4.2	12.5	8.3	8.3	-	8.3	-	-	-
	近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-
	避難所に避難した	15	-	13.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.3	-	6.7	-	-	6.7

(複数回答)

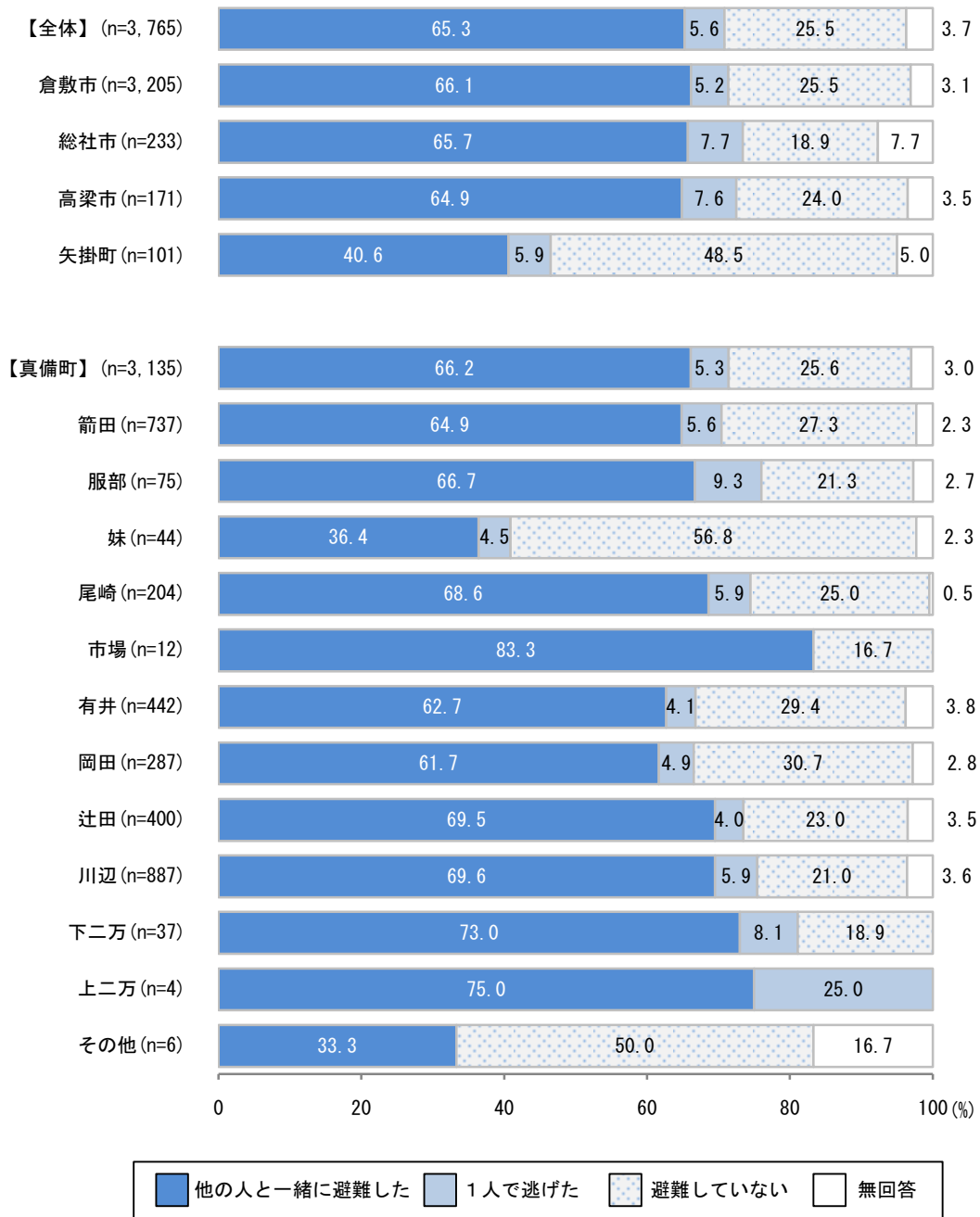
「避難指示(緊急)」認識後に「避難しなかった人の理由」について、矢掛町では「避難」としては特に行動していなかった人は「2階以上に上がればよいから」との回答が約4割、「たいしたことがないと思ったから」との回答が4割超と高くなっている。

一方、「避難した人の理由」について、自宅の上階などに避難をした人は「周囲や道路が冠水していたから」との回答が6割台半ば、「そこにいる方が安全だと思ったから」との回答が5割台半ば、「2階以上に上がればよいから」との回答が5割と高くなっている。

5 災害発生時の避難行動

問 37 水害の時、家以外の建物へ避難しましたか。また、避難した場合は誰かと一緒に避難しましたか。(1つに○)

【図表 避難の有無】



避難の有無について、「他の人と一緒に避難した」との回答が65.3%、「1人で逃げた」との回答が5.6%、「避難していない」との回答が25.5%となっている。市町別にみると、「避難していない」との回答は矢掛町で約5割と高くなっている。

真備町では、「他の人と一緒に避難した」との回答が66.2%、「1人で逃げた」との回答が5.3%、「避難していない」との回答が25.6%となっている。真備町の大字別にみると、「避難していない」との回答は妹で5割台半ばと高くなっている。

問 37 付問 1 「1.他の人と一緒に逃げた」方のみ）あなたは誰と一緒に逃げましたか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

【図表 一緒に避難した人】

		回答者数(人)	自宅内の家族	自宅外の家族や親せき	近所の人	通りがかりの人	警察	消防	消防団	自主防災組織	行政(役場の人など)	町内会・婦人会	民生委員	ホームヘルパー	医療関係者	保健福祉関係者	その他	無回答
全体		2,459	78.4	18.7	21.7	0.5	0.8	1.7	1.6	1.2	0.6	1.2	0.2	0.3	0.4	0.4	3.6	0.2
市町	倉敷市	2,120	79.4	18.9	21.1	0.6	0.8	1.3	1.0	0.8	0.3	0.9	0.1	0.3	0.2	0.3	3.7	0.3
	総社市	153	75.2	20.3	19.6	-	1.3	3.9	3.9	7.2	3.3	3.3	1.3	-	1.3	1.3	5.2	-
	高梁市	111	66.7	18.0	36.9	-	-	4.5	5.4	0.9	-	1.8	0.9	0.9	0.9	2.7	0.9	-
	矢掛町	41	73.2	4.9	19.5	-	-	4.9	12.2	-	4.9	2.4	-	-	-	-	-	-
全体		2,075	79.5	18.7	21.0	0.6	0.8	1.3	1.0	0.8	0.3	1.0	0.1	0.2	0.2	0.3	3.7	0.3
真備町	箭田	478	79.3	17.4	18.8	1.0	0.4	3.1	0.4	0.4	0.2	1.0	-	0.4	-	0.8	3.6	-
	服部	50	80.0	20.0	26.0	-	-	2.0	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-
	妹	16	87.5	43.8	-	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	尾崎	140	70.7	9.3	36.4	0.7	-	0.7	-	1.4	-	3.6	0.7	-	-	-	6.4	0.7
	市場	10	80.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有井	277	78.7	18.1	27.8	0.7	1.1	1.4	1.4	0.7	0.4	2.2	0.4	0.4	-	-	6.9	1.1
	岡田	177	81.4	19.2	19.8	0.6	-	0.6	1.1	1.1	-	-	-	0.6	-	-	3.4	-
	辻田	278	84.5	19.4	21.6	0.4	0.7	-	1.1	1.4	0.4	0.7	-	-	0.4	-	2.2	-
	川辺	617	79.3	20.9	16.7	0.2	1.5	0.3	1.3	0.8	0.6	0.2	-	0.2	0.5	0.3	3.2	0.2
	下二万	27	74.1	25.9	11.1	-	-	11.1	3.7	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7
	上二万	3	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(複数回答)

一緒に避難した人について、「自宅内の家族」が 78.4%と最も高く、次いで「近所の人」(21.7%)、「自宅外の家族や親せき」(18.7%)などの順となっている。市町別にみると、「近所の人」回答は高梁市で3割台半ばと高くなっている。

真備町では、「自宅内の家族」が 79.5%と最も高く、次いで「近所の人」(21.0%)、「自宅外の家族や親せき」(18.7%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「近所の人」回答は尾崎で3割台半ばと高くなっている。

問 37 付問 2 「1. 他の人と一緒に逃げた」方のみ）あなたはなぜその人と一緒に逃げたのですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 その人と一緒に避難した理由】

		回答者数（人）	逃げるように促されたから	一緒に逃げようと誘われたから	一緒に逃げようと誘ったから	その人を避難所に連れていく必要があったから	特に理由なく一緒に逃げることになった	その他	無回答
全体		2,459	22.8	18.0	25.1	12.0	7.8	10.9	18.7
市町	倉敷市	2,120	22.5	18.8	25.9	11.5	8.0	10.8	18.3
	総社市	153	24.8	12.4	19.0	10.5	9.2	13.1	24.2
	高梁市	111	28.8	14.4	22.5	20.7	5.4	6.3	17.1
	矢掛町	41	22.0	9.8	19.5	19.5	2.4	19.5	17.1
	全体	2,075	22.5	18.6	25.9	11.5	8.0	10.9	18.4
真備町	筋田	478	20.1	18.6	25.9	12.1	7.1	11.7	18.8
	服部	50	22.0	28.0	30.0	8.0	6.0	-	20.0
	妹	16	18.8	6.3	43.8	12.5	-	12.5	18.8
	尾崎	140	21.4	20.0	26.4	12.1	6.4	10.7	17.1
	市場	10	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	20.0	-
	有井	277	23.5	16.2	24.2	8.3	11.6	13.7	18.8
	岡田	177	25.4	19.2	22.0	15.3	5.6	9.0	21.5
	辻田	278	25.9	14.7	24.1	10.8	10.4	10.4	19.8
	川辺	617	21.4	20.6	27.6	11.3	7.5	10.5	16.7
	下二万	27	25.9	14.8	25.9	18.5	7.4	11.1	18.5
	上二万	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	33.3
	その他	2	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0

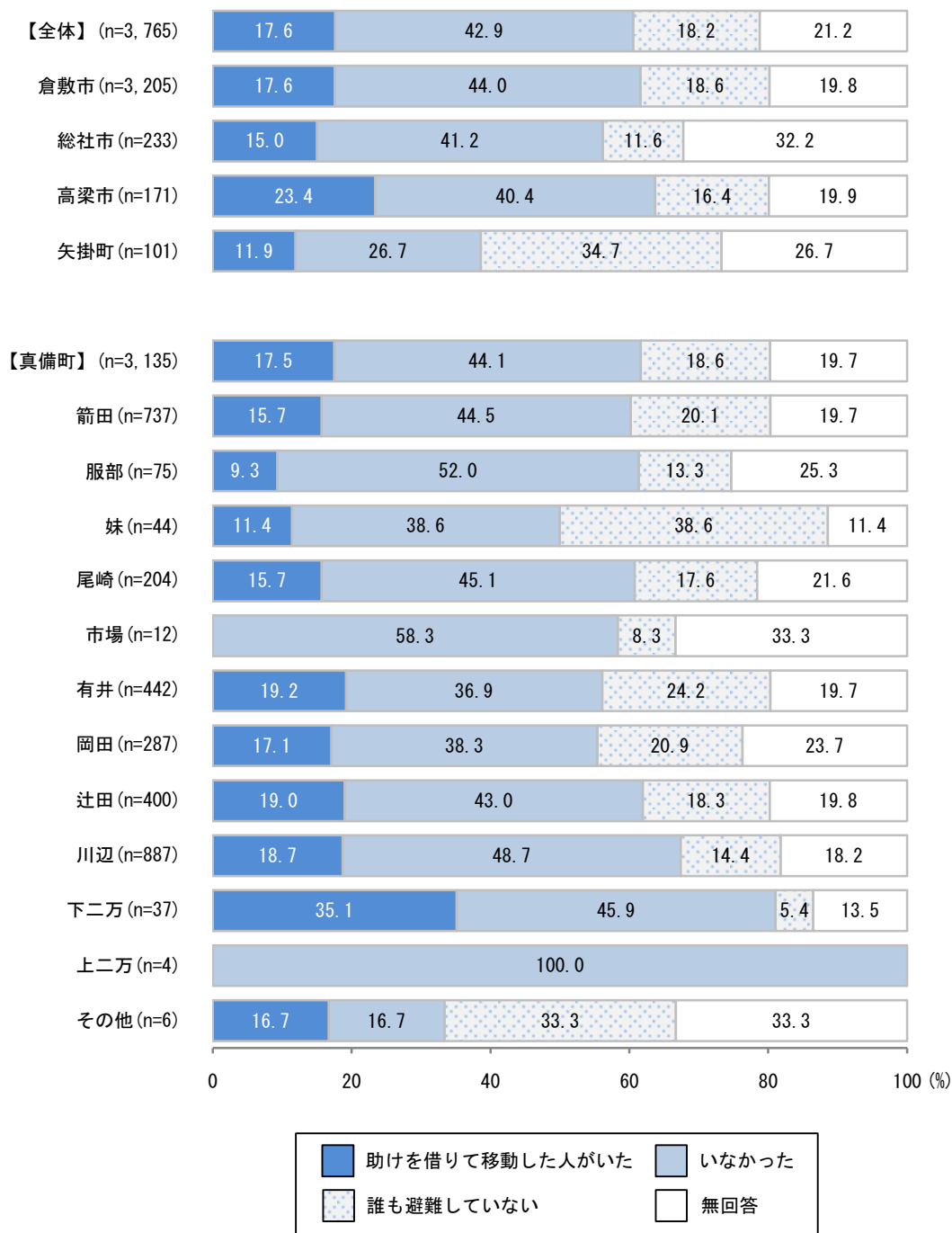
(複数回答)

その人と一緒に避難した理由について、「一緒に逃げようと誘ったから」との回答が 25.1% と最も高く、次いで「逃げるように促されたから」(22.8%)、「一緒に逃げようと誘われたから」(18.0%) などの順となっている。市町別にみると、「逃げるように促されたから」との回答は高梁市で約 3 割、「一緒に逃げようと誘われたから」との回答は倉敷市で約 2 割、「その人を避難所に連れて行く必要があったから」との回答は高梁市、矢掛町で 2 割前後と高くなっている。

真備町では、「一緒に逃げようと誘ったから」との回答が 25.9% と最も高く、次いで「逃げるように促されたから」(22.5%)、「一緒に逃げようと誘われたから」(18.6%) などの順となっている。真備町の大字別にみると、「一緒に逃げようと誘われたから」との回答は服部で約 3 割、「一緒に逃げようと誘ったから」との回答は服部、川辺で 3 割前後と高くなっている。

問 38 水害の時、あなたを含むご家族は、家以外の建物へ避難しましたか。また、誰かの助けを借りて移動した人はいますか。(1つに○)

【図表 避難時に助けを必要とした人の有無】



避難時に助けを必要とした人の有無について、「助けを借りて移動した人がいた」との回答が17.6%、「いなかった」との回答が42.9%、「誰も避難していない」との回答が18.2%となっている。市町別にみると、「助けを借りて移動した人がいた」との回答は高梁市で2割台半ば、「誰も避難していない」との回答は矢掛町で3割台半ばと高くなっている。

真備町では、「助けを借りて移動した人がいた」との回答が17.5%、「いなかった」との回答が44.1%、「誰も避難していない」との回答が18.6%となっている。真備町の大字別にみると、

「助けを借りて移動した人がいた」との回答は下二万で3割台半ば、「いなかった」との回答は服部で5割超、「誰も避難していない」との回答は妹で約4割と高くなっている。

問 38 付問 1 それほどのような方ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

【図表 避難時に助けを必要とした人】

		回答者数 (人)	(%)						
			乳幼児	高齢者	体の不自由な方	妊娠されている方	けがをした方	その他	無回答
全体		663	19.5	50.5	14.2	2.6	0.9	24.9	3.0
市町	倉敷市	564	20.7	49.1	12.8	2.3	0.5	26.4	3.4
	総社市	35	8.6	54.3	22.9	5.7	2.9	22.9	2.9
	高梁市	40	17.5	55.0	22.5	2.5	2.5	15.0	-
	矢掛町	12	8.3	83.3	16.7	8.3	-	8.3	-
全体		550	20.9	49.3	12.7	2.4	0.5	26.0	3.5
真備町	箭田	116	17.2	57.8	14.7	0.9	1.7	23.3	1.7
	服部	7	28.6	57.1	14.3	-	-	-	-
	妹	5	20.0	60.0	40.0	-	-	-	-
	尾崎	32	15.6	43.8	18.8	-	-	31.3	6.3
	市場	0	-	-	-	-	-	-	-
	有井	85	21.2	44.7	14.1	2.4	1.2	29.4	4.7
	岡田	49	16.3	55.1	6.1	2.0	-	26.5	4.1
	辻田	76	14.5	48.7	14.5	-	-	32.9	2.6
	川辺	166	29.5	44.6	9.6	5.4	-	24.1	3.6
	下二万	13	7.7	53.8	7.7	-	-	23.1	7.7
上二万	0	-	-	-	-	-	-	-	
その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	

(複数回答)

避難時に助けを必要とした人について、「高齢者」との回答が50.5%と最も高く、次いで「乳幼児」(19.5%)、「体の不自由な方」(14.2%)などの順となっている。市町別にみると、「乳幼児」回答は総社市で1割未満と低くなっている。

真備町では、「高齢者」との回答が49.3%と最も高く、次いで「乳幼児」(20.9%)、「体の不自由な方」(12.7%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「高齢者」回答は箭田で約6割と高くなっている。

問 39 水害の時、あなたは家以外の建物へ避難しましたか。また、避難した場合は、避難中または避難した場所でどのようなご苦労がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 避難時に感じた苦労】

		(%)														
	回答者数(人)	あたりが水没し、途中で行く手をばまれた	避難した場所ので取り残された	命の危険があり救助を待っていた	連絡手段がなかった	必要な物を入手できなかった	必要な情報を入手できなかった	暑かった	食欲がなかった	眠れなかった	朝昼晩の時間感覚がなかった	強い恐怖を感じた	その他	避難していない	無回答	
全体	3,765	13.3	4.6	7.2	7.3	17.1	26.1	18.2	13.1	41.5	8.0	20.7	10.6	20.7	10.4	
市町	倉敷市	3,205	13.3	5.0	7.9	8.0	18.2	27.2	18.7	13.2	41.1	8.3	21.0	10.8	20.9	9.3
	総社市	233	13.3	2.6	1.3	3.0	9.9	19.3	18.9	11.6	48.9	6.4	16.7	9.0	15.5	18.5
	高梁市	171	13.5	2.3	4.7	2.3	10.5	25.1	10.5	15.8	45.0	7.0	22.2	11.7	20.5	10.5
	矢掛町	101	14.9	1.0	4.0	1.0	8.9	8.9	11.9	7.9	28.7	3.0	11.9	5.9	36.6	18.8
全体	3,135	13.3	5.0	7.9	8.1	18.2	27.3	18.8	13.2	41.1	8.2	21.0	10.8	21.0	9.2	
真備町	箭田	737	12.3	4.6	8.7	10.4	18.9	27.0	18.0	12.6	43.1	6.0	22.3	12.5	22.7	6.9
	服部	75	5.3	5.3	5.3	6.7	13.3	30.7	18.7	18.7	48.0	18.7	21.3	6.7	16.0	10.7
	妹	44	9.1	6.8	-	9.1	15.9	15.9	6.8	13.6	27.3	6.8	18.2	4.5	47.7	4.5
	尾崎	204	16.2	6.9	4.9	9.3	26.5	35.8	25.0	17.6	48.0	10.8	23.0	12.3	19.6	8.8
	市場	12	16.7	-	-	8.3	25.0	50.0	16.7	16.7	41.7	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7
	有井	442	14.0	5.0	11.8	8.6	16.5	26.7	17.4	11.8	38.2	7.0	20.6	9.5	26.0	10.2
	岡田	287	10.1	1.7	4.2	5.6	18.1	26.8	22.6	15.0	37.6	7.7	20.6	8.4	23.0	9.8
	辻田	400	11.8	4.5	7.0	6.3	16.8	24.3	18.5	12.3	41.0	11.3	18.8	10.3	20.0	10.5
	川辺	887	15.8	6.3	8.2	7.3	18.0	28.5	18.2	12.9	40.1	7.3	20.7	11.5	17.1	9.6
	下二万	37	16.2	2.7	16.2	5.4	10.8	8.1	16.2	8.1	51.4	13.5	29.7	10.8	5.4	8.1
	上二万	4	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	-	-	50.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	16.7	-	33.3	16.7	-	16.7	33.3	16.7

(複数回答)

避難時に感じた苦労について、「眠れなかった」との回答が 41.5%と最も高く、次いで「必要な情報を入手できなかった」(26.1%)、「強い恐怖を感じた」(20.7%)、「暑かった」(18.2%)などの順となっている。また、「避難していない」との回答が 20.7%となっている。市町別にみると、「必要な物を入手できなかった」との回答は倉敷市で約 2 割、「必要な情報を入手できなかった」との回答は倉敷市、高梁市で 2 割台、「暑かった」との回答は倉敷市、総社市で約 2 割、「眠れなかった」との回答は総社市で約 5 割と高くなっている。また、「避難していない」との回答が矢掛町で 3 割台半ばと高くなっている。

真備町では、「眠れなかった」との回答が 41.1%、「必要な情報を入手できなかった」との回答が 27.3%、「強い恐怖を感じた」との回答が 21.0%などの順となっている。真備町の大字別にみると、「必要な物を入手できなかった」との回答は尾崎で 2 割台半ば、「必要な情報を入手できなかった」との回答は尾崎で 3 割台半ば、「眠れなかった」との回答は服部、尾崎、下二万で 5 割前後、「強い恐怖を感じた」との回答は下二万で約 3 割と高くなっている。また、「避難していない」との回答は妹で約 5 割と高くなっている。

6 豪雨災害による被害・影響

問 40 今回の災害が原因で、あなたや同居されていた方の中で、ケガや病気をされた方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【図表 災害を原因とする家族のケガや病気】

		回答者数（人）						(%)
			全員、ケガも病気もしなかった	ケガや病気をしたが、入院はしなかった	ケガや病気で、入院した	行方不明になった人がいる	亡くなった人がいる	無回答
全体		3,765	71.0	13.2	6.5	0.1	0.7	8.8
市町	倉敷市	3,205	71.7	13.3	6.8	0.1	0.7	7.8
	総社市	233	69.1	12.4	3.0	-	0.4	15.0
	高梁市	171	69.6	11.7	7.6	-	1.2	10.5
	矢掛町	101	65.3	13.9	4.0	-	-	16.8
全体		3,135	71.9	13.3	6.7	0.1	0.6	7.7
真備町	箭田	737	72.3	13.3	6.2	0.1	0.5	7.7
	服部	75	64.0	13.3	4.0	1.3	-	17.3
	妹	44	72.7	15.9	9.1	-	-	2.3
	尾崎	204	65.7	17.2	9.8	-	0.5	7.4
	市場	12	66.7	8.3	8.3	-	-	16.7
	有井	442	73.3	12.9	5.0	-	1.6	7.5
	岡田	287	72.8	11.5	9.1	-	0.7	7.0
	辻田	400	75.0	10.8	7.0	-	0.5	6.8
	川辺	887	71.4	14.3	6.3	0.1	0.5	7.9
	下二万	37	73.0	10.8	8.1	-	-	8.1
	上二万	4	100.0	-	-	-	-	-
その他	6	50.0	33.3	-	-	-	16.7	

(複数回答)

災害を原因とする家族のケガや病気について、「全員、ケガも病気もしなかった」との回答が71.0%と最も高く、次いで「ケガや病気をしたが、入院はしなかった」(13.2%)、「ケガや病気で入院した」(6.5%)などの順となっている。市町別にみると、大きな差はみられない。

真備町では、「全員、ケガも病気もしなかった」との回答が71.9%と最も高く、次いで「ケガや病気をしたが、入院はしなかった」(13.3%)、「ケガや病気で入院した」(6.7%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、大きな差はみられない。

問 41 災害後、役所から示された「自宅のり災証明書の判定内容」をお答えください。
(1つに○)

【図表 自宅のり災証明書の判定内容】

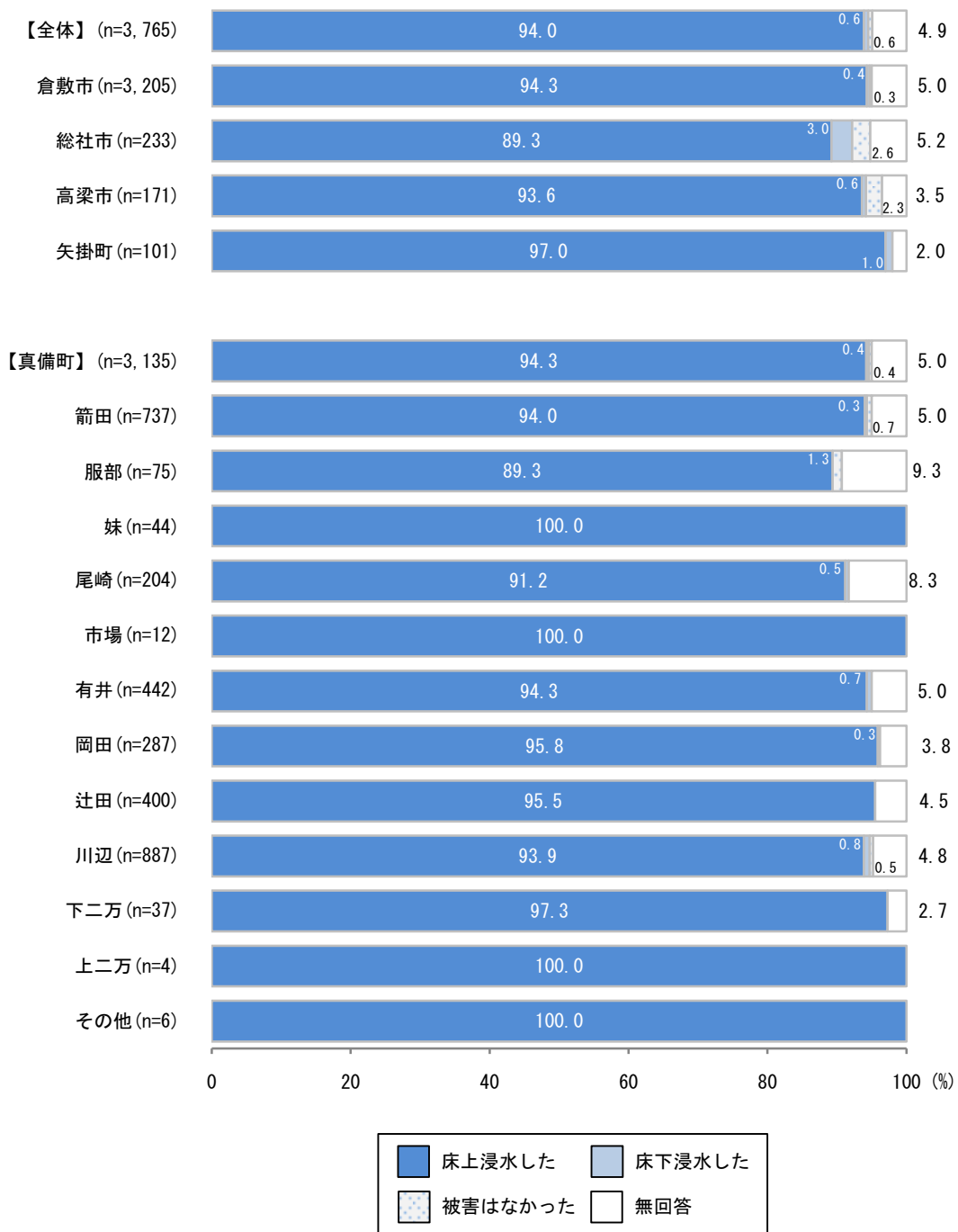
		回答者数(人)	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし	役所から判定結果をもらっていない	(%) 無回答
全体		3,765	78.6	8.7	10.8	0.6	0.1	0.1	1.2
市町	倉敷市	3,205	88.8	6.5	3.6	0.2	-	-	0.9
	総社市	233	19.3	24.0	48.9	2.6	0.9	0.9	3.4
	高梁市	171	20.5	26.3	49.7	2.3	-	-	1.2
	矢掛町	101	5.9	11.9	74.3	4.0	-	1.0	3.0
	全体	3,135	88.9	6.4	3.5	0.2	-	-	1.0
真備町	箭田	737	88.2	7.3	3.9	0.1	-	-	0.4
	服部	75	76.0	12.0	12.0	-	-	-	-
	妹	44	4.5	47.7	43.2	2.3	-	-	2.3
	尾崎	204	87.7	6.9	3.9	1.0	-	-	0.5
	市場	12	100.0	-	-	-	-	-	-
	有井	442	87.8	6.6	4.1	0.5	-	-	1.1
	岡田	287	81.5	13.2	4.2	0.3	-	-	0.7
	辻田	400	91.0	6.0	2.0	-	-	-	1.0
	川辺	887	96.5	1.2	0.7	-	-	-	1.6
	下二万	37	97.3	-	2.7	-	-	-	-
	上二万	4	100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	6	66.7	16.7	16.7	-	-	-	-

自宅のり災証明の判定内容について、「全壊」との回答が78.6%と最も高く、次いで「半壊」(10.8%)、「大規模半壊」(8.7%)などの順となっている。市町別にみると、「全壊」との回答は倉敷市で約9割、「大規模半壊」との回答は総社市、高梁市で2割台半ば、「半壊」との回答は矢掛町で7割台半ばと高くなっている。

真備町では、「全壊」との回答が88.9%と最も高く、次いで「大規模半壊」(6.4%)、「半壊」(3.5%)などの順となっている。真備町の大字別にみると「全壊」との回答は辻田、川辺、下二万で9割台、「大規模半壊」との回答は妹で約5割、「半壊」との回答は妹で4割台半ばと高くなっている。

問 42 あなたの自宅について浸水による被害はありましたか。(1つに○)

【図表 浸水被害の有無】

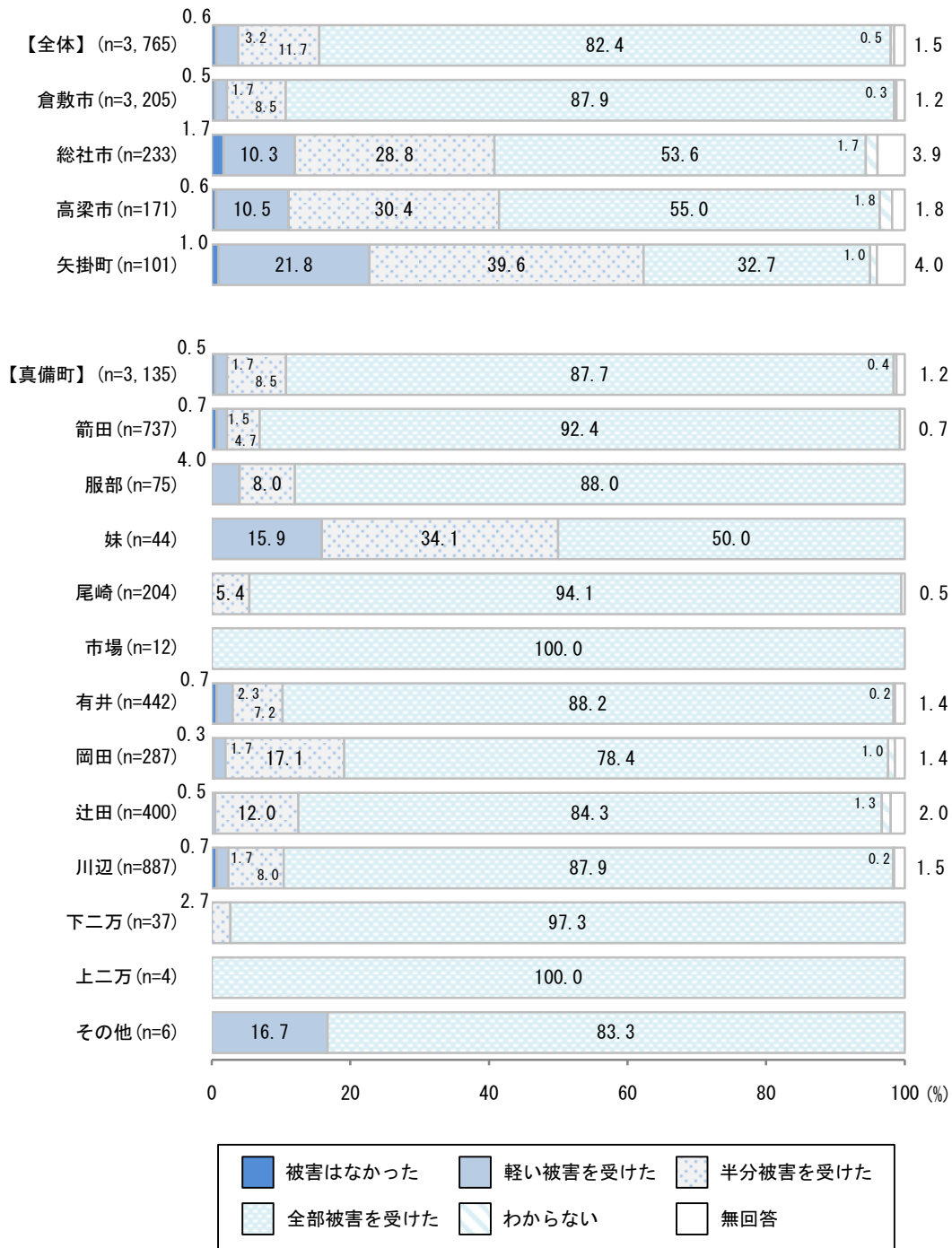


浸水被害の有無について、「床上浸水した」との回答が94.0%、「床上浸水した」、「被害はなかった」との回答がともに0.6%となっている。市町別にみると、「床上浸水した」との回答はほぼすべての地域で9割台と高くなっている。

真備町では、「床上浸水した」との回答が94.3%、「床上浸水した」、「被害はなかった」との回答がともに0.4%となっている。真備町の大字別にみると、「床上浸水した」との回答はほぼすべての地域で9割以上と高くなっている。

問 43 あなたのご自宅の家財（家具、電気器具、食器など）の被害はどれくらいでしたか。
（1つに○）

【図表 家財被害の有無】



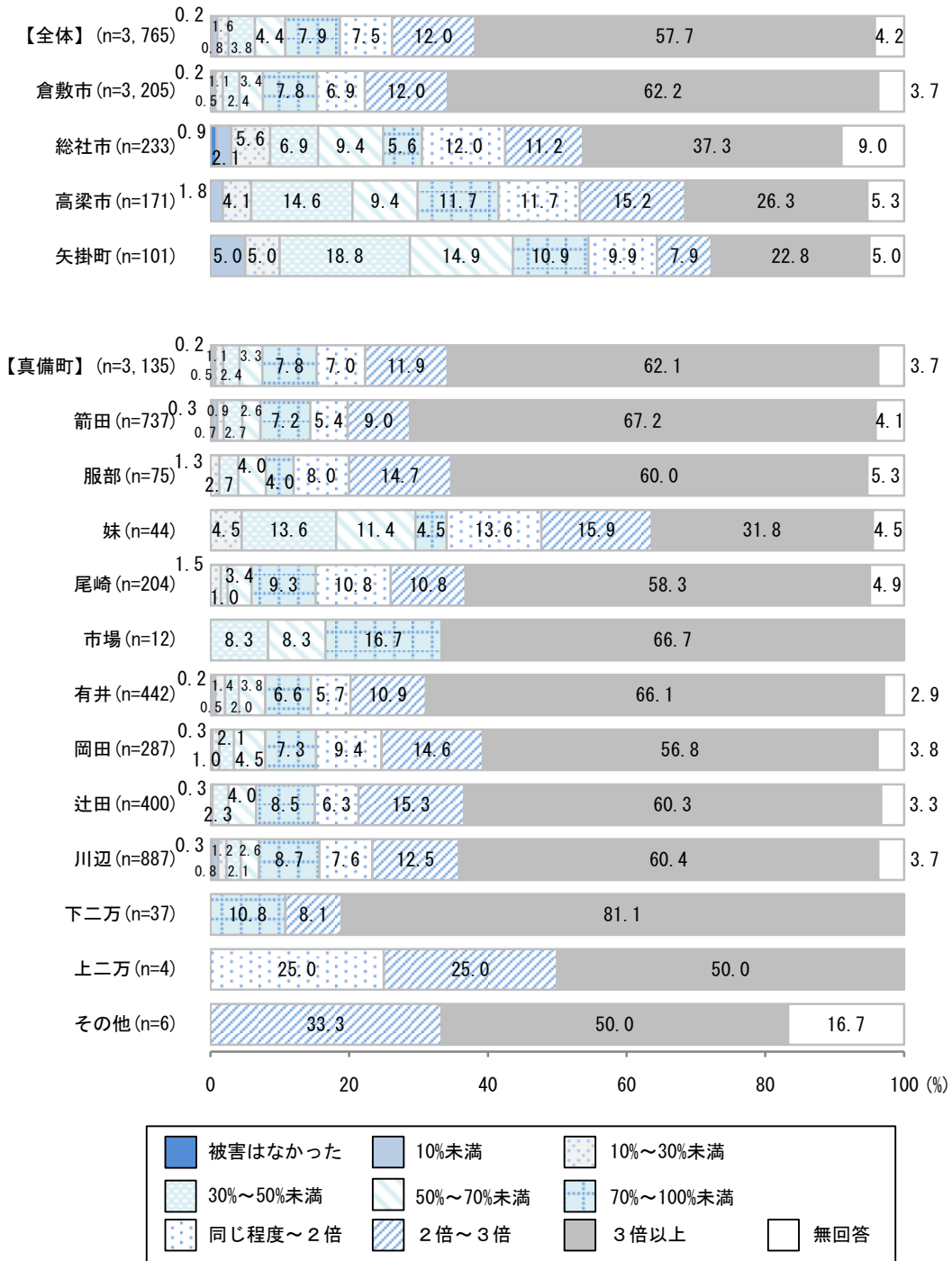
家財被害の有無について、「全部被害を受けた」との回答が 82.4%と最も高く、次いで「半分被害を受けた」(11.7%)、「軽い被害を受けた」(3.2%)などの順となっている。市町別にみると、「軽い被害を受けた」との回答は矢掛町で2割超、「半分被害を受けた」との回答は矢掛町で約4割、「全部被害を受けた」との回答は倉敷市で約9割と高くなっている。

真備町では、「全部被害を受けた」との回答が 87.7%と最も高く、次いで「半分被害を受けた」(8.5%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「軽い被害を受けた」との回答

は妹で1割台半ば、「半分被害を受けた」との回答は妹で3割台半ば、「全部被害を受けた」との回答は下二万で約10割と高くなっている。

問 44 あなたの住宅・家財等をすべて含んだ被害総額は、災害当時のあなたの世帯年収の、どの程度にあたると思われますか。感覚的に、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 被害総額と年収の比較】

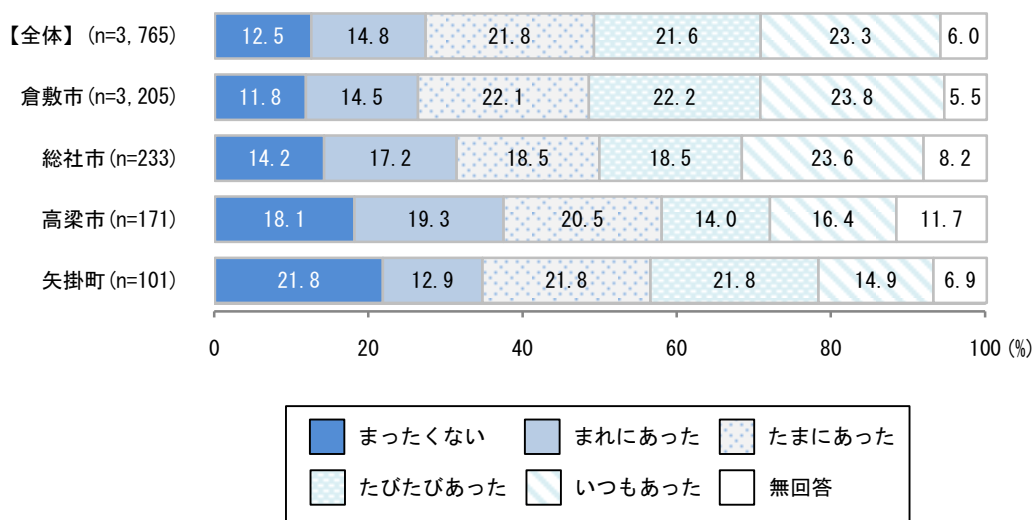


被害総額と年収の比較について、「3倍以上」との回答が57.7%と最も高く、次いで「2倍～3倍」(12.0%)、「70%～100%未満」(7.9%)、「同じ程度～2倍」(7.5%)などの順となっている。市町別にみると、「3倍以上」との回答は倉敷市で6割超と高くなっている。

真備町では「3倍以上」との回答が62.1%と最も高く、次いで「2倍～3倍」(11.9%)、「70%～100%未満」(7.8%)、「同じ程度～2倍」(7.0%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「3倍以上」との回答は下二万で8割超と高くなっている。

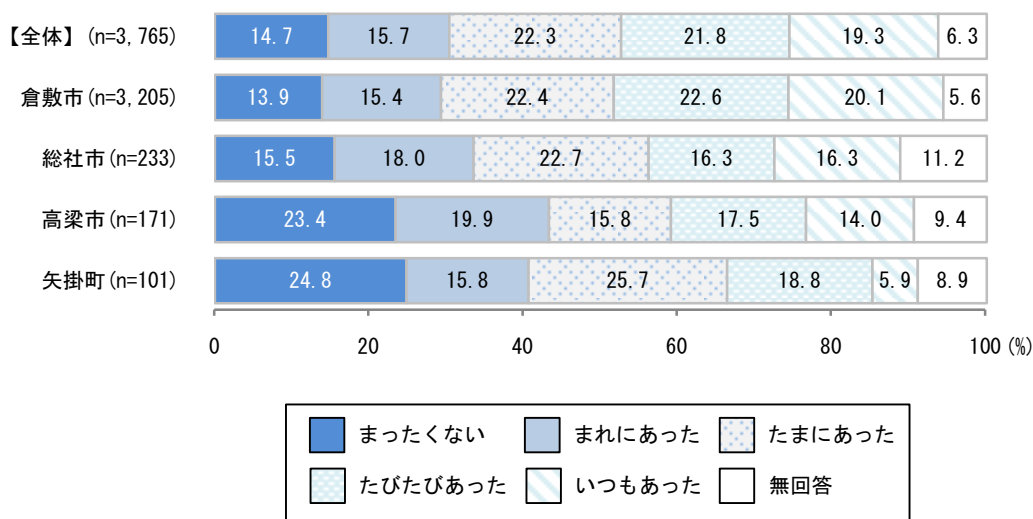
問 45 あなたは、最近 1 ヶ月の間（2018 年 11 月 1 日～11 月 30 日）に、つぎにあげた「こころやからだの状態」を、どのくらい体験しましたか。以下のそれぞれの質問を読み、あてはまる番号に○をつけてください。

【図表 ①気持ちが落ち着かない状態】



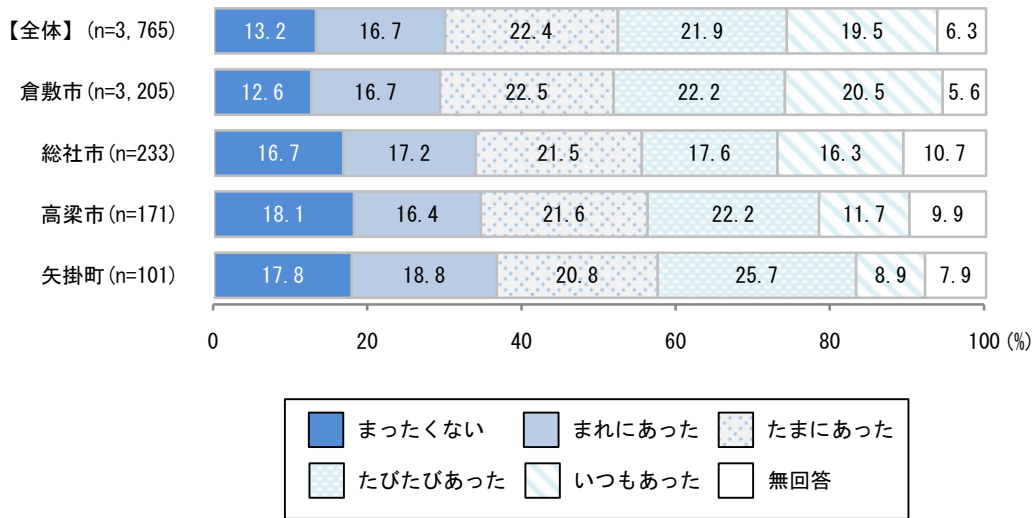
気持ちが落ち着かない状態について、「いつもあった」との回答が 23.3%と最も高く、次いで「たまにあった」(21.8%)、「たびたびあった」(21.6%)などの順となっている。

【図表 ②寂しい気持ちになる状態】



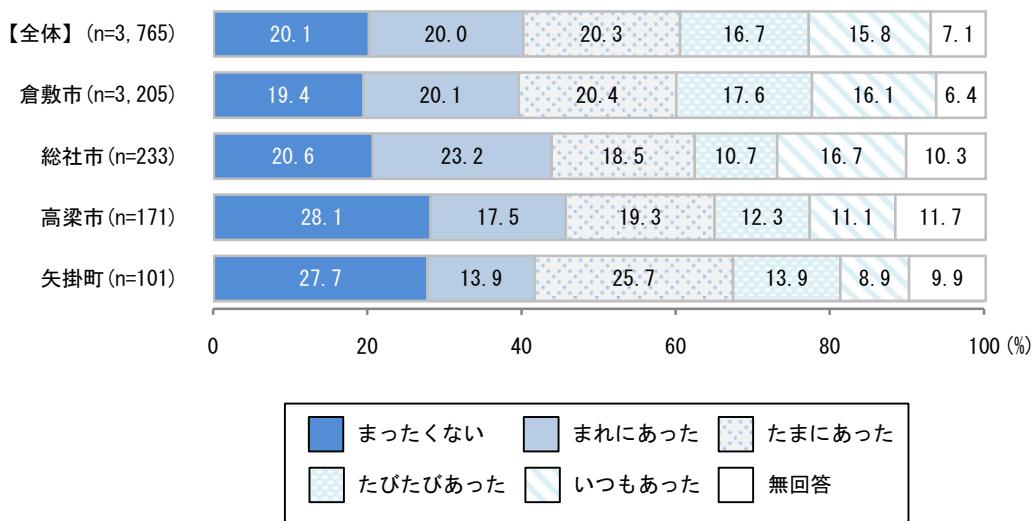
寂しい気持ちになる状態について、「たまにあった」との回答が 22.3%と最も高く、次いで「たびたびあった」(21.8%)、「いつもあった」(19.3%)などの順となっている。

【図表 ③気分が沈む状態】



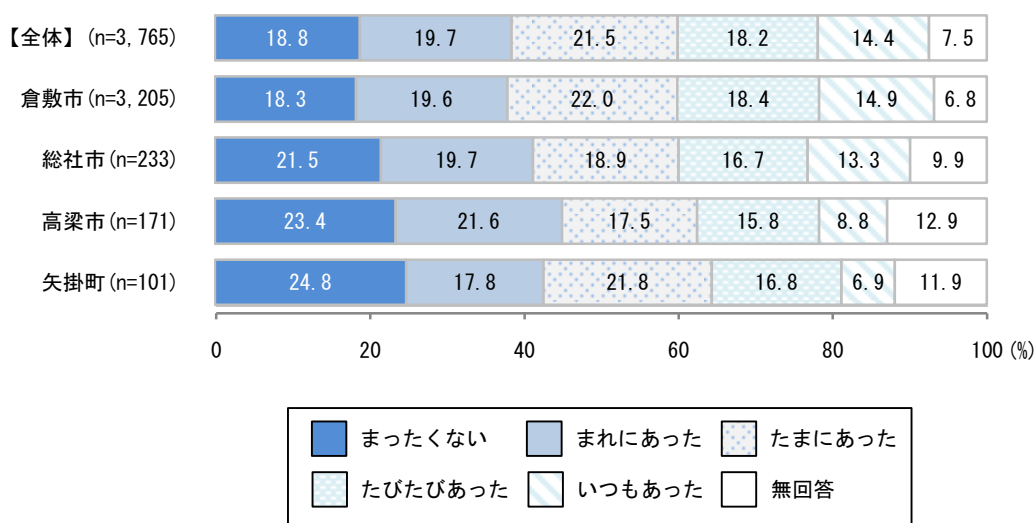
気分が沈む状態について、「たまにあった」との回答が 22.4%と最も高く、次いで「たびたびあった」(21.9%)、「いつもあった」(19.5%)などの順となっている。

【図表 ④次々とよくないことを考える状態】



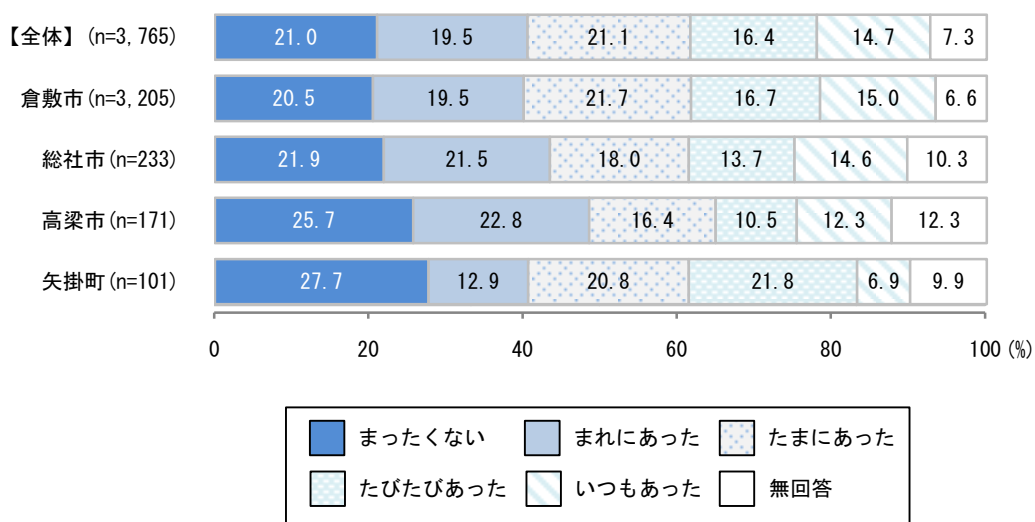
次々とよくないことを考える状態について、「たまにあった」との回答が 20.3%と最も高く、次いで「まったくない」(20.1%)、「まれにあった」(20.0%)などの順となっている。

【図表 ⑤集中できない状態】



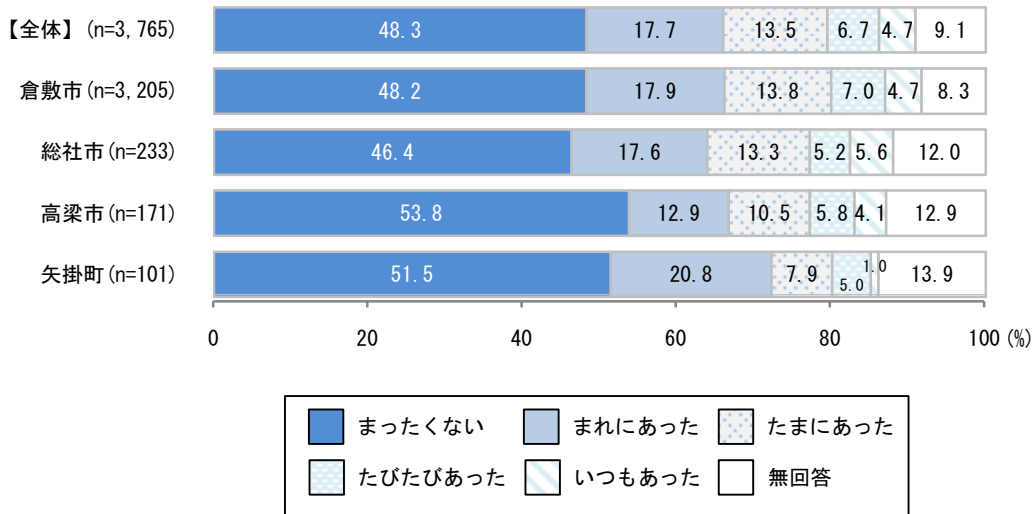
集中できない状態について、「たまにあった」との回答が 21.5%と最も高く、次いで「まれにあった」(19.7%)、「まったくない」(18.8%)などの順となっている。

【図表 ⑥何をするのもおっくうな状態】



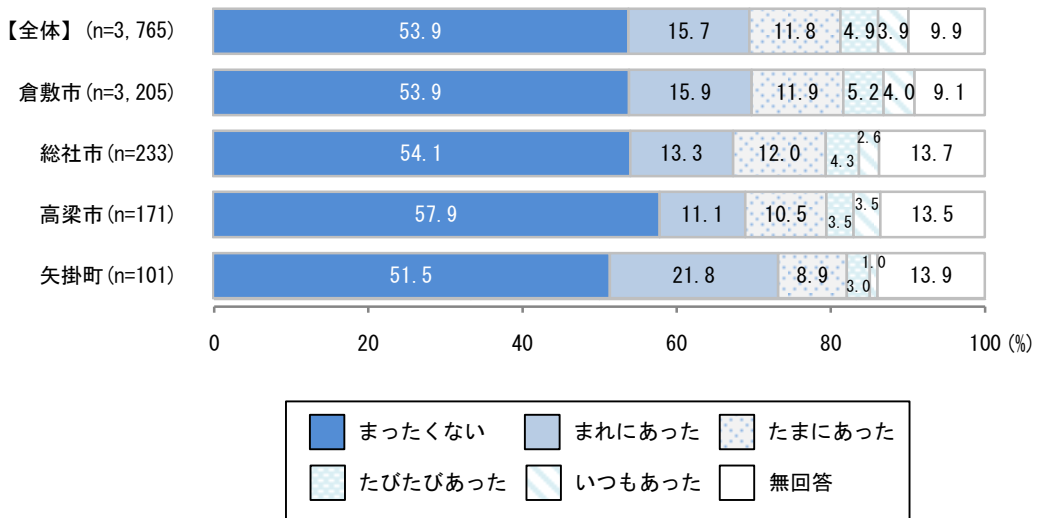
何をするのもおっくうな状態について、「たまにあった」との回答が 21.1%と最も高く、次いで「まったくない」(21.0%)、「まれにあった」(19.5%)などの順となっている。

【図表 ⑦動悸がする状態】



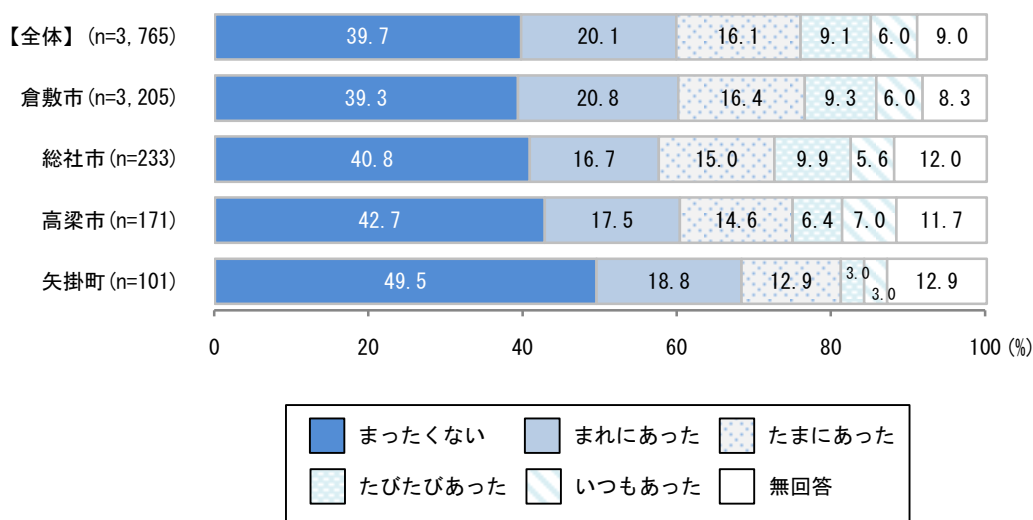
動悸がする状態について、「まったくない」との回答が 48.3%と最も高く、次いで「まれにあった」(17.7%)、「たまにあった」(13.5%)などの順となっている。

【図表 ⑧息切れがする状態】



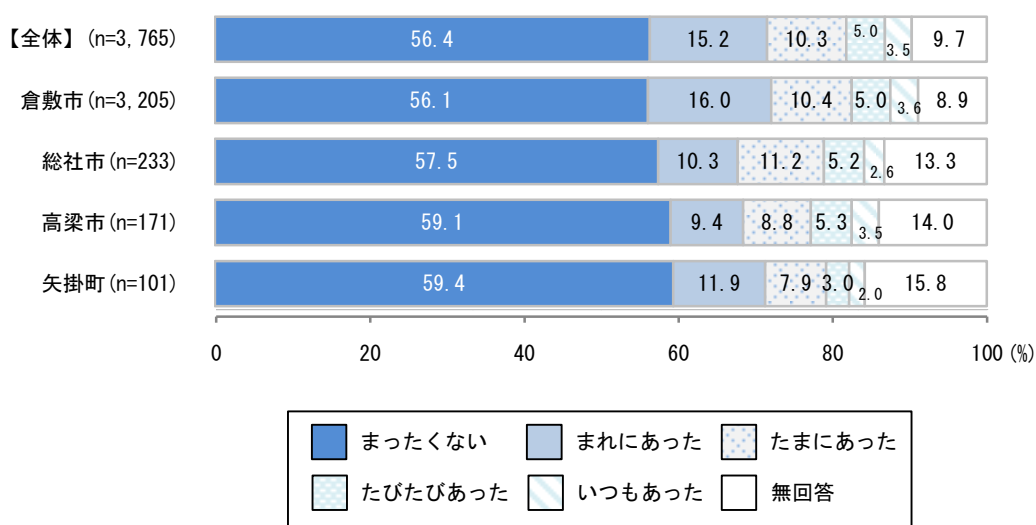
息切れがする状態について、「まったくない」との回答が 53.9%と最も高く、次いで「まれにあった」(15.7%)、「たまにあった」(11.8%)などの順となっている。

【図表 ⑨頭痛、頭が重い状態】



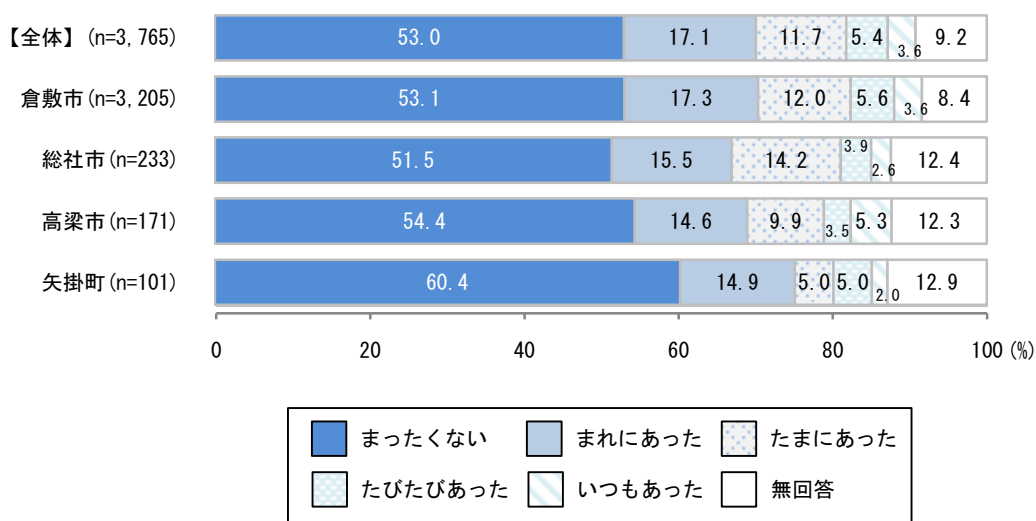
頭痛、頭が重い状態について、「まったくない」との回答が 39.7%と最も高く、次いで「まれにあった」(20.1%)、「たまにあった」(16.1%)などの順となっている。

【図表 ⑩胸がしめつけられるような痛みがある状態】



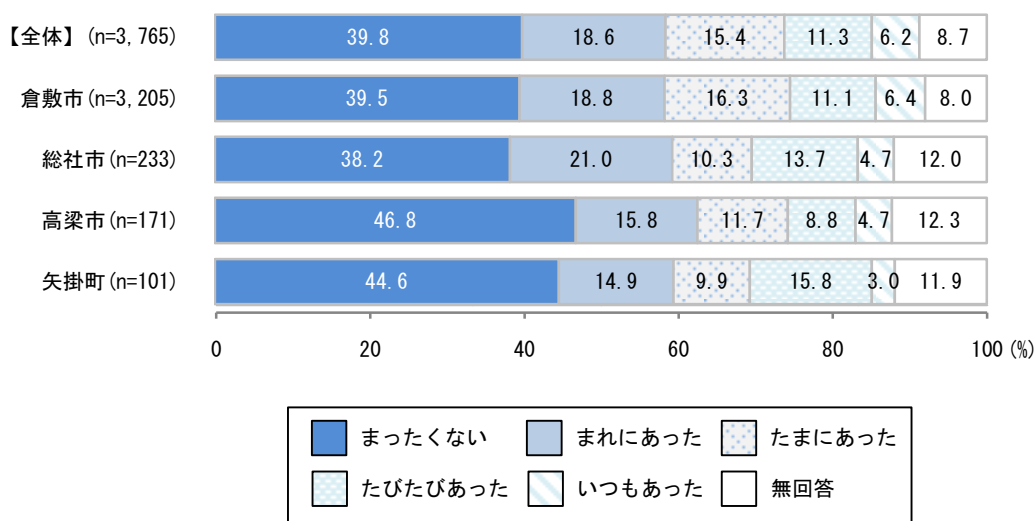
胸がしめつけられるような痛みがある状態について、「まったくない」との回答が 56.4%と最も高く、次いで「まれにあった」(15.2%)、「たまにあった」(10.3%)などの順となっている。

【図表 ⑪めまいがする状態】



めまいがする状態について、「まったくない」との回答が 53.0%と最も高く、次いで「まれにあった」(17.1%)、「たまにあった」(11.7%)などの順となっている。

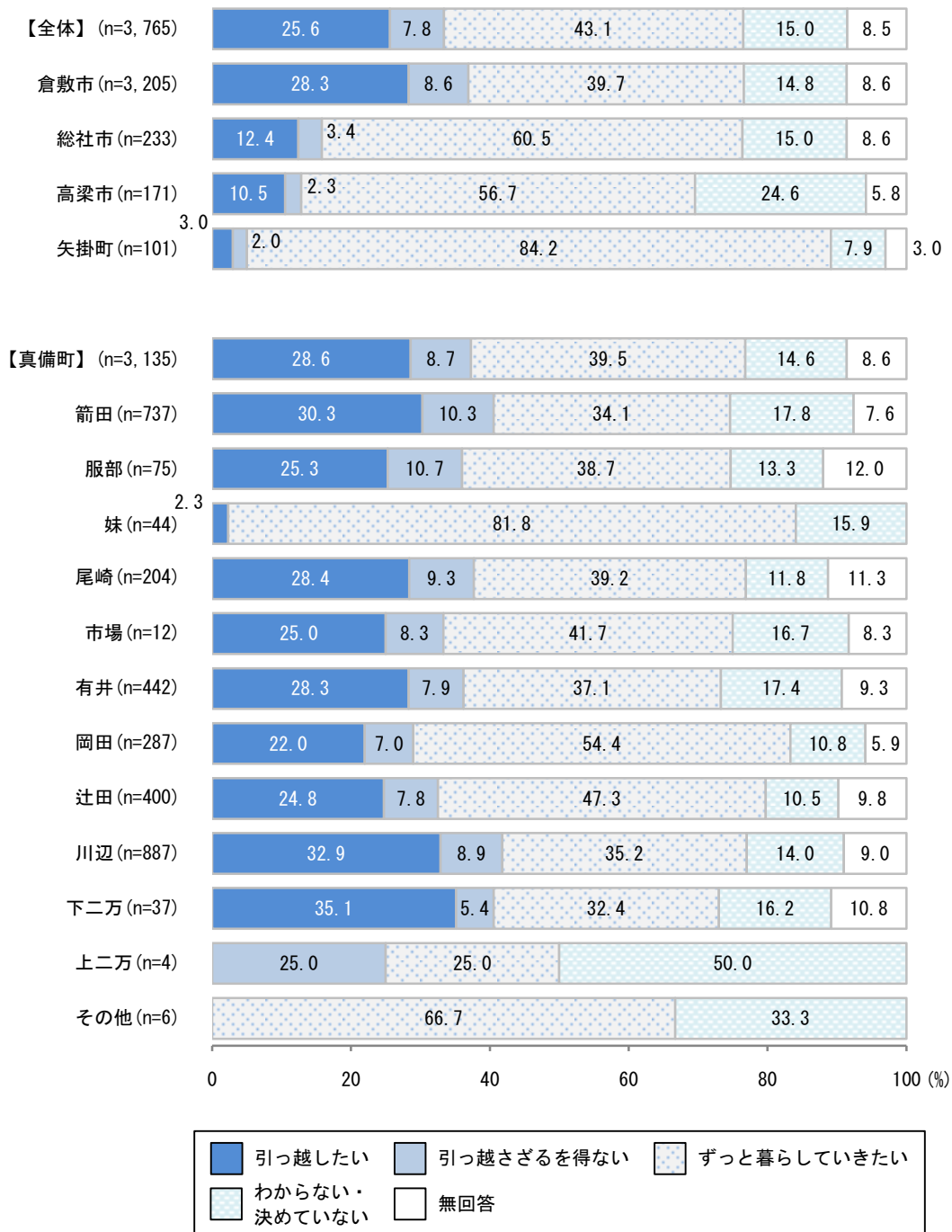
【図表 ⑫のどがかわく状態】



のどがかわく状態について、「まったくない」との回答が 39.8%と最も高く、次いで「まれにあった」(18.6%)、「たまにあった」(15.4%)などの順となっている。

問 46 あなたはこれからも現在お住まいの地域で、ずっと暮らしていきたいと思えますか、それとも引っ越したいと思えますか。(1つに○)

【図表 現居住地での今後の居住意向】

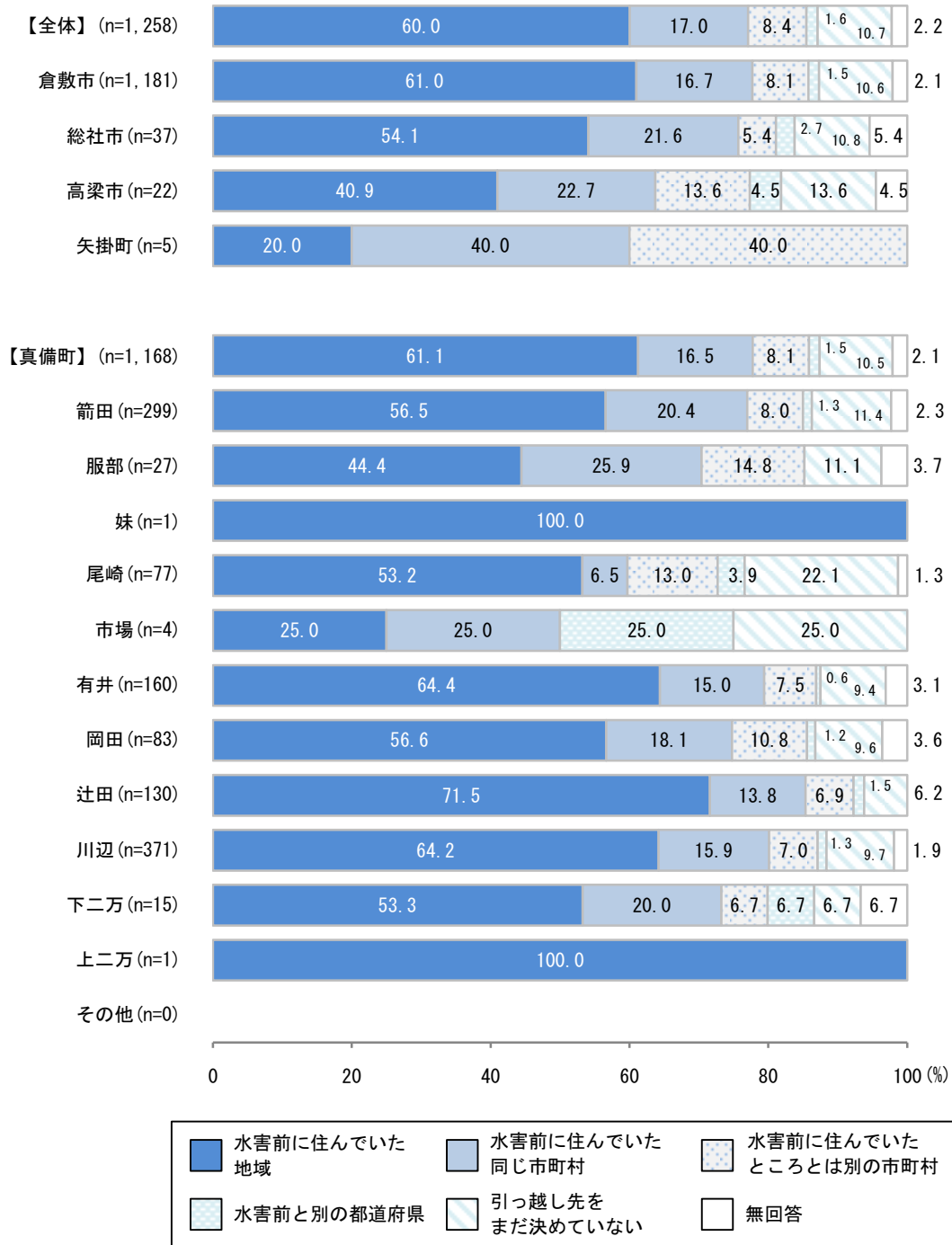


現居住地での今後の居住意向について、「ずっと暮らしていきたい」との回答が 43.1%と最も高く、次いで「引っ越したい」(25.6%)などの順となっている。市町別にみると、「引っ越したい」との回答は倉敷市で約3割、「ずっと暮らしていきたい」との回答は矢掛町で8割台半ばと高くなっている。

真備町では、「ずっと暮らしていきたい」との回答が 39.5%と最も高く、次いで「引っ越したい」(28.6%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「ずっと暮らしていきたい」との回答は妹で8割超と高くなっている。

問 46 付問 どこに引っ越す予定ですか。(1つに○)

【図表 引っ越し予定地】



引っ越し予定地について、「水害前に住んでいた地域」との回答が 60.0%と最も高く、次いで「水害前に住んでいた同じ市町村」(17.0%)、「水害前に住んでいたところとは別の市町村」(8.4%)などの順となっている。市町別にみると、「水害前に住んでいたところとは別の市町村」との回答は高梁市で1割台半ばと高くなっている。

真備町では「水害前に住んでいた地域」との回答が 61.1%と最も高く、次いで「水害前に住んでいた同じ市町村」(16.5%)、「水害前に住んでいたところとは別の市町村」(8.1%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「水害前に住んでいた地域」との回答は服部で4割台半ばと他の地域に比べ低くなっている。

問 46 付問 あてはまる理由全てに○をしてください。

【図表 今後の居留意向がわからない理由】

		(%)							
	回答者数 (人)	国や地域 の方針が定ま っていないか ら	土地や家 が見つかって いないから	安定した 仕事を確保 できないか ら	住宅再建 の資金が足 りないから	今後を考 える精神的 余裕がない から	その他	無 回 答	
全体	566	27.9	20.0	3.5	44.3	34.6	20.0	4.2	
市 町	倉敷市	475	30.3	21.3	3.8	46.7	34.9	3.2	
	総社市	35	14.3	11.4	2.9	42.9	34.3	14.3	
	高梁市	42	16.7	16.7	2.4	19.0	28.6	31.0	
	矢掛町	8	25.0	12.5	-	37.5	37.5	25.0	
	全体	458	30.3	21.8	3.9	46.5	34.7	19.9	3.1
真 備 町	箭田	131	32.1	19.8	1.5	42.0	29.0	20.6	1.5
	服部	10	20.0	40.0	-	80.0	20.0	-	10.0
	妹	7	14.3	14.3	-	42.9	28.6	42.9	14.3
	尾崎	24	41.7	33.3	-	37.5	37.5	4.2	-
	市場	2	50.0	50.0	-	50.0	100.0	-	-
	有井	77	36.4	22.1	5.2	51.9	37.7	19.5	3.9
	岡田	31	41.9	19.4	9.7	61.3	45.2	9.7	6.5
	辻田	42	19.0	7.1	4.8	52.4	26.2	26.2	7.1
	川辺	124	25.0	24.2	5.6	40.3	37.1	24.2	1.6
	下二万	6	50.0	33.3	-	66.7	66.7	16.7	-
	上二万	2	-	50.0	-	100.0	50.0	-	-
	その他	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-

(複数回答)

今後の居留意向がわからない理由について、「住宅再建の資金が足りないから」との回答が44.3%と最も高く、次いで「今後を考える精神的余裕がないから」(34.6%)、「国や地域の方針が定まっていないから」(27.9%)などの順となっている。市町別にみると、「国や地域の方針が定まっていないから」との回答は倉敷市で約3割と他の地域に比べ高くなっている。一方「住宅再建の資金が足りないから」との回答は高梁市で約2割と他の地域に比べ低くなっている。

真備町では、「住宅再建の資金が足りないから」との回答が46.5%と最も高く、次いで「今後を考える精神的余裕がないから」(34.7%)、「国や地域の方針が定まっていないから」(30.3%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「国や地域の方針が定まっていないから」との回答は尾崎、岡田で4割超、「土地や家が見つかっていないから」との回答は尾崎で3割台半ば、「住宅再建の資金が足りないから」との回答は岡田で6割超、「今後を考える精神的余裕がないから」との回答は岡田で4割台半ばと高くなっている。

問 47 水害発生後から現在までのお住まいについて教えてください。以下の①～⑨の時期、あなたはどこに一番長く仮住まい（「自宅」だと思ふ以外のところで寝泊まり）をしていましたか。
①～⑨のそれぞれの時期において、1～11の中で最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

【図表 ①水害当日（7月6～7日）の住まい】

		回答者数（人）	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車の中	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等 自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体		3,765	22.3	20.1	3.6	33.8	4.5	2.2	1.0	0.9	0.2	-	4.0	7.5
市町	倉敷市	3,205	20.9	21.3	3.7	34.0	5.0	2.1	1.0	0.9	0.2	-	4.1	6.7
	総社市	233	20.6	15.0	3.4	36.1	2.1	3.4	1.7	0.4	-	-	3.9	13.3
	高梁市	171	32.2	11.7	4.1	33.3	1.8	2.3	0.6	1.8	-	-	3.5	8.8
	矢掛町	101	56.4	8.9	2.0	17.8	-	2.0	-	-	-	-	1.0	11.9
	全体	3,135	21.1	21.1	3.6	34.2	5.0	2.1	1.0	0.9	0.2	-	4.2	6.6
真備町	箭田	737	19.8	23.3	3.9	32.0	5.3	2.4	1.4	1.6	0.1	-	5.3	4.7
	服部	75	25.3	16.0	10.7	30.7	1.3	1.3	-	-	-	-	4.0	10.7
	妹	44	45.5	15.9	-	18.2	4.5	-	-	-	-	-	9.1	6.8
	尾崎	204	24.0	11.8	4.9	36.8	2.9	0.5	-	0.5	1.0	-	6.9	10.8
	市場	12	-	33.3	16.7	33.3	16.7	-	-	-	-	-	-	-
	有井	442	20.6	21.0	3.6	36.2	5.2	3.4	0.5	0.2	0.2	-	2.7	6.3
	岡田	287	31.7	17.4	3.5	31.0	2.8	1.0	0.3	1.0	-	-	3.8	7.3
	辻田	400	24.5	18.0	3.8	33.5	5.8	1.3	0.5	0.8	0.5	-	3.8	7.8
	川辺	887	16.1	24.4	2.3	36.5	6.0	2.5	1.7	0.9	0.1	-	3.3	6.3
	下二万	37	10.8	24.3	2.7	43.2	2.7	-	-	2.7	-	-	8.1	5.4
	上二万	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	-	16.7	-	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7

水害当日（7月6～7日）の住まいについて、「避難場所や避難所等」との回答が33.8%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」(22.3%)、「親・子ども・親せきの家」(20.1%)などの順となっている。市町別にみると、「この時期仮住まいをしていない」との回答は矢掛町で5割台半ばと高くなっている。

真備町では、「避難場所や避難所等」との回答が34.2%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」、「親・子ども・親せきの家」（ともに21.1%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難場所や避難所等」との回答は下二万で4割台半ばと高くなっている。

【図表 ②水害後・2～4日（7月10日頃）の住まい】

		(%)												
		回答者数(人)	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車の中	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等 自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体		3,765	9.8	46.0	4.5	23.1	1.3	2.0	1.1	2.5	0.5	0.0	2.3	6.7
市町	倉敷市	3,205	5.7	49.4	4.9	24.2	1.5	1.8	1.1	2.8	0.4	0.0	2.3	5.8
	総社市	233	25.8	29.6	2.6	18.5	0.9	4.3	2.6	0.9	0.9	-	2.1	12.0
	高梁市	171	36.8	26.9	2.3	15.8	0.6	2.3	-	2.3	1.8	-	1.8	9.4
	矢掛町	101	52.5	15.8	-	13.9	-	2.0	-	-	1.0	-	2.0	12.9
	全体	3,135	5.8	49.3	4.9	24.4	1.5	1.8	1.1	2.9	0.4	0.0	2.3	5.7
真備町	箭田	737	4.2	54.8	4.9	18.9	1.5	2.7	0.9	4.2	0.4	-	2.7	4.7
	服部	75	17.3	41.3	9.3	18.7	-	-	1.3	4.0	1.3	-	1.3	5.3
	妹	44	43.2	27.3	2.3	13.6	-	4.5	-	2.3	-	-	2.3	4.5
	尾崎	204	6.9	36.3	8.3	27.5	1.0	1.5	1.5	3.4	1.0	-	4.9	7.8
	市場	12	-	58.3	16.7	8.3	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3
	有井	442	3.8	50.2	5.0	26.9	1.6	1.6	0.9	2.0	0.7	-	1.8	5.4
	岡田	287	16.4	39.4	4.2	26.1	1.0	1.4	0.3	1.0	0.3	-	1.4	8.4
	辻田	400	5.3	48.0	4.5	28.0	2.8	1.3	1.0	2.3	-	0.3	1.5	5.3
	川辺	887	2.3	52.6	4.1	25.6	1.4	1.5	1.6	2.8	0.3	-	2.5	5.4
	下二万	37	-	51.4	2.7	32.4	-	2.7	-	5.4	-	-	-	5.4
	上二万	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	-	16.7	-	33.3	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7

水害後・2～4日（7月10日頃）の住まいについて、「親・子ども・親せきの家」との回答が46.0%と最も高く、次いで「避難場所や避難所等」（23.1%）などの順となっている。市町別にみると、「この時期仮住まいをしていない」との回答は倉敷市で1割未満と低くなっている。

真備町では、「親・子ども・親せきの家」との回答が49.3%と最も高く、次いで「避難場所や避難所等」（24.4%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「親・子ども・親せきの家」との回答は箭田で5割台半ば、「避難場所や避難所等」との回答は下二万で約3割超と高くなっている。

【図表 ③水害後・1週間（7月14日頃）の住まい】

		(%)													
		回答者数(人)	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車の中	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等	自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体		3,765	12.1	47.4	3.8	16.6	0.6	2.2	2.3	4.1	1.5	0.0	2.9	6.5	
市町	倉敷市	3,205	7.4	51.2	4.2	17.8	0.7	2.1	2.4	4.4	1.5	0.0	2.8	5.6	
	総社市	233	29.6	27.5	1.7	13.7	0.4	4.3	3.4	3.4	0.9	-	3.0	12.0	
	高梁市	171	40.9	26.9	0.6	7.0	0.6	2.3	0.6	2.9	3.5	-	5.3	9.4	
	矢掛町	101	64.4	12.9	-	4.0	-	1.0	1.0	-	2.0	-	2.0	12.9	
	全体	3,135	7.5	51.1	4.2	17.9	0.7	2.1	2.4	4.4	1.5	0.0	2.8	5.5	
真備町	箭田	737	4.9	57.7	3.8	14.1	0.4	3.5	2.0	5.3	1.4	-	2.4	4.5	
	服部	75	18.7	36.0	9.3	6.7	-	1.3	1.3	9.3	2.7	-	2.7	12.0	
	妹	44	47.7	34.1	2.3	6.8	-	4.5	-	-	2.3	-	-	2.3	
	尾崎	204	7.8	43.1	5.9	19.1	0.5	1.5	3.4	4.9	2.0	-	4.4	7.4	
	市場	12	-	58.3	16.7	16.7	-	8.3	-	-	-	-	-	-	
	有井	442	4.5	52.9	5.9	20.1	0.7	1.1	1.6	3.2	1.4	-	3.2	5.4	
	岡田	287	21.3	39.4	2.8	18.8	1.0	1.4	2.1	2.1	1.7	-	2.1	7.3	
	辻田	400	9.3	46.8	4.8	22.3	1.0	0.8	2.8	4.0	0.5	0.3	2.0	5.8	
	川辺	887	3.3	54.3	3.0	18.6	0.8	2.0	2.9	5.0	1.9	-	3.4	4.7	
	下二万	37	-	51.4	2.7	24.3	-	2.7	2.7	5.4	-	-	2.7	8.1	
	上二万	4	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	6	-	16.7	-	33.3	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	16.7

水害後・1週間（7月14日頃）の住まいについて、「親・子ども・親せきの家」との回答が47.4%と最も高く、次いで「避難場所や避難所等」（16.6%）、「この時期仮住まいをしていない」（12.1%）などの順となっている。市町別にみると、「この時期仮住まいをしていない」との回答は倉敷市で1割未満と低くなっている。

真備町では、「親・子ども・親せきの家」との回答が51.1%と最も高く、次いで「避難場所や避難所等」（17.9%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「親・子ども・親せきの家」との回答は箭田で約6割と高くなっている。

【図表 ④水害後2週間（7月下旬）の住まい】

		(%)													
		回答者数(人)	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車の中	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等 自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答	
全体		3,765	13.6	41.5	3.3	15.0	0.4	2.2	3.7	5.8	4.1	0.1	3.9	6.5	
市町	倉敷市	3,205	8.9	45.1	3.6	16.0	0.4	2.1	3.9	6.2	4.3	0.1	3.9	5.6	
	総社市	233	33.5	20.6	2.1	13.7	0.4	4.7	3.4	4.7	1.7	-	3.4	11.6	
	高梁市	171	40.4	26.3	0.6	4.7	-	2.3	2.3	3.5	5.3	-	5.8	8.8	
	矢掛町	101	67.3	8.9	-	3.0	-	1.0	1.0	-	2.0	-	3.0	13.9	
	全体	3,135	9.0	45.0	3.5	16.1	0.4	2.1	3.9	6.3	4.4	0.1	3.8	5.4	
真備町	箭田	737	5.2	51.3	3.8	14.0	0.3	3.3	3.4	6.4	4.7	0.1	3.5	4.1	
	服部	75	18.7	33.3	9.3	6.7	-	2.7	1.3	6.7	12.0	-	1.3	8.0	
	妹	44	54.5	27.3	-	9.1	-	-	-	-	4.5	-	-	4.5	
	尾崎	204	9.3	40.2	4.4	14.2	0.5	1.5	4.9	5.9	4.4	-	5.9	8.8	
	市場	12	-	58.3	16.7	8.3	-	8.3	-	8.3	-	-	-	-	
	有井	442	6.1	49.1	4.1	19.0	0.2	0.7	2.7	5.2	2.9	-	4.5	5.4	
	岡田	287	24.0	31.7	1.7	17.4	0.3	0.7	2.8	4.5	4.9	-	2.8	9.1	
	辻田	400	12.5	41.5	4.8	19.3	0.8	1.0	5.3	4.0	2.3	0.3	2.5	6.0	
	川辺	887	4.4	46.7	2.4	16.0	0.6	2.7	5.0	8.6	5.0	-	4.5	4.3	
	下二万	37	2.7	40.5	2.7	24.3	-	2.7	2.7	8.1	8.1	-	5.4	2.7	
	上二万	4	-	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	6	-	16.7	-	33.3	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7

水害後2週間（7月下旬）の住まいについて、「親・子ども・親せきの家」との回答が41.5%と最も高く、次いで「避難場所や避難所等」(15.0%)、「この時期仮住まいをしていない」(13.6%)などの順となっている。市町別にみると、「この時期仮住まいをしていない」との回答は倉敷市で1割未満と低くなっている。

真備町では、「親・子ども・親せきの家」との回答が45.0%と最も高く、次いで「避難場所や避難所等」(16.1%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難場所や避難所等」との回答は下二万で2割台半ばと高くなっている。

【図表 ⑤水害後・1ヶ月（8月上旬）の住まい】

		(%)												
	回答者数（人）	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車中等	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等	自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体	3,765	15.5	29.5	2.2	11.6	0.1	2.0	4.2	6.4	17.6	0.2	4.6	6.1	
市町	倉敷市	3,205	10.7	32.0	2.4	12.6	0.2	1.7	4.5	6.9	19.1	0.2	4.5	5.1
	総社市	233	37.3	14.2	1.3	9.4	-	5.2	3.4	4.3	7.7	-	5.2	12.0
	高梁市	171	39.8	19.9	0.6	2.3	-	2.9	2.9	3.5	10.5	-	7.0	10.5
	矢掛町	101	70.3	5.9	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	3.0	-	2.0	13.9
全体	3,135	10.8	32.0	2.4	12.6	0.2	1.8	4.5	7.0	19.3	0.2	4.4	5.0	
真備町	箭田	737	7.1	38.0	2.3	11.0	-	2.4	3.8	7.2	20.9	0.1	3.8	3.4
	服部	75	18.7	25.3	5.3	5.3	-	1.3	2.7	6.7	24.0	-	1.3	9.3
	妹	44	56.8	20.5	-	11.4	-	-	-	2.3	4.5	-	-	4.5
	尾崎	204	9.8	29.9	2.9	9.3	0.5	1.5	4.4	5.9	20.1	-	6.9	8.8
	市場	12	8.3	41.7	8.3	8.3	-	8.3	-	8.3	8.3	-	-	8.3
	有井	442	9.7	33.9	3.4	14.0	0.2	0.9	2.9	6.3	18.6	-	5.4	4.5
	岡田	287	25.4	22.3	1.0	15.3	-	1.7	3.1	5.6	14.6	-	4.2	6.6
	辻田	400	15.3	28.3	3.3	15.5	0.3	1.3	5.5	4.5	18.3	0.5	3.0	4.5
	川辺	887	5.2	32.8	1.7	11.8	0.2	1.8	6.3	9.1	20.7	0.2	5.1	5.0
	下二万	37	5.4	24.3	2.7	24.3	-	2.7	2.7	8.1	21.6	-	5.4	2.7
	上二万	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	-	-	-	33.3	-	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7

水害後・1ヶ月（8月上旬）の住まいについて、「親・子ども・親せきの家」との回答が29.5%と最も高く、次いで「みなし仮設住宅」（17.6%）、「この時期仮住まいをしていない」（15.5%）などの順となっている。市町別にみると、「親・子ども・親せきの家」との回答は倉敷市で3割超、「みなし仮設住宅」との回答は倉敷市で約2割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「親・子ども・親せきの家」との回答が32.0%と最も高く、次いで「みなし仮設住宅」（19.3%）、「避難場所や避難所等」（12.6%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難場所や避難所等」との回答は下二万で2割台半ば、「みなし仮設住宅」との回答は服部で2割台半ばと高くなっている。

【図表 ⑥水害後・2ヶ月（9月上旬）の住まい】

		(%)												
	回答者数（人）	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車中等	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等	自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体	3,765	17.8	16.9	1.2	4.5	0.1	1.7	3.2	6.1	36.8	0.4	5.1	6.1	
市町	倉敷市	3,205	13.0	17.9	1.3	4.8	0.2	1.5	3.4	6.6	40.8	0.5	5.0	5.1
	総社市	233	39.1	10.3	1.3	4.7	-	5.6	2.6	5.2	15.0	-	5.2	11.2
	高梁市	171	42.7	17.0	-	-	-	2.3	2.9	2.9	14.0	-	8.2	9.9
	矢掛町	101	74.3	3.0	-	1.0	-	-	1.0	1.0	4.0	-	2.0	13.9
全体	3,135	13.1	17.8	1.3	4.8	0.2	1.5	3.4	6.6	41.0	0.5	4.9	5.0	
真備町	箭田	737	9.2	21.0	1.2	4.3	-	2.2	3.1	7.3	43.0	0.4	4.2	3.9
	服部	75	26.7	12.0	1.3	2.7	-	-	1.3	6.7	36.0	1.3	2.7	9.3
	妹	44	63.6	9.1	-	9.1	-	-	-	2.3	11.4	-	-	4.5
	尾崎	204	12.7	16.2	2.5	2.9	-	1.0	2.9	5.4	39.7	-	8.8	7.8
	市場	12	-	33.3	-	8.3	-	8.3	-	-	41.7	-	-	8.3
	有井	442	12.9	18.3	2.0	3.8	-	0.2	2.9	5.2	45.0	0.2	6.1	3.2
	岡田	287	26.5	14.6	0.7	4.9	-	2.1	2.1	5.2	29.6	-	4.5	9.8
	辻田	400	16.3	17.3	2.3	6.0	0.3	1.0	3.3	5.3	38.8	1.3	3.3	5.3
	川辺	887	7.6	17.1	0.6	5.0	0.5	1.6	4.8	7.9	45.1	0.5	5.3	4.2
	下二万	37	5.4	16.2	2.7	16.2	-	2.7	2.7	10.8	29.7	2.7	5.4	5.4
	上二万	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	-	-	-	16.7	-	16.7	-	33.3	16.7	-	-	-

水害後・2ヶ月（9月上旬）の住まいについて、「みなし仮設住宅」との回答が36.8%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」（17.8%）、「親・子ども・親せきの家」（16.9%）などの順となっている。市町別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は倉敷市で約4割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「みなし仮設住宅」との回答が41.0%と最も高く、次いで「親・子ども・親せきの家」（17.8%）、「この時期仮住まいをしていない」（13.1%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「避難場所や避難所等」との回答は下二万で1割台半ば、「みなし仮設住宅」との回答は箭田、有井、川辺で4割台半ばと高くなっている。

【図表 ⑦水害後・3ヶ月（10月上旬）の住まい】

		(%)												
	回答者数（人）	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車中等	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等	自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体	3,765	18.9	12.2	0.8	1.8	0.1	1.4	2.7	5.6	42.8	2.4	5.2	6.3	
市町	倉敷市	3,205	13.9	12.7	0.9	1.8	0.1	1.2	2.8	6.1	47.7	2.5	5.1	5.2
	総社市	233	39.5	8.6	0.9	2.1	-	4.7	2.1	5.2	15.9	3.0	4.7	13.3
	高梁市	171	46.2	15.2	-	-	-	2.3	2.3	2.3	13.5	-	8.2	9.9
	矢掛町	101	75.2	-	-	1.0	-	-	1.0	1.0	5.0	-	3.0	13.9
全体	3,135	14.0	12.7	0.9	1.8	0.1	1.2	2.8	6.0	47.9	2.5	5.0	5.1	
真備町	箭田	737	10.2	14.2	0.4	1.8	-	1.8	3.0	6.6	49.9	3.8	4.6	3.7
	服部	75	26.7	8.0	2.7	1.3	-	-	1.3	5.3	41.3	1.3	1.3	10.7
	妹	44	72.7	4.5	-	-	-	-	-	-	11.4	4.5	-	6.8
	尾崎	204	13.7	10.3	2.5	0.5	-	0.5	1.5	4.4	48.5	1.0	8.3	8.8
	市場	12	8.3	25.0	-	8.3	-	8.3	-	-	41.7	8.3	-	-
	有井	442	13.8	11.3	1.6	0.9	-	0.2	2.0	5.0	53.4	1.8	6.1	3.8
	岡田	287	27.5	12.5	0.3	2.4	-	1.4	1.7	5.6	34.1	1.7	5.9	6.6
	辻田	400	17.0	12.8	1.8	3.3	-	0.3	3.0	5.3	44.5	2.8	4.0	5.5
	川辺	887	8.2	13.0	0.3	1.6	0.2	1.7	3.9	7.1	52.3	1.9	4.8	4.8
	下二万	37	5.4	18.9	-	5.4	-	2.7	-	8.1	43.2	8.1	5.4	2.7
	上二万	4	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	16.7	16.7

水害後・3ヶ月（10月上旬）の住まいについて、「みなし仮設住宅」との回答が42.8%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」（18.9%）、「親・子ども・親せきの家」（12.2%）などの順となっている。市町別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は倉敷市で約5割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「みなし仮設住宅」との回答が47.9%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」（14.0%）、「親・子ども・親せきの家」（12.7%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は有井、川辺で5割台と高くなっている。

【図表 ⑧水害後・4ヶ月（11月上旬）の住まい】

		(%)												
	回答者数(人)	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車中等	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等	自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体	3,765	20.3	10.3	0.6	0.6	0.1	1.2	2.4	5.2	44.2	3.2	5.6	6.4	
市町	倉敷市	3,205	15.6	10.5	0.7	0.6	0.1	0.9	2.5	5.5	49.2	3.4	5.6	5.5
	総社市	233	39.1	7.3	0.4	0.9	-	4.7	2.1	5.6	18.5	4.3	5.2	12.0
	高梁市	171	47.4	15.8	-	-	-	1.8	1.8	2.9	13.5	-	7.0	9.9
	矢掛町	101	75.2	1.0	-	1.0	-	-	1.0	-	5.9	-	3.0	12.9
	全体	3,135	15.7	10.5	0.7	0.6	0.1	0.9	2.5	5.5	49.3	3.4	5.5	5.4
真備町	箭田	737	11.4	12.2	0.3	0.4	-	1.2	2.7	5.7	51.8	4.6	5.3	4.3
	服部	75	25.3	9.3	1.3	1.3	-	-	1.3	5.3	38.7	1.3	1.3	14.7
	妹	44	72.7	2.3	-	-	-	-	-	-	11.4	6.8	-	6.8
	尾崎	204	13.2	8.8	2.5	0.5	-	0.5	1.5	3.9	49.0	1.5	9.3	9.3
	市場	12	16.7	8.3	-	-	-	8.3	-	-	50.0	16.7	-	-
	有井	442	14.0	9.3	1.6	0.2	-	0.2	2.0	4.8	55.4	2.3	6.1	4.1
	岡田	287	30.3	10.5	0.3	-	-	0.7	1.7	4.9	35.5	1.7	6.3	8.0
	辻田	400	18.5	10.5	1.0	1.3	-	0.3	2.8	4.8	47.0	4.3	4.8	5.0
	川辺	887	11.3	10.6	0.1	0.9	0.2	1.4	3.4	6.7	53.2	2.6	5.1	4.6
	下二万	37	8.1	10.8	-	-	-	5.4	-	10.8	40.5	16.2	5.4	2.7
	上二万	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7

水害後・4ヶ月（11月上旬）の住まいについて、「みなし仮設住宅」との回答が44.2%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」(20.3%)、「親・子ども・親せきの家」(10.3%)などの順となっている。市町別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は倉敷市で約5割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「みなし仮設住宅」との回答が49.3%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」(15.7%)、「親・子ども・親せきの家」(10.5%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は箭田、有井、川辺で5割台と高くなっている。

【図表 ⑨現在の住まい】

		(%)												
	回答者数(人)	この時期仮住まいをしていない	親・子ども・親せきの家	友人・近所の家	避難場所や避難所等	屋外・テント・車中等	病院・福祉施設	職場・会社が用意した施設	等	自分で借りたホテル・アパート	みなし仮設住宅	建設型の仮設住宅	その他	無回答
全体	3,765	22.5	8.9	0.6	0.1	0.0	1.0	2.3	5.2	44.3	3.3	6.2	5.7	
市町	倉敷市	3,205	17.8	9.1	0.7	0.1	0.0	0.7	2.4	5.6	49.3	3.5	6.2	4.6
	総社市	233	39.9	7.3	0.4	-	-	4.3	2.1	5.2	18.0	4.3	5.6	12.9
	高梁市	171	49.7	11.1	-	-	-	1.8	1.8	2.9	14.0	-	7.6	11.1
	矢掛町	101	78.2	1.0	-	-	-	-	1.0	-	5.9	-	3.0	10.9
全体	3,135	17.9	9.2	0.6	0.1	0.0	0.7	2.4	5.6	49.4	3.5	6.1	4.6	
真備町	箭田	737	13.4	10.3	0.3	-	-	0.7	2.6	6.4	52.5	5.0	5.4	3.4
	服部	75	29.3	8.0	2.7	-	-	-	1.3	4.0	40.0	1.3	1.3	12.0
	妹	44	75.0	-	-	-	-	-	-	-	11.4	6.8	-	6.8
	尾崎	204	15.2	8.3	2.0	-	-	0.5	1.5	3.9	49.0	2.0	9.8	7.8
	市場	12	8.3	8.3	-	-	-	8.3	-	-	50.0	16.7	-	8.3
	有井	442	15.8	8.8	1.4	-	-	0.2	1.8	5.0	55.2	2.3	6.8	2.7
	岡田	287	32.4	9.1	0.3	-	-	0.7	1.7	5.2	35.5	2.1	6.3	6.6
	辻田	400	22.0	9.5	1.0	0.3	-	0.3	2.3	3.8	46.3	4.5	5.3	5.0
	川辺	887	13.5	8.9	-	0.1	0.1	1.2	3.3	6.7	53.1	2.4	6.5	4.2
	下二万	37	10.8	10.8	-	-	-	2.7	-	10.8	43.2	16.2	5.4	-
	上二万	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7

現在の住まいについて、「みなし仮設住宅」との回答が 44.3%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」(22.5%)などの順となっている。市町別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は倉敷市で約5割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「みなし仮設住宅」との回答が 49.4%と最も高く、次いで「この時期仮住まいをしていない」(17.9%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「みなし仮設住宅」との回答は箭田、有井、川辺で5割台と高くなっている。

7 豪雨災害からの復旧・復興や備え

問 48 今回の経験をふまえて、もし次に災害が起こったとして、あなたが精神面で頼りにできるのは以下の人・組織のどれですか。頼りになるものにすべて○をつけてください。

【図表 今後災害時に精神面で頼りにできる人・組織】

(96)

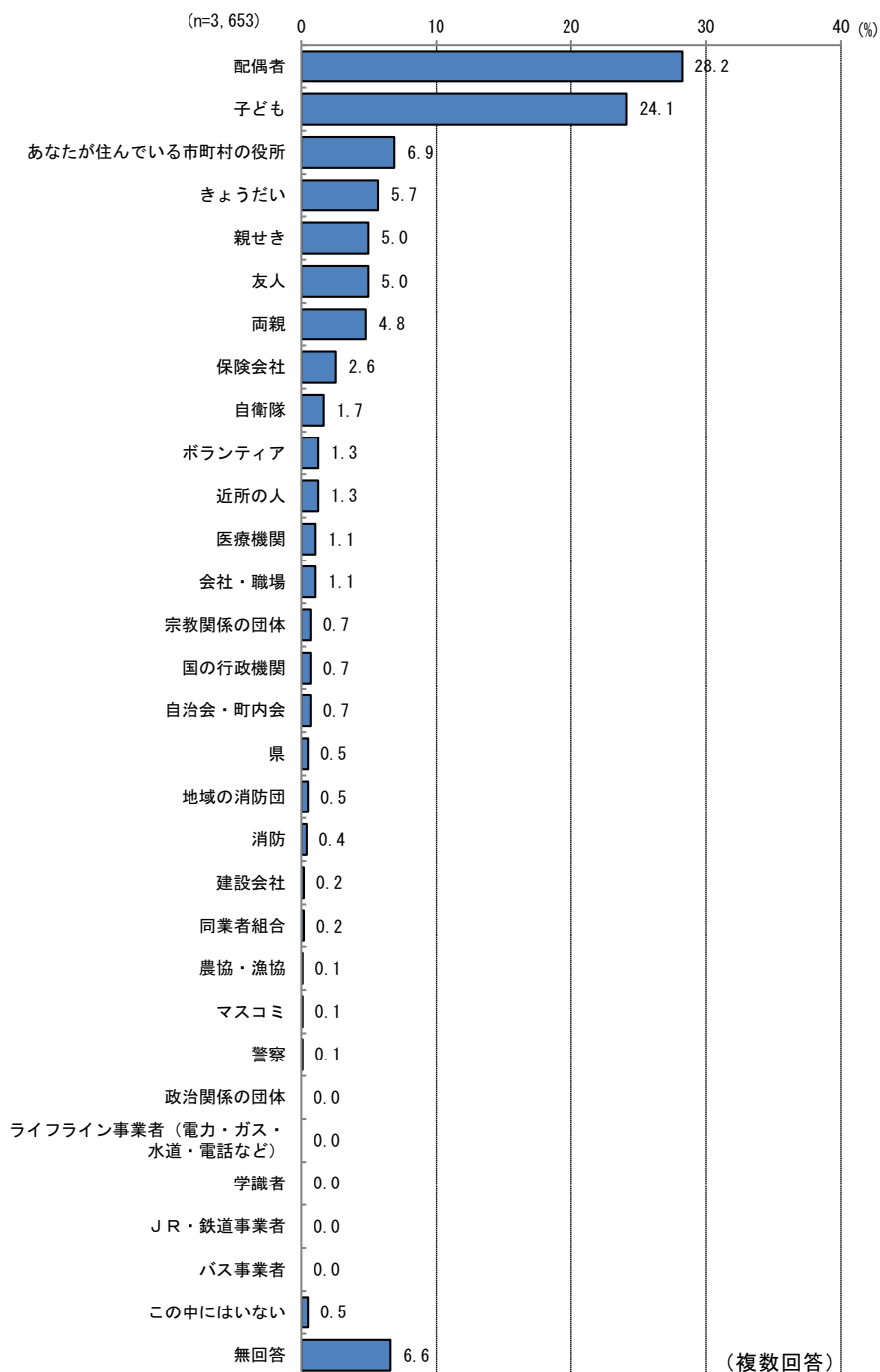
	回答者数(人)	所あなたが住んでいる市町村の役	県	国の行政機関	保険会社	建設会社	会社・職場	農協・漁協	同業者組合	学識者	マスコミ	医療機関	自衛隊	警察	消防	地域の消防団	自治会・町内会	
全体	3,765	38.1	18.3	15.8	26.1	8.2	15.7	2.9	1.6	0.6	3.7	18.2	24.4	12.2	15.9	10.7	14.7	
市町	倉敷市	3,205	35.7	18.7	16.0	26.4	8.0	16.4	2.2	1.6	0.6	3.8	18.4	26.7	12.9	15.6	8.3	12.2
	総社市	233	59.7	17.6	16.7	26.6	11.2	12.0	4.3	1.3	0.9	2.1	16.3	10.3	11.6	20.2	24.0	33.5
	高梁市	171	42.1	17.0	15.8	24.6	11.1	12.9	9.9	3.5	-	1.8	18.7	11.7	4.7	17.5	28.7	19.9
	矢掛町	101	51.5	13.9	7.9	18.8	6.9	9.9	9.9	-	1.0	3.0	16.8	8.9	5.9	19.8	28.7	43.6
	全体	3,135	35.7	18.8	16.0	26.4	7.9	16.6	2.2	1.6	0.5	3.9	18.4	27.0	13.1	15.8	8.4	12.1
真備町	箭田	737	34.9	17.0	13.7	24.7	6.8	17.5	2.7	1.6	0.7	2.8	19.7	23.7	13.6	18.3	7.7	11.3
	服部	75	45.3	17.3	12.0	20.0	8.0	8.0	5.3	1.3	1.3	2.7	21.3	17.3	10.7	14.7	20.0	29.3
	妹	44	29.5	13.6	9.1	18.2	11.4	9.1	4.5	4.5	2.3	6.8	13.6	25.0	11.4	22.7	13.6	13.6
	尾崎	204	38.7	19.6	15.2	28.4	8.8	14.2	3.4	2.5	-	4.4	18.6	22.5	11.8	15.7	10.3	20.1
	市場	12	16.7	8.3	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	16.7	25.0	8.3	16.7	-	16.7
	有井	442	33.7	18.8	17.0	26.0	7.5	17.4	2.3	1.1	0.9	3.4	16.1	28.1	13.8	14.5	7.9	12.2
	岡田	287	38.3	23.7	21.6	29.3	8.7	15.7	1.7	1.7	0.3	3.1	19.9	31.4	15.0	16.7	9.4	14.3
	辻田	400	39.5	22.5	21.0	28.5	8.0	15.5	2.0	1.0	0.3	4.8	20.0	31.5	12.3	13.0	8.0	11.3
	川辺	887	33.6	17.7	14.5	27.4	8.6	18.3	1.2	1.8	0.5	4.7	17.5	28.0	13.1	15.2	7.8	9.2
	下二万	37	40.5	13.5	5.4	10.8	5.4	5.4	8.1	2.7	-	2.7	16.2	16.2	8.1	16.2	2.7	8.1
	上二万	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-
	その他	6	33.3	-	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	16.7
	全体	3,765	2.6	0.8	9.9	1.1	0.8	21.5	63.6	47.4	52.8	55.2	50.9	35.1	28.7	1.2	1.7	
市町	倉敷市	3,205	2.7	0.8	9.7	1.0	0.9	22.4	64.7	48.0	53.3	57.0	52.4	34.1	28.5	1.2	1.4	
	総社市	233	3.0	1.7	12.4	1.7	0.4	13.3	55.8	43.8	45.1	45.5	39.5	39.5	31.8	2.1	4.3	
	高梁市	171	1.2	0.6	9.9	1.8	1.2	25.1	57.9	45.6	54.4	50.3	48.5	48.0	28.1	0.6	1.8	
	矢掛町	101	3.0	1.0	10.9	1.0	-	10.9	58.4	42.6	58.4	43.6	48.5	43.6	27.7	1.0	3.0	
	全体	3,135	2.7	0.8	9.7	1.0	0.9	22.4	64.5	48.3	53.3	57.1	52.6	34.2	28.6	1.2	1.4	
真備町	箭田	737	2.4	0.8	8.0	1.4	0.7	22.7	64.9	47.4	52.5	58.2	53.6	33.2	28.8	0.9	1.5	
	服部	75	1.3	-	12.0	-	-	13.3	65.3	50.7	58.7	54.7	48.0	53.3	32.0	-	2.7	
	妹	44	2.3	-	4.5	2.3	2.3	20.5	77.3	54.5	65.9	54.5	50.0	40.9	27.3	4.5	-	
	尾崎	204	2.9	-	9.3	-	0.5	23.0	67.2	50.0	54.9	55.9	52.5	39.7	27.5	1.5	0.5	
	市場	12	-	-	-	-	-	8.3	75.0	41.7	50.0	50.0	58.3	33.3	33.3	-	16.7	
	有井	442	2.0	0.7	8.8	1.1	1.1	25.6	61.1	49.1	53.8	55.4	52.7	33.0	31.7	1.8	0.2	
	岡田	287	2.4	1.0	14.3	1.7	1.0	17.8	66.6	48.1	55.1	55.7	47.0	36.6	27.2	0.7	1.4	
	辻田	400	2.5	1.5	13.3	1.0	0.3	17.0	69.0	47.3	51.8	60.0	53.8	35.8	27.8	1.5	2.5	
	川辺	887	3.5	0.8	9.1	0.7	1.2	26.2	61.6	48.8	53.1	56.9	54.7	31.2	27.2	1.1	1.6	
	下二万	37	2.7	-	-	-	-	8.1	73.0	37.8	40.5	51.4	29.7	21.6	35.1	-	-	
	上二万	4	25.0	-	25.0	-	-	50.0	25.0	50.0	75.0	75.0	100.0	50.0	50.0	-	-	
	その他	6	-	-	-	-	-	-	83.3	33.3	33.3	83.3	-	33.3	66.7	-	-	

今後災害時に精神面で頼りにできる人・組織について、「子ども」との回答が 63.6%と最も高く、次いで「配偶者」(55.2%)、「親せき」(52.8%)などの順となっている。市町別にみると、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答は総社市で約6割と高くなっている。一方「地域の消防団」との回答は倉敷市で1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

真備町では、「子ども」との回答が 64.5%と最も高く、次いで「配偶者」(57.1%)、「親せき」(53.3%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答は服部で4割台半ば、「自治会・町内会」との回答は服部で約3割、「子ども」との回答は妹で約8割、「近所の人」との回答は服部で5割台半ばと高くなっている。

問 48 付問 上記の中で精神面において一番頼りになる人・組織はどれですか。
最もあてはまる番号を1つ書いてください。

【図表 今後災害時に精神面で最も頼りにできる人・組織】



今後災害時に精神面で最も頼りにできる人・組織について、「配偶者」との回答が 28.2%と最も高く、次いで「子ども」(24.1%)などの順となっている。

問 49 今回の経験をふまえて、もし次に災害が起こったとして、あなたが物質面で頼りにできるのは以下の人・組織のどれですか。頼りになるものすべて○をつけてください。

【図表 今後災害時に物質面で頼りにできる人・組織】

(%)

	回答者数(人)	あなたが住んでいる市町村の役所	県	国の行政機関	保険会社	建設会社	会社・職場	農協・漁協	同業者組合	学識者	マスコミ	医療機関	自衛隊	警察	消防	地域の消防団	自治会・町内会	
全体	3,765	55.5	28.7	24.2	29.2	7.3	14.6	2.5	1.8	0.2	1.9	10.9	16.5	6.3	7.4	4.9	9.9	
市町	倉敷市	3,205	53.9	30.2	25.6	30.1	7.2	15.4	2.0	1.8	0.2	2.0	11.4	18.3	6.9	7.5	3.8	8.3
	総社市	233	70.8	18.5	17.2	24.0	9.0	9.0	4.7	1.7	-	1.7	10.7	5.6	5.6	9.9	10.3	20.6
	高梁市	171	57.9	20.5	14.0	22.8	7.0	13.5	8.2	1.8	-	1.2	6.4	8.2	1.2	5.3	9.9	11.7
	矢掛町	101	67.3	18.8	11.9	22.8	8.9	7.9	5.9	1.0	-	1.0	7.9	5.0	1.0	5.9	17.8	33.7
全体	3,135	54.2	30.3	25.7	30.2	7.3	15.7	2.1	1.8	0.2	2.0	11.4	18.4	6.9	7.6	3.7	8.4	
真備町	箭田	737	51.6	29.7	23.1	30.9	6.6	17.1	2.8	2.4	0.1	2.7	12.2	17.0	8.5	11.1	4.5	6.9
	服部	75	54.7	30.7	24.0	22.7	5.3	5.3	2.7	-	-	-	5.3	9.3	4.0	6.7	5.3	26.7
	妹	44	50.0	18.2	13.6	13.6	4.5	6.8	4.5	2.3	-	2.3	2.3	15.9	-	-	-	6.8
	尾崎	204	56.4	27.9	27.9	31.4	6.9	14.7	2.5	2.5	-	-	9.8	17.2	6.4	6.9	3.9	15.7
	市場	12	58.3	41.7	33.3	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	16.7	-	8.3	-	-
	有井	442	53.4	31.0	27.8	27.6	6.6	15.4	2.5	1.8	0.5	2.3	11.1	17.4	6.3	7.0	2.5	8.8
	岡田	287	54.4	33.4	28.9	28.9	7.7	13.9	1.0	1.7	0.3	1.7	12.9	25.1	6.3	6.3	4.2	8.4
	辻田	400	57.8	31.3	30.0	30.3	8.0	15.0	2.0	1.0	0.3	2.3	12.8	20.3	7.5	6.3	4.0	7.3
	川辺	887	54.2	29.9	24.2	33.4	8.3	17.2	1.4	1.7	0.1	1.9	11.3	18.7	6.4	6.4	3.4	6.9
	下二万	37	64.9	40.5	18.9	13.5	2.7	2.7	2.7	2.7	-	-	10.8	13.5	10.8	16.2	2.7	8.1
	上二万	4	100.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-
	その他	6	16.7	-	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
	回答者数(人)	宗教関係の団体	政治関係の団体	ス・ライフライン事業者(電力・ガス・水道・電話など)	JR・鉄道事業者	バス事業者	両親	子ども	きょうだい	親せき	配偶者	友人	近所の人	ボランティア	この中にはいない	無回答		
全体	3,765	1.9	0.9	9.9	1.0	0.8	15.4	42.3	39.1	47.3	28.8	39.5	16.9	29.2	1.3	2.7		
市町	倉敷市	3,205	2.0	0.9	9.9	0.9	0.9	16.2	42.0	39.8	47.9	29.5	40.6	15.9	30.6	1.3	2.4	
	総社市	233	1.7	2.1	9.9	1.7	0.9	7.3	41.6	34.8	41.2	24.9	27.9	20.6	23.2	1.7	4.7	
	高梁市	171	-	0.6	10.5	1.2	0.6	19.3	42.1	38.6	48.0	27.5	39.8	27.5	20.5	0.6	2.3	
	矢掛町	101	2.0	1.0	11.9	-	-	8.9	47.5	30.7	52.5	26.7	39.6	28.7	17.8	1.0	4.0	
全体	3,135	2.0	0.9	9.8	1.0	0.9	16.2	42.0	40.0	47.9	29.6	40.7	15.8	30.7	1.3	2.4		
真備町	箭田	737	1.8	0.9	9.6	1.4	0.9	16.8	42.2	40.4	47.8	29.4	44.6	17.0	29.7	1.2	1.9	
	服部	75	-	-	10.7	-	-	9.3	53.3	44.0	58.7	28.0	42.7	36.0	32.0	-	4.0	
	妹	44	2.3	-	6.8	2.3	2.3	13.6	54.5	47.7	65.9	29.5	38.6	25.0	36.4	4.5	-	
	尾崎	204	1.5	0.5	9.8	-	-	16.7	47.1	40.7	46.6	29.9	44.6	19.6	27.9	1.0	1.5	
	市場	12	-	-	8.3	-	-	8.3	50.0	33.3	50.0	8.3	41.7	8.3	33.3	-	16.7	
	有井	442	2.3	0.9	8.8	0.9	1.1	20.6	37.8	39.1	48.2	29.4	43.2	14.9	33.5	1.6	1.4	
	岡田	287	1.7	0.3	13.6	1.4	1.0	10.5	45.3	41.1	49.5	30.3	34.5	16.0	31.0	1.7	1.7	
	辻田	400	2.5	0.8	9.8	1.0	0.8	11.3	43.5	43.5	46.5	33.0	38.0	14.5	28.8	1.8	3.5	
	川辺	887	2.4	1.4	9.5	0.8	1.0	19.1	38.8	38.1	46.9	28.5	39.1	13.0	30.7	1.1	2.8	
	下二万	37	-	-	2.7	-	-	-	59.5	24.3	40.5	27.0	24.3	13.5	37.8	-	2.7	
	上二万	4	25.0	-	25.0	-	-	50.0	-	25.0	75.0	50.0	100.0	25.0	50.0	-	-	
	その他	6	-	-	-	-	-	-	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	

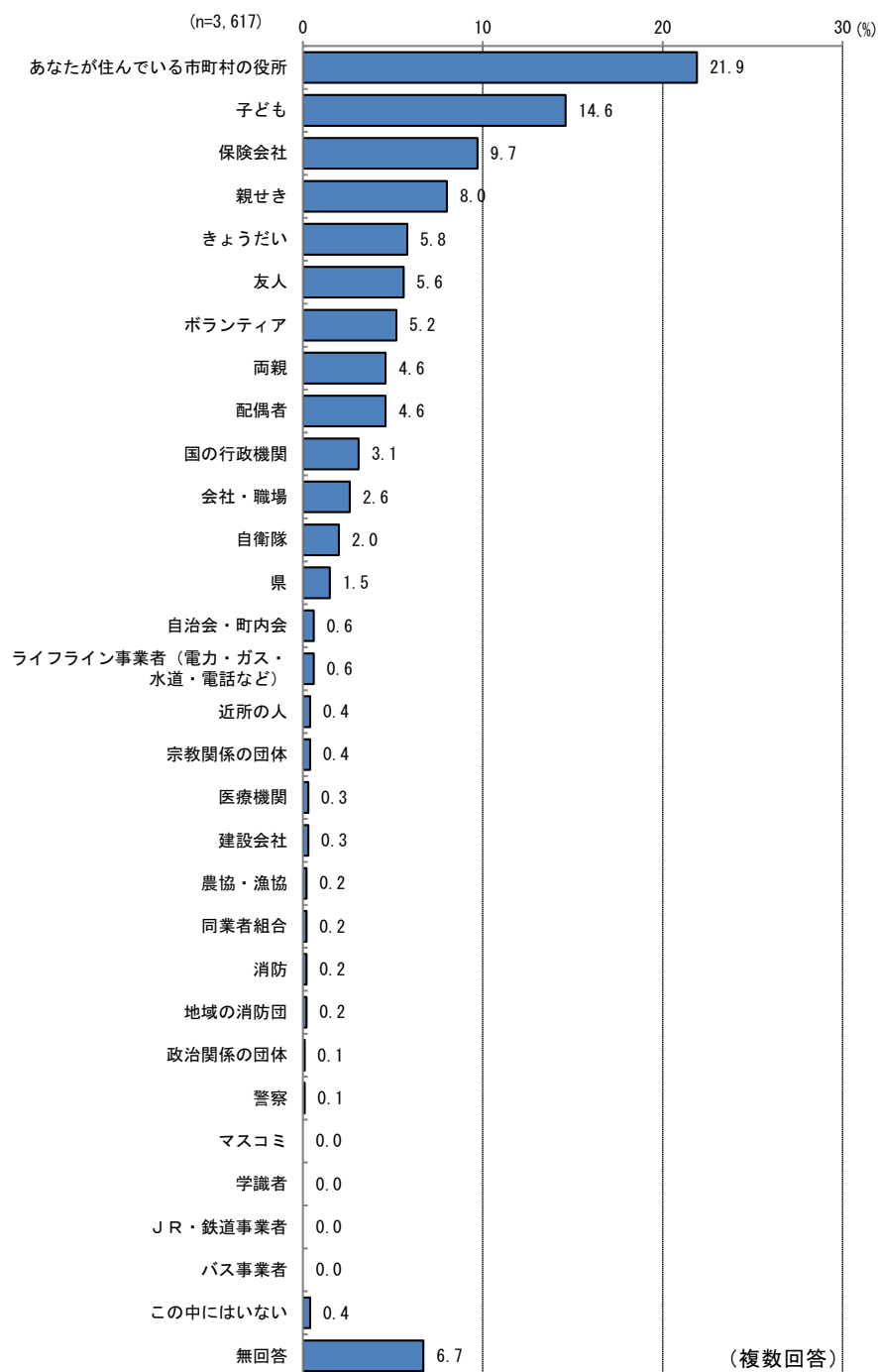
(複数回答)

今後災害時に物質面で頼りにできる人・組織について、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答が55.5%と最も高く、次いで「親せき」(47.3%)、「子ども」(42.3%)などの順となっている。市町別にみると、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答は総社市、矢掛町で約7割、「自治会・町内会」との回答は矢掛町で3割台半ばと高くなっている。

真備町では、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答が54.2%と最も高く、次いで「親せき」(47.9%)、「子ども」(42.0%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「自治会・町内会」との回答は服部で2割台半ば、「子ども」との回答は下二万で約6割、「親せき」との回答は妹で6割台半ばと高くなっている。

問 49 付問 上記の中で物質面において一番頼りになる人・組織はどれですか。
最もあてはまる番号を1つ書いてください。

【図表 今後災害時に物質面で最も頼りにできる人・組織】



今後災害時に物質面で最も頼りにできる人・組織について、「あなたが生きている市町村の役所」との回答が21.9%と最も高く、次いで「子ども」(14.6%)、「保険会社」(9.7%)「親せき」(8.0%)などの順となっている。

問 50 今回の経験をふまえて、もし次に災害が起こったとして、あなたが情報面で頼りにできるのは以下の人・組織のどれですか。頼りになるものにすべて○をつけてください。

【図表 今後災害時に情報面で頼りにできる人・組織】

(%)

	回答者数 (人)	あなたが住んでいる市町村の役所	県	国の行政機関	保険会社	建設会社	会社・職場	農協・漁協	同業者組合	学識者	マスコミ	医療機関	自衛隊	警察	消防	地域の消防団	自治会・町内会	
全体	3,765	60.7	24.9	18.3	5.5	2.9	5.3	1.2	0.7	0.8	32.9	4.9	5.8	6.5	9.6	7.6	14.1	
市町	倉敷市	3,205	59.8	26.4	19.0	5.6	2.9	5.6	0.9	0.7	34.1	5.2	6.2	6.6	8.9	5.2	11.6	
	総社市	233	72.5	18.0	15.9	4.3	2.6	3.4	2.1	0.9	24.9	3.9	4.7	10.3	18.5	19.3	30.0	
	高梁市	171	57.9	17.0	14.6	4.7	2.3	4.7	2.9	0.6	28.7	5.3	3.5	4.1	11.7	22.8	18.1	
	矢掛町	101	68.3	12.9	9.9	2.0	3.0	4.0	4.0	1.0	26.7	-	2.0	3.0	9.9	31.7	44.6	
	全体	3,135	59.8	26.6	19.0	5.5	2.9	5.6	0.9	0.6	0.7	34.5	4.9	6.1	6.7	8.9	5.2	11.6
真備町	箭田	737	58.9	27.5	19.0	5.7	2.7	5.0	1.4	0.4	0.7	33.2	4.7	5.2	7.2	10.6	5.4	11.1
	服部	75	64.0	16.0	10.7	4.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	40.0	1.3	2.7	4.0	9.3	20.0	25.3
	妹	44	56.8	11.4	4.5	2.3	-	-	2.3	2.3	-	38.6	2.3	2.3	4.5	4.5	9.1	13.6
	尾崎	204	64.2	27.0	20.1	5.4	2.9	4.4	2.0	1.0	0.5	31.4	4.9	4.4	6.4	6.9	7.4	19.1
	市場	12	66.7	50.0	25.0	8.3	-	-	-	-	8.3	16.7	-	8.3	8.3	-	-	16.7
	有井	442	59.0	29.4	20.8	6.6	4.3	6.8	1.4	1.1	0.9	34.2	5.4	7.5	8.6	9.7	4.3	12.0
	岡田	287	64.5	27.5	19.2	6.6	3.1	7.0	0.3	0.7	0.3	32.1	6.6	5.6	6.3	7.7	5.2	11.5
	辻田	400	63.0	29.5	23.0	5.0	3.0	4.3	0.3	0.3	0.3	34.3	4.0	7.8	6.3	8.5	4.8	9.0
	川辺	887	56.0	24.4	17.8	5.2	2.5	6.5	0.3	0.6	1.0	37.3	5.2	6.7	6.1	8.1	3.9	10.0
	下二万	37	75.7	21.6	10.8	-	-	5.4	2.7	-	-	27.0	2.7	-	5.4	13.5	-	10.8
	上二万	4	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-
	その他	6	50.0	-	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7
	回答者数 (人)	宗教関係の団体	政治関係の団体	ス・水道・イン事業者 (電力・ガス)	J R・鉄道事業者	バス事業者	両親	子ども	きょうだい	親せき	配偶者	友人	近所の人	ボランティア	この中にはいない	無回答		
全体	3,765	1.1	0.6	6.0	0.4	0.3	5.6	36.2	21.9	23.5	21.3	31.5	26.5	9.7	3.6	3.4		
市町	倉敷市	3,205	1.3	0.6	5.9	0.4	0.3	5.8	37.0	22.3	23.5	22.4	33.0	25.6	10.0	3.8	3.0	
	総社市	233	0.9	2.1	7.7	1.3	0.4	3.9	29.6	21.0	22.7	18.0	19.7	30.5	9.4	2.1	5.6	
	高梁市	171	-	0.6	4.7	0.6	0.6	6.4	30.4	21.1	28.1	14.6	28.1	37.4	5.8	3.5	4.7	
	矢掛町	101	-	-	7.9	-	-	3.0	33.7	14.9	22.8	12.9	22.8	27.7	5.9	-	5.9	
	全体	3,135	1.3	0.6	5.9	0.4	0.4	5.7	36.9	22.3	23.3	22.4	33.1	25.7	10.0	3.8	2.9	
真備町	箭田	737	1.1	0.7	6.0	0.3	0.3	6.1	36.1	20.2	21.7	20.8	34.2	25.2	8.4	3.7	3.4	
	服部	75	-	-	2.7	-	-	4.0	38.7	32.0	32.0	24.0	34.7	34.7	14.7	-	5.3	
	妹	44	2.3	-	-	-	-	6.8	43.2	27.3	25.0	13.6	34.1	27.3	9.1	6.8	2.3	
	尾崎	204	2.5	0.5	7.8	-	-	3.4	38.2	23.0	23.5	25.0	33.8	30.4	9.3	1.5	1.5	
	市場	12	-	-	-	-	-	-	33.3	16.7	25.0	8.3	41.7	25.0	8.3	-	8.3	
	有井	442	0.7	0.2	5.4	0.9	1.1	6.8	32.8	21.5	22.2	20.4	35.5	26.7	12.2	3.8	1.4	
	岡田	287	0.7	-	7.0	0.7	0.3	3.5	41.8	28.2	25.4	24.0	30.7	26.1	10.5	3.8	2.1	
	辻田	400	1.3	0.8	7.8	0.5	0.3	3.0	41.3	21.3	23.3	26.5	30.8	25.3	8.8	4.0	3.3	
	川辺	887	1.7	0.9	5.2	0.2	0.2	7.7	35.5	21.8	23.6	22.4	32.7	23.9	10.7	4.8	3.5	
	下二万	37	-	-	2.7	-	-	-	40.5	21.6	27.0	16.2	24.3	24.3	2.7	-	-	
	上二万	4	25.0	-	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	33.3

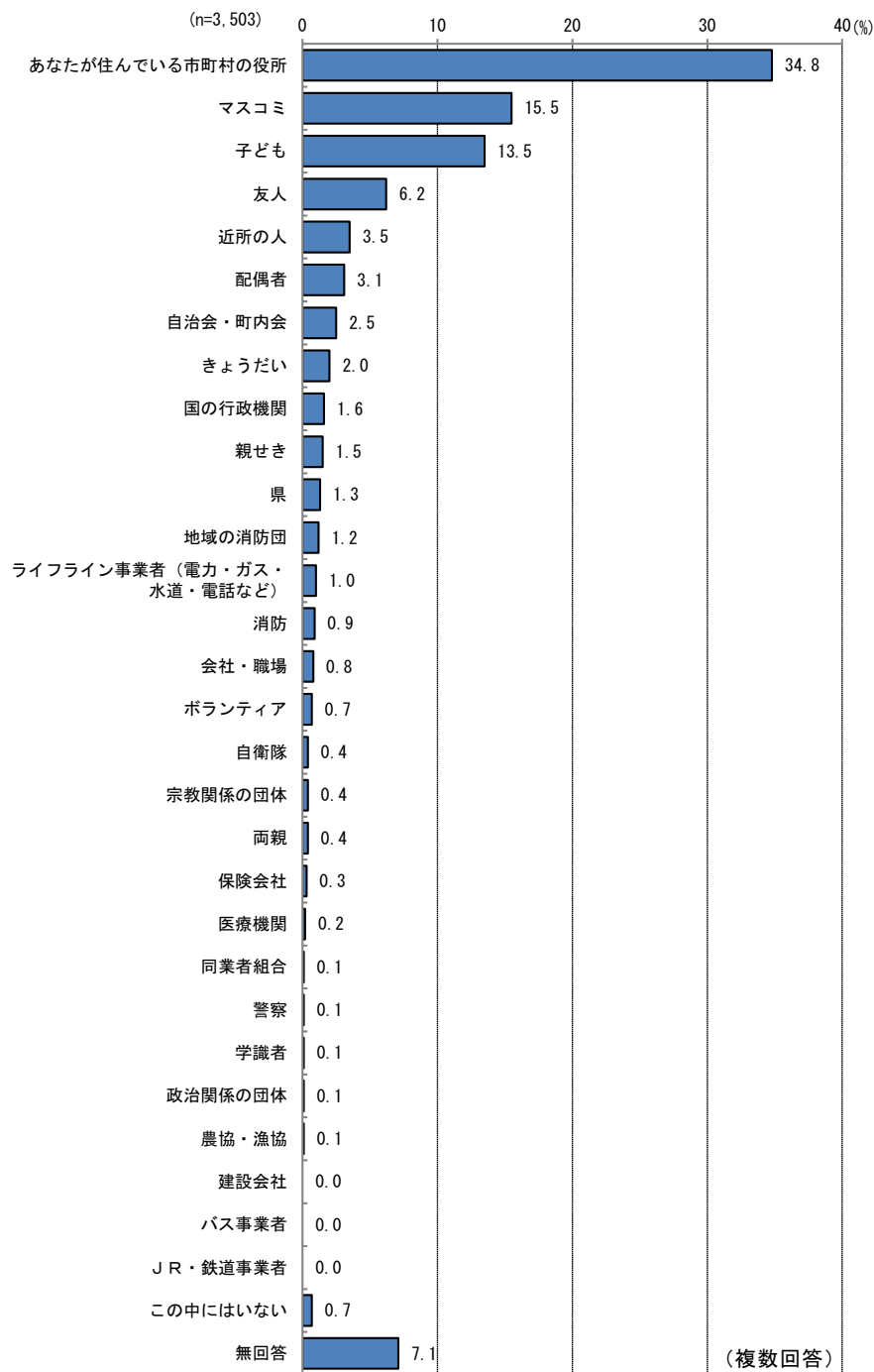
(複数回答)

今後災害時に情報面で頼りにできる人・組織について、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答が60.7%と最も高く、次いで「子ども」(36.2%)、「マスコミ」(32.9%)、「友人」(31.5%)などの順となっている。市町別にみると、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答は総社市、矢掛町で7割前後、「近所の人」との回答は高梁市で約4割と高くなっている。

真備町では、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答が59.8%と最も高く、次いで「子ども」(36.9%)、「マスコミ」(34.5%)、「友人」(33.1%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「あなたが住んでいる市町村の役所」との回答は下二万で7割台半ば、「地域の消防団」との回答は服部で約2割、「自治会・町内会」との回答は服部で2割台半ばと高くなっている。一方「国の行政機関」との回答は妹で1割未満と他の地域に比べ低くなっている。

問 50 付問 上記の中で情報面において一番頼りになる人・組織はどれですか。
最もあてはまる番号を1つ書いてください。

【図表 今後災害時に情報面で最も頼りにできる人・組織】



今後災害時に情報面で最も頼りにできる人・組織について、「あなたが生きている市町村の役所」との回答が34.8%と最も高く、次いで「マスコミ」(15.5%)、「子ども」(13.5%)などの順となっている。

問 51 あなたの気持ちや行動が、災害発生後、時間とともにどのように変化してきたのか、ふり返ってみてください。A～Lのそれぞれについて、カレンダーの1～11の番号に○をつけてください。

【図表 A被害の全体像がつかめた時期】

		回答者数(人)	(%)											
		水害当日(7/6～7)	水害2～4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全 体		3765	10.4	34.3	15.5	5.9	5.4	1.9	0.9	0.6	1.0	2.2	1.5	20.5
市 町	倉敷市	3205	10.5	35.1	16.0	6.1	5.5	1.9	0.7	0.5	0.9	2.0	1.4	19.5
	総社市	233	6.9	32.2	12.4	4.3	3.9	3.0	1.7	0.4	1.7	3.9	2.6	27.0
	高梁市	171	14.6	26.9	10.5	4.7	6.4	0.6	4.1	1.2	1.2	4.1	2.3	23.4
	矢掛町	101	8.9	33.7	17.8	8.9	5.9	2.0	-	1.0	1.0	2.0	1.0	17.8
	全 体	3135	10.6	35.2	16.0	6.0	5.5	1.9	0.7	0.5	0.9	2.0	1.4	19.4
真 備 町	箭田	737	12.2	36.1	15.7	6.2	5.4	2.3	0.5	0.8	0.7	2.7	1.2	16.0
	服部	75	12.0	41.3	9.3	5.3	2.7	1.3	-	1.3	-	2.7	1.3	22.7
	妹	44	13.6	15.9	20.5	11.4	6.8	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	-	20.5
	尾崎	204	12.3	28.4	22.5	5.9	5.9	2.5	-	-	2.0	1.0	1.0	18.6
	市場	12	8.3	25.0	25.0	-	8.3	-	-	-	-	8.3	-	25.0
	有井	442	9.7	35.1	15.4	6.6	5.0	2.9	0.9	-	0.2	0.7	1.1	22.4
	岡田	287	11.1	31.4	16.7	5.6	8.4	-	0.3	0.7	1.4	2.1	0.7	21.6
	辻田	400	10.0	36.8	14.8	6.8	4.0	0.8	1.8	0.3	0.8	3.3	1.3	19.8
	川辺	887	9.5	37.1	16.0	5.3	5.7	2.0	0.5	0.2	1.0	1.5	2.0	19.2
	下二万	37	5.4	32.4	10.8	5.4	2.7	2.7	-	8.1	2.7	-	2.7	27.0
	上二万	4	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-
	その他	6	-	33.3	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	33.3

被害の全体像がつかめた時期について、「水害2～4日(7/10頃)」との回答が34.3%と最も高く、次いで「水害後1週間(7/14頃)」(15.5%)、「水害当日(7/6～7)」(10.4%)などの順となっている。市町別にみると、「水害2～4日(7/10頃)」との回答は高梁市で2割台半ばと低くなっている。

真備町では、「水害2～4日(7/10頃)」との回答が35.2%と最も高く、次いで「水害後1週間(7/14頃)」(16.0%)、「水害当日(7/6～7)」(10.6%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「水害2～4日(7/10頃)」との回答は服部で4割超と高くなっている。

【図表 B もう安全だと思った時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	5.9	19.6	10.9	3.1	3.6	2.9	2.0	1.0	2.2	19.5	2.4	26.9	
市町	倉敷市	3205	5.8	19.2	10.9	3.2	3.7	2.9	1.9	0.9	20.6	2.4	26.5	
	総社市	233	3.9	23.6	14.2	1.3	3.0	3.4	2.6	0.4	13.3	1.7	30.0	
	高梁市	171	5.8	20.5	8.8	4.7	2.9	4.1	1.8	1.8	14.6	2.9	28.1	
	矢掛町	101	10.9	27.7	8.9	3.0	4.0	1.0	2.0	5.0	10.9	2.0	20.8	
	全体	3135	5.8	19.3	11.1	3.2	3.7	2.9	1.9	0.9	1.9	20.7	2.5	26.3
真備町	箭田	737	7.2	18.7	11.4	2.7	3.7	3.3	1.2	0.8	24.6	2.2	22.4	
	服部	75	6.7	18.7	8.0	1.3	2.7	5.3	2.7	1.3	14.7	5.3	32.0	
	妹	44	6.8	18.2	4.5	2.3	11.4	4.5	-	-	25.0	2.3	25.0	
	尾崎	204	4.4	18.6	13.7	3.4	3.4	6.9	3.4	0.5	14.7	2.5	26.5	
	市場	12	8.3	8.3	-	-	25.0	-	-	-	25.0	8.3	25.0	
	有井	442	6.3	18.8	11.5	2.9	2.5	2.5	1.1	0.9	2.7	21.7	2.0	26.9
	岡田	287	2.8	25.4	7.7	3.8	4.9	1.7	2.1	1.0	2.4	17.4	2.1	28.6
	辻田	400	6.3	26.3	11.3	2.8	2.8	2.0	1.5	0.8	0.8	16.5	1.5	27.8
	川辺	887	5.5	15.7	11.8	3.8	3.9	2.3	2.4	1.0	1.9	21.4	3.2	27.1
	下二万	37	-	10.8	8.1	2.7	2.7	5.4	2.7	2.7	2.7	21.6	5.4	35.1
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-
その他	6	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	33.3	

もう安全だと思った時期について、「水害2~4日(7/10頃)」との回答が19.6%と最も高く、次いで「現在も戻っていない/そうならない」(19.5%)、「水害後1週間(7/14頃)」(10.9%)などの順となっている。市町別にみると、「水害当日(7/6~7)」との回答は矢掛町で約1割、「水害2~4日(7/10頃)」との回答は矢掛町で約3割と高くなっている。また、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は倉敷市で約2割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が20.7%と最も高く、次いで「水害2~4日(7/10頃)」(19.3%)、「水害後1週間(7/14頃)」(11.1%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「水害2~4日(7/10頃)」との回答は岡田、辻田で2割台半ばと高くなっている。

【図表 C 不自由な暮らしが当分続くと覚悟した時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうなっていない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	21.8	19.1	7.9	2.9	2.8	1.2	0.8	0.5	2.2	5.0	0.8	35.0	
市町	倉敷市	3205	22.1	19.5	8.0	2.9	2.6	1.2	0.8	0.4	2.1	5.1	0.8	34.6
	総社市	233	15.9	18.0	8.2	3.0	5.6	2.1	0.4	1.3	3.4	5.2	0.4	36.5
	高梁市	171	27.5	15.2	6.4	1.2	2.3	0.6	0.6	0.6	2.3	4.1	1.8	37.4
	矢掛町	101	22.8	18.8	7.9	5.9	3.0	1.0	1.0	2.0	2.0	4.0	1.0	30.7
	全体	3135	22.2	19.6	7.9	3.0	2.6	1.1	0.9	0.4	2.1	5.0	0.8	34.3
真備町	箭田	737	28.8	18.9	7.2	1.8	3.1	1.1	0.9	0.1	2.4	6.1	0.7	28.9
	服部	75	14.7	20.0	9.3	4.0	1.3	1.3	1.3	-	2.7	4.0	1.3	40.0
	妹	44	13.6	9.1	11.4	6.8	9.1	-	-	2.3	-	2.3	-	45.5
	尾崎	204	21.1	16.7	8.8	4.4	2.5	1.0	1.5	0.5	3.9	3.4	0.5	35.8
	市場	12	8.3	25.0	8.3	-	-	8.3	-	-	-	-	8.3	41.7
	有井	442	24.9	18.8	7.2	2.5	2.3	1.6	0.7	0.2	1.8	4.3	0.2	35.5
	岡田	287	18.5	19.9	9.1	3.5	1.4	0.7	0.7	1.0	1.0	4.9	0.3	39.0
	辻田	400	17.8	23.5	9.3	3.3	2.5	0.3	0.5	0.3	1.5	5.3	0.8	35.3
	川辺	887	20.6	19.8	7.4	3.5	2.8	1.5	0.8	0.2	2.3	5.0	1.2	34.8
	下二万	37	16.2	24.3	5.4	-	2.7	-	-	2.7	5.4	5.4	2.7	35.1
	上二万	4	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-
	その他	6	-	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	-	16.7	-	33.3

不自由な暮らしが当分続くと覚悟した時期について、「水害当日（7/6～7）」との回答が21.8%と最も高く、次いで「水害2～4日（7/10頃）」（19.1%）などの順となっている。市町別にみると、「水害当日（7/6～7）」との回答は高梁市で約3割と高くなっている。

真備町では、「水害当日（7/6～7）」との回答が22.2%と最も高く、次いで「水害2～4日（7/10頃）」（19.6%）などの順となっている。真備町の大字別にみると、「水害当日（7/6～7）」との回答は箭田で約3割、「水害2～4日（7/10頃）」との回答は辻田、下二万で2割台半ばと高くなっている。

【図表 D 仕事のもとに戻った時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.6	1.1	3.0	8.8	13.5	8.3	3.9	2.0	2.6	14.1	2.1	39.9	
市町	倉敷市	3205	0.6	0.7	2.5	8.5	14.3	8.6	3.9	2.0	2.3	14.9	2.0	39.6
	総社市	233	0.4	2.6	3.4	9.0	10.3	7.3	3.4	1.7	4.3	12.0	2.6	42.9
	高梁市	171	-	2.9	9.4	13.5	12.9	7.0	2.9	1.8	4.1	8.2	2.9	34.5
	矢掛町	101	1.0	5.9	5.0	12.9	4.0	6.9	5.9	2.0	5.0	8.9	3.0	39.6
	全体	3135	0.6	0.8	2.5	8.5	14.4	8.7	3.9	2.0	2.3	15.0	2.1	39.3
真備町	箭田	737	0.3	0.7	2.7	8.5	15.6	8.3	3.9	1.2	2.7	18.0	2.6	35.4
	服部	75	-	1.3	1.3	6.7	10.7	4.0	4.0	2.7	1.3	20.0	1.3	46.7
	妹	44	-	-	2.3	6.8	18.2	18.2	6.8	4.5	-	9.1	-	34.1
	尾崎	204	-	2.9	2.0	8.8	16.2	6.9	5.9	3.9	1.5	11.8	3.4	36.8
	市場	12	-	-	-	16.7	8.3	8.3	-	8.3	-	16.7	-	41.7
	有井	442	0.7	1.1	2.5	8.1	15.4	8.4	2.7	2.3	1.4	13.8	1.1	42.5
	岡田	287	1.0	-	2.1	8.4	9.8	9.1	2.1	2.4	3.8	13.2	2.8	45.3
	辻田	400	0.5	0.3	1.0	6.3	13.0	9.8	3.5	1.8	2.3	15.3	2.0	44.5
	川辺	887	0.9	0.7	3.5	9.9	15.1	9.4	4.4	1.5	2.3	13.9	1.8	36.8
	下二万	37	5.4	-	-	5.4	5.4	5.4	5.4	2.7	2.7	18.9	2.7	45.9
	上二万	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3

仕事のもとに戻った時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が14.1%と最も高く、次いで「水害後1か月(8月上旬)」(13.5%)、「水害後2週間(7月下旬)」(8.8%)などの順となっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は高梁市、矢掛町で1割未満と低くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が15.0%と最も高く、次いで「水害後1か月(8月上旬)」(14.4%)、「水害後2か月(9月上旬)」(8.7%)、「水害後2週間(7月下旬)」(8.5%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「水害後1か月(8月上旬)」、「水害後2か月(9月上旬)」との回答は妹で約2割と高くなっている。一方「現在も戻っていない/そうならない」との回答は妹で1割未満と低くなっている。

【図表 E地域の学校がもとに戻った時期】

		(%)												
		回答者数(人)	水害当日(7/6、7)	水害2、4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答
全体		3765	0.3	0.7	0.8	0.7	1.1	5.2	3.0	2.1	2.1	32.7	10.2	41.1
市町	倉敷市	3205	0.1	-	0.1	0.2	0.6	5.1	3.5	2.4	2.0	36.7	9.4	40.0
	総社市	233	0.9	3.9	5.6	3.0	6.9	6.4	0.9	0.4	3.4	3.9	17.6	47.2
	高梁市	171	1.2	7.0	5.8	8.2	3.5	7.6	0.6	0.6	2.9	2.9	17.0	42.7
	矢掛町	101	4.0	4.0	4.0	-	-	-	-	-	-	31.7	11.9	44.6
全体		3135	0.1	-	0.1	0.2	0.5	5.0	3.5	2.3	2.0	36.9	9.4	39.8
真備町	箭田	737	-	-	-	0.1	0.5	2.2	2.2	0.9	0.9	48.6	9.0	35.5
	服部	75	-	-	-	-	1.3	2.7	1.3	1.3	2.7	21.3	13.3	56.0
	妹	44	4.5	-	-	-	4.5	20.5	6.8	-	-	15.9	11.4	36.4
	尾崎	204	-	-	0.5	-	0.5	5.4	4.9	0.5	2.9	27.5	15.7	42.2
	市場	12	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	50.0	8.3	33.3
	有井	442	-	-	0.2	0.2	0.7	11.1	5.2	1.8	2.0	27.6	9.3	41.9
	岡田	287	0.3	-	-	-	0.3	8.4	5.9	5.2	4.2	23.7	9.1	42.9
	辻田	400	-	-	-	0.5	1.0	5.5	6.0	6.3	4.3	24.0	11.0	41.5
	川辺	887	-	-	0.1	0.1	0.1	2.5	1.8	1.8	1.1	46.2	7.7	38.6
	下二万	37	-	-	-	-	-	5.4	2.7	-	-	43.2	5.4	43.2
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	83.3

地域の学校がもとに戻った時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が32.7%と最も高くなっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は総社市、高梁市で1割未満と低くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が36.9%と最も高くなっている。真備町の大字別にみると、「水害後2か月(9月上旬)」との回答は妹で約2割、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は箭田で約5割と高くなっている。

【図表 Fすまいの問題が最終的に解決した時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.1	0.3	0.6	1.1	3.4	3.9	3.3	2.9	8.3	48.9	1.1	26.1	
市町	倉敷市	3205	0.1	0.2	0.6	1.1	3.5	3.8	3.1	2.7	8.0	50.5	1.0	25.4
	総社市	233	0.4	2.1	-	0.9	2.6	2.1	4.3	2.6	7.7	42.9	1.7	32.6
	高梁市	171	-	0.6	1.8	0.6	2.3	6.4	3.5	5.3	12.3	38.6	2.3	26.3
	矢掛町	101	-	-	-	2.0	3.0	7.9	7.9	6.9	12.9	37.6	2.0	19.8
	全体	3135	0.1	0.2	0.6	1.1	3.5	3.8	3.1	2.7	7.9	50.9	1.0	25.1
真備町	箭田	737	-	-	0.9	1.5	4.6	5.2	2.4	1.4	6.9	55.0	0.7	21.4
	服部	75	-	-	-	1.3	-	4.0	-	2.7	8.0	45.3	1.3	37.3
	妹	44	-	-	-	-	2.3	11.4	6.8	2.3	11.4	40.9	-	25.0
	尾崎	204	-	0.5	0.5	4.4	5.4	3.9	3.4	2.9	5.4	44.6	1.0	27.9
	市場	12	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	41.7	8.3	16.7
	有井	442	0.2	-	0.9	0.5	3.2	3.6	3.8	2.9	6.3	52.3	0.5	25.8
	岡田	287	-	0.3	-	1.0	2.8	2.4	3.5	2.8	9.8	48.4	0.3	28.6
	辻田	400	-	0.3	0.3	-	2.0	3.0	2.3	3.5	8.3	51.0	1.8	27.8
	川辺	887	0.2	0.2	0.6	1.0	3.9	2.9	3.5	3.3	9.0	49.9	1.5	23.9
	下二万	37	-	2.7	-	-	-	-	2.7	-	16.2	48.6	-	29.7
	上二万	4	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0	-	-
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3

すまいの問題が最終的に解決した時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が48.9%と最も高くなっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は高梁市、矢掛町で4割未満と低くなっている。

真備町では「現在も戻っていない/そうならない」との回答が50.9%と最も高くなっている。真備町の大字別にみると、大きな差はみられない。

【図表 G家計への水害の影響がなくなった時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.5	0.7	0.6	0.8	3.1	2.6	2.1	1.9	3.5	62.1	2.2	20.0	
市町	倉敷市	3205	0.5	0.5	0.6	0.7	2.8	2.4	2.0	1.6	3.2	64.5	2.0	19.3
	総社市	233	0.4	1.3	0.9	0.9	4.3	3.0	1.7	3.0	5.2	51.1	4.7	23.6
	高梁市	171	0.6	1.8	1.2	1.8	4.7	3.5	3.5	5.3	4.1	48.5	2.3	22.8
	矢掛町	101	1.0	1.0	-	2.0	6.9	5.9	6.9	4.0	5.9	43.6	2.0	20.8
全体	3135	0.5	0.5	0.5	0.7	2.8	2.5	2.0	1.6	3.3	64.6	1.9	19.1	
真備町	箭田	737	0.7	0.4	0.4	0.7	3.0	1.9	3.0	0.9	3.4	67.2	2.6	15.9
	服部	75	1.3	-	-	-	2.7	2.7	1.3	1.3	4.0	66.7	-	20.0
	妹	44	-	-	-	-	2.3	6.8	4.5	4.5	2.3	56.8	6.8	15.9
	尾崎	204	1.0	0.5	2.0	0.5	3.4	1.5	2.0	2.0	5.9	60.8	2.0	18.6
	市場	12	-	-	-	-	8.3	-	8.3	-	-	58.3	-	25.0
	有井	442	0.7	1.4	1.1	1.4	2.3	2.9	2.3	2.9	3.4	60.0	1.8	19.9
	岡田	287	0.3	0.3	0.3	0.3	2.4	0.7	1.7	1.4	4.5	64.8	0.7	22.3
	辻田	400	-	0.8	0.3	0.5	2.0	1.8	0.8	1.3	4.0	66.0	2.0	20.8
	川辺	887	0.5	0.1	0.3	0.7	3.5	3.7	1.5	1.4	1.8	65.2	1.8	19.6
	下二万	37	-	-	-	-	-	2.7	2.7	5.4	5.4	62.2	2.7	18.9
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3

家計への水害の影響がなくなった時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が62.1%と最も高くなっている。市町別にみると、大きな差はみられない。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が64.6%と最も高くなっている。真備町の大字別にみると、大きな差はみられない。

【図表 H 毎日の生活が落ち着いた時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6、7)	水害2、3、4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.1	0.3	0.3	0.7	3.9	6.6	6.4	4.8	10.7	47.1	0.9	18.2	
市町	倉敷市	3205	0.0	0.2	0.3	0.6	3.2	6.4	6.5	4.4	10.8	49.1	0.8	17.5
	総社市	233	-	0.9	0.4	2.1	7.3	6.4	5.2	6.4	8.2	39.5	1.7	21.9
	高梁市	171	0.6	-	-	1.2	5.8	8.8	7.0	7.6	12.9	34.5	1.2	20.5
	矢掛町	101	-	1.0	-	1.0	10.9	9.9	8.9	8.9	13.9	25.7	1.0	18.8
	全体	3135	0.0	0.3	0.3	0.6	3.3	6.5	6.5	4.5	10.8	49.2	0.8	17.2
真備町	箭田	737	-	0.4	0.1	0.8	3.8	6.4	7.5	3.7	10.2	52.0	0.9	14.2
	服部	75	-	-	2.7	-	4.0	10.7	6.7	5.3	12.0	38.7	1.3	18.7
	妹	44	-	-	-	2.3	2.3	4.5	6.8	9.1	15.9	43.2	2.3	13.6
	尾崎	204	-	0.5	1.5	0.5	2.9	4.9	8.8	3.9	11.8	48.5	1.0	15.7
	市場	12	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	75.0	-	16.7
	有井	442	-	0.5	0.5	1.1	3.2	7.5	6.1	5.7	10.6	46.4	0.2	18.3
	岡田	287	-	0.3	-	-	3.5	6.3	7.7	6.6	14.6	43.2	0.3	17.4
	辻田	400	-	-	0.3	0.3	3.3	4.5	5.8	3.3	10.0	52.0	1.3	19.5
	川辺	887	0.1	0.1	0.1	0.6	3.2	7.3	5.5	4.3	10.0	49.9	0.8	18.0
	下二万	37	-	-	-	-	2.7	5.4	2.7	2.7	13.5	48.6	2.7	21.6
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	50.0	-	33.3

毎日の生活が落ち着いた時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が47.1%と最も高く、次いで「現在」(10.7%)などの順となっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は倉敷市で約5割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が49.2%と最も高く、次いで「現在」(10.8%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は箭田、辻田で5割超と高くなっている。

【図表 I 地域の活動がもとに戻った時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.0	0.1	0.2	0.4	1.0	1.2	1.7	1.1	1.9	65.0	5.9	21.4	
市町	倉敷市	3205	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.6	1.0	0.6	1.2	70.2	5.5	20.5
	総社市	233	-	0.9	1.3	2.6	4.7	3.4	4.3	2.1	6.9	40.3	6.9	26.6
	高梁市	171	-	-	1.2	2.3	5.8	5.3	5.3	3.5	35.7	9.9	25.7	
	矢掛町	101	-	1.0	-	1.0	5.9	10.9	9.9	7.9	5.0	24.8	9.9	23.8
	全体	3135	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	1.0	0.5	1.3	70.4	5.5	20.3
真備町	箭田	737	0.1	-	0.1	-	0.1	0.1	0.9	0.5	1.5	73.1	6.9	16.4
	服部	75	-	-	-	1.3	-	1.3	4.0	1.3	-	65.3	5.3	21.3
	妹	44	-	2.3	-	2.3	-	4.5	2.3	2.3	6.8	65.9	2.3	11.4
	尾崎	204	-	-	-	0.5	-	0.5	1.5	-	1.0	71.1	3.9	21.6
	市場	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	有井	442	-	-	-	-	0.9	1.1	0.5	0.9	0.7	70.1	4.5	21.3
	岡田	287	-	-	-	-	0.3	0.7	1.7	0.7	1.7	65.5	4.5	24.7
	辻田	400	-	-	-	-	-	0.5	1.5	0.3	2.3	68.0	5.0	22.5
	川辺	887	-	-	-	-	0.2	0.5	0.6	0.5	0.8	71.3	6.0	20.3
	下二万	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.7	2.7	21.6
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3

地域の活動がもとに戻った時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が65.0%と最も高くなっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は倉敷市で約7割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が70.4%と最も高くなっている。真備町の大字別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は箭田、下二万で7割台半ばと高くなっている。

【図表 J地域の道路がもとに戻った時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6、7)	水害2、4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.1	1.1	1.9	2.2	9.3	11.4	8.2	2.5	7.8	23.3	10.6	21.7	
市町	倉敷市	3205	0.1	0.6	1.3	1.7	9.2	12.5	9.0	2.8	8.3	22.0	11.4	21.2
	総社市	233	0.4	5.6	6.0	5.2	12.0	5.2	6.4	0.4	6.4	20.2	7.7	24.5
	高梁市	171	-	2.3	4.1	5.3	8.2	3.5	1.8	-	4.1	41.5	5.8	23.4
	矢掛町	101	-	5.0	4.0	4.0	11.9	5.9	3.0	2.0	1.0	39.6	3.0	20.8
	全体	3135	0.1	0.6	1.3	1.8	9.3	12.6	9.0	2.8	8.3	22.0	11.4	21.0
真備町	箭田	737	0.1	0.3	1.4	1.2	8.8	12.5	11.5	1.8	7.7	23.7	13.3	17.6
	服部	75	-	-	2.7	2.7	8.0	9.3	1.3	1.3	5.3	37.3	10.7	21.3
	妹	44	-	2.3	2.3	-	9.1	4.5	9.1	-	2.3	50.0	4.5	15.9
	尾崎	204	-	-	-	5.9	3.9	8.3	6.9	3.4	12.3	27.5	11.3	20.6
	市場	12	-	-	-	-	8.3	-	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7	25.0
	有井	442	-	0.2	0.9	2.0	8.8	10.0	8.8	2.5	7.0	29.4	8.4	21.9
	岡田	287	-	2.1	1.7	0.7	11.1	13.9	9.1	2.4	9.8	14.3	9.1	25.8
	辻田	400	-	1.0	1.3	1.5	10.5	18.8	7.5	3.0	9.3	13.8	11.3	22.3
	川辺	887	0.2	0.5	1.6	1.7	9.5	13.3	8.8	3.7	8.0	18.9	12.6	21.2
	下二万	37	-	-	-	-	21.6	-	8.1	5.4	8.1	24.3	8.1	24.3
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0
	その他	6	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	50.0	-	16.7

地域の道路がもとに戻った時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が23.3%と最も高く、次いで「水害後2か月(9月上旬)」(11.4%)などの順となっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は高梁市、矢掛町で4割前後と高くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が22.0%と最も高く、次いで「水害後2か月(9月上旬)」(12.6%)などの順となっている。真備町の大字別にみると、「水害後1か月(8月上旬)」との回答は下二万で2割超、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は妹で5割と高くなっている。

【図表 K 自分が被災者だと意識しなくなった時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.2	0.1	0.1	0.1	0.7	0.9	1.7	1.1	3.5	68.2	2.5	20.9	
市町	倉敷市	3205	0.2	0.0	0.1	0.1	0.6	0.7	1.4	1.1	3.2	70.1	2.4	20.1
	総社市	233	0.4	0.4	-	-	0.9	0.4	4.7	0.9	5.6	58.8	3.0	24.9
	高梁市	171	-	-	-	0.6	1.8	2.9	1.2	0.6	5.3	62.0	1.2	24.6
	矢掛町	101	-	1.0	-	1.0	2.0	4.0	5.9	2.0	6.9	51.5	5.0	20.8
	全体	3135	0.3	0.0	0.1	0.1	0.6	0.7	1.4	1.1	3.2	70.4	2.3	19.9
真備町	箭田	737	0.1	0.1	0.1	0.1	0.9	1.2	1.4	0.8	2.0	73.7	3.0	16.4
	服部	75	-	-	-	-	-	-	-	1.3	1.3	70.7	4.0	22.7
	妹	44	-	-	2.3	-	-	2.3	2.3	-	6.8	63.6	4.5	18.2
	尾崎	204	-	-	-	-	0.5	-	2.5	1.0	2.9	71.6	1.5	20.1
	市場	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	有井	442	0.5	-	-	0.2	0.5	0.9	1.4	1.4	3.4	68.8	0.9	22.2
	岡田	287	0.3	-	-	-	0.3	1.0	2.4	1.0	4.2	65.5	1.0	24.0
	辻田	400	0.3	-	-	-	0.8	0.5	0.3	0.5	3.0	70.8	3.3	20.8
	川辺	887	0.3	-	-	-	0.5	0.5	1.5	1.5	4.1	69.9	2.3	19.6
	下二万	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73.0	5.4	21.6
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	50.0	-	33.3

自分が被災者だと意識しなくなった時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が68.2%と最も高くなっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は倉敷市で約7割と他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が70.4%と最も高くなっている。真備町の大字別でみると、大きな差はみられない。

【図表 L 地域経済が水害の影響を脱した時期】

		(%)												
	回答者数(人)	水害当日(7/6~7)	水害2~4日(7/10頃)	水害後1週間(7/14頃)	水害後2週間(7月下旬)	水害後1か月(8月上旬)	水害後2か月(9月上旬)	水害後3か月(10月上旬)	水害後4ヶ月(11月上旬)	現在	現在も戻っていない/そうならない	覚えていない/わからない	無回答	
全体	3765	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.4	0.5	0.5	1.4	70.0	4.7	22.0	
市町	倉敷市	3205	0.1	0.0	-	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.8	73.4	3.7	21.0
	総社市	233	-	0.4	0.4	0.4	0.9	0.4	1.3	3.4	57.1	6.9	27.5	
	高梁市	171	-	-	-	0.6	0.6	1.2	2.3	4.7	48.5	12.9	27.5	
	矢掛町	101	-	-	-	-	3.0	3.0	5.9	2.0	5.0	40.6	16.8	23.8
	全体	3135	0.1	0.0	-	0.0	0.1	0.3	0.2	0.4	0.9	73.6	3.7	20.8
真備町	箭田	737	-	-	-	-	-	0.4	-	0.3	0.7	76.5	4.2	17.9
	服部	75	1.3	-	-	-	-	1.3	-	-	-	73.3	2.7	21.3
	妹	44	-	-	-	-	-	-	-	2.3	77.3	2.3	18.2	
	尾崎	204	-	-	-	-	-	0.5	-	0.5	1.0	70.6	4.9	22.5
	市場	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	有井	442	-	0.2	-	-	-	0.5	0.2	0.2	1.1	74.0	2.7	21.0
	岡田	287	-	-	-	-	0.3	0.3	0.3	0.7	0.3	70.0	1.7	26.1
	辻田	400	-	-	-	0.3	0.3	-	0.3	1.0	1.3	71.8	3.0	22.3
	川辺	887	0.1	-	-	-	0.1	-	0.2	0.1	0.9	73.6	4.6	20.3
	下二万	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.7	2.7	21.6
	上二万	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	25.0
	その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	33.3

地域経済が水害の影響を脱した時期について、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が70.0%と最も高くなっている。市町別にみると、「現在も戻っていない/そうならない」との回答は倉敷市で7割台半ばと他の地域に比べ高くなっている。

真備町では、「現在も戻っていない/そうならない」との回答が73.6%と最も高くなっている。真備町の大字別でみると、大きな差はみられない。

8 自由意見

問 52 今回の災害や今後の災害対策に関して、岡山県に対するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

【図表 自由意見の状況】

区分	防災意識	防災情報	避難行動	避難所	河川管理	被災者支援	その他
【全体】 (n=2,067)	4.1%	12.0%	2.8%	7.9%	29.9%	24.2%	19.1%

<主な意見>

1 防災意識（災害への備え、自主防災活動、避難訓練、自助・共助）

- ・ 災害対策に十分や万全はないと思います。ただ、いつ、何どき、何が起こっても大丈夫だという覚悟を持って生活するという事は大切だと思います。他の人や物に頼ることも時には必要ですが、まず自分自身がそういう覚悟をしているかで、有事の行動を左右すると思います。
- ・ 岡山県は「晴れの国」と言われて、県民全体が「災害ボケ」をしていたことは事実で、とにかく「何があってもおかしくないのが現在の地球」という認識を、辛抱強くアピールしていくしかないと思っております。総社市下原の工場爆発があり、危険度、避難の重要性に対して大きく気持ち切り替りました。工場の爆発がなければ、避難を考えた人は少なかったのではないかと思います。
- ・ 災害に対する危機意識が低い県民性だと思います。今までは、それで幸いであったかと思いますが、今回この様な大規模災害に遭い、ある意味、目が覚めたという感じです。この体験を活かし、体制を整えてほしいです。
- ・ 自主防災の意識を高めるためにも、毎年、追悼式を行ったり、学校等でも今回の災害を伝えてほしい。
- ・ 昭和 47 年に床下浸水を経験しました。周りの大人は淡々と畳を上げたり、浸水後、床下に石灰をまいていました。現在では、少し平和ボケをしすぎのように思います。川岸に住む限り、自分で川の水位上昇を定期的に見ることにより、最低限のものを自分で守ることはできます。ある程度の自己責任、判断力を大人たちは子ども世代に見せて、教えなければいけないと思います。
- ・ 南海トラフ地震への備えをしっかりと進めてほしいです。日常が一変する怖さを身を持って体験したので、念には念を入れた備えを県でも早急に進めてください。
- ・ もし水害のハザードマップを確認していたら、避難勧告が出ると同時に避難していたと思う。避難するための準備が十分にできたと思う。避難場所も水害の場合を考えた避難場所が明らかになったと思う。そこが明確にされていなかった。
- ・ 水害保険にさえ加入していれば、それほど問題はないと思います。私は入っていませんでした。個人の責任ではあるのですが、水害保険の必要性のPRや税制上の優遇措置など加入を促進する支援があればいいと思います。

2 防災情報（避難情報、気象情報、防災無線、情報提供）

- ・ 40年住んでいるが、今回の水害でこんなに大きな被害になるとは思いもしなかった。あの夜はテレビの情報をずっと見ていた。支所の町内放送はまったく聞こえなかった。もっと住人が危機感を持つような情報を発信したらいい。皆さん、甘い考えでいたと思う。
- ・ 岡山県で災害が起きるはずがないという安心感が強すぎた。防災無線の音が雨の音に消されて内容が聞きとれなかったのも、テレビ・ラジオ以外の身近な避難勧告の音が欲しい。町内会によっては個々の家を訪問し避難を呼びかけたが、そうでない町内会もあったので、そのあたりの徹底がほしい。
- ・ 災害になっているのに情報が入らず、どう行動すればよいかわかりませんでした。テレビの情報ぐらいでした。防災無線が全然聞こえない所で、近くにあったらいいと思いました。災害になった時の町内会での声かけ等改めて思いました。
- ・ 避難指示が出た時は、まだ水害が発生するとは思ってなかったが、実際、土手が決壊したということがわかっていたら、早く避難していたと思う。川辺地区は、だいぶ後から水が上がってきたから、逃げるのが遅くなった。きちんと報告してほしい。
- ・ 7日の深夜に小田川が決壊している情報は何もなかった。避難所がいっぱい学校のグラウンドで車中泊をしたが、何の情報もなかったため、雨があがったので、朝、家に戻った。その時点で水が来ていることを学校のグラウンドのスピーカーで流してくれていれば、家に戻ることもなかった。もう少し家を出るのが遅かったら出られなくなっていた。菌小学校は、携帯電話の状況も悪いため、何もわからなかった。近所には、2階に取り残されている人も多かった。水が来ているので逃げてくださいと連絡があれば、みんな避難していたと思う。行政自体がこんな大きな災害にはならないという過信があったのではないかと思う。
- ・ 岡山は災害の少ない県だと思い、他県で被害があるのを他人事のように見ていた自分が被災し、初めて大変さを知りました。今回、経験し感じたことですが、避難指示などの内容がわかりづらく、緊急性が感じられませんでした。「どこがどうなって危険なので、今すぐ避難してください」など具体的に言っただけの方が良いと思いました。
- ・ 緊急速報メールしか情報がなかった。もっと早めにサイレンや、車で町内を回ってアナウンスして危険を知らせて、避難するよう促してほしい。そうすれば、亡くなる人はいなかったと思う。警報等の種類が多すぎると思う。簡素化して、今回のような特別警報が出たときは、いつもと違うと認識させるような方法を考えてください。
- ・ 真備に住んで約45年になります。今まで何度も避難しましたが、何事でもありませんでした。なので、危機感もあまりありませんでした。40数年前の深夜、小田川の土手に何台も消防車がとまり、大きな放送で至急避難するよう何回も家のまわりをまわって来ました。子どもながら大変なおきでいると思えました。今回、土手に一台も見まわりがいなく、静かなので本当に避難が必要なのかと迷いました。危機感のない私達が悪いのですが、もう少し避難しないといけないと思えるような情報がいただきたいです。
- ・ 行政無線が聞きとりにくい。特に今回の雨では、窓を開けてもよくわからなかった。子ども世代は、インターネットで情報収集しているが、高齢者は困る。もっとテレビでも情報を発信してほしい。番組を取りやめるべきだった。マスコミに対しても行政から指示できるとよいのだが。
- ・ 避難指示を出す場合、一般市民に解りやすく、方角等で統一した方がよい。今回の指示でも南側と言ったり、左岸側とか言ったりして、非常に解りにくく混乱した。

- ・ 消防車が7日夕方避難してくださいと何回か回ってきたが、どこにどのように行けばよいかわからなかった。とても激しい雨の中、年寄は何もできなかった。もう少し早く明るい時間にどこに行ってくださいとか教えてくれればと悔やむ。ハザードマップは見たことがあったが、とにかく雨が激しくて、時々消防車の声もとぎれとぎれだった。本当にもう少し早くと思われてならなかった。次に、特別な雨が降る時には少し早めに知らせてほしいと思った。

3 避難行動（救助活動、要配慮者支援）

- ・ 自分自身、真備町でこのような水害が起こると思ってもいなかった。7/6夕方、土砂くずれのある所は高齢者避難準備情報が出ていたが、土砂くずれもないので、家にいた。午後11時ごろ外に出ると、道、田が一体化して、もう車は出せないと思った。仕方なく近所の人と話して2階へとりあえず上がろうと。何度も外の様子を見に降りたが、7/7午前4時から水が一気にきて30分の間でみるみるうちに水かさが増えた。自分自身の考えも甘かったが、行政の指示がすべて遅かったように思える。
- ・ 頼りになるのは自分だけ。避難行動も自らするしかない。今回も河川水位をテレビでチェックし、行政の指示等には左右されずに、自ら危険を感じて避難した。
- ・ 避難の途中、水があふれている所が何か所もあり、どこをどう避難するのが安全なのかわからなかったです。また、皆が同じ所に行こうとするので入りきれなくて、何時間も渋滞だったので、ハザードマップに、どの地域の人がどの方面に避難すれば良いか、具体的な指示がほしいと思いました。
- ・ 家で看ている寝たりきりの高齢者に対する救援、救出のマニュアルを早急に作成してもらいたい。
- ・ 深夜の避難指示の場合、高齢者をはじめ、夜間の避難行動には無理があるので、送迎バスを出してほしい。

4 避難所（避難場所、避難生活、避難所運営）

- ・ 避難所ではなく、自宅の2階とかで生活しようとしている人など自力でなんとかしようとしている人に対して、市からの情報はまったく届かなかった。援助も受けられなかった。今回災害にあった人が多すぎて自力で頑張らざるをえなかった人の苦労は大きく、避難所の人は、それからみると、恵まれていたと思う。避難所の人には、炊き出しや、食事の支給があるが、同じ全壊や半壊でも、2階にいる人には、何の支援もないし、情報もない。
- ・ 災害時の避難場所について、今回の豪雨における真備町内の指定避難場所は二万小、岡田小、菌小とのことでしたが、町内の数万人が避難できる容量を超えています。当地区では箭田小が指定避難場所となっていますが、まったく機能する避難場所ではないために、私どもは真備総合公園に避難しました。しかし、ここも豪雨時に機能する避難所ではないことを後で聞かされました。大勢が押し寄せたので、仕方なく開けたとのことでした。機能する場所を避難場所として指定してくださることをお願いいたします。まったくもって役に立たない避難場所は指定から外してください。適する避難場所がないのなら整備をしてください。
- ・ 避難所の定員というのは定められているのでしょうか。もし、定員という考えがあるのなら、地域の住人全員が避難できるだけのスペースを確保することが大切なのではないのでしょうか。

- ・ 避難所の被災者ばかりを優遇して、個人で避難している人に対しても支援物資をちゃんと配ってほしい。精神的な障害がある人への対応を見直してほしい。
- ・ 身体の不自由な高齢者がいる場合、避難所がバリアフリー対応できていないと避難できない。
- ・ 避難指示などを出す時間が遅く、子どもも問題行動のある障がい児のため、逃げ遅れてしまいました。避難所など多くの人の集まる場所には、迷惑をかけないかという心配などから行きづらさがあります。パニックを起こすとその場にはいられません。発達障がいなどある人たちの避難についても少し考えていただきたいと思います。通っている支援学校や、支援センターを災害時の避難先に指定していただくなどしたら安心して避難所に行きやすいと思います。
- ・ 職員の方や、貼り出し紙だけが頼りでしたが、みなさんバタバタしていてリーダー的な方がいなかった。避難所の本部ができるのも遅かった。もっと広く情報を出してほしい。
- ・ 私はペットを飼っており、災害時救助され、たまたまアリーナに避難できたが、他の避難所ではペット同伴避難ができず、外や車で過ごした方がいた。各避難所にペット同伴スペースを作るのは難しいと思うが、緊急時は市町村の枠をこえて総社市へ誘導するなりしても良いかと…。宝塚市のように、あらかじめペット同伴避難ができる場所を提示していただけるとさらにありがたいです。災害後、避難所では市の職員の方が常駐してくださり、大変心強かったです。また、たくさんの方の支援方法を用意していただき、おかげさまで、とりあえずは落ち着いた生活を送れています。倉敷市、総社市、岡山県他全国の関係者の方にお礼申し上げます。ありがとうございます。

5 河川管理（河川の浚渫、河川内樹木の伐採、ダム放流、小田川付替工事）

- ・ 高梁川上流のダム放水に危機意識を徹底願いたい。気象庁の大雨予報に対して放水管理を対応できていなかったことが過去にない災害要因である。真備町二万橋上・下流水域が密林と化して河川管理ができていなかったことも今回の災害に起因したと言っても過言ではない。地域の皆も小田川の状態を見るにつけ、災害発生を危惧していた。高梁川、小田川の河川管理の徹底を図り、絶対に再発なき取組をお願いしたい。自然災害に対する危機意識が甘かった。人災とも言える災害であったと思えてならない。
- ・ 今回の災害に対する県の河川管理に対する危機感が非常に不足していると思われる。小田川と高梁川の合流点の改造の遅れ、河川の川床の浚渫、樹木の撤去など洪水に対する対策が見られない。世界的に自然現象の変化を先取りし、県民の生命と財産を守ることを真剣に考えていただきたい。
- ・ 河川法改正（1997年）に対する施策について総括するべき。末政川は、20年間放置されていると言われている。緊急治水工事は、災害発生後の対応として当たり前。晴れの国、豊富な水資源をアピールするならば、ダムの管理も含め、きちんとしたインフラが整理、コントロールできなければ今回のような災害はまた起こると思う。
- ・ 高梁川が氾濫し、床上浸水しました。この原因は、河川の河床が高くなったこととダムの放流によるものと考えています。河床は約50年間も砂利が取られていません。したがって、洪水の原因になっています。県は積極的に河床低下に努めていただきたい。
- ・ 高梁川、小田川の中州が大量にでき、島となり、木が乱立し、本来の川の姿ではなくなり、雨期には天井川となり、小田川に逆流し、これが入り込んで今回の水害になった。高梁川、小田川の中州の砂を取り除き、本来の川の姿にするのが急務と考えます。末政川の川幅を広げる対策が取られるようだが、無意味と感じる。早期に中州になっている砂を取り除くことが必要と思う。

- ・ 高梁川、小田川の一級河川については、管理は国の対応だと思いますが、県、市町村はもっと国に対して堤防の強化、川の中の樹木、竹等はいつまでも放置せずに定期的に伐採するとか、川の中に溜まった土砂の排除などもっと要請すべきである。今まで真備町民の沢山の人からこのような要望があったはずである。河川、堤防に関するパトロール車はよく見かけたが、いつも異常なしで報告されていたのか、異常箇所があってもそのままだったのか疑問だけである。これだけの防災対応は県の財政だけではとても無理である。無理であるならば、いろいろ手段はあると思いますが、もっとしつこく国に対して、要請して行ってほしい。
- ・ この災害は、人災だと思われる。小田川の中に大きな木が林立し、支流の末政川、高馬川などの支流の流れを阻止、水の流れを妨害していた。そのため、合流部の流れがスムーズでなく、水のバックウォーター現象による洪水に至ったと思われる。高梁川、小田川の合流地点、改良を早急にお願いしたい。
- ・ 小田川の河川には、大量の樹木が繁っていた。今までまったく伐採されていなかった。災害後は、一気に伐採された。すぐにできることにまったく手をつけず放置していた。予算の関係もあろうが、今回の災害を期に、県内の災害箇所以外にも今後、水害が予想される河川は補強対策を強く希望する。次は、また別の河川の水害が起りうる。今後は、温暖化で毎年大雨が想定されるのではないか。南海トラフ地震も予想され、災害対策を強く要望する。家屋を失った損害は大きい。県並びに倉敷市、総社市の支援には感謝いたします。
- ・ 新成羽川ダムの情報は一切公表されず、行政が求めても応じない。大雨が予測されるなら事前に早くから放流されればよい。強い行政指導を望みます。透明性が重要です。
- ・ 河本ダムと新成羽川ダムの放流について、検証委員会でも問題なかったとされていますが、気象庁は5日の昼の時点で今後の大雨を発表している訳で、事前の放流が可能だったのではないかと思います。治水や工場用など目的はあると思いますが、県民の生活が最も大事だと思います。放流の安全な方法の検討を願います。河川の木や石の撤去、落合橋付近の堤防のかさ上げを国、県、市で連携して願います。県行政は、県民が安心して暮らせて初めて成り立つものです。早期の復興を願っています。
- ・ 中国電力のダムには治水機能はないと聞いているが、各種利水権益の確保と併せ、流域すべての住民の生活権益も保護する治水のための管理が重要と思われる。昨今の気候変動からして、ダムへの流入量予測は極めて困難と思われるが、今後、放流するにあたっては19時から23時の夜間の時間帯に下流河川の水位が急上昇することのないよう、最大限留意されることを願う。
- ・ ダムの放流について、高梁川流域で連携を取り、放流量について、下流の状況がシミュレーションできるはず。避難情報に反映させてほしい。河川の管理を縦割ではなく、人命に関わることで、横の連携を取り、情報交換、防災危機管理をしてほしい。
- ・ 高梁川と小田川の合流地点の改修の話は30年以上前から議論されていたにもかかわらず、ずっと放置されていた。気候が大幅に変わってきているのに早急な改良がなされなかった行政に対し強い憤りを覚える。酒津の堤防を守るのであれば、柳井原に水を通す以外にないし、柳井原の島を撤去してもよい。昔は河川の土砂を採取して積もった土砂をとっていたが現在は荒れ放題。中小河川も同様で天井川になっている所もある。行政の不作為は犯罪です。国民の生命と財産を守るのが行政ではないですか。

- ・ 高梁市阿部地区の水害は、国道 313 号落合橋上側の防水扉が閉められなかったことが原因だ。また、内水の排水用ポンプも小さい。内水の排水路の河川への出口ゲートも閉められていなかった。今後同じようなことにならないよう抜本的な対策を早急にしてほしい。落合橋から防水扉までの低い堤防を高くするべきだ。
- ・ 晴れの国の安心安全な町のイメージが壊れ、尽大な被害が発生し、多くの死者が出たことは誠に残念だ。地域も経済もすべてが「まだまだ」の状況である。以前から小田川改修対策が言われ、実施直前にこうした事態になった。自然災害だから仕方ないという人と対策をして来なかった人災という人がいる。自分は半々だと感じている。とにかく不便な生活から一日も早く脱出したいと感じている。この先、子や孫にこうしたことは経験させたくない。国・地方とも、この真備が安全な所となるよう努力願いたい。

6 被災者支援（みなし仮設住宅、義援金、生活再建、支援情報）

- ・ 真備町に戻りたいが、まだ何も進んでないので、「みなし仮設住宅」が2年間だけど、正直、2年では戻れないと思います。戻りたくても戻れないという気持ちです。できれば、「みなし仮設住宅」を少し延長してくれたら助かります。
- ・ 5年間以上のみなし仮設住宅の住まいを望む。また、医療費も1年以上無料にしてほしい。精神面が元に戻らない。
- ・ 治水計画の完了が5年後なのに、住宅再建の補助が2年以内なのはおかしい。安心して元の家に戻ることができない。せめて住宅再建の補助の期間を治水計画完了までにしてもらわないと、2年後に再建後も不安をかかえたまま治水工事完了を待たないといけない。住宅再建の補助は再建をする住民にとっては大きなものだと思うので、治水のめどが立つまで補助期間の延長をしないと、真備町をあきらめる人が多く出るのではないかと。
- ・ 真備で生活をしたかったので、公営の住宅を建設してもらいたいです。車に乗れないので、徒歩での生活ができる場所を希望します。
- ・ やっと水没した1階部分のリフォームが開始しました。全部解体撤去する場合は公費で解体してもらえるのに、リフォームの場合には水害を受けた1階部分を解体と廃棄するのは自己負担です。納得できません。公費で解体してもらえるのなら、リフォームをやめて解体する人が増えたのではないのでしょうか。新築するには資金不足、年齢の問題もあります。
- ・ 解体申請から着工まで1年以上かかると言われ、そこから再建を考えるとみなし住宅2年間という期間は短くて、再建する前に別の住まいを考えないといけなくなり、先行きに不安しかありません。
- ・ みなし仮設や仮設住宅の人たちは手厚く保護されているのに、県や市の援助を受けずに親せきや知人宅などで自分で生きている者に対しては何らの支援がないのは不公平である。何らかの支援があつてしかるべきではないか。
- ・ 自宅の2階で避難していましたが、物資の情報などが入ってこず、大変だった。食器なども仮設住宅には食器メーカーから物資をもらっていたようですが、自宅だと何もなく不公平感がぬぐいきれません。平等にしてほしいです。
- ・ 災害にあつてからの、り災証明・写真・消毒などいろいろな残務処理のマニュアルがハザードマップなどと一緒であれば良い。被災直後は情報がまったくないので、何をすれば良いのかわかりません。

- ・ 被災者を自分のこととして捉え、行政の方にはどの人にも親切丁寧な対応をお願いしたいです。被災者は誰もストレスを抱えており、救いの手を求めています。少しのことでも相談対応は大事かと考えます。なった者でないとわからない、これが本音です。
- ・ 現在、みなし仮設住宅で生活していますが、建設型の仮設住宅と違い、情報が入ってきづらくなっていると感じています。まだ氾濫した河川の本格的な補修等が済んでいない状況で自宅の今後のことを考えられない状態にもかかわらず、公費での自宅の取り壊しを来年3月までに届け出なければならぬのは、あまりにも早急すぎるのではないかと思います。
- ・ 情報の公表が遅く、みなし仮設に入居するのに手間取った。結局2度の引越しを余儀なくされて、費用・精神面に負担が大きかった。安定した生活は住居からなのに、早々に決断したら負担になるような事態は辛い。
- ・ みなし仮設住宅に入居しています。ありがとうございます。県からの情報発信が、「ホームページをご覧ください。」ということが多かったのですが、2階まで水に浸り、家財がすべてなくなってしまったので、もちろんパソコンもありません。そのような状況で、情報収集は、とても難しいものでした。また、いろいろな情報が飛び交っていたので、本当に正確な情報を知りたいというのが、心情でした。
- ・ 持家の人に比べ、借家の人に対しての支援額が多すぎる。義援金などについては世帯に対しての配分ではなく、世帯人数に応じた配分にしてもらわないと不公平に思う。
- ・ 川辺地区は1階のみの浸水でも全壊になり、うちは自宅が2階までですべて失ったのにももらえる金額はみんな一緒。保険が下りなかったこともあり、すごく不平等に思ってしまった。辛いのはみんな一緒なのですけどね。
- ・ 義援金の配分も他県より早かったので、随分助かりました。
- ・ 義援金が頼りです。全国の皆さんに募金していただけて、とても感謝しています。できるだけ長く受付をしていただけたらなと思っています。
- ・ 行政もいろいろと大変だとは思いますが。被災者は想像以上に現在も不自由な思いをしています。県が何もしていない訳ではありませんが、精神面・金銭面を含めて頭を抱えている方も多いです。西日本豪雨災害を受けた地域が復旧、復興するまでは、忘れることなく、報道・支援等もしていただきたい。
- ・ 二重の住宅ローンを抱える者に対する支援をお願いします。また、みなし仮設で生活されている方々の「見守り」をお願いします。さらに様々な書類の手続きに漏れないか、行政の方でもチェックしてくださると助かります。
- ・ 今回の災害で、中3の子どもたちは夏以降、受験勉強をするどころか生活するのもままならない状態が今も続いているのに、年を越せば受験本番で、何の被害もなく普段通り生活し勉強している子どもと同じように判定されるのがふびんだし、やり切れない。被災していない人には大変さはわからないから、県教育委員会も県立高校もきっと何もしてくれないと思うと涙がでてくる。
- ・ この度のアンケート形式でも良いので定期的に地域の要望を聞いてほしい。
- ・ 防災だけでなく、災害発生後の物資の配給、情報の格差からくる被災者間の格差が、そのままその後の生活再建の早さに直結しています。今後、このような災害があった時は、その点を今のうちにシステムを作って、日ごろから運営をできるようにシミュレーションしておく必要があります。
- ・ ホテル住まいを長い間させていただいて、本当にありがとうございました。どれだけ助かったことかしれません。

7 その他（災害廃棄物、アンケートなど）

- ・ 初動対応の不手際が目立った。災害ごみ置き場が1か所のみでは車はまったく動かず、臨時に、真備総合グラウンドの野球場や、小中高等学校等公共施設に設置すれば混乱は避けられた。家の前に回収ごみを置くと、すぐ回収できる体勢が遅すぎた。
- ・ 水害のごみはなくなったが、ガラスなどの小さなごみ、汚染された土はそのまま残っています。真備に帰っても小さなごみなどがあれば、子どもを安全に遊ばせることができないです。
- ・ グループ補助金の制度が発表され、藁にもすがる思いで話を聞きに何回も足を運びました。補助金を出そうという国の方針はありがたいことですが、手続き等で逆に苦しめられているような気がしました。縛りを軽くすれば、悪いことをする人も出てくるからでしょうが、もう少し簡単に手続きができるような仕組みを与えてほしいです。現状復帰を何回も聞きましたが、今のやり方ではかなりの現状以下からの復帰になります。それでも構いませんが、もう少し簡単な手続きで補助してもらいたいです。
- ・ 被災者全員みな、大変な状況にある。その中でも、高齢者、弱者への支援・配慮、そして保・幼・小・中の教師、保護者、児童・生徒への支援、勇気づけ、配慮を忘れないでほしい。その姿勢を「継続」「見える化」して行ってほしい。子どもたちが元気にならないと真の復興にはつながらないと思う。
- ・ 被災直後に皆が片付けなどに追われる中、マスコミの行動が片付けを妨害しているように思えてならなかった。その辺りの対応を自治体をお願いしたい。
- ・ 下原は、浸水の前に爆発にあいました。水害に関してのみの質問では、答えきれないことがたくさんあります。爆発に関する問はなぜ1問もないのでしょうか。爆発被害のことなどは考えておられないのでしょうか。
- ・ 今回のアンケートが今後の対策にきつと役立つと信じ、回答しました。被災した私としては、忙しいという理由ではなく、ただただあの時の状況を思い出さなくてはならない非常につらいことを強いられています。胸がしめつけられるような苦しさを覚えた中での回答です。他の被災者もきつと同じ思いであると思います。必ず必ず役立ててください。
- ・ 総社市の“神対応”、倉敷市やその他市町村にもやり方は沢山あると思うが、ノウハウの共有など、ある程度できたのではないかと思う。これからは県だけではなく、全国レベルで災害時の対応ノウハウを他の市町村としっかり密に共有していただきたい。
- ・ 2階まで水に浸かり、形のあるものはすべて失いました。命だけは助かったんだから、家が元のようにになったら、家族と一緒に新しい気分になって生きていきたいと少し明るい気分になっています。
- ・ 西日本豪雨、真備の経験を生かして、他の県で災害が起こったら、県には冷静な対応で援助・支援してあげてほしいです。
- ・ 他県からの応援で大きく助かりました。皆様に感謝します。家の2階が無事で助かりました。食事の件でも長い間お世話になりました。ありがとうございました。
- ・ 全国から応援に来られた自衛隊、消防、県・市の職員、ボランティアの方たちに感謝します。ありがとうございました。

III 參考資料

平成 30 年 7 月豪雨災害での対応行動 に関するアンケート ご協力のお願い

この度の平成30年7月豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、岡山県が設置しましたこの災害の検証委員会では、この度の災害の教訓を岡山県だけでなく全国に伝え、次の災害に備えるために、アンケート調査を実施することといたしました。特に、多くの住民がお亡くなりになられた真備地区では、小田川と高馬川の合流点付近で6日から7日の真夜中に破堤氾濫し、氾濫水が東西方向に伝播いたしました。東方向に向かった氾濫水は末政川の堤防で阻止され、市街地の湛水の水面上昇の結果、右岸堤防を越えて河道に流入し、これが左岸堤防を越えて、さらに東方向に洪水氾濫が広がる結果となりました。このような浸水過程で、最初の破堤氾濫からおおよそ7時間から8時間後に最大浸水面積を記録したと推定されています。

これらの浸水過程をさらに明らかにし、災害時の住民避難に資する情報を取得いたしたいと考えております。こうしたことから、この度の豪雨で氾濫した高梁川水系全域にわたって調査し、現場で一体何が起こったのかを明らかにして、今後に備えたいと存じます。何かとお忙しい折に恐縮ですが、何卒ご協力をお願いする次第です。

調査票や返信用封筒にお名前・ご住所などの記入は必要ありません。また、回答は統計的な処理を行って取りまとめますので、個人が特定されることはございません。調査結果は岡山県のホームページで来年3月以降に公表する予定です。

お忙しい中、誠に勝手なお願いで恐縮ですが、趣旨にご理解を賜り、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成 30 年 11 月

岡山県「平成30年7月豪雨」災害検証委員会
委員長 河田 恵昭（関西大学特別任命教授）

【調査実施に関するお問い合わせ】

岡山県危機管理課

電話：086-226-7293／FAX：086-225-4659

平成30年7月豪雨災害での対応行動 に関するアンケート

ご記入にあたってのお願い

- 1 必ず、封筒の宛名ご本人様に回答をお願いいたします。
- 2 調査票や封筒に氏名・住所を記入していただく必要はありません。
- 3 回答には、濃いえんぴつか、黒または青のボールペン・万年筆をご使用ください。
- 4 回答方法は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- 5 ご自分の意見に近い選択肢がない場合は「その他（ ）」の選択肢の番号を○で囲み、（ ）の中にその具体的な内容をご記入ください。
- 6 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。

すべての記入が終わりましたら、お忙しいところ恐縮ですが、

平成30年12月20日（木）までに

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。

まずは、あなたご自身の状況についておうかがいします。

問1. 現在の、あなたの年齢と性別を教えてください。

年齢（ ）歳

性別（男・女）

問2 (1). 災害が発生した7月時点で、あなたを含めて同居家族は何人でしたか。

あなたを含めて同居家族は（ ）人

(2). 災害が発生した7月時点で、あなたを含めた同居家族の中に、以下のような方々はいらっしゃいましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------|---------------|--------|
| 1. 乳幼児 | 4. 高校生 | 7. 妊産婦 |
| 2. 小学生 | 5. 65歳以上の方 | |
| 3. 中学生 | 6. 介護・介助が必要な方 | |

問3. 災害が発生した7月時点での、あなたのご職業を教えてください（2つ以上あてはまる場合は、主たるもの1つに○をつけてください）。

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 給与生活者（勤めている） | 5. 年金生活者 |
| 2. 自営業 | 6. 無職、学生 |
| 3. 有業主婦/主夫（臨時社員・職員、パートなど） | 7. その他（ ） |
| 4. 専業主婦/主夫 | |

問 4. 現在、あなたはどちらにお住まいですか（倉敷市真備町の方は、下記から該当するものに○をつけてください）。

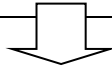
〒 □ □ □ □ — □ □ □ □ □		
		町丁目・大字くらいまでお書きください
都道 府県	市区 町村	町 丁目

※倉敷市真備町の方は、下記から該当するものに○をつけてください。（1つに○）

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1. 真備町 箭田（やた） | 7. 真備町 岡田（おかだ） |
| 2. 真備町 服部（はっとり） | 8. 真備町 辻田（つじた） |
| 3. 真備町 妹（せ） | 9. 真備町 川辺（かわべ） |
| 4. 真備町 尾崎（おさき） | 10. 真備町 下二万（しもにま） |
| 5. 真備町 市場（いちば） | 11. 真備町 上二万（かみにま） |
| 6. 真備町 有井（ありい） | 12. その他（ ） |

問 5. 災害発生時には、あなたはどちらにお住まいでしたか。（1つに○）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 現在と同じところ | 2. 現在と違うところ |
|-------------|-------------|



付問：（「2. 現在と違うところ」と回答した方のみ）災害発生時には、どこにお住まいでしたか。
（倉敷市真備町の方は、下記から該当するものに○をつけてください）。

〒 □ □ □ □ — □ □ □ □ □		
		町丁目・大字くらいまでお書きください
都道 府県	市区 町村	町 丁目

※倉敷市真備町の方は、下記から該当するものに○をつけてください。（1つに○）

- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 1. 真備町 箭田（やた） | 7. 真備町 岡田（おかだ） |
| 2. 真備町 服部（はっとり） | 8. 真備町 辻田（つじた） |
| 3. 真備町 妹（せ） | 9. 真備町 川辺（かわべ） |
| 4. 真備町 尾崎（おさき） | 10. 真備町 下二万（しもにま） |
| 5. 真備町 市場（いちば） | 11. 真備町 上二万（かみにま） |
| 6. 真備町 有井（ありい） | 12. その他（ ） |

問6. 現在、生活の中心として使っているお住まいは以下のどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 持地持家 | 8. 社宅・寮 |
| 2. 借地持家 | 9. 借家 |
| 3. 公団・公社分譲マンション | 10. 民間賃貸アパート・マンション |
| 4. 民間分譲マンション | 11. その他 () |
| 5. 公団・公社賃貸住宅 | |
| 6. 県営・市町村営住宅 | |
| 7. 建設型の仮設住宅 | |

付問：現在、お住まいの住宅は「みなし仮設住宅（借り上げ住宅）」として認定されていますか。
(1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. はい |
| 2. いいえ（建設型の仮設住宅にお住まいの方を含む） |
| 3. わからない |

問7. 災害発生時に、あなたがお住まいになっていたのは以下のどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 持地持家 | 6. 県営・市町村営住宅 |
| 2. 借地持家 | 7. 社宅・寮 |
| 3. 公団・公社分譲マンション | 8. 借家 |
| 4. 民間分譲マンション | 9. 民間賃貸アパート・マンション |
| 5. 公団・公社賃貸住宅 | 10. その他 () |

問8. 災害発生時に、あなたがお住まいになっていた家は、どのような造りですか。(1つに○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 木造 | 4. その他 () |
| 2. 鉄筋コンクリート造 | 5. わからない |
| 3. 鉄骨造 | |

付問：その建物は何階建てですか。またマンション等の場合は何階にお住まいですか。

その建物は 階建て→（マンション等の場合は 階に住んでいた）

問9. 災害はあなたがその地域に住むようになっておおよそ何年目の出来事でしたか。
具体的な年数をご記入ください（おおよその年数で結構です）。

おおよそ 年目

問 10. あなたは以下の台風・豪雨の災害を経験しましたか。それぞれの災害について、最もあてはまるものに○をつけてください。

	家屋に大きな被害があった	家屋の一部に被害があった	経験したが特に被害はなかった	経験しなかった
①1945年(昭和20年)9月台風	1	2	3	4
②1954年(昭和29年)9月台風	1	2	3	4
③1972年(昭和47年)7月豪雨	1	2	3	4
④1976年(昭和51年)9月台風	1	2	3	4
⑤1985年(昭和60年)6月豪雨	1	2	3	4
⑥2011年(平成23年)9月台風	1	2	3	4

問 11. あなたのご家族・親せき、交流のあるご近所の方について、今回の災害発生前に、災害（台風・豪雨以外も含む）で被災をしたことがある方はいますか。一番大きな被害を受けた方について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 特に被災をした人はいない
2. 被災をした人はいるがどの程度被災したのかわからない
3. 被災をしたが特に大きな被害はなかった
4. 家屋の一部に被害が生じるなどの被害を受けた
5. 家屋に大きな被害があるなどの大きな被害を受けた

問 12. 「あなたのお住まいの地域が洪水・浸水などの水害によって避難しなければならない事態になる」と災害発生前から思っていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 近いうちに起きそうだと思っていた
2. ここ10年くらいの間に起きそうだと思っていた
3. 21世紀中に起きそうだと思っていた
4. 被害を受けるような水害はたぶん起きないだろうと思っていた
5. この地域が水害によって被害を受けるということを災害発生前には知らなかった

問 13. 「あなたのお住まいの地域のハザードマップ（水害）」を災害発生前に見たことがありましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ハザードマップ（水害）を見て、内容も覚えていた
2. ハザードマップ（水害）を見たことはあるが、内容までは覚えていなかった
3. ハザードマップ（水害）が存在するのを知っていたが、見たことはなかった
4. ハザードマップという言葉は知っているが、この地域にあることを知らなかった
5. ハザードマップという言葉自体を知らなかった

問 14. あなたは「災害の時の避難場所」について、災害発生前に知っていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 広報・ハザードマップ・訓練などで正確に知っていた
2. 「たぶんここだろう」という見当はついていた
3. 避難場所に行くことは知っていたが、避難場所がどこか知らなかった
4. 自分が避難場所に行く必要があることを考えていなかった

問 15. あなたは「災害時の避難計画」を、災害発生前に立てていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 災害時の避難方法・避難場所について明確に決まりを作っていた
2. 計画まではなかったが、大まかな避難の場所や方法は考えていた
3. 災害時の具体的な避難方法や避難場所についてほとんど考えていなかった
4. 自分が災害時に避難する必要があることを考えていなかった

問 16. あなたは「お住まいの地域での防災訓練」に災害発生前に参加したことがありましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎年のように参加していた
2. 何年かごとに参加していた
3. 参加したことはめったになく、数える程度であった
4. 参加したことがなかった
5. 地域で防災訓練を行っていること自体を知らなかった

問 17. あなたは、災害発生前に「災害の被災地でのボランティア活動」に参加したことがありましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 何度も参加していた
2. 1～2回、参加したことがある
3. 参加したことがなかった

問 18. 災害発生前、あなたの家で、地震や水害などの災害に対する備えとして実行されていたものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 消火器や水をはったバケツを準備している
2. いつも風呂の水をためおきしている
3. 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
4. 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
5. 貴重品などをすぐ持ち出せるように準備している
-
6. 災害発生時に自分がどのような具体的行動を取るべきか考えている
7. 応急手当やAED（心停止時に使う緊急器具）の使用法を知っている
8. 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
9. 避難場所までの安全な避難経路を考えている
10. 家族との連絡方法などを決めている
-
11. 町内会・自治会等での災害対応における役割を担っている
12. 近所の高齢者・要支援者の存在を把握している
13. 生き埋め者の救助・救出に必要な資機材を用意している
14. 防災訓練に積極的に参加している
15. 災害時の助け合いができることも考えて、近所づきあいをしている
-
16. 食料や飲料水を準備している
17. 電気・水道・ガスなどのライフラインが停止した場合の備えをしている
18. 自分や家族の健康が悪化したときの、通院・入院先を取り決めている
19. 家が壊れた際の、避難所以外の仮住まいの場所を決めている
20. 災害時の助け合いができることも考えて、親せきづきあいをしている
-
21. 耐震診断を行い、自分の家の危険度を把握している
22. 自分の家の耐震性を高くしている
23. ブロック塀を点検し、倒壊を防止している
24. 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
25. 地域ハザードマップを家の中で掲示している
-
26. 地震保険・建物更生共済等に入っている
27. 一時的な生活資金が必要な場合の備えをしている
28. 被災（り災）証明書の必要性について理解している
29. 災害が仕事（仕事場）に影響したときの対策を考えている
30. 仮住まいが長期にわたる際の、疎開先・移転先について考えている
-
31. あてはまるものはない

河川が氾濫する直前、7月6日(金)の夜、大雨が降り、
その中で「大雨特別警報」が発表された時のあなたの状況について教えてください。

問 19. 大雨特別警報が発表された時(7月6日(金)夜) あなたはどちらにおられましたか。

<p>(1) <u>あなたはどこにいましたか</u> (1つに○)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 自宅2. 近所の家3. 実家・親せきの家4. 勤務先・学校5. 避難所・避難場所6. 屋外(県内)7. 移動中(徒歩・車など)8. 県外など遠方への外出中9. その他()	<p>(2) <u>雨の状況はどのような感じでしたか(1つに○)</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. 雨は降っていなかった2.それほど激しくなかった3. ところどころ強い雨だった4. 非常に激しく降っていた5. 尋常ではない雨だと思った6. 雨の状況を見ていなかった7. わからない・覚えていない8. その他()
---	---

問 20. 大雨特別警報が発表される前の時点で、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. 特に何も思わなかった2. 大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった3. 大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた4. 大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると思った5. その他()6. 覚えていない・わからない
--

問 21. 大雨特別警報が発表される前の時点で、あなたは下記の行動をしていましたか。既にしていた行動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. テレビ等をつけっ放しにして情報収集した2. 家族・親せきに連絡をした3. 友人・知人に連絡をした4. 懐中電灯など非常時の物品を出した5. 家具や大切なものを上階に上げた6. 高齢者など要援護者を上階に上げた	<ol style="list-style-type: none">7. 家が安全なので積極的に家に留まった8. 外に避難するための準備をはじめた9. 避難所に行った10. 外出して雨の様子や田畑等を見に行った11. その他()12. 特になにもしていない
--	--

問 22. 「大雨特別警報」の情報を聞いて、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. この情報自体を聞いても、特に何か変化はなかった
2. 大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった
3. 大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた
4. 大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると思った
5. その他 ()
6. この情報を聞いていない (→問28へ進んでください)
7. 覚えていない・わからない (→問28へ進んでください)

問 23. 「大雨特別警報」を、あなたはいつ聞いたように記憶していますか。だいたいでよいので、一番最初に聞いた時1つに○をつけてください。

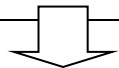
1. 7月6日(金)夜(夕方以降、雨が再び強く降り出してきたころ)
2. 7月6日(金)深夜～7日(土)未明(河川氾濫のころ)
3. それ以降
4. 覚えていない・わからない

問 24. 「大雨特別警報」を、あなたはどこから入手しましたか。一番最初に聞いたと思われる情報源1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 6. 近所の人・友人・知人 |
| 2. 新聞 | 7. 職場・仕事関係の人 |
| 3. 行政職員(避難所職員・消防・警察・自衛隊等) | 8. インターネット |
| 4. 同居している家族 | 9. SNS(Twitter, facebook, LINEなど) |
| 5. 別居している家族・親せき | 10. その他 () |

問 25. あなたは「大雨特別警報」を聞いたことをきっかけに、何らかの行動を開始しましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. はい(この情報をきっかけに行動開始した) | 2. いいえ(この情報では何もせず) |
|-------------------------|--------------------|



付問：(「1. はい」に○をつけた方のみ) 具体的にどのような対応をしましたか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. テレビ等をつけっ放しにして情報収集した | 7. 家が安全なので積極的に家に留まった |
| 2. 家族・親せきに連絡した | 8. 外に避難するための準備をはじめた |
| 3. 友人・知人に連絡をした | 9. 避難所に行った |
| 4. 懐中電灯など非常時の物品を出した | 10. 避難所に留まった |
| 5. 家具や大切なものを上階に上げた | 11. 外出して雨の様子や田畑等を見に行った |
| 6. 高齢者など要援護者を上階に上げた | 12. その他 () |

問 26. あなたは大雨特別警報が発表されていると認識した時点で「避難」(家の上階へ行く垂直避難も含む)をしていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 「避難」としては特に行動していなかった
2. 安全な自宅などに積極的に留まっていた
3. 自宅の上階などに避難をした
4. 近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした
5. 避難所に避難した
6. その他 ()
7. 覚えていない・わからない

問 27. 問 26 で「避難をした人」「避難をしなかった人」とともに、その理由を教えてください。以下のあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 雨が降っていたから | 17. 防災行政無線などの情報を得たから |
| 2. 建物の安全性が不安だったから | 18. 雨がそれほどひどくなかったから |
| 3. 建物に被害があったから | 19. そこにいる方が安全だと思ったから |
| 4. 平屋だったから | 20. 建物に被害がなかったから |
| 5. 電気・ガス・水道などのライフラインが
使えたから | 21. 2階以上に上がればよいから |
| 6. 周囲や道路が冠水していたから | 22. 電気・ガス・水道などのライフラインが
使えなかったから |
| 7. 家族に高齢者がいたから | 23. 周囲や道路が冠水していなかったから |
| 8. 家族に乳幼児・子どもがいたから | 24. 家族に特別なケアを必要とする人がいなか
ったから |
| 9. 家族に特別なケアを必要とする人が
いたから | 25. たいしたことがないと思ったから |
| 10. ペットがいたから | 26. 避難するのが面倒だったから |
| 11. とにかく人のいるところに行きたかった
から | 27. 避難するのを感じなかったから |
| 12. 情報や物資が得られると思ったから | 28. 避難したくてもできなかったから |
| 13. 行政の支援が得られると思ったから | 29. テレビ・ラジオなどの情報を得たから |
| 14. 近所の人に言われたから | 30. SNS (Twitter, Facebook等) で情報を
得たから |
| 15. 家族・親せきに言われたから | 31. その他 () |
| 16. 消防・警察などに言われたから | 32. 特に理由がない |

県内各地で、避難の情報である避難勧告が出された後、7月6日(金)夜～7日(土)未明にかけて、今度は「避難指示(緊急)」が発令され、河川が氾濫しました

問 28. 避難指示(緊急)や河川氾濫前のこの時(7月6日(金)深夜)、あなたはどちらにおられましたか。

<p>(1). <u>あなたはどこにいましたか</u> (1つに○)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 自宅2. 近所の家3. 実家・親せきの家4. 勤務先・学校5. 避難所・避難場所6. 屋外(県内)7. 移動中(徒歩・車など)8. 県外など遠方への外出中9. その他()	<p>(2). <u>雨の状況はどのような感じでしたか(1つに○)</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. 雨は降っていなかった2.それほど激しくなかった3. ところどころ強い雨だった4. 非常に激しく降っていた5. 尋常ではない雨だと思った6. 雨の状況を見ていなかった7. わからない・覚えていない8. その他()
--	--

問 29. 避難指示(緊急)が発令される前の時点で、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. 特に何も思わなかった2. 大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった3. 大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた4. 大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると思った5. その他()6. 覚えていない・わからない
--

問 30. 避難指示(緊急)が発令される前の時点で、あなたは下記の行動をしていましたか。既にしていた行動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. テレビ等をつけっ放しにして情報収集した2. 家族・親せきに連絡をした3. 友人・知人に連絡をした4. 懐中電灯など非常時の物品を出した5. 家具や大切なものを上階に上げた6. 高齢者など要援護者を上階に上げた	<ol style="list-style-type: none">7. 家が安全なので積極的に家に留まった8. 外に避難するための準備をはじめた9. 避難所に行った10. 避難所に留まった11. 外出して雨の様子や田畑等を見に行った12. その他()13. 特になにもしていない
--	---

問 31. 「避難指示(緊急)」の情報を聞いて、あなたは「水害が発生するかもしれない」と思いましたか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. この情報自体を聞いても、特に何か変化はなかった
2. 大雨がもっと降ると思ったが、災害発生までは考えなかった
3. 大雨から災害が発生することを想起したが、床下浸水程度だと思っていた
4. 大雨から災害が発生することを想起し、床上浸水もありうると思った
5. その他 ()
6. この情報を聞いていない (→問37へ進んでください)
7. 覚えていない・わからない (→問37へ進んでください)

問 32. 「避難指示(緊急)」を、あなたはいつ聞いたように記憶していますか。だいたいでよいので、一番最初に聞いた時1つに○をつけてください。

1. 7月6日(金)夜(夕方以降、雨が再び強く降り出してきたころ)
2. 7月6日(金)深夜～7日(土)未明(河川氾濫のころ)
3. それ以降
4. 覚えていない・わからない

問 33. 「避難指示(緊急)」を、あなたはどこから入手しましたか。一番最初に聞いたと思われる情報源1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 6. 近所の人・友人・知人 |
| 2. 新聞 | 7. 職場・仕事関係の人 |
| 3. 行政職員(避難所職員・消防・警察・自衛隊等) | 8. インターネット |
| 4. 同居している家族 | 9. SNS(Twitter, facebook, LINEなど) |
| 5. 別居している家族・親せき | 10. その他 () |

問 34. あなたは「避難指示(緊急)」を聞いたことをきっかけに、何らかの行動を開始しましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. はい(この情報をきっかけに行動開始した) | 2. いいえ(この情報では何もせず) |
|-------------------------|--------------------|

付問：(「1. はい」に○をつけた方のみ) 具体的にどのような対応をしましたか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. テレビ等をつけっ放しにして情報収集した | 7. 家が安全なので積極的に家に留まった |
| 2. 家族・親せきに連絡した | 8. 外に避難するための準備をはじめた |
| 3. 友人・知人に連絡をした | 9. 避難所に行った |
| 4. 懐中電灯など非常時の物品を出した | 10. 避難所に留まった |
| 5. 家具や大切なものを上階に上げた | 11. 外出して雨の様子や田畑等を見に行った |
| 6. 高齢者など要援護者を上階に上げた | 12. その他 () |

問 35. あなたは避難指示(緊急)が発令されていると認識した時点で「避難」(家の上階へ行く垂直避難も含む)をしていましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 「避難」としては特に行動していなかった
2. 安全な自宅などに積極的に留まっていた
3. 自宅の上階などに避難をした
4. 近隣の安全だと思われる建物(避難所以外)に避難をした
5. 避難所に避難した
6. その他()
7. 覚えていない・わからない

問 36. 問 35 で「避難をした人」「避難をしなかった人」とともに、その理由を教えてください。以下のあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1. 雨が降っていたから | 17. 防災行政無線などの情報を得たから |
| 2. 建物の安全性が不安だったから | 18. 雨がそれほどひどくなかったから |
| 3. 建物に被害があったから | 19. そこにいる方が安全だと思ったから |
| 4. 平屋だったから | 20. 建物に被害がなかったから |
| 5. 電気・ガス・水道などのライフラインが
使えたから | 21. 2階以上に上がればよいから |
| 6. 周囲や道路が冠水していたから | 22. 電気・ガス・水道などのライフラインが
使えなかったから |
| 7. 家族に高齢者がいたから | 23. 周囲や道路が冠水していなかったから |
| 8. 家族に乳幼児・子どもがいたから | 24. 家族に特別なケアを必要とする人がいなか
ったから |
| 9. 家族に特別なケアを必要とする人が
いたから | 25. たいしたことがないと思ったから |
| 10. ペットがいたから | 26. 避難するのが面倒だったから |
| 11. とにかく人のいるところに行きたかった
から | 27. 避難するのを感じなかったから |
| 12. 情報や物資が得られると思ったから | 28. 避難したくてもできなかったから |
| 13. 行政の支援が得られると思ったから | 29. テレビ・ラジオなどの情報を得たから |
| 14. 近所の人に言われたから | 30. SNS (Twitter, Facebook等) で情報を
得たから |
| 15. 家族・親せきに言われたから | 31. その他() |
| 16. 消防・警察などに言われたから | 32. 特に理由がない |

あなたの「避難」行動についてお尋ねします

問 37. 水害の時、家以外の建物へ避難しましたか。また、避難した場合は誰かと一緒に避難しましたか。
(1つに○)

1. 他の人と一緒に避難した 2. 1人で逃げた 3. 避難していない

付問1：(「1. 他の人と一緒に逃げた」方のみ) あなたは誰と一緒に逃げましたか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1. 自宅内の家族 | 6. 消防 | 11. 民生委員 |
| 2. 自宅外の家族や親せき | 7. 消防団 | 12. ホームヘルパー |
| 3. 近所の人 | 8. 自主防災組織 | 13. 医療関係者 |
| 4. 通りがかりの人 | 9. 行政(役場の人など) | 14. 保健福祉関係者 |
| 5. 警察 | 10. 町内会・婦人会 | 15. その他() |

付問2：(「1. 他の人と一緒に逃げた」方のみ) あなたはなぜその人と一緒に逃げたのですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 逃げるように促されたから | 4. その人を避難所に連れていく必要があったから |
| 2. 一緒に逃げようと誘われたから | 5. 特に理由なく一緒に逃げるようになった |
| 3. 一緒に逃げようと誘ったから | 6. その他() |

問 38. 水害の時、あなたを含むご家族は、家以外の建物へ避難しましたか。また、誰かの助けを借りて移動した人はいますか。(1つに○)

1. 助けを借りて移動した人がいた 2. いなかった 3. 誰も避難していない

付問1：それはどのような方ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 乳幼児 | 4. 妊娠されている方 |
| 2. 高齢者 | 5. けがをした方 |
| 3. 体の不自由な方 | 6. その他() |

問 39. 水害の時、あなたは家以外の建物へ避難しましたか。また、避難した場合は、避難中または避難した場所でどのようなご苦労がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. あたりが水没し、途中で行く手をはばまれた | 7. 暑かった |
| 2. 避難した場所で取り残された | 8. 食欲がなかった |
| 3. 命の危険があり救助を待っていた | 9. 眠れなかった |
| 4. 連絡手段がなかった | 10. 朝昼晩の時間感覚がなかった |
| 5. 必要な物を入手できなかった | 11. 強い恐怖を感じた |
| 6. 必要な情報を入手できなかった | 12. その他() |
| | 13. 避難していない |

豪雨災害による被害・影響についてお尋ねします

問 40. 今回の災害が原因で、あなたや同居されていた方の中で、ケガや病気をされた方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 全員、ケガも病気もしなかった | 4. 行方不明になった人がいる |
| 2. ケガや病気をしたが、入院はしなかった | 5. 亡くなった人がいる |
| 3. ケガや病気で、入院した | |

問 41. 災害後、役所から示された「自宅のり災証明書の判定内容」をお答えください。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 全壊 |
| 2. 大規模半壊 |
| 3. 半壊 |
| 4. 一部損壊 |
| 5. 被害なし |
| 6. 役所から判定結果をもらっていない (→家屋に被害は a. あった b. なかった) |

問 42. あなたの自宅について浸水による被害はありましたか。(1つに○)

- | |
|------------|
| 1. 床上浸水した |
| 2. 床下浸水した |
| 3. 被害はなかった |

問 43. あなたのご自宅の家財(家具、電気器具、食器など)の被害はどれくらいでしたか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 被害はなかった | 3. 半分被害を受けた | 5. わからない |
| 2. 軽い被害を受けた | 4. 全部被害を受けた | |

問 44. あなたの住宅・家財等をすべて含んだ被害総額は、災害当時のあなたの世帯年収の、どの程度にあたると思われますか。感覚的に、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

被害総額は災害当時の年収の…

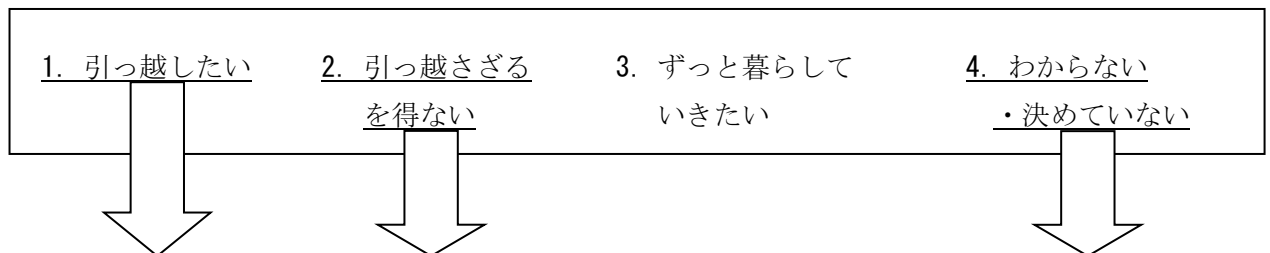
- | | | |
|--------------|---------------|------------|
| 1. 被害はなかった | 4. 30%～50%未満 | 7. 同じ程度～2倍 |
| 2. 10%未満 | 5. 50%～70%未満 | 8. 2倍～3倍 |
| 3. 10%～30%未満 | 6. 70%～100%未満 | 9. 3倍以上 |

問 45. あなたは、最近1ヶ月の間（2018年11月1日～11月30日）に、つぎにあげた「こころやからだの状態」を、どのくらい体験しましたか。以下のそれぞれの質問を読み、あてはまる番号に○をつけてください。

以下のような「こころ」や「からだ」の状態が

	1 まったく ない	2 まれに あった	3 たまに あった	4 たびたび あった	5 いつも あった
① 気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	5
② 寂しい気持ちになる	1	2	3	4	5
③ 気分が沈む	1	2	3	4	5
④ 次々とよくないことを考える	1	2	3	4	5
⑤ 集中できない	1	2	3	4	5
⑥ 何をするのもおっくうだ	1	2	3	4	5
⑦ 動悸（どうき）がする	1	2	3	4	5
⑧ 息切れがする	1	2	3	4	5
⑨ 頭痛、頭が重い	1	2	3	4	5
⑩ 胸がしめつけられるような痛みがある	1	2	3	4	5
⑪ めまいがする	1	2	3	4	5
⑫ のどがかわく	1	2	3	4	5

問 46. あなたはこれからも現在お住まいの地域で、ずっと暮らしていきたいと思いませんか、それとも引っ越したいと思いませんか。（1つに○）



付問：どこに引っ越す予定ですか。（1つに○）

1. 水害前に住んでいた地域
2. 水害前に住んでいた同じ市町村
3. 水害前に住んでいたところとは別の市町村
4. 水害前と別の都道府県
5. 引っ越し先をまだ決めていない

付問：あてはまる理由全てに○をしてください

1. 国や地域の方針が定まっていないから
2. 土地や家が見つかっていないから
3. 安定した仕事を確保できていないから
4. 住宅再建の資金が足りないから
5. 今後を考える精神的余裕がないから
6. その他（ ）

問 47. 水害発生後から現在までのお住まいについて教えてください。以下の①～⑨の時期、あなたはどこに一番長く仮住まい（「自宅」だと思ふ以外のところで寝泊まり）をしていましたか。

①～⑨のそれぞれの時期において、1～11の中で最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

	(A) この時期 仮住まい をしてい ない	(B) 仮住まい先									
		2 親子 親せき の家	3 友人・近所 の家	4 避難場所 等	5 屋外・テント・ 車の中	6 病院・福祉施設	7 職場・会社が 用意した施設	8 ホテル・アパート 等	9 みなし仮設住宅	10 建設型の仮設住宅	11 その他
①水害当日は (7月6～7日)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
②水害後・ 2～4日は (7月10日頃)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
③水害後・ 1週間は (7月14日頃)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
④水害後・ 2週間は (7月下旬)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
⑤水害後・ 1ヶ月は (8月上旬)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
⑥水害後・ 2ヶ月は (9月上旬)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
⑦水害後・ 3か月は (10月上旬)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
⑧水害後・ 4か月は (11月上旬)	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他
⑨現在	1 仮住まい していない	2 親子 親せき	3 友人 近所	4 避難所	5 屋外 テント	6 病院 福祉	7 職場 会社	8 ホテル アパート	9 みなし 仮設	10 プレハブ 仮設	11 その他

問 48. 今回の経験をふまえて、もし次に災害が起こったとして、あなたが精神面で頼りにできるのは以下の人・組織のどれですか。頼りになるものにすべて○をつけてください。

精神面で頼りになるのは…

- | | | | |
|--------------------|------------|----------------------------------|--------------|
| 1. あなたが住んでいる市町村の役所 | 8. 同業者組合 | 16. 自治会・町内会 | 23. 子ども |
| 2. 県 | 9. 学識者 | 17. 宗教関係の団体 | 24. きょうだい |
| 3. 国の行政機関 | 10. マスコミ | 18. 政治関係の団体 | 25. 親せき |
| 4. 保険会社 | 11. 医療機関 | 19. ライフライン事業者
(電力・ガス・水道・電話など) | 26. 配偶者 |
| 5. 建設会社 | 12. 自衛隊 | 20. J R・鉄道事業者 | 27. 友人 |
| 6. 会社・職場 | 13. 警察 | 21. バス事業者 | 28. 近所の人 |
| 7. 農協・漁協 | 14. 消防 | 22. 両親 | 29. ボランティア |
| | 15. 地域の消防団 | | 30. この中にはいない |

付問：上記の中で精神面において一番頼りになる人・組織はどれですか。
最もあてはまる番号を1つ書いてください。

問 49. 今回の経験をふまえて、もし次に災害が起こったとして、あなたが物質面で頼りにできるのは以下の人・組織のどれですか。頼りになるものにすべて○をつけてください。

物質面で頼りになるのは…

- | | | | |
|--------------------|------------|----------------------------------|--------------|
| 1. あなたが住んでいる市町村の役所 | 8. 同業者組合 | 16. 自治会・町内会 | 23. 子ども |
| 2. 県 | 9. 学識者 | 17. 宗教関係の団体 | 24. きょうだい |
| 3. 国の行政機関 | 10. マスコミ | 18. 政治関係の団体 | 25. 親せき |
| 4. 保険会社 | 11. 医療機関 | 19. ライフライン事業者
(電力・ガス・水道・電話など) | 26. 配偶者 |
| 5. 建設会社 | 12. 自衛隊 | 20. J R・鉄道事業者 | 27. 友人 |
| 6. 会社・職場 | 13. 警察 | 21. バス事業者 | 28. 近所の人 |
| 7. 農協・漁協 | 14. 消防 | 22. 両親 | 29. ボランティア |
| | 15. 地域の消防団 | | 30. この中にはいない |

付問：上記の中で物質面において一番頼りになる人・組織はどれですか。
最もあてはまる番号を1つ書いてください。

問 50. 今回の経験をふまえて、もし次に災害が起こったとして、あなたが情報面で頼りにできるのは以下の人・組織のどれですか。頼りになるものにすべて○をつけてください。

情報面で頼りになるのは…

- | | | | |
|--------------------|------------|----------------------------------|--------------|
| 1. あなたが住んでいる市町村の役所 | 8. 同業者組合 | 16. 自治会・町内会 | 23. 子ども |
| 2. 県 | 9. 学識者 | 17. 宗教関係の団体 | 24. きょうだい |
| 3. 国の行政機関 | 10. マスコミ | 18. 政治関係の団体 | 25. 親せき |
| 4. 保険会社 | 11. 医療機関 | 19. ライフライン事業者
(電力・ガス・水道・電話など) | 26. 配偶者 |
| 5. 建設会社 | 12. 自衛隊 | 20. J R・鉄道事業者 | 27. 友人 |
| 6. 会社・職場 | 13. 警察 | 21. バス事業者 | 28. 近所の人 |
| 7. 農協・漁協 | 14. 消防 | 22. 両親 | 29. ボランティア |
| | 15. 地域の消防団 | | 30. この中にはいない |

付問：上記の中で情報面において一番頼りになる人・組織はどれですか。

最もあてはまる番号を1つ書いてください。

問 51. あなたの気持ちや行動が、災害発生後、時間とともにどのように変化してきたのか、ふり返ってみてください。A～Lのそれぞれについて、カレンダーの1～11の番号に○をつけてください。

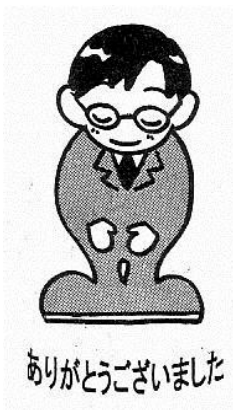
カレンダーA～F：災害発生当日～現在

	A 被害の全体像 がつかめた	B もう安全だ と思った	C 不自由な暮ら しが当分続 くと覚悟した	D 仕事かもとに 戻った	E 地域の学校が もとに戻った	F すまいの問題 が最終的に 解決した
水害当日 (7/6～7)	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日
水害後2～4日 (7/10頃)	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日
水害後1週間 (7/14頃)	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間
水害後2週間 (7月下旬)	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間
水害後1か月 (8月上旬)	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月
水害後2か月 (9月上旬)	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月
水害後3か月 (10月上旬)	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月
水害後4ヶ月 (11月上旬)	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月
現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在
現在も戻って いない／そう なっていない	10. 戻って いない	10. 戻って いない	10. 戻って いない	10. 戻って いない	10. 戻って いない	10. 戻って いない
覚えていない／ わからない	11. 覚えて いない	11. 覚えて いない	11. 覚えて いない	11. 覚えて いない	11. 覚えて いない	11. 覚えて いない

つづき G～L：災害発生日～現在

	G 家計への 水害の影響が なくなった	H 毎日の生活が 落ち着いた	I 地域の活動が もとに戻った	J 地域の道路が もとに戻った	K 自分が被災者 だと意識しな くなった	L 地域経済が 水害の影響を 脱した
水害当日 (7/6～7)	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日	1. 水害当日
水害後2～4日 (7/10頃)	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日	2. 水害2～4日
水害後1週間 (7/14頃)	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間	3. 1週間
水害後2週間 (7月下旬)	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間	4. 2週間
水害後1か月 (8月上旬)	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月	5. 1か月
水害後2か月 (9月上旬)	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月	6. 2か月
水害後3か月 (10月上旬)	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月	7. 3か月
水害後4ヶ月 (11月上旬)	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月	8. 4か月
現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在	9. 現在
現在も戻って いない／そう なっていない	10. 戻っ て いない	10. 戻っ て いない	10. 戻っ て いない	10. 戻っ て いない	10. 戻っ て いない	10. 戻っ て いない
覚えていない／ わからない	11. 覚え て いない	11. 覚え て いない	11. 覚え て いない	11. 覚え て いない	11. 覚え て いない	11. 覚え て いない

問 52. 今回の災害や今後の災害対策に関して、岡山県に対するご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。



質問は、以上で終了です。

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

平成 30 年 7 月豪雨災害での対応行動に関する
アンケート調査報告書

2019 年（平成 31 年） 3 月

発行 岡山県危機管理課

〒700-8570

岡山県岡山市北区内山下二丁目 4 番 6 号

T E L 086-226-7293 F A X 086-225-4659